

第2部 九州と各国・地域の経済関係

第1章 九州と韓国の経済関係

1. 韓国の経済概況

国名	大韓民国
面積	約10万km ² (朝鮮半島全体の45%、日本の約4分の1)
人口	約5,150万人(2015年12月現在)
首都	ソウル
人種	韓民族
言語	韓国語
宗教	宗教人口比率53.1%(うち仏教:42.9%、プロテスタント:34.5%、カトリック:20.6%、その他:2.0%)。社会・文化に儒教の影響を色濃く受ける。
政体	民主共和国
主要産業	電気・電子機器、自動車、鉄鋼、石油化学、造船

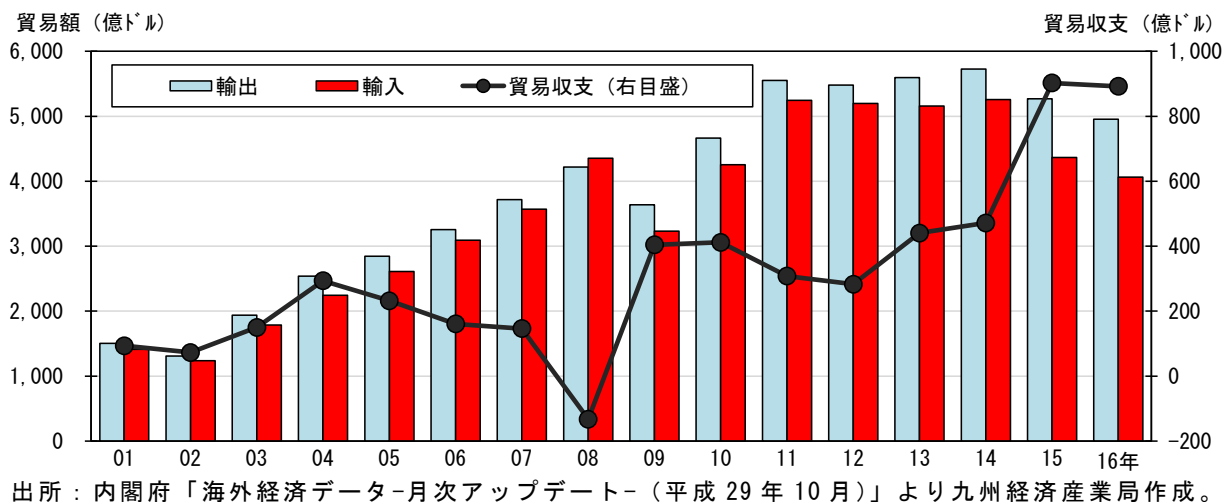
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-1-1 韓国のマクロ経済

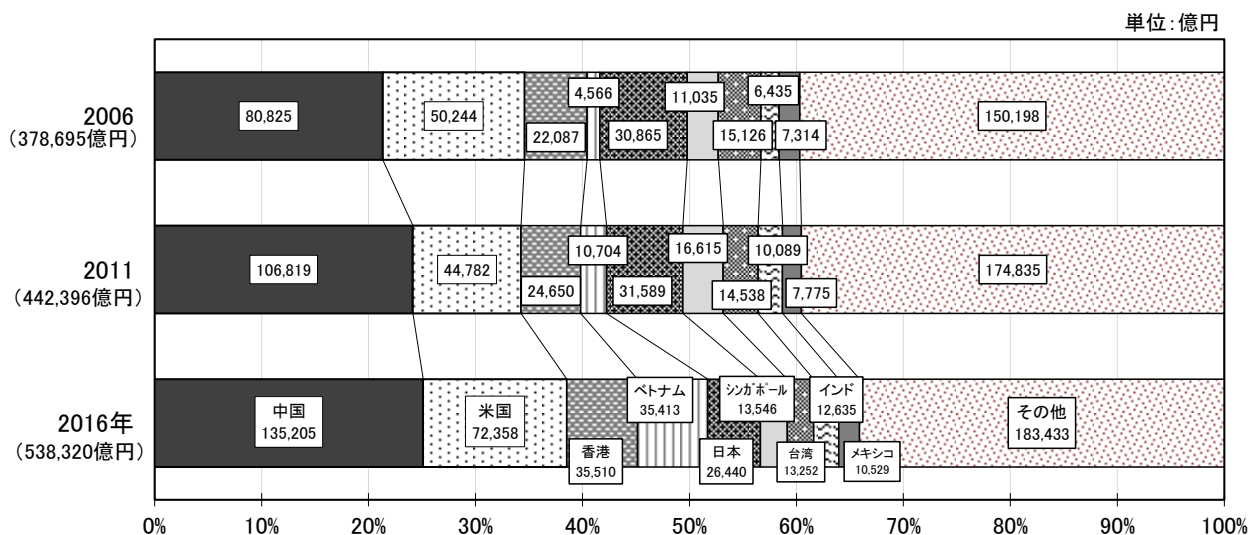
	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.3	2.9	3.3	2.8	2.8
名目GDP総額	十億ドル	1,223	1,306	1,411	1,383	1,411
一人当たりGDP(名目)	ドル	24,359	25,890	27,811	27,105	27,535
輸出額	億ドル	5,479	5,596	5,727	5,268	4,954
	前年比(%)	▲ 1.3	2.1	2.3	▲ 8.0	▲ 5.9
輸入額	億ドル	5,196	5,156	5,255	4,365	4,062
	前年比(%)	▲ 0.9	▲ 0.8	1.9	▲ 16.9	▲ 6.9
貿易収支	億ドル	283	440	472	903	892
対日貿易収支	億ドル	▲ 256	▲ 254	▲ 216	▲ 203	▲ 231
鉱工業生産指数	前年比(%)	1.4	0.7	0.2	▲ 0.3	1.0
失業率	(%)	3.2	3.1	3.5	3.6	3.7
消費者物価指数	前年比(%)	2.2	1.3	1.3	0.7	1.0
直接投資受入額	億ドル	163	145	190	209	213
為替レート(1ドル)	ウォン	1,126.47	1,094.85	1,052.96	1,131.16	1,160.43
為替レート(1ウォン)	円	0.07	0.09	0.10	0.10	0.09

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

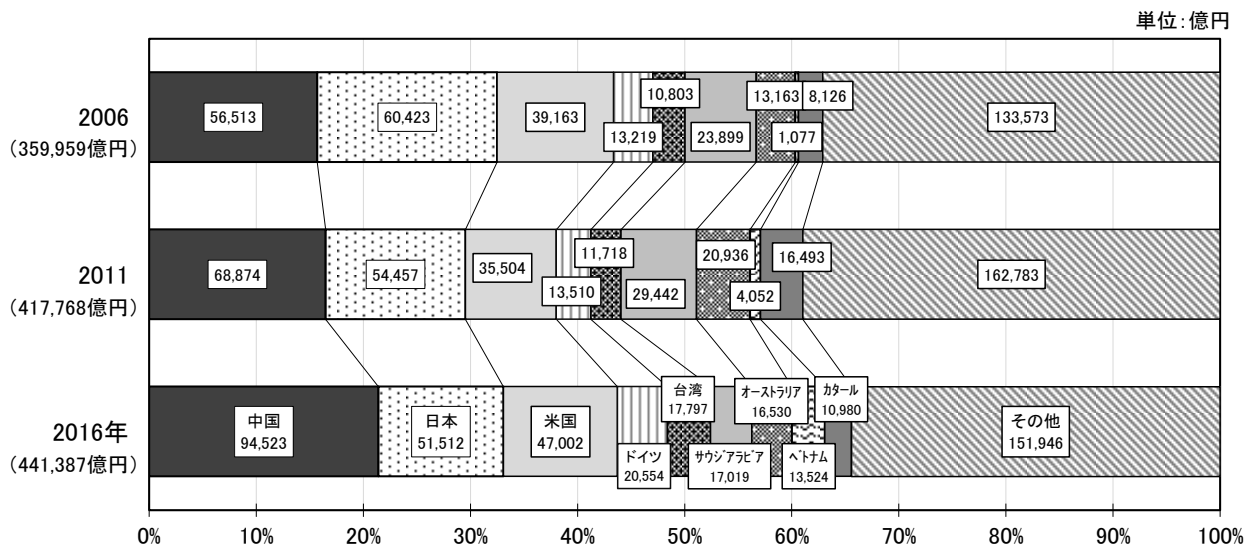
図表 2-1-2 韓国の対外貿易額の推移



図表 2-1-3 韓国の輸出相手国・地域の推移



図表 2-1-4 韓国の輸入相手国・地域の推移

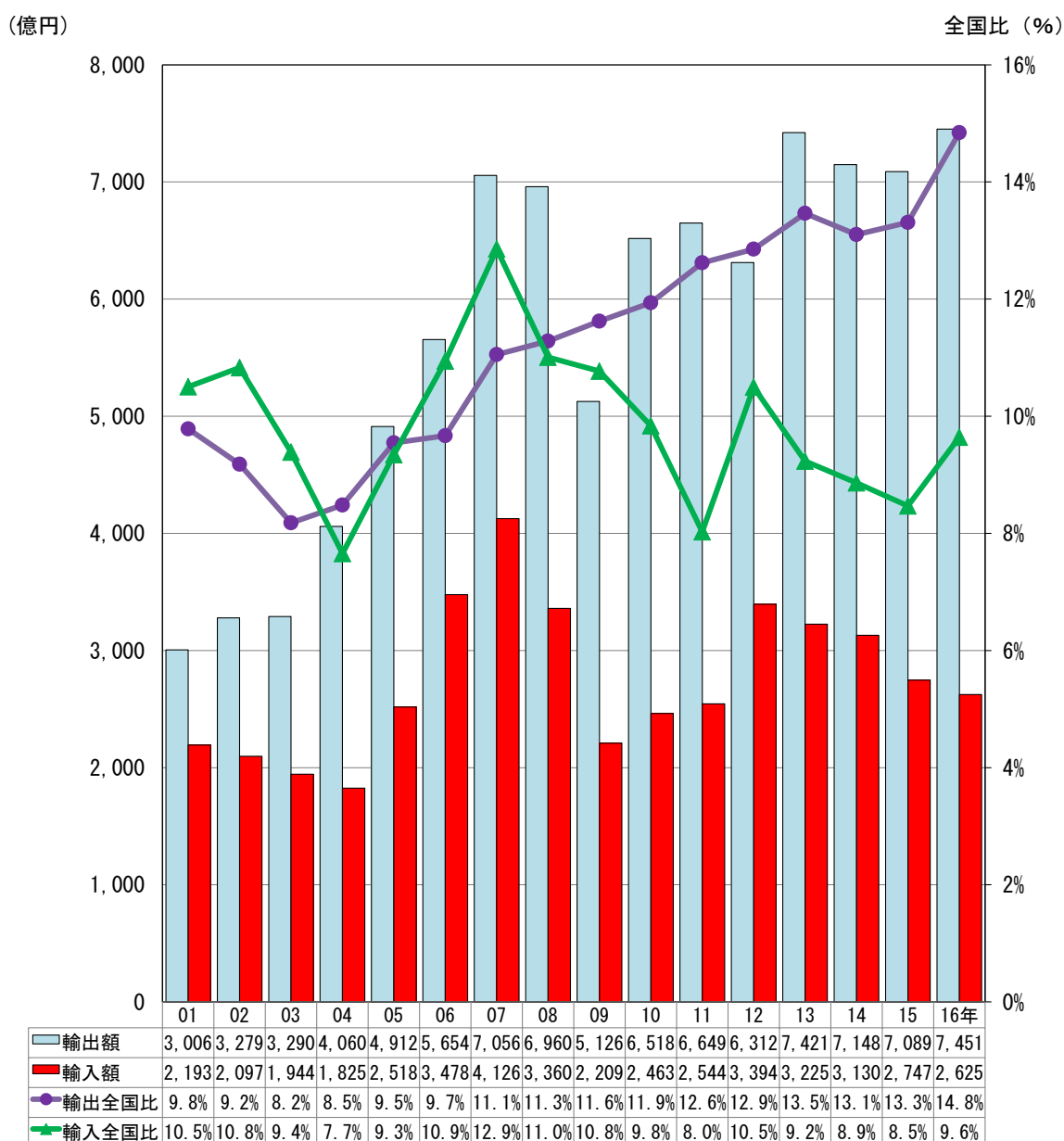


図表 2-1-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州と韓国の経済動向

- 2016年の九州の対韓国貿易額は、輸出が7,451億円（前年比5.1%増）と3年ぶりに増加した。輸入は2,625億円（前年比4.5%減）と4年連続で減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等製造装置、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等製造装置（寄与度：+11.8%）、自動車（同+1.5%）となっている。一方、減少では、有機化合物（同▲1.8%）、鉄鋼のフラットロール製品（同▲1.8%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、自動車の部分品、鉄鋼のフラットロール製品、石油製品等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、石油製品（揮発油）（寄与度：+3.6%）、半導体等製造装置（同+2.6%）となっている。一方、減少では、石油製品（重油）（同▲4.1%）、通信機（同▲2.6%）、有機化合物（同▲1.5%）となっている。

図表 2-1-5 九州の対韓国貿易額の推移

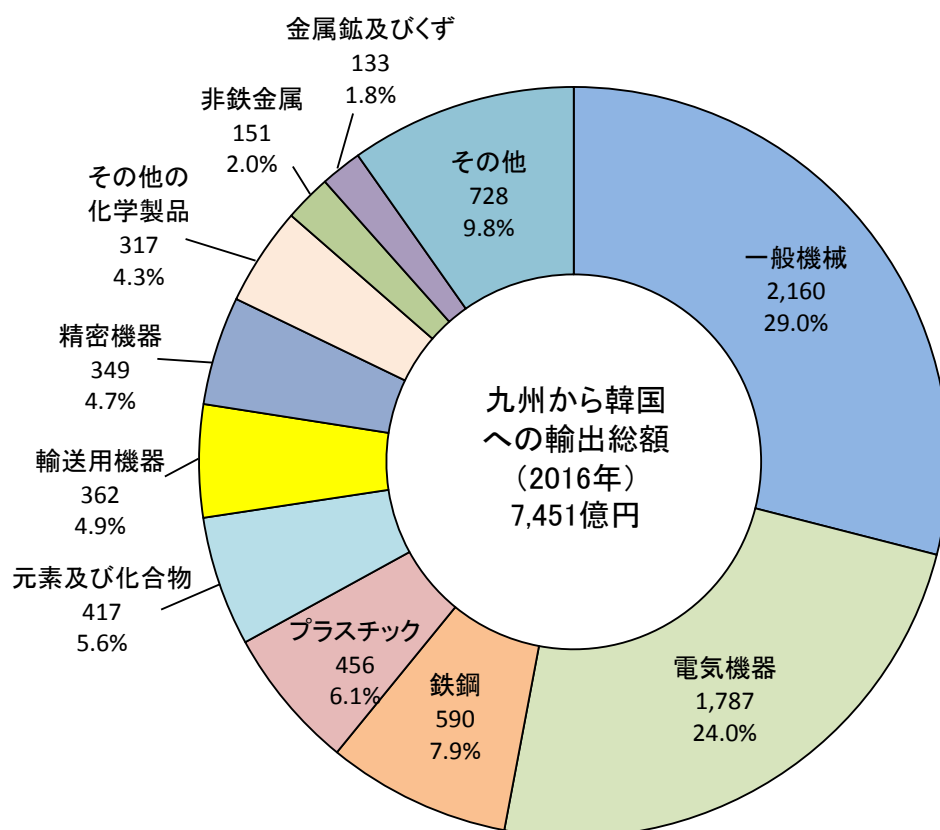


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-1-6 九州から韓国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等製造装置	一般機械	1,703	22.9%
半導体等電子部品	電気機器	1,458	19.6%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	534	7.2%
プラスチック	プラスチック	456	6.1%
有機化合物	元素及び化合物	367	4.9%
科学光学機器	精密機器類	349	4.7%
自動車	輸送用機器	311	4.2%
原動機	一般機械	133	1.8%
鉄鋼のくず	金属鉱及びくず	112	1.5%
銅及び同合金	非鉄金属	85	1.1%
その他		1,942	26.1%
総 額		7,451	100%

寄与度（増加分）：半導体等製造装置（+11.8%）、自動車（+1.5%）等

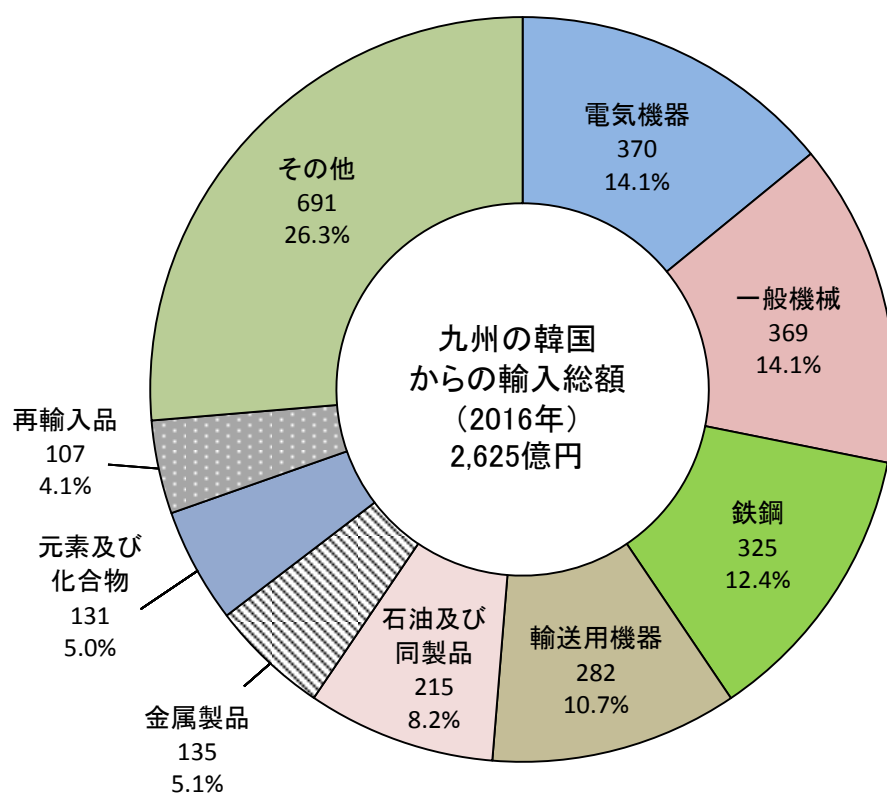
寄与度（減少分）：有機化合物（▲1.8%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.8%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-1-7 九州の韓国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



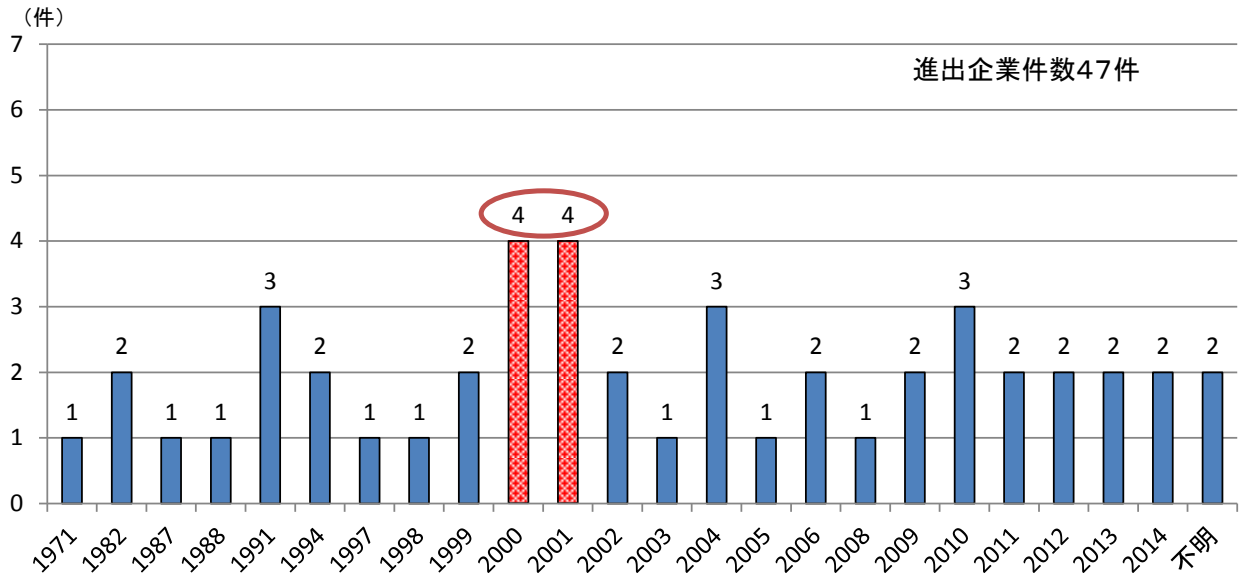
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
自動車の部分品	輸送用機器	269	10.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	267	10.2%
石油製品(揮発油及び重油等)	石油及び同製品	215	8.2%
半導体等電子部品	電気機器	150	5.7%
半導体等製造装置	一般機械	109	4.1%
有機化合物	元素及び化合物	108	4.1%
鉄鋼製構造物及び同建設機材	金属製品	60	2.3%
抗生物質製剤	医薬品	60	2.3%
魚介類(生鮮・冷凍)	魚介類及び同調製品	54	2.1%
野菜	果実及び野菜	47	1.8%
その他		1,286	49.0%
総 額		2,625	100%

寄与度（増加分）：石油製品（揮発油）（+3.6%）、半導体等製造装置（+2.6%）、自動車の部分品（+1.2%）等

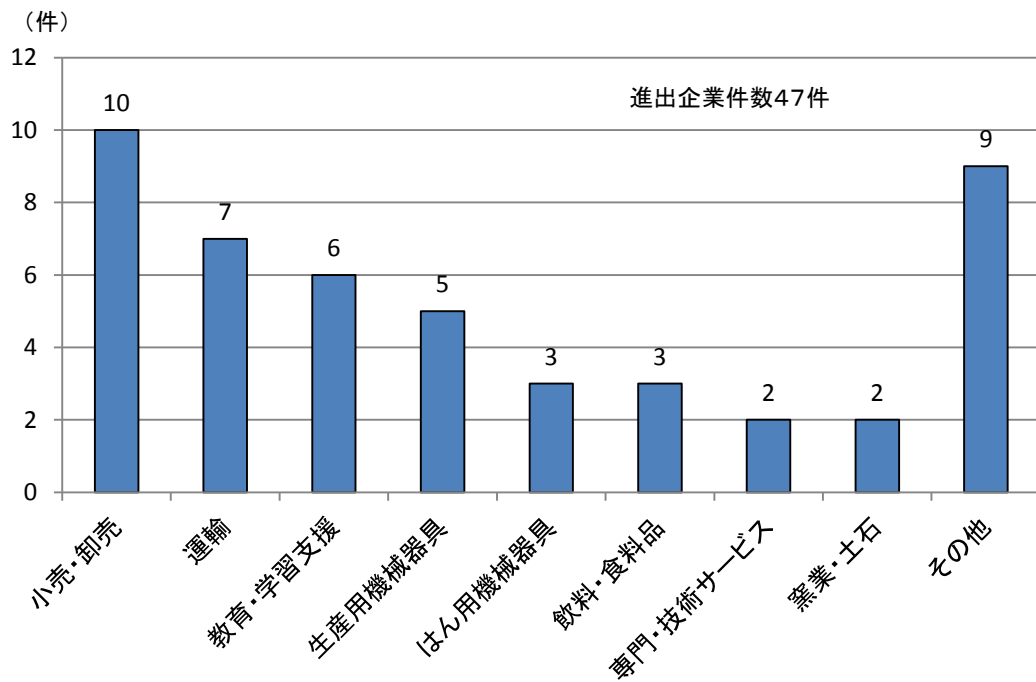
寄与度（減少分）：石油製品（重油）（▲4.1%）、通信機（▲2.6%）、有機化合物（▲1.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-1-8 九州企業の韓国への進出件数の推移



図表 2-1-9 韓国に進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-1-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

【トピックス】韓国からの「自動車の部分品」の輸入について

○自動車部品の調達においてグローバル化が進む中、2016年の九州の韓国からの「自動車の部分品」の輸入額は269億円に達し、10年前と比べて5倍強に増加しています。

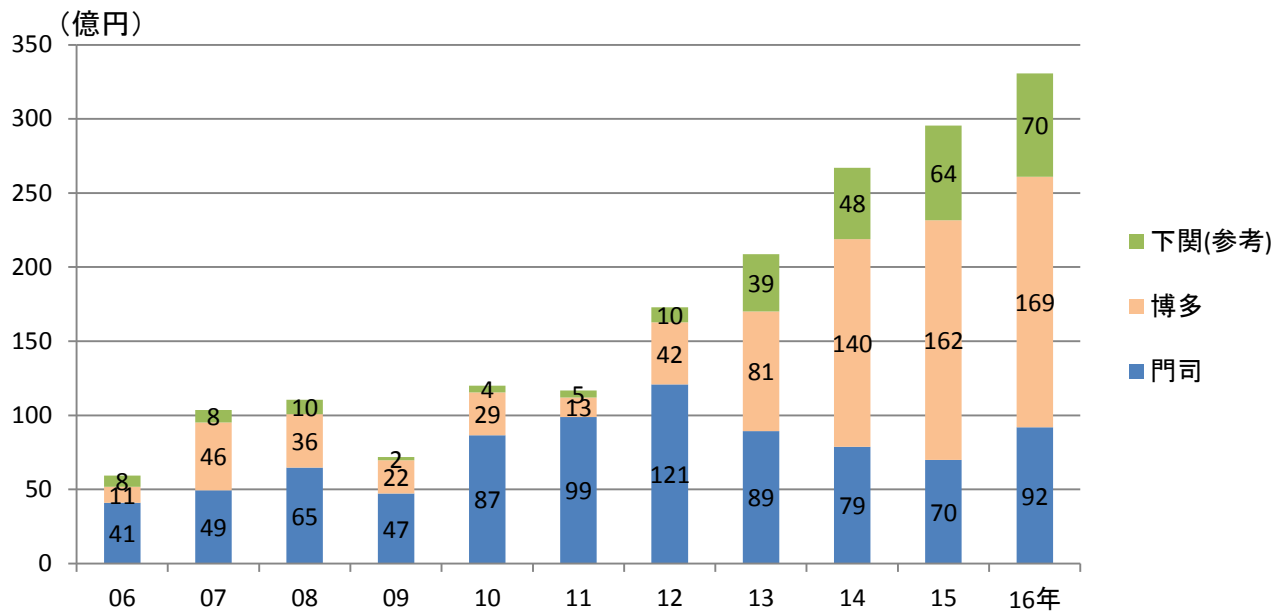
○九州の自動車メーカーでは、韓国においてミルクラン方式（*1）による集荷や日韓ダブルナンバーのシャーシ（*2）の活用による効率的な部品調達を進めており、こうした部品調達方式の拡大も韓国からの輸入額増加の背景にあると思われます。

○上記の部品調達方式においては、日韓間の輸送に定期フェリー（博多港-釜山港、下関港-釜山港）を活用しており、近年、博多港と下関港からの輸入額が大きく伸長しています。

※1：自動車メーカーが複数の部品メーカーを回って部品を調達（混載）する方式で、従来型の各部品メーカーが個別に自動車メーカーに納品する方式よりも積載率が向上。

※2：輸送車両を相手国との間で相互乗り入れすることができ、相手国で当該国の車両に積み替える手間が省け、物流のスピード化を図ることができる。

【図表】門司港・博多港・下関港における韓国からの自動車の部分品の輸入額推移



備考：九州（下関港を含む）において、韓国からの「自動車の部分品」の輸入額が多い3港の輸入額の推移を比較したもの。

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第2章 九州と中国の経済関係

1. 中国の経済概況

国名	中華人民共和国
面積	約960万km ² (日本の約26倍)
人口	約13.76億人
首都	北京
人種	漢民族(総人口の約92%)及び55の少数民族
言語	漢語(中国語)
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教など
政体	人民民主共和制
主要産業	第一次産業(名目GDPの8.6%)、第二次産業(同39.8%)、第三次産業(同51.6%) (注)労働集約・外需主導型産業がけん引する「世界の工場」として第二次産業を中心に発展してきたが、2012年に第三次産業の比率が第二次産業の比率を逆転。

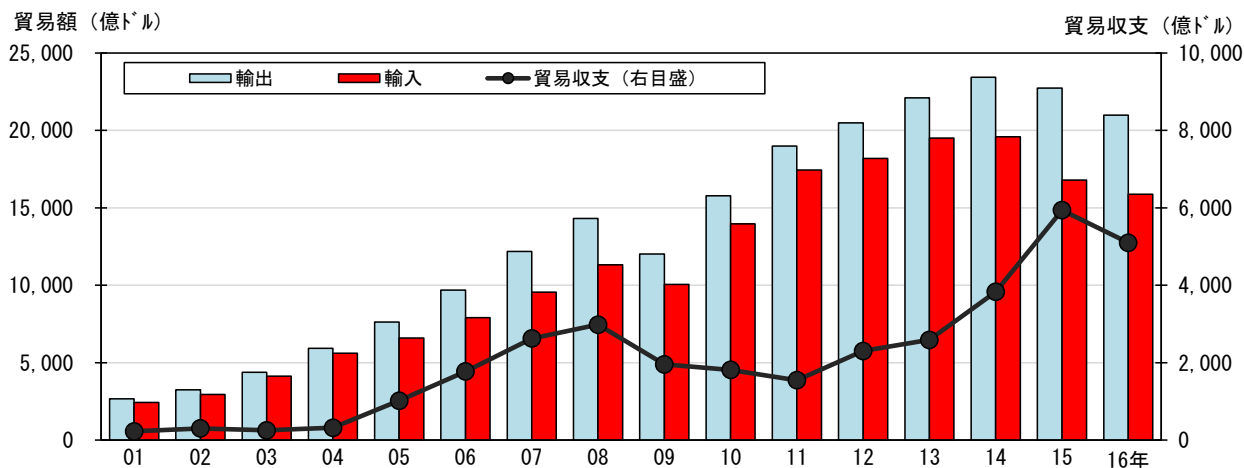
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-2-1 中国のマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.9	7.8	7.3	6.9	6.7
名目GDP総額	十億ドル	8,570	9,635	10,535	11,226	11,232
一人当たりGDP(名目)	ドル	6,329	7,081	7,702	8,167	8,123
輸出額	億ドル	20,487	22,090	23,423	22,735	20,976
	前年比(%)	7.9	7.8	6.0	▲ 2.9	▲ 7.7
輸入額	億ドル	18,184	19,500	19,592	16,796	15,879
	前年比(%)	4.3	7.2	0.5	▲ 14.3	▲ 5.5
貿易収支	億ドル	2,303	2,590	3,831	5,939	5,097
対日貿易収支	億ドル	▲ 261	▲ 120	▲ 135	▲ 72	▲ 159
鉱工業生産指数	前年比(%)	10.0	9.7	8.3	6.1	6.0
失業率(都市部)	(%)	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0
消費者物価指数	前年比(%)	2.6	2.6	2.0	1.4	2.0
直接投資受入額	億ドル	2,412	2,909	2,681	2,425	1,706 *
為替レート(1ドル)	人民元	6.31	6.20	6.14	6.23	6.64
為替レート(1人民元)	円	12.64	15.75	17.25	17.20	16.33

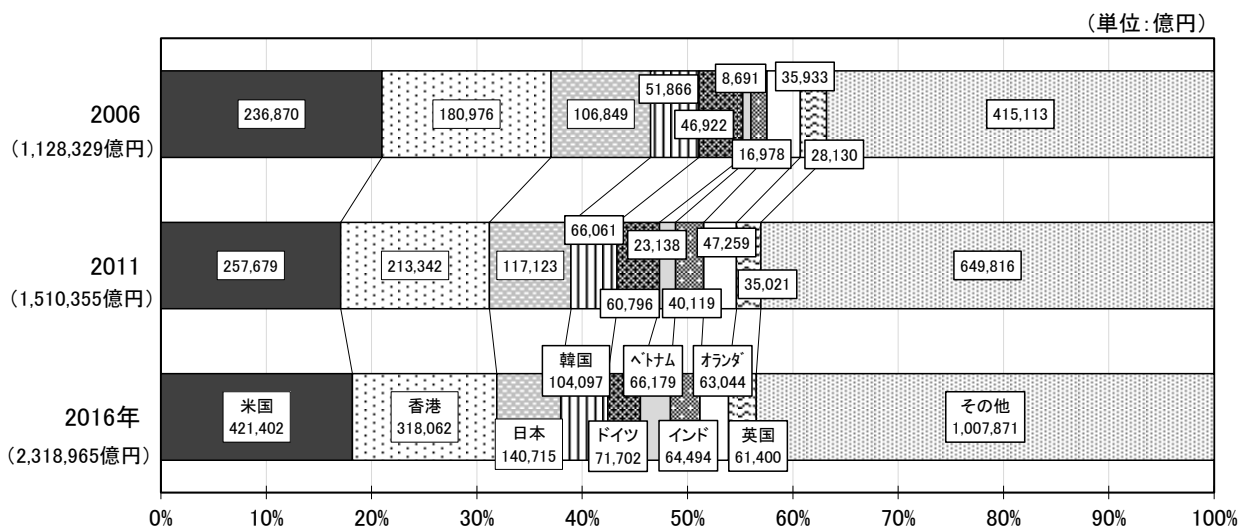
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-2-2 中国の対外貿易額の推移

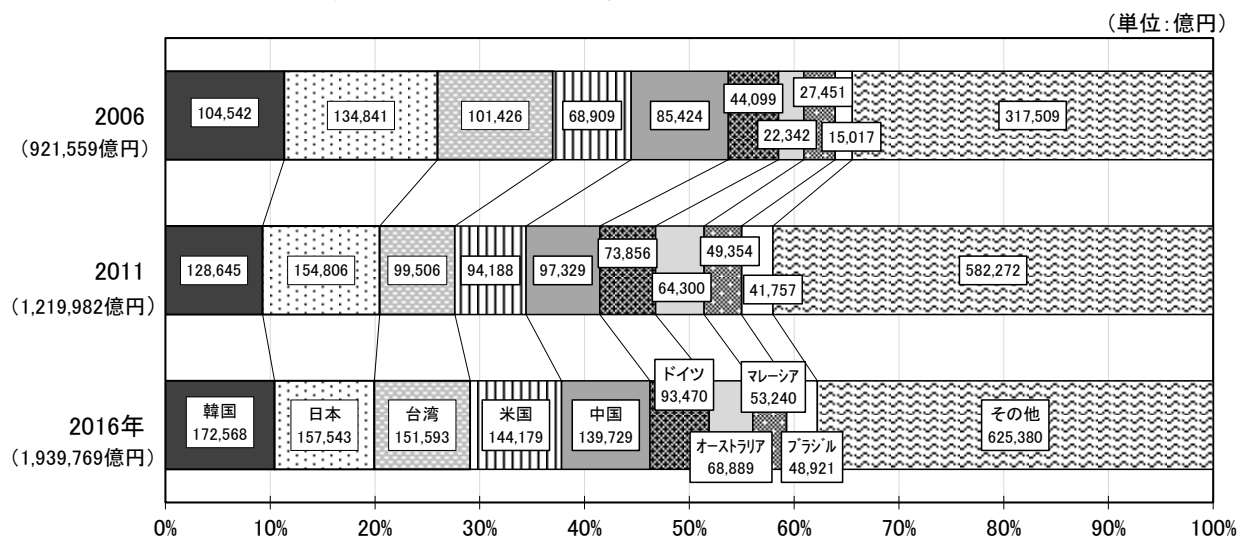


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-（平成 29 年 10 月）」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-3 中国の輸出相手国・地域の推移



図表 2-2-4 中国の輸入相手国・地域の推移

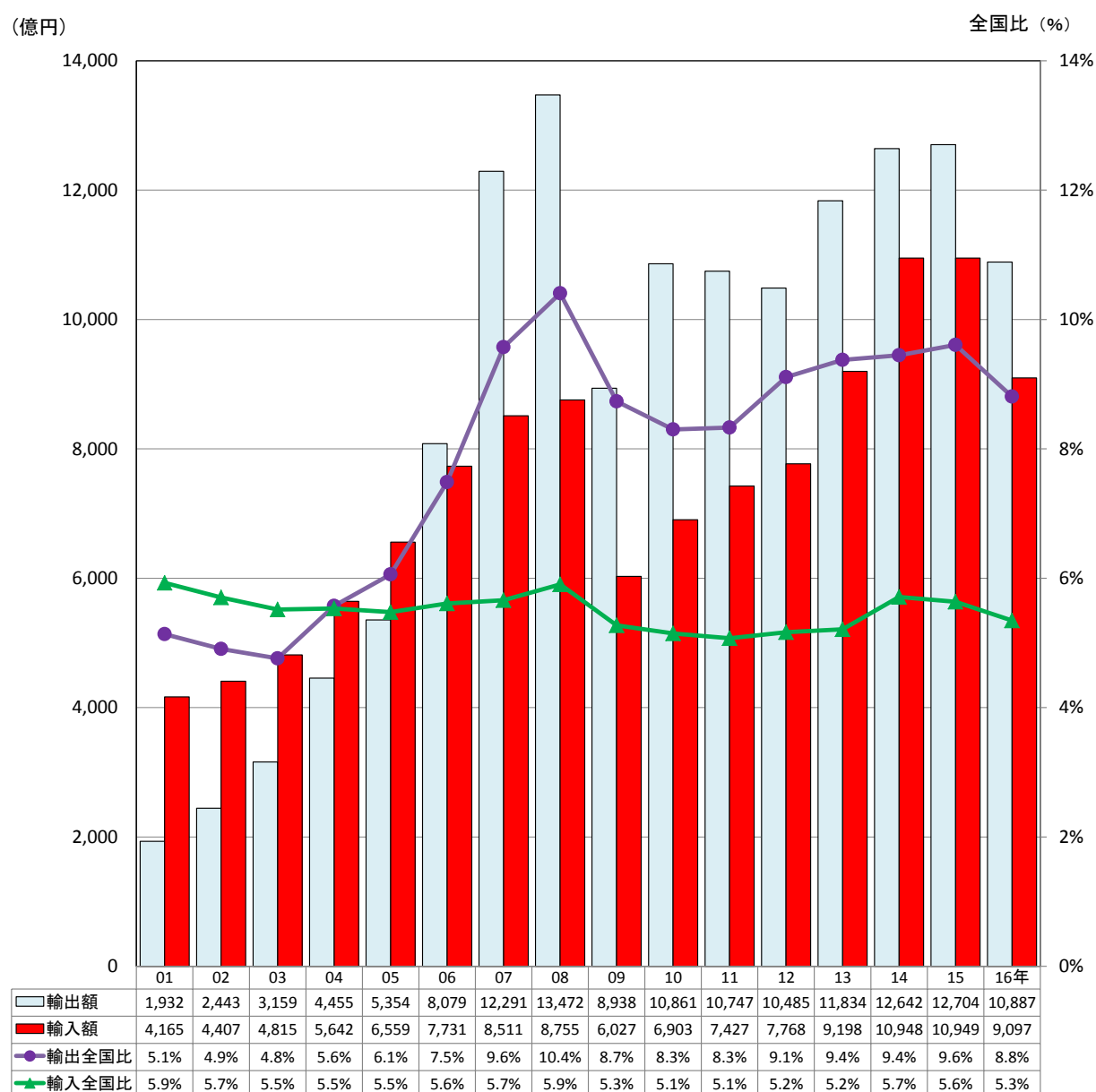


図表 2-2-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州と中国の経済動向

- 2016年の九州の対中国貿易額は、輸出が1兆887億円（前年比14.3%減）と4年ぶりに減少した。輸入は9,097億円（前年比16.9%減）と7年ぶりに減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、半導体等製造装置等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車（寄与度：+4.7%）となっている。一方、減少では、映像機器（同▲4.3%）、有機化合物（同▲2.2%）、科学光学機器（同▲2.0%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、半導体等電子部品、自動車の部分品、有機化合物等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、事務用機器（寄与度：▲3.0%）、半導体等電子部品（同▲2.9%）となっている。

図表 2-2-5 九州の対中国貿易額の推移

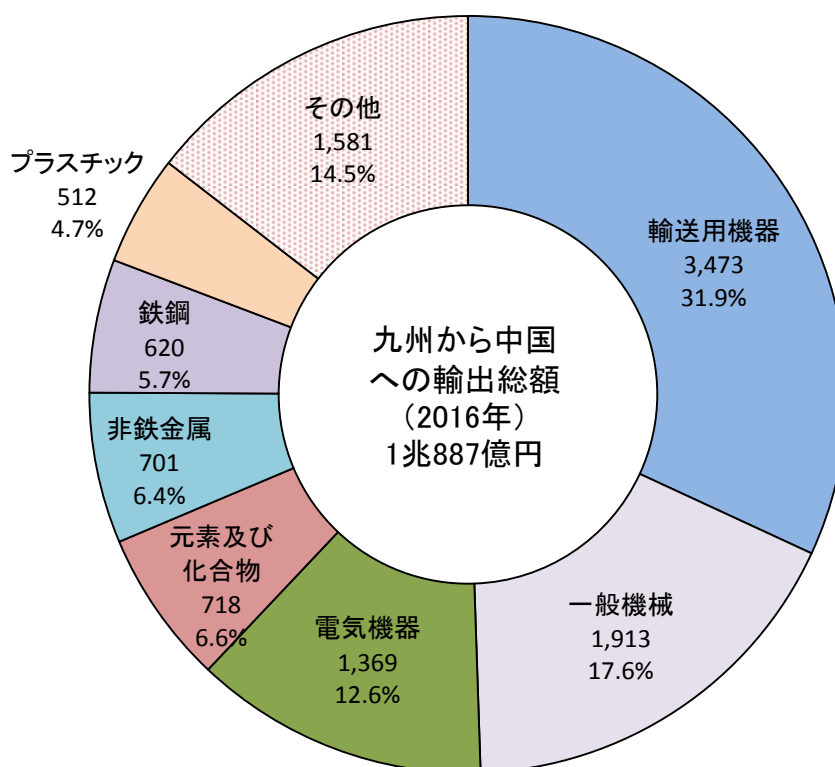


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-2-6 九州から中国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	3,430	31.5%
半導体等電子部品	電気機器	951	8.7%
半導体等製造装置	一般機械	894	8.2%
有機化合物	元素及び化合物	676	6.2%
銅及び同合金	非鉄金属	665	6.1%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	567	5.2%
プラスチック	プラスチック	512	4.7%
原動機	一般機械	444	4.1%
科学光学機器	精密機器類	160	1.5%
鉄鋼のくず	金属鉱及びくず	107	1.0%
その他		2,481	22.8%
総 額		10,887	100%

寄与度(増加分)：自動車（+4.7%）等

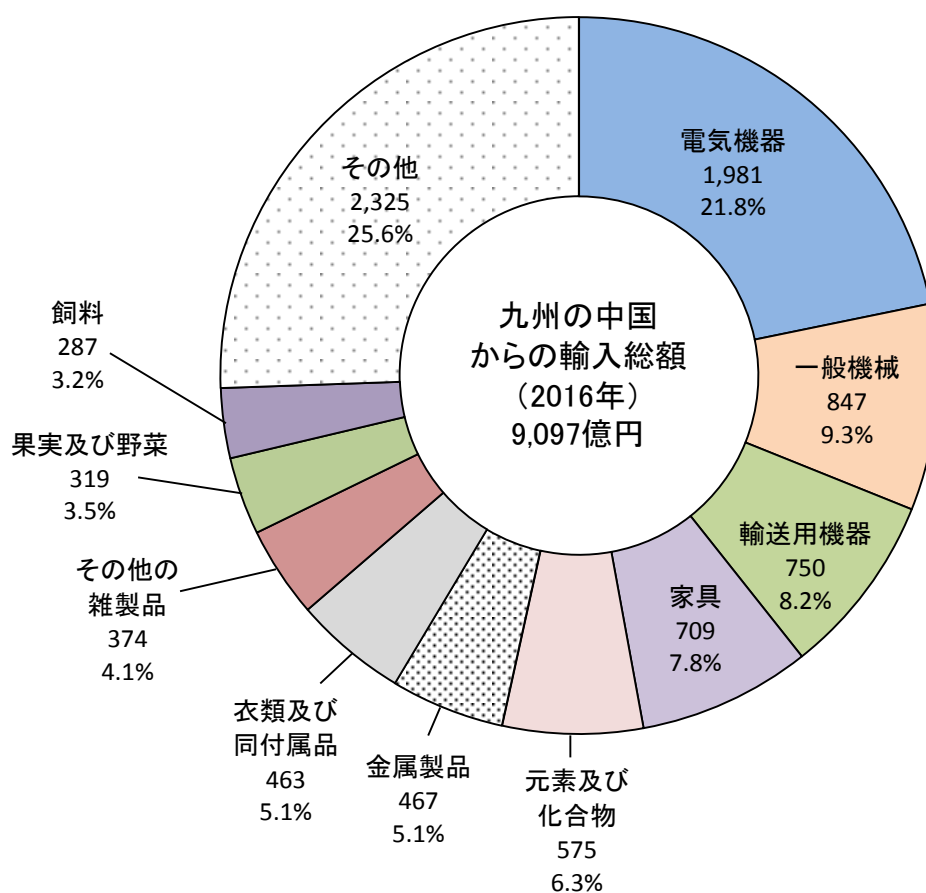
寄与度(減少分)：映像機器（▲4.3%）、有機化合物（▲2.2%）、科学光学機器（▲2.0%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-7 九州の中国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

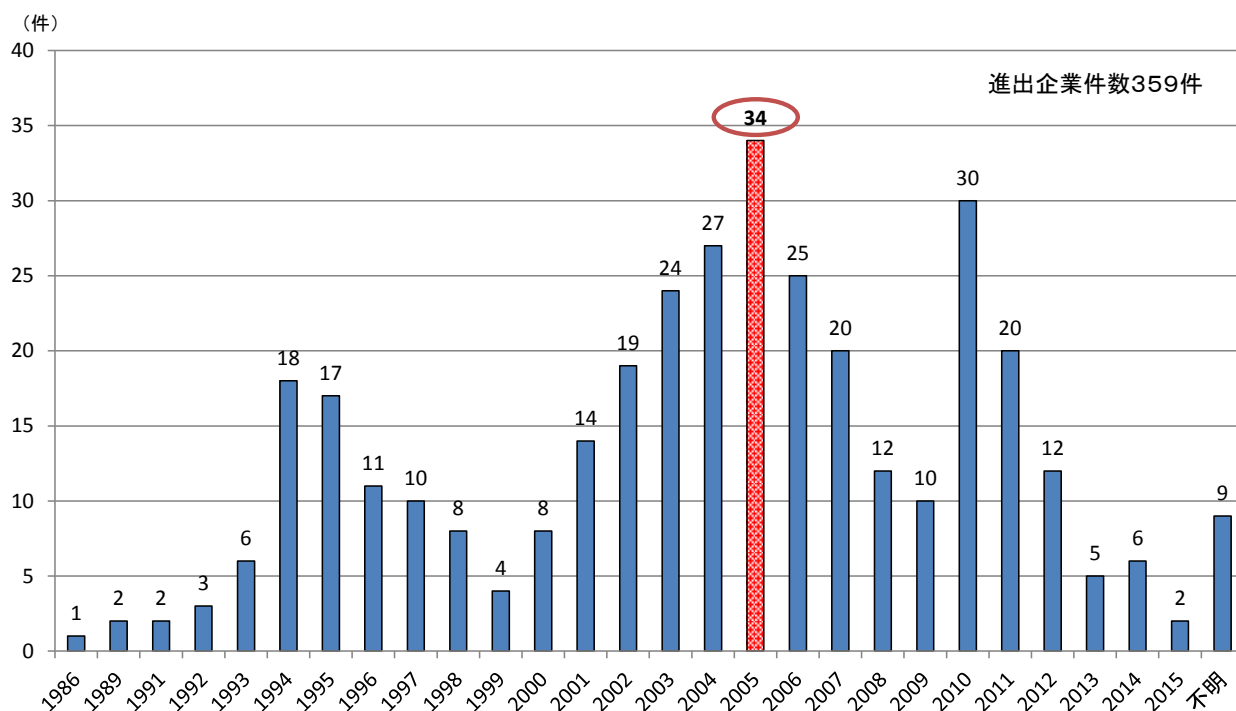


主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	電気機器	674	7.4%
自動車の部分品	輸送用機器	641	7.0%
有機化合物	元素及び化合物	420	4.6%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同付属品	258	2.8%
野菜	果実及び野菜	249	2.7%
植物性油かす	飼料	234	2.6%
電気回路等の機器	電気機器	232	2.6%
プラスチック製品	その他の雑製品	213	2.3%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	186	2.0%
加熱用・冷却用機器	一般機械	172	1.9%
その他		5,816	63.9%
総 額		9,097	100%

寄与度（減少分）：事務用機器（▲3.0%）、半導体等電子部品（▲2.9%）等

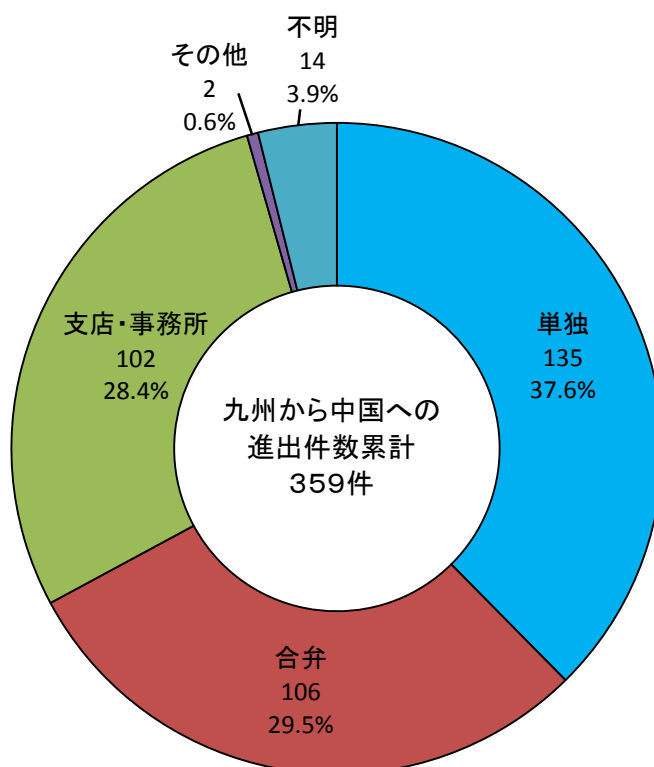
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-8 九州企業の中国への進出件数の推移



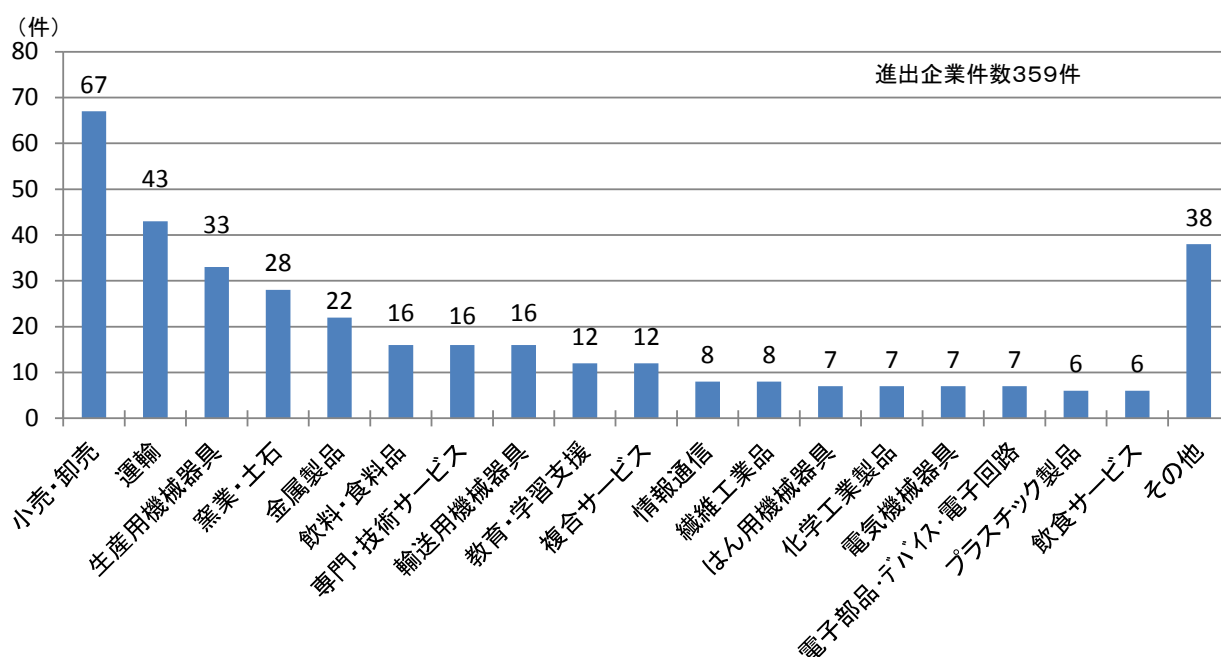
図表 2-2-9 九州企業の中国への進出形態

(単位：億円、%)



図表 2-2-8～9 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

図表 2-2-10 中国に進出した九州企業の業種別内訳



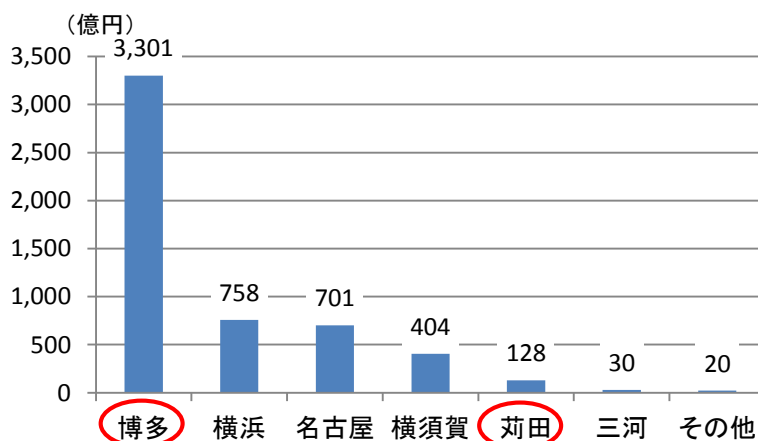
出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

【トピックス】九州から中国への自動車の輸出について

2016年の九州の自動車輸出額（1兆3,346億円）は全国比11.8%ですが、中国への自動車輸出額（3,430億円）については全国比64.2%となっており、九州からの輸出が全国の過半数を占めています。

なかでも、博多港は2016年の中国への自動車輸出額が3,301億円と前年に引き続き全国第1位となっています。また、同じ福岡県内の苅田港についても全国第5位となっており、中国の自動車市場を狙う上で、九州が重要な輸出拠点となっていることがうかがえます。

【図表】港別の中国への自動車輸出額（2016年）



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第3章 九州と環黄海経済圏の経済関係

1. 環黄海経済圏の概要

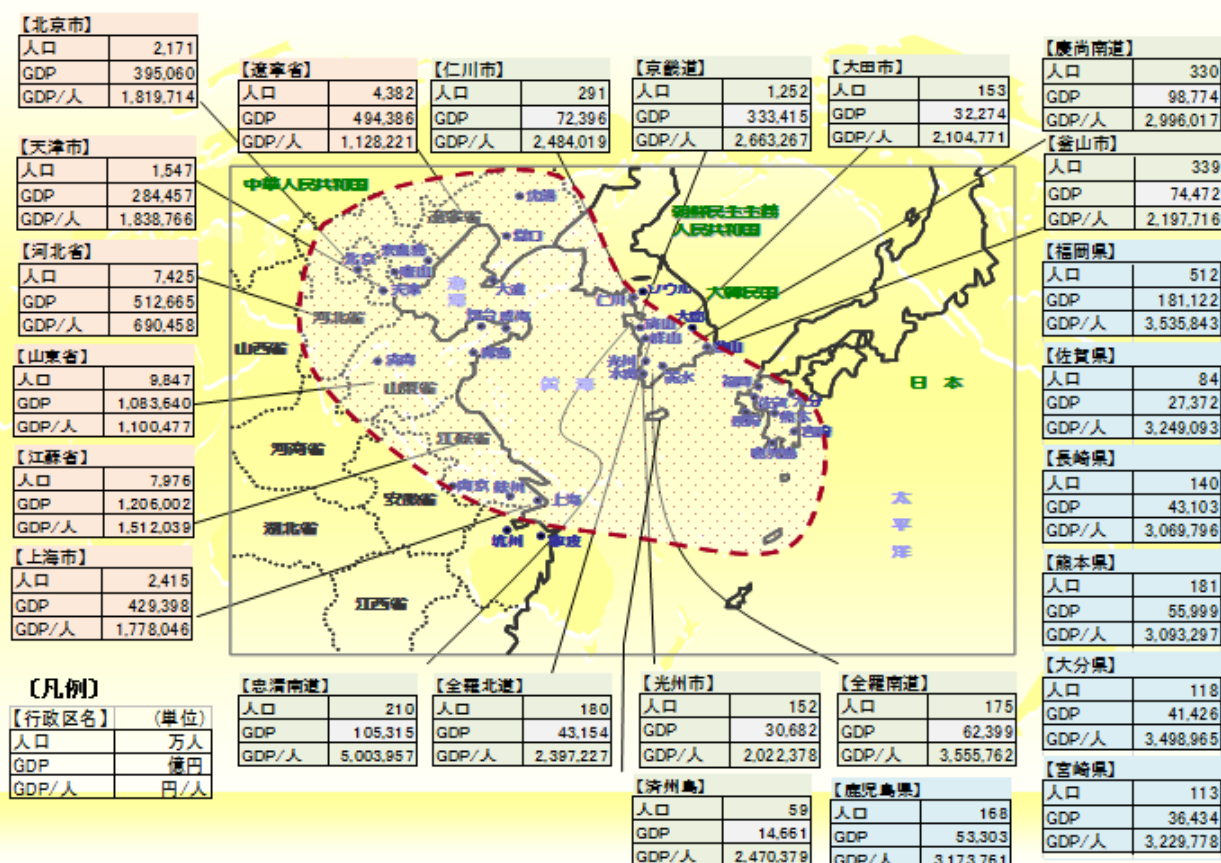
- 九州と韓国・中国の黄海に面した沿岸部で構成される環黄海経済圏は、国家間で協定を結んで形成された EU や ASEAN 等とは異なり、貿易や投資、人の移動等の実体経済の結びつきを背景とした局地経済圏である。
- 圏域は直径約 1,500km 内に収まり、その地理的近接性や長い交流の歴史などを背景として、人的交流、経済交流及び地域間交流などが活発に行われているエリアである。
- 環黄海経済圏の人口は約 4 億人で、他の地域経済圏に比べると比較的少ないものの、GDP では約 5.7 兆ドルで、ASEAN や MERCOSUR を上回る規模となっており、環黄海経済圏の動向が世界に与える影響は小さくない。

図表 2-3-1 環黄海地域の骨格

【環黄海地域図】

※環黄海地域：日本(九州：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)
中国(北京市、天津市、河北省、遼寧省、上海市、江蘇省、山東省)

韓国(釜山市、仁川市、光州市、大田市、京畿道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚南道、済州島)



	人口 (万人)	面積 (万km ²)	GDP (億円)	GDP構成 比(%)
九州	1,317	4	438,760	8.5%
中国(環黄海地域)	35,763	63	4,405,608	37.9%
韓国(環黄海地域)	3,142	5	867,542	58.4%
合計	40,222	73	5,711,910	

備考：GDP構成比は当該地域のGDPが国全体のGDPに占める割合を示す。

備考：1ウォン=0.095円、1元=17.20円(2015年時点)で換算(内閣府「海外経済データ」)

出所：【九州】(人口)総務省「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数(H28.1.1現在)」

(GDP)内閣府「県民経済計算」平成26年度県内総生産(名目)

(面積)国土交通省「平成28年全国都道府県市区町村別面積調」

【中国】(人口、GDP、面積)中国経済データハンドブック(2016年版)(データは2015年時点)

【韓国】(人口、GDP、面積)「Korea Statistical Yearbook 2016」(データは2015年時点)

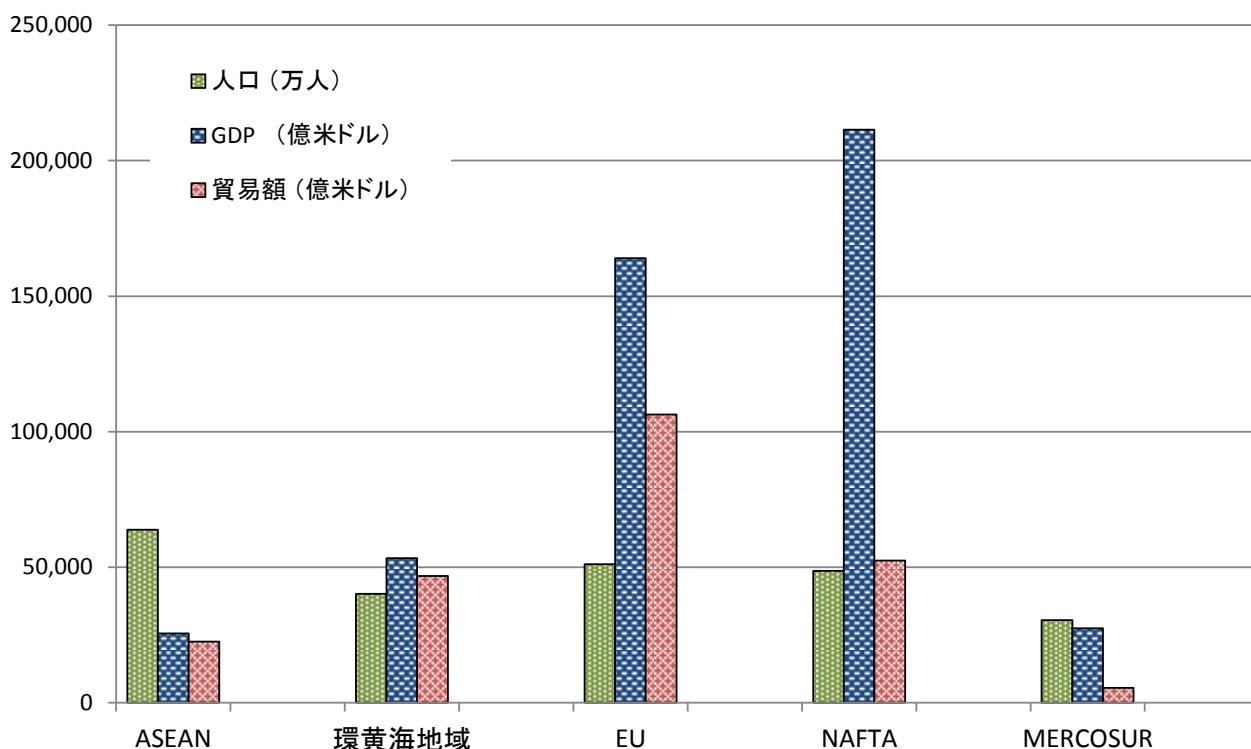
【トピックス】環黄海経済・技術交流会議について

- 九州経済産業局では、中国、韓国等の東アジア・環黄海地域の成長ダイナミズムと連動し、九州の産業・企業の国際競争力を確保することを目的として、韓国、中国の中央政府や経済団体とのパートナーシップのもと、2001年3月から九州・韓国・中国持ち回りで「環黄海経済・技術交流会議」を開催しています。
- 2017年は第16回目となる同会議が11月29日～12月1日に鹿児島県鹿児島市において開催され、『地域間交流の促進』と『イノベーションを通じた新産業・新市場の創出』をテーマに、九州・韓国・中国の参加者が環黄海地域の「貿易・投資」「技術交流」の促進のため、経済・技術交流事例の紹介及び提案を行い、ビジョンを共有し、その具体化へ向けた協議を実施しました。また、「環黄海経済・技術交流大賞」の第3回目となる表彰式を実施し、九州・韓国・中国の各二者に授与されました。
- 三国間のより一層の経済貿易関係を強化・構築していくため、この環黄海会議という地域間交流の産学官プラットフォームも活用し、引き続き、経済技術交流を推進していくことが重要であるということを確認しました。
(次回開催地は、韓国・全羅北道に決定)

★第16回環黄海経済・技術交流会議★



図表 2-3-2 世界の地域経済圏との比較（2015 年・グラフ）



図表 2-3-3 世界の地域経済圏との比較（2015 年）

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP／人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	63,862	25,547	4,000	22,555
環黄海地域	(3か国)	40,222	53,342	13,262	46,802
欧州連合 (EU)	28か国	51,150	163,980	32,059	106,292
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	48,695	211,449	43,423	52,420
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	30,413	27,430	9,019	5,430

※為替レート（2016年） 1ドル＝108.79円、1,160.43ウォン、6.64円で換算（内閣府「月刊海外経済データ」）

図表2-3-2～3備考：九州のGDPは、2014年度の値（1ドル＝105.94円で換算）。

韓国・中国のGDPは、2015年の値（1ドル＝1,131.16ウォン、6.228元）

環黄海地域の貿易額は、2016年の九州・中国・韓国の貿易額の合計。

NAFTA加盟国（アメリカ、カナダ、メキシコ）

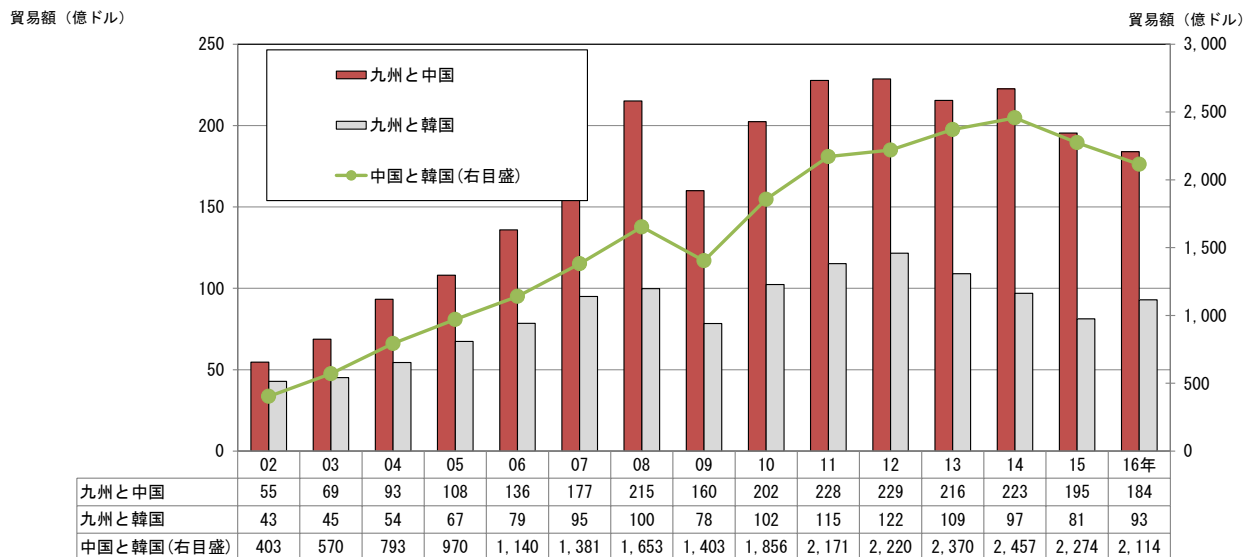
MERCOSUR加盟国（アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ）

図表2-3-2～3出所：環黄海地域以外については、外務省アジア大洋州局地域政策課「目で見えるASEAN」。

環黄海地域については、人口・GDPは図表2-1-1参照。貿易額については、財務省「貿易統計」、内閣府「月刊海外経済データ」より九州経済産業局作成。

2. 環黄海経済圏の経済動向

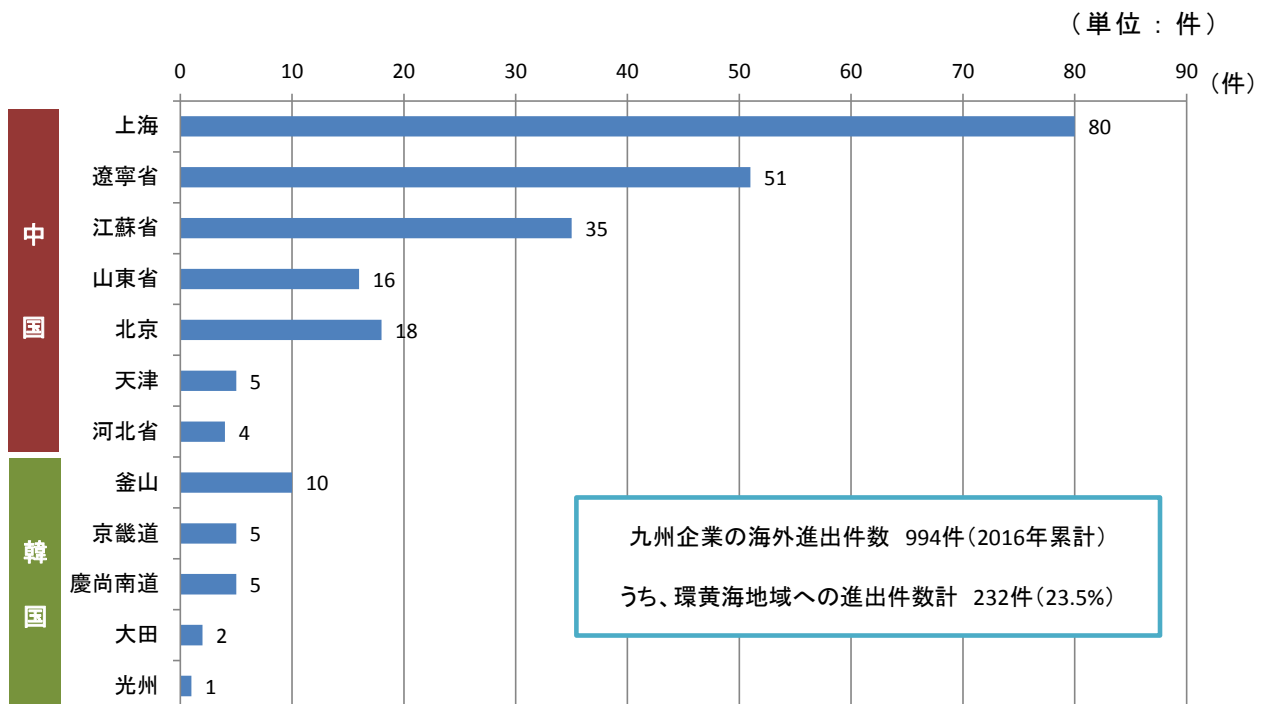
図表 2-3-4 九州・中国・韓国間の貿易額推移



備考：1ドル＝108.79円（内閣府「月刊海外経済データ」）で換算

出所：財務省「貿易統計」、「Global Trade Atlas」、「Korea Statistical Yearbook2016」より九州経済産業局作成。

図表 2-3-5 九州から環黄海地域への企業進出件数（2016年累計）

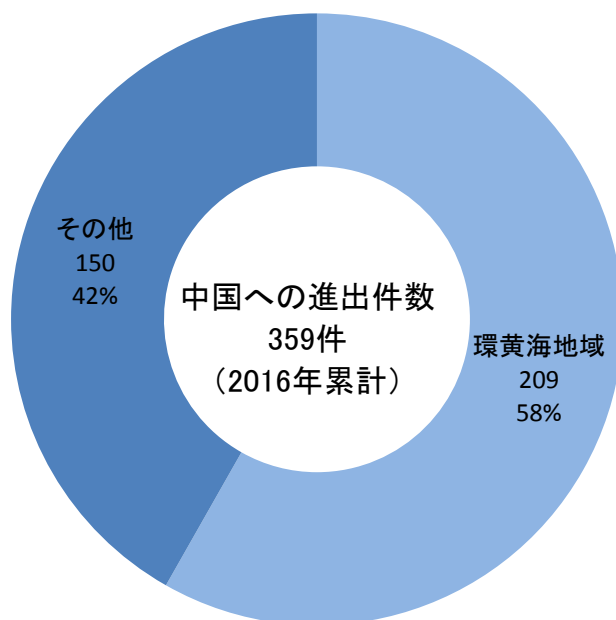


出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

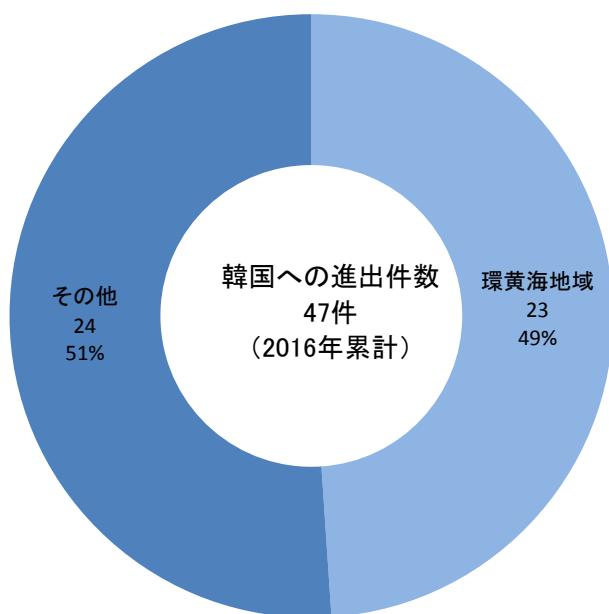
図表 2-3-6 九州から環黄海地域への企業進出件数（国ごとのシェア）

（単位：件、％）

【 中 国 】



【 韓 国 】



出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第4章 九州と台湾の経済関係

1. 台湾の経済概況

国・地域名	台湾
面積	3万6千km ² (九州よりやや小さい)
人口	約2,355万人(2017年7月現在)
主要都市	台北、台中、高雄
言語	中国語、台湾語、客家語等
宗教	仏教、道教、キリスト教
政体	三民主義(民族独立、民権伸長、民生安定)に基づく民主共和制 五権分立(行政、立法、監察、司法、考試)
主要産業	電子・電気、化学品、鉄鋼金属、機械

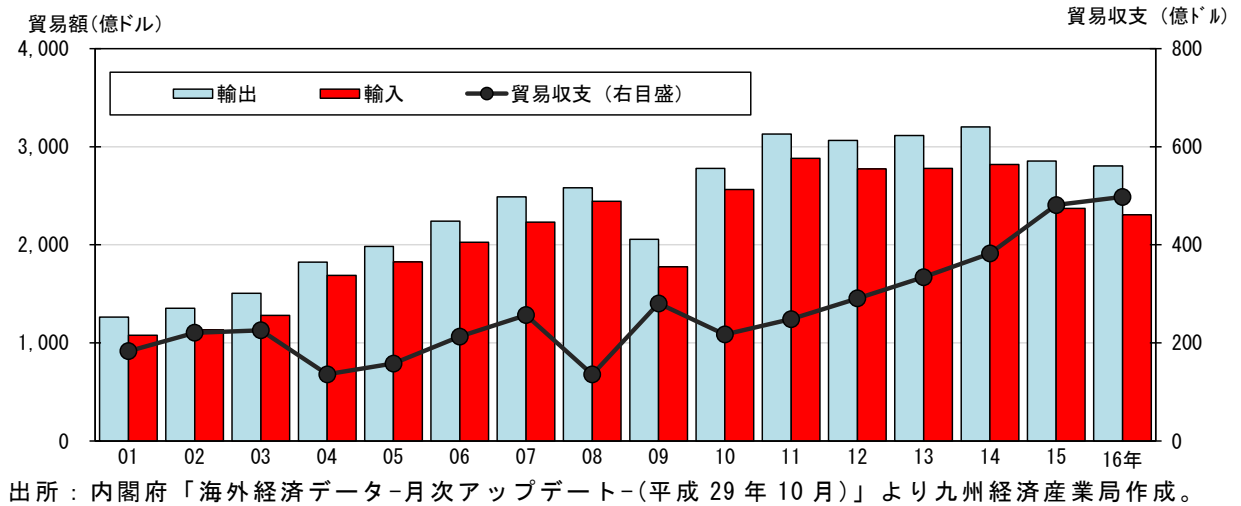
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-4-1 台湾のマクロ経済

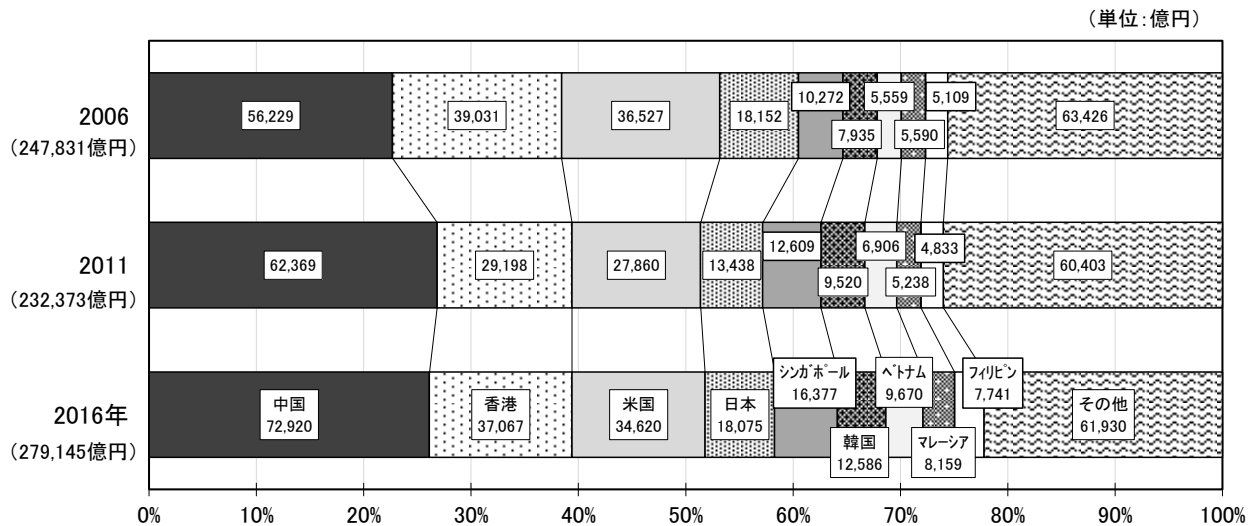
	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.1	2.2	4.0	0.7	1.5
名目GDP総額	十億ドル	496	512	531	525	530
一人当たりGDP(名目)	ドル	21,270	21,888	22,639	22,358	22,497
輸出額	億ドル	3,064	3,114	3,201	2,853	2,803
	前年比(%)	▲ 2.1	1.6	2.8	▲ 10.9	▲ 1.8
輸入額	億ドル	2,773	2,780	2,819	2,372	2,306
	前年比(%)	▲ 3.7	0.2	1.4	▲ 15.8	▲ 2.8
貿易収支	億ドル	291	334	382	481	498
対日貿易収支	億ドル	▲ 287	▲ 243	▲ 218	▲ 193	▲ 211
鉱工業生産指数	前年比(%)	▲ 0.2	0.7	6.4	▲ 1.7	1.5
失業率	(%)	4.2	4.2	4.0	3.8	3.9
消費者物価指数	前年比(%)	1.9	0.8	1.2	▲ 0.3	1.4
直接投資受入額	億ドル	32	36	28	24	83 *
為替レート(1ドル)	台湾元	29.62	29.77	30.37	31.91	32.33
為替レート(1台湾元)	円	2.69	3.28	3.49	3.36	3.36

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

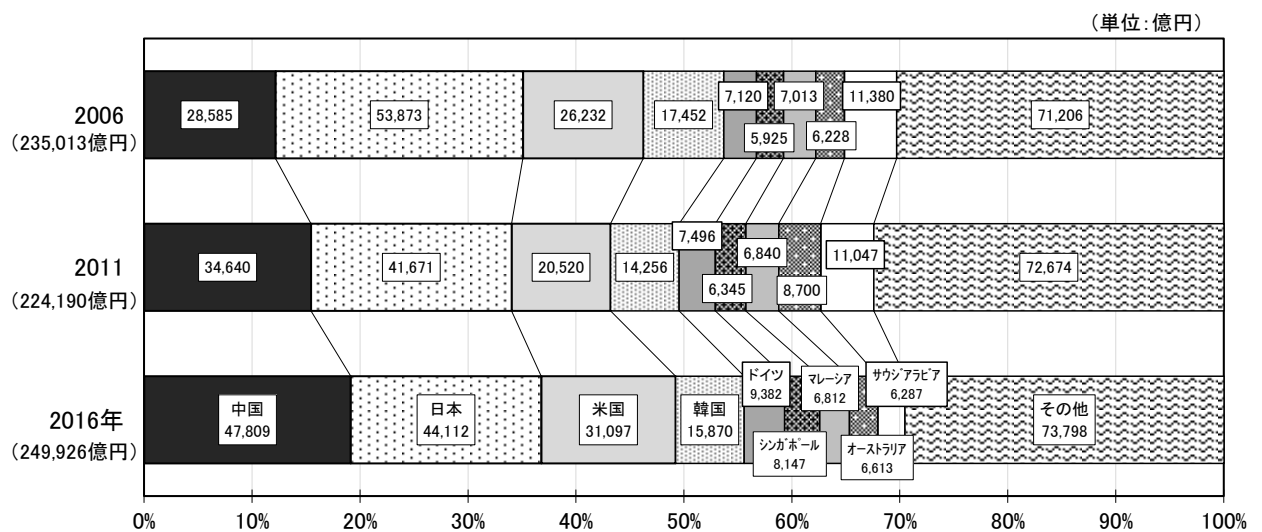
図表 2-4-2 台湾の対外貿易額の推移



図表 2-4-3 台湾の輸出相手国・地域の推移



図表 2-4-4 台湾の輸入相手国・地域の推移

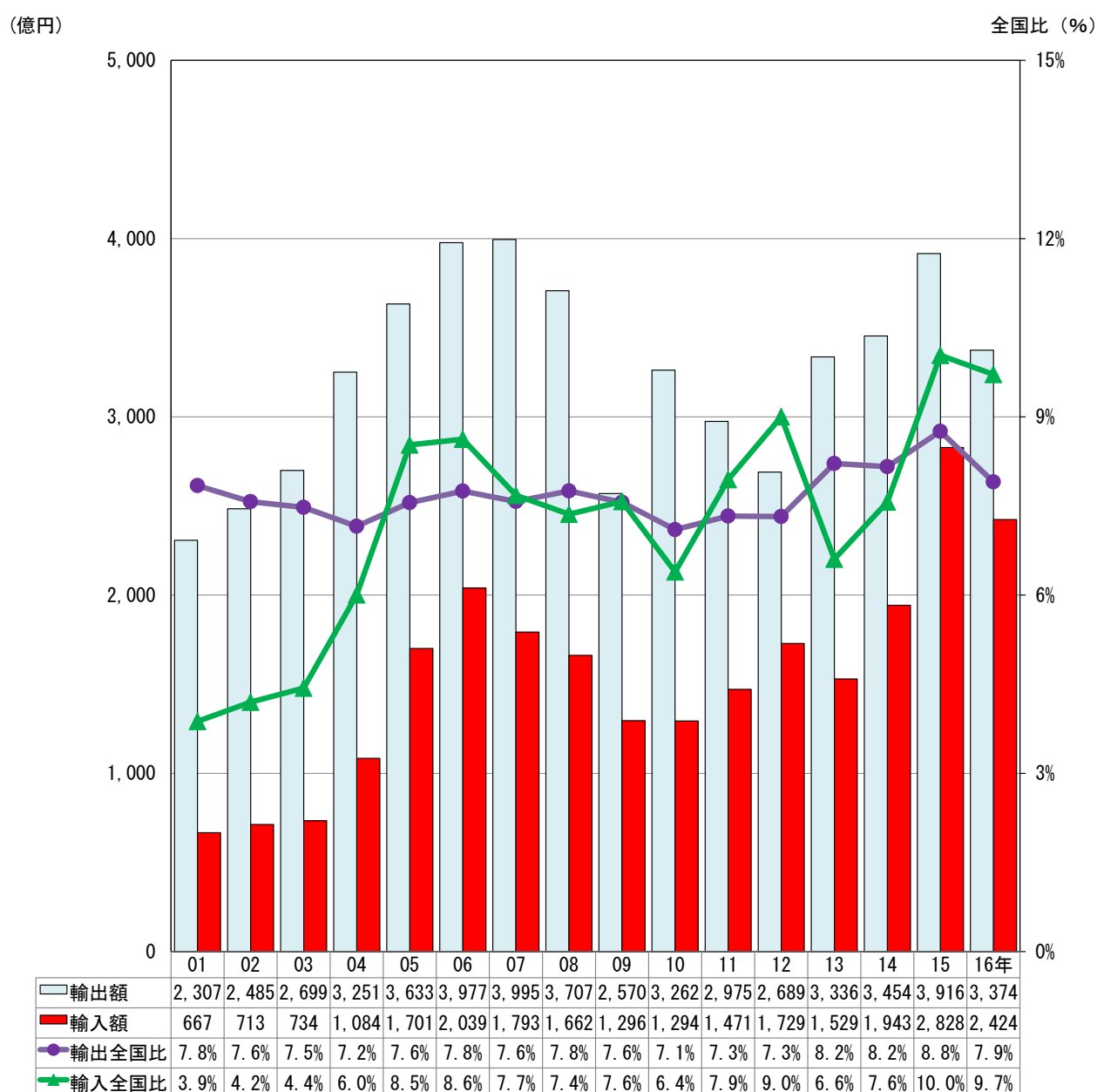


図表 2-4-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州と台湾の経済動向

- 2016年の九州の対台湾貿易額は、輸出が3,374億円（前年比13.8%減）と4年ぶりに減少した。輸入は2,424億円（前年比14.3%減）と3年ぶりに減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、半導体等電子部品、半導体等製造装置等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、有機化合物（寄与度：+1.3%）、自動車（同+1.2%）となっている。一方、減少では、半導体等電子部品（同▲4.6%）、半導体等製造装置（同▲1.8%）、鉄鋼のフラットロール製品（同▲1.3%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、半導体等電子部品、科学光学機器、非鉄卑金属くず等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、音響・映像機器（含部品）（寄与度：▲4.0%）、科学光学機器（同▲1.8%）となっている。

図表 2-4-5 九州の対台湾貿易額の推移

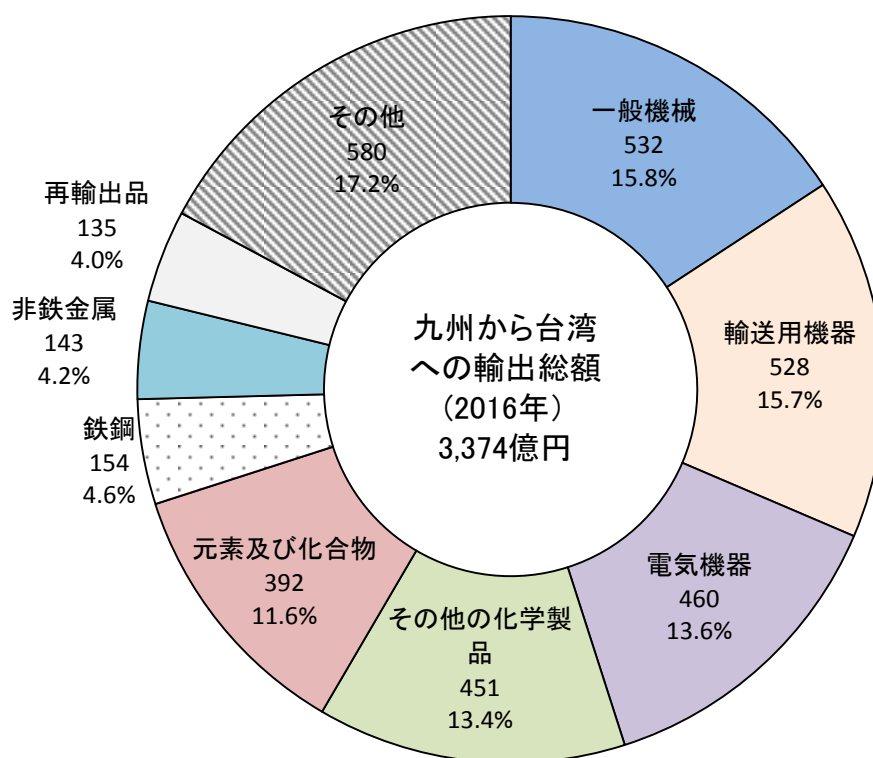


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-4-6 九州から台湾への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	492	14.6%
半導体等電子部品	電気機器	396	11.7%
半導体等製造装置	一般機械	328	9.7%
有機化合物	元素及び化合物	292	8.7%
銅及び同合金	非鉄金属	121	3.6%
科学光学機器	精密機器類	115	3.4%
無機化合物	元素及び化合物	91	2.7%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	79	2.3%
原動機	一般機械	40	1.2%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	34	1.0%
その他		1,387	41.1%
総 額		3,374	100.0%

寄与度（増加分）：有機化合物（+1.3%）、自動車（+1.2%）等

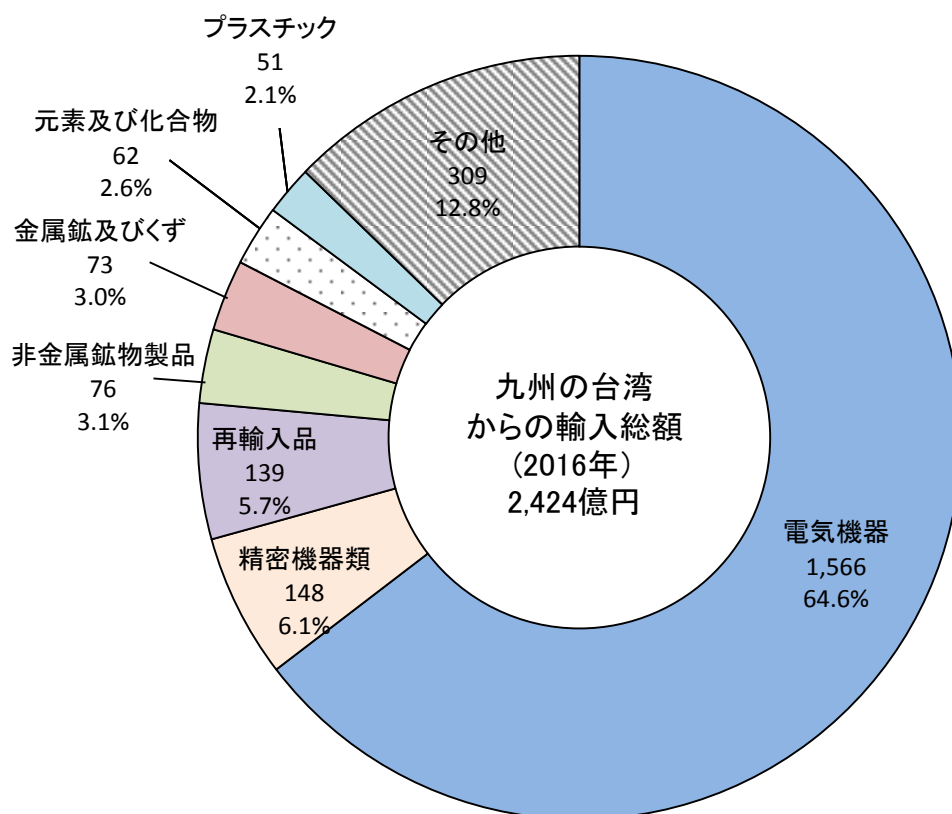
寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲4.6%）、半導体等製造装置（▲1.8%）
鉄鋼のフラットロール製品（▲1.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-4-7 九州の台湾からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

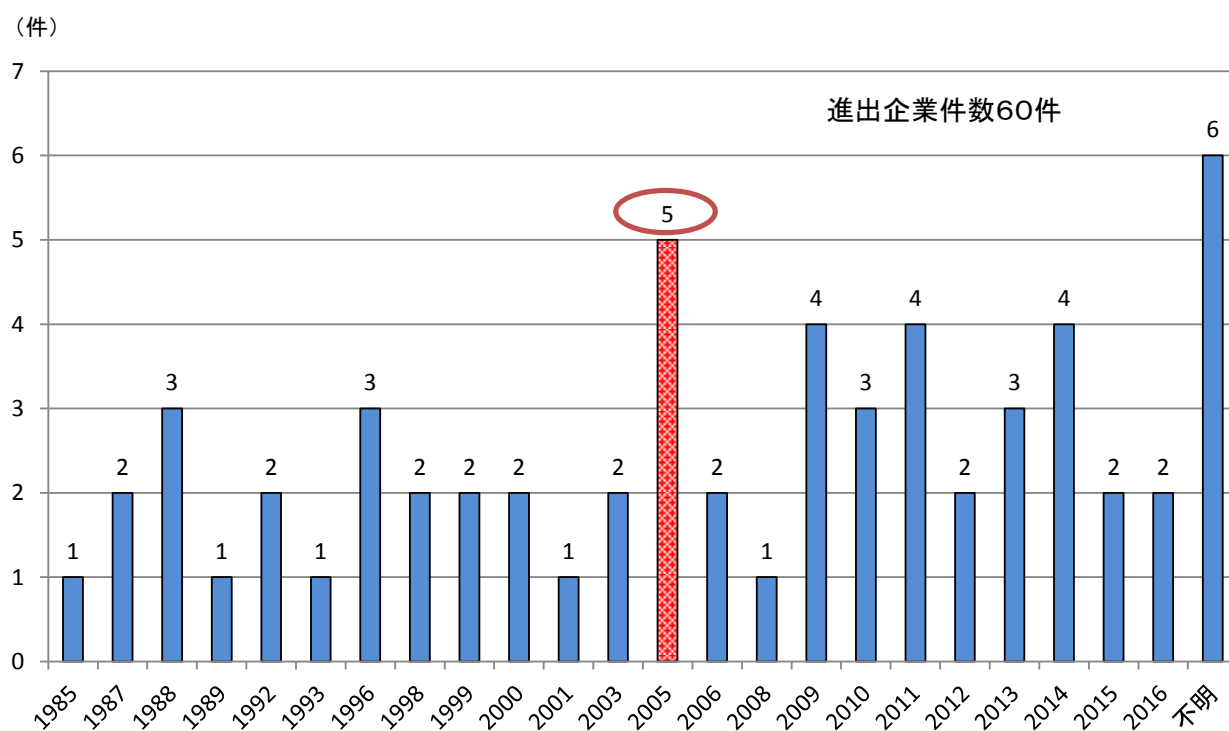


輸入品目(小分類)	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,499	61.8%
科学光学機器	精密機器類	147	6.1%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	56	2.3%
プラスチック	プラスチック	51	2.1%
有機化合物	元素及び化合物	48	2.0%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	21	0.9%
プラスチック製品	その他の雑製品	17	0.7%
重電機器	電気機器	15	0.6%
無機化合物	元素及び化合物	14	0.6%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	13	0.5%
その他		543	22.4%
総 額		2,424	100%

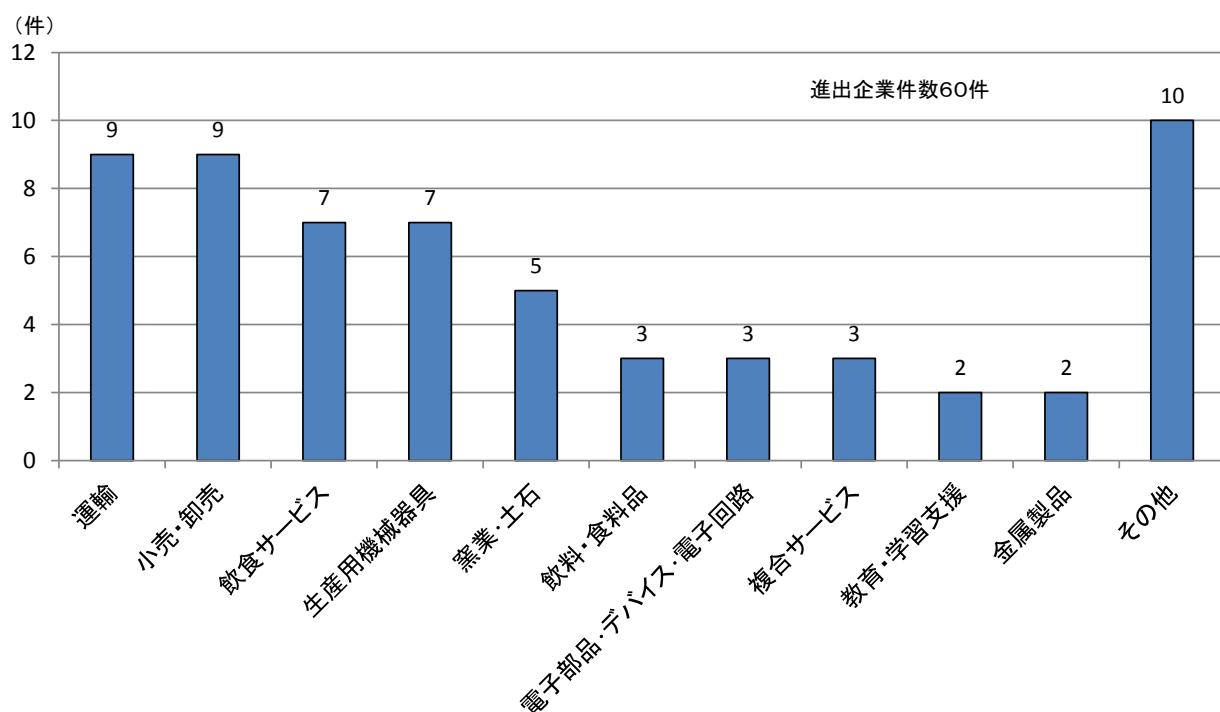
寄与度(減少分)：音響・映像機器(含部品)(▲4.0%)、科学光学機器(▲1.8%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-4-8 九州企業の台湾への進出件数の推移



図表 2-4-9 台湾に進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-4-8～9 出所：(公財)九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第5章 九州と香港の経済関係

1. 香港の経済概況

国・地域名	香港
面積	1,103km ² (東京都の約半分)
人口	約729万人(2015年7月)
人種	漢民族(約95%)
言語	広東語、英語、中国語(北京語)ほか
宗教	仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、ユダヤ教
政体	中華人民共和国香港特別行政区
主要産業	金融業、不動産業、観光業、貿易業

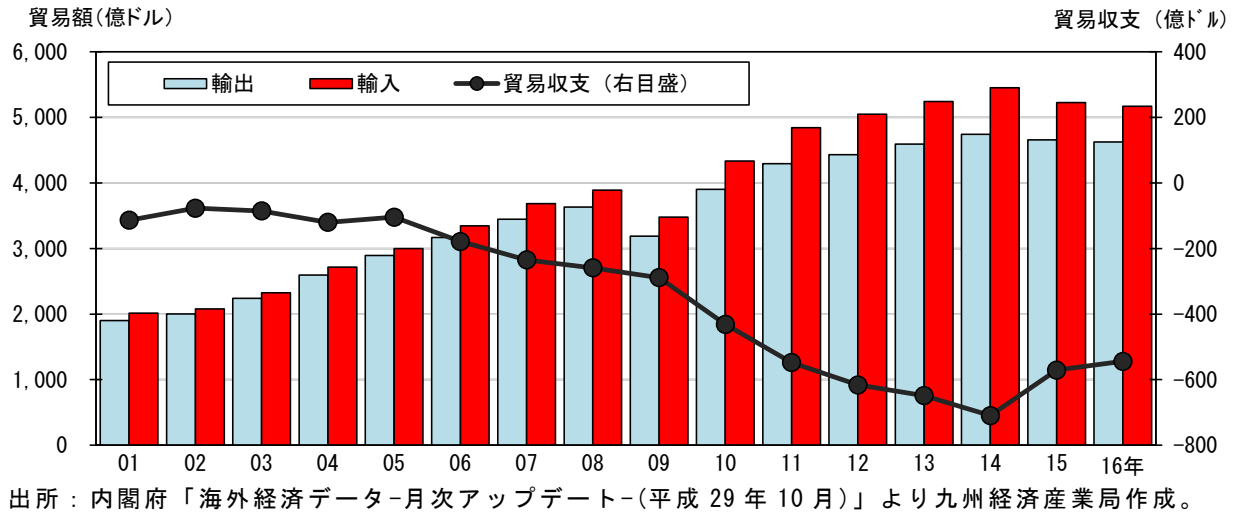
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-5-1 香港のマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	1.7	3.1	2.8	2.4	2.0
名目GDP総額	十億ドル	263	276	291	309	321
一人当たりGDP(名目)	ドル	36,624	38,233	40,186	42,328	43,561
輸出額	億ドル	4,432	4,593	4,740	4,655	4,626
	前年比(%)	3.2	3.6	3.2	▲ 1.8	▲ 0.6
輸入額	億ドル	5,047	5,241	5,449	5,226	5,170
	前年比(%)	4.3	3.8	4.0	▲ 4.1	▲ 1.1
貿易収支	億ドル	▲ 616	▲ 648	▲ 709	▲ 571	▲ 544
対日貿易収支	億ドル	▲ 217	▲ 195	▲ 203	▲ 202	▲ 185
製造業生産指数	前年比(%)	0.0	0.8	▲ 0.4	▲ 1.5	▲ 0.4
失業率	(%)	3.3	3.4	3.3	3.3	3.4
消費者物価指数	前年比(%)	4.1	4.3	4.4	3.0	2.4
直接投資受入額	億ドル	702	743	1,130	1,744	1,081
為替レート(1ドル)	香港ドル	7.76	7.76	7.75	7.75	7.76
為替レート(1香港ドル)	円	10.29	12.58	13.66	13.82	13.98

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*1はジェットロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)、*2はUNCTADstatより九州経済産業局作成。

図表 2-5-2 香港の対外貿易額の推移



図表 2-5-3 香港の輸出相手国・地域の推移

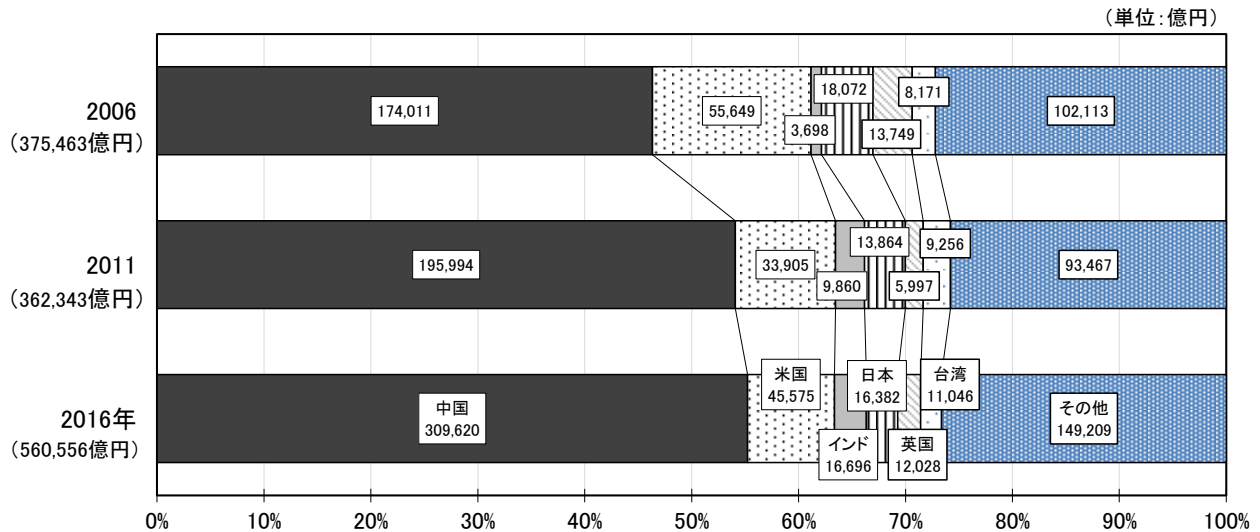
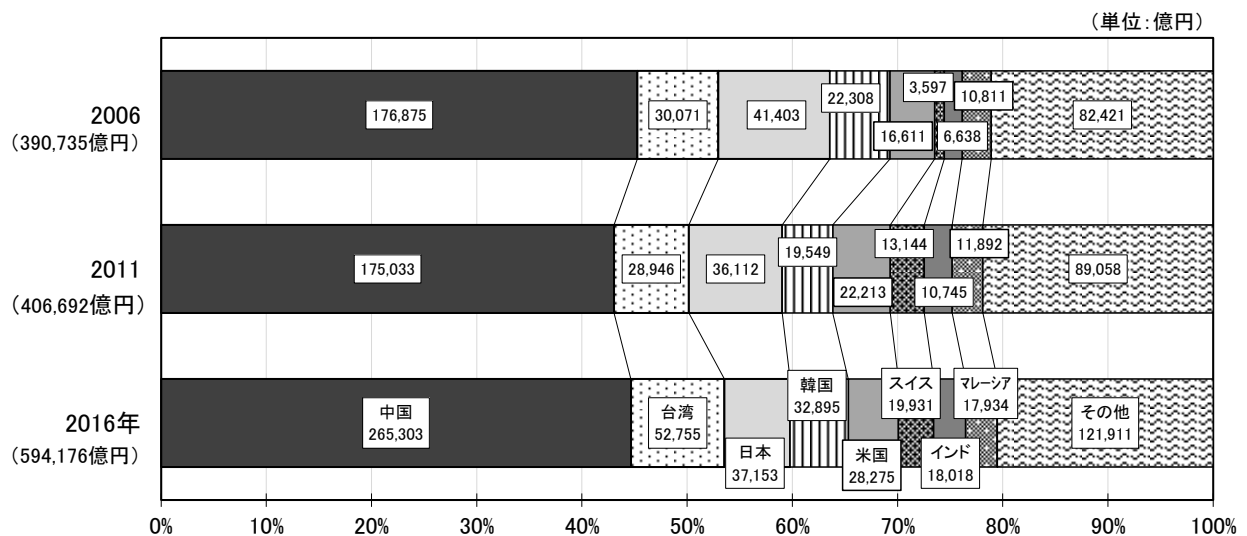


表 2-5-4 香港の輸入相手国・地域の推移

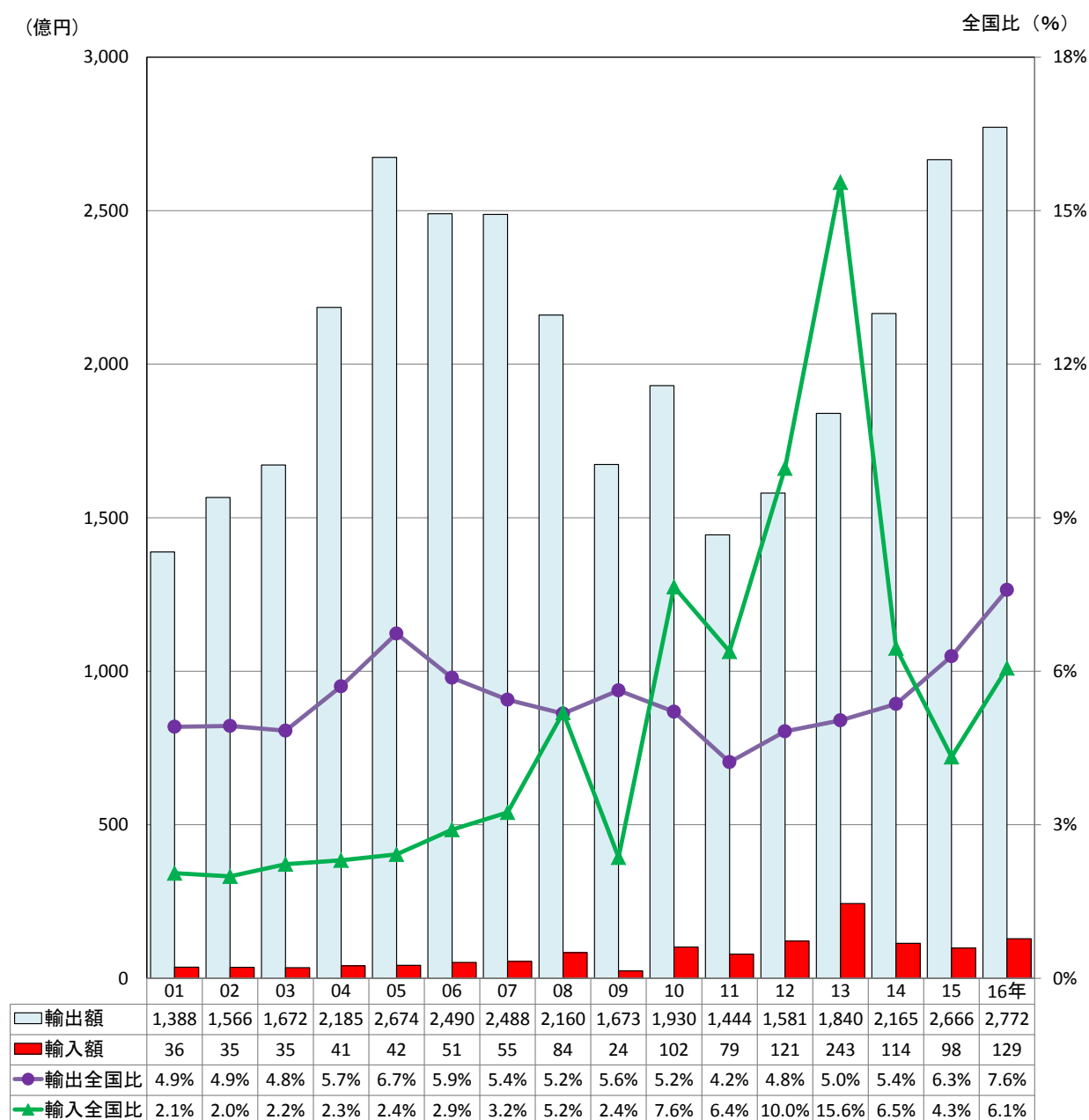


図表 2-5-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州と香港の経済動向

- 2016年の九州の対香港貿易額は、輸出が2,772億円（前年比4.0%増）と5年連続で増加した。輸入は129億円（前年比31.6%増）と3年ぶりに増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、船舶類、映像機器等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品（寄与度：+8.5%）、船舶類（同+1.2%）、電気回路等の機器（同+1.0%）となっている。一方、減少では、石油製品（灯油（含ジェット燃料油））（同▲1.9%）、映像機器（同▲1.9%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、魚介類（生鮮・冷凍）（うなぎの稚魚）、非鉄卑金属くず、ポンプ及び遠心分離器等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、魚介類（生鮮・冷凍）（うなぎの稚魚）（寄与度：+39.0%）、非鉄卑金属くず（同+7.2%）となっている。

図表 2-5-5 九州の対香港貿易額の推移

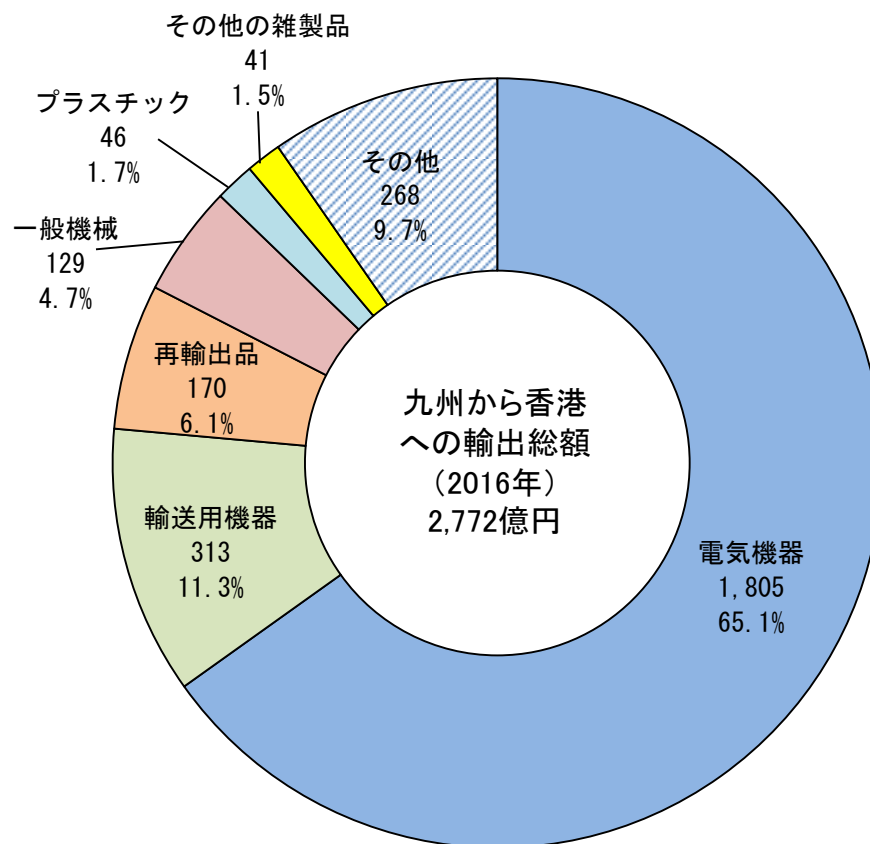


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-5-6 九州から香港への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,627	58.7%
船舶類	輸送用機器	282	10.2%
映像機器	電気機器	66	2.4%
建設用・鉱山用機械	一般機械	53	1.9%
電気回路等の機器	電気機器	42	1.5%
自動車	輸送用機器	30	1.1%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	25	0.9%
電気計測機器	電気機器	22	0.8%
半導体等製造装置	一般機械	21	0.8%
化粧品	精油・香料及び化粧品類	20	0.7%
その他		583	21.0%
総 額		2,772	100.0%

寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+8.5%）、船舶類（+1.2%）、電気回路等の機器（+1.0%）等

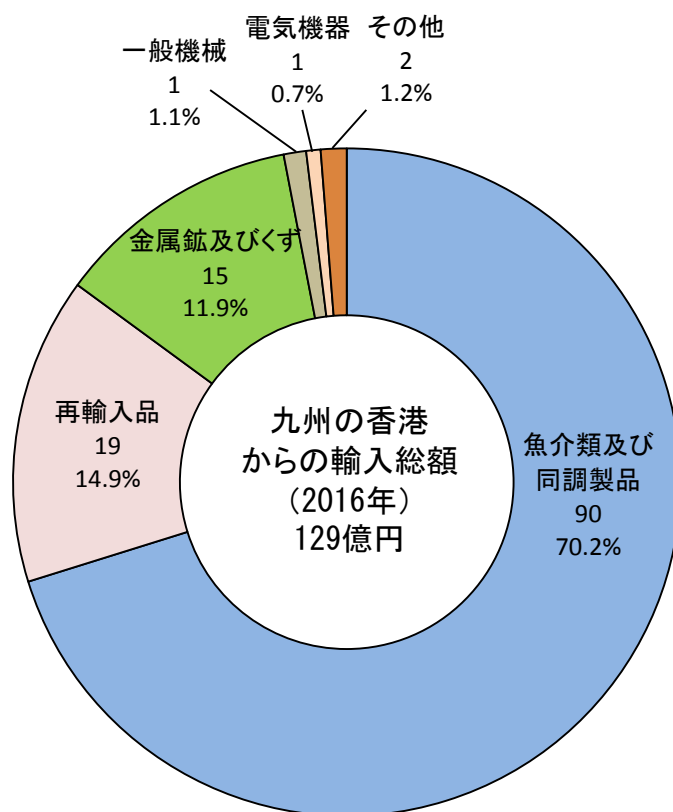
寄与度（減少分）：石油製品（灯油（含ジェット燃料油））（▲1.9%）、映像機器（▲1.9%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-7 九州の香港からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

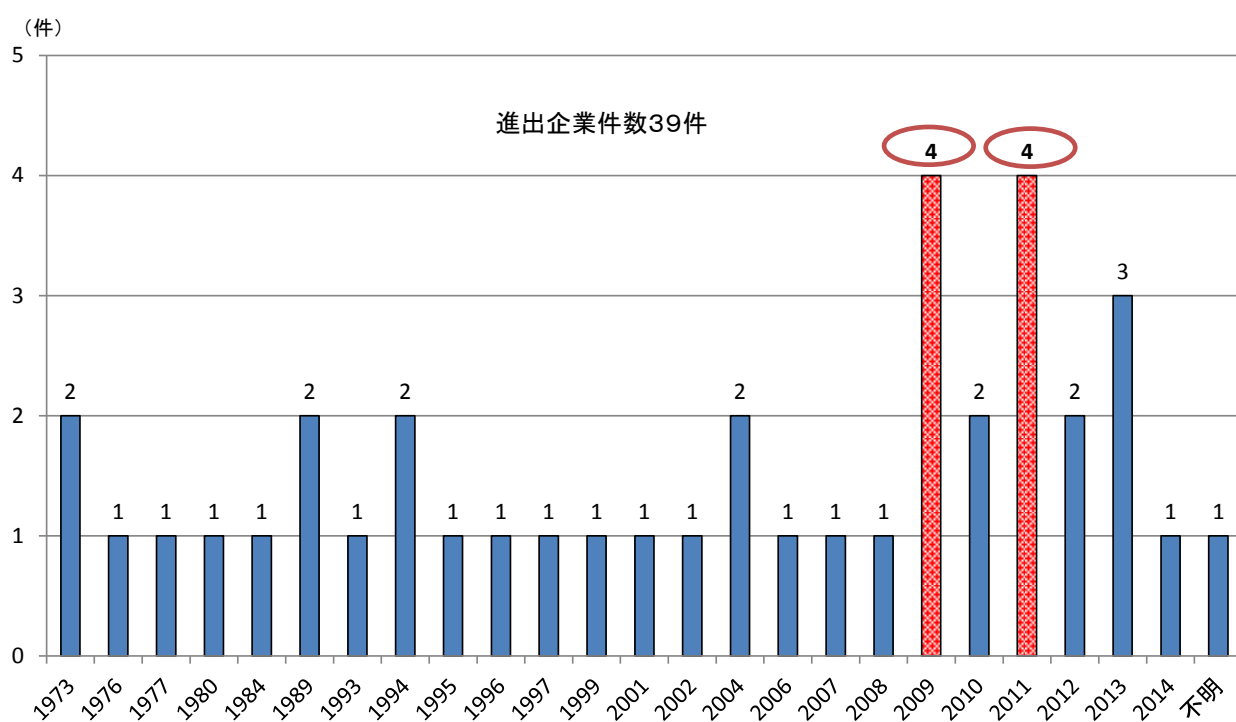


主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
魚介類(生鮮・冷凍)(うなぎの稚魚)	魚介類及び同調製品	90	70.2%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	7	5.8%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	1	0.8%
事務用機器	一般機械	0.3	0.2%
電気計測機器	電気機器	0.3	0.2%
時計及び部分品	精密機器類	0.2	0.2%
がん具及び遊戯用具	その他の雑製品	0.2	0.2%
プラスチック製品	その他の雑製品	0.2	0.1%
電気回路等の機器	電気機器	0.1	0.1%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	0.1	0.1%
その他		28	22.1%
総 額		129	100.0%

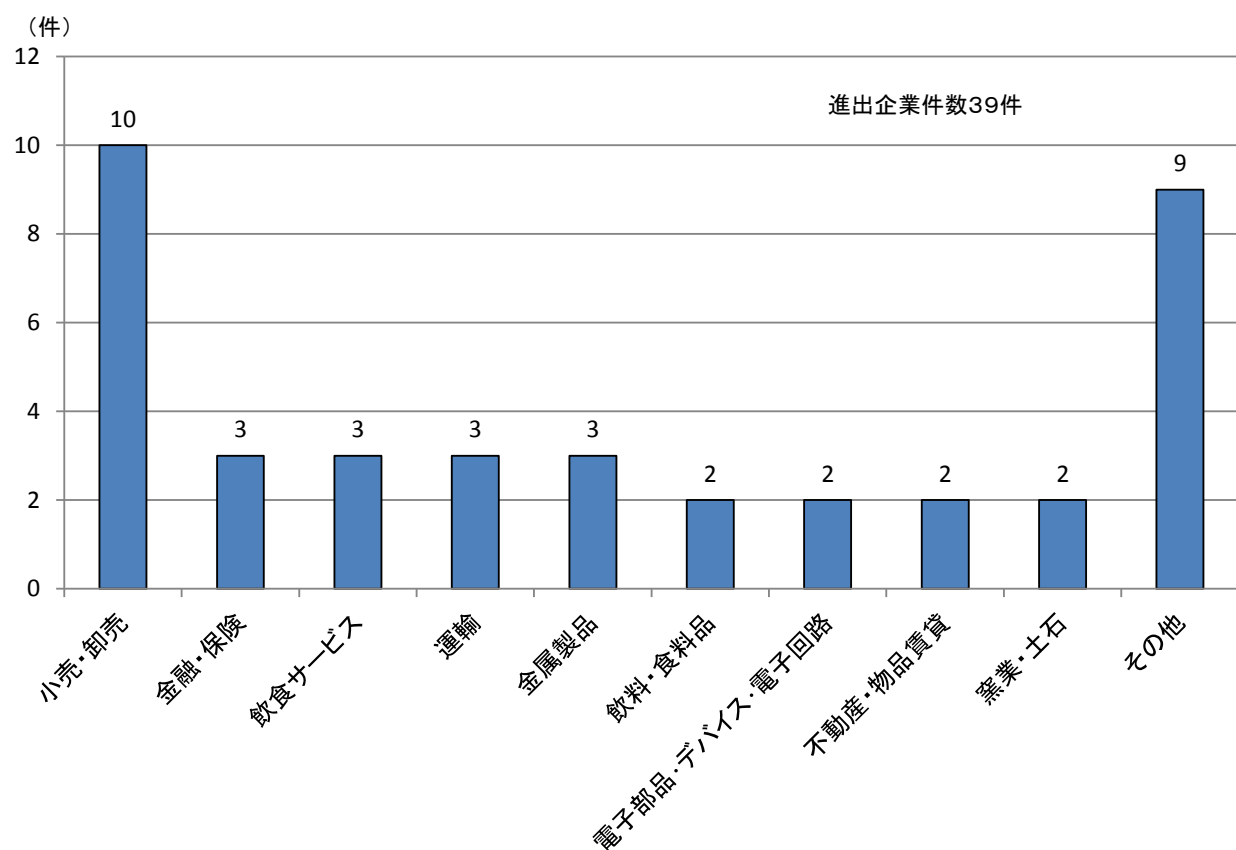
寄与度(増加分)：魚介類(生鮮・冷凍)(うなぎの稚魚)(+39.0%)、非鉄卑金属くず(+7.2%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-5-8 九州企業の香港への進出件数の推移



図表 2-5-9 香港に進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-5-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第6章 九州とASEANの経済関係

1. ASEANの経済概況

名 称	東南アジア諸国連合 (Association of South East Asian Nations)
設 立	1967年8月8日(於:バンコク)
事 務 局	ジャカルタ 事務局長:レ・ルオン・ミン(2013年~)
加 盟 国	10ヶ国(インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ブルネイ、ベトナム、ラオス、ミャンマー、カンボジア)

出所: 日本 ASEAN センター「ASEAN 情報マップ」

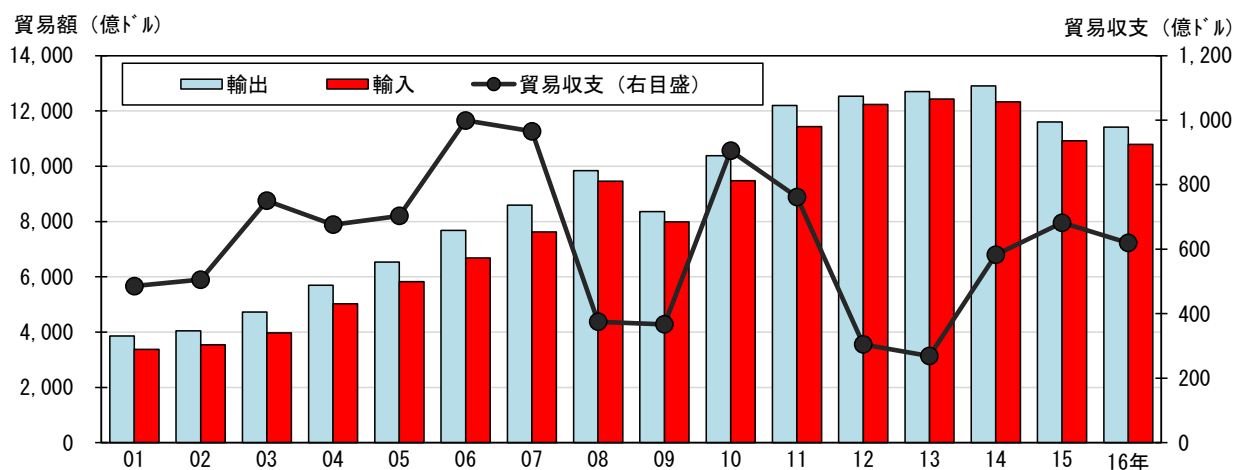
図表 2-6-1 世界の地域経済圏との比較 (2016 年)

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	64,051	25,554	3,990	22,375
欧州連合 (EU)	28か国	51,039	162,676	31,873	106,289
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	48,978	212,158	43,317	52,843
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,324	35,032	11,946	5,129

出所: UNCTADstat より九州経済産業局作成。

備考: NAFTA 加盟国 (アメリカ、カナダ、メキシコ)、MERCOSUR 加盟国 (アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ)

図表 2-6-2 ASEANの対外貿易額の推移

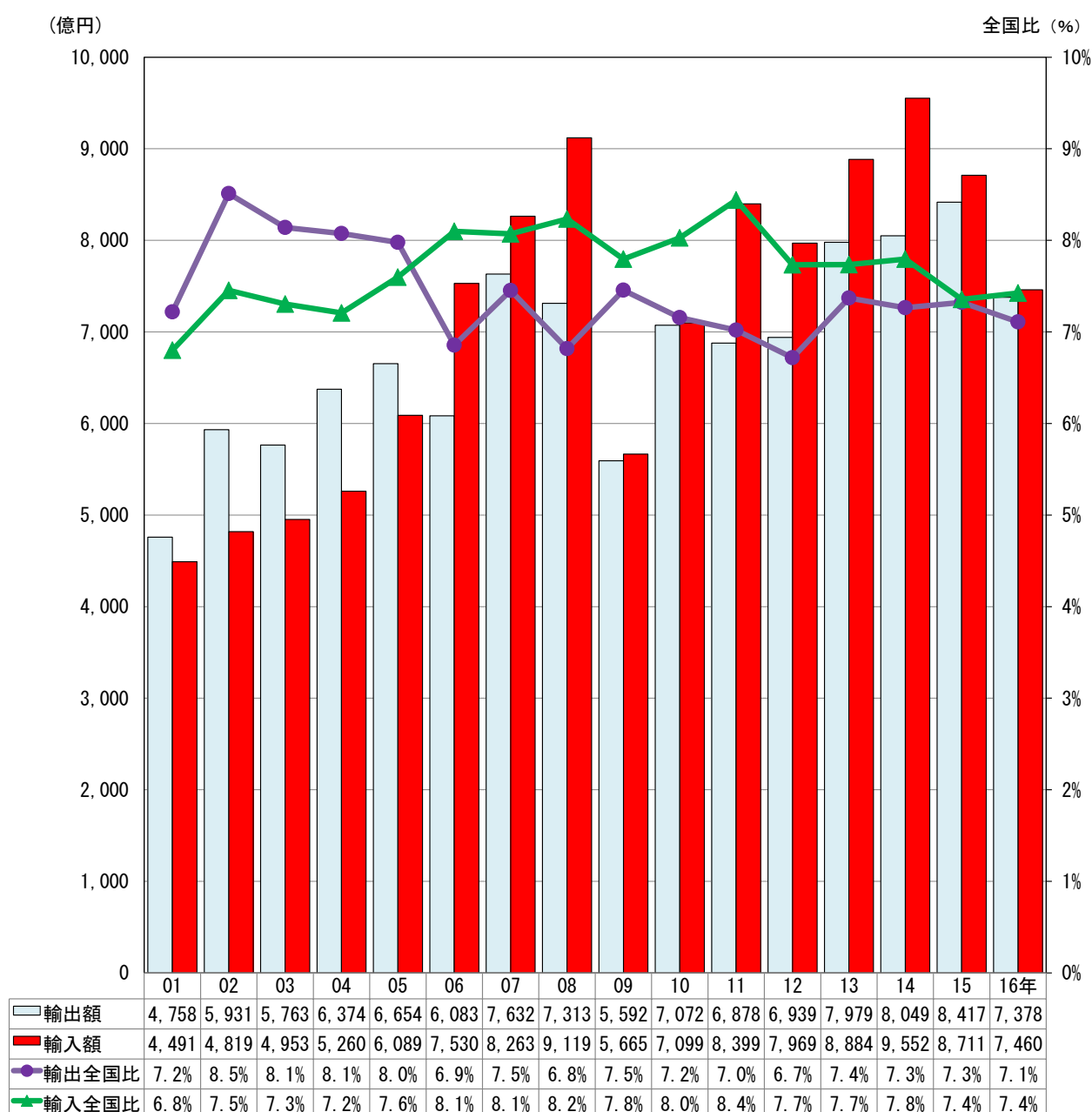


出所: ジェトロ「ASEAN10ヶ国貿易統計」、UNCTADstat より九州経済産業局作成。

2. 九州と ASEAN の経済動向

- 2016 年の九州の対 ASEAN 貿易額は、輸出が 7,378 億円（前年比 12.3%減）と 5 年ぶりに減少した。輸入は 7,460 億円（前年比 14.4%減）と 2 年連続で減少した。
- 輸出は、シンガポール向けが 1,800 億円（前年比 22.7%減）、タイ向けが 1,637 億円（同 5.4%減）となるなど、2 ケ国（カンボジア、ラオス）向けを除き減少した。輸入は、インドネシアからは 2,588 億円（同 9.2%減）、タイからは 1,522 億円（同 11.6%減）となるなど、1 ケ国（ミャンマー）からを除き減少した。
- 輸出品目では、輸出額が大きい順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、金（マテリアル・ゴールドを除く。）等となっている。輸入品目は、輸入額が大きい順に、石油ガス類（液化天然ガス）絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱（銅鉱等）等となっている。

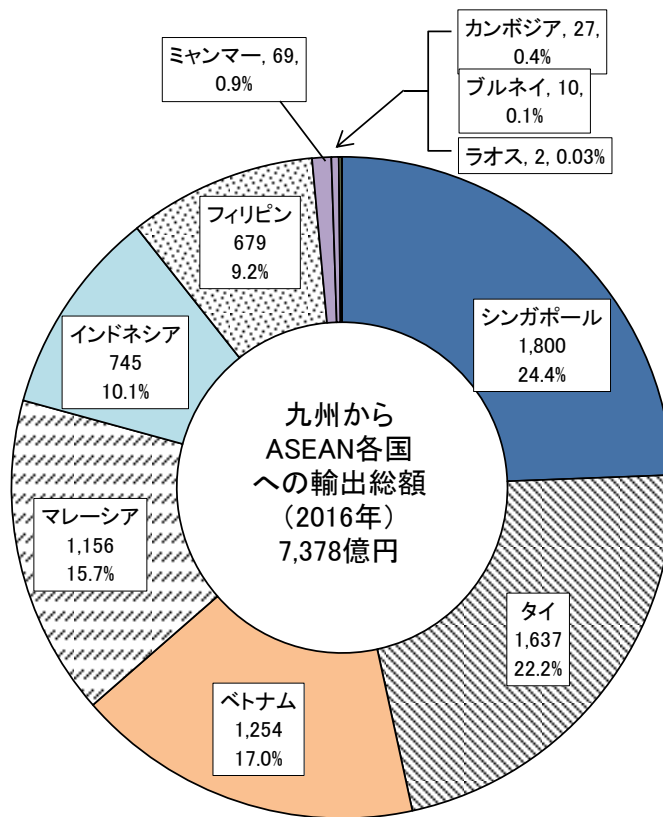
図表 2-6-3 九州の対 ASEAN 貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより、九州経済産業局作成。

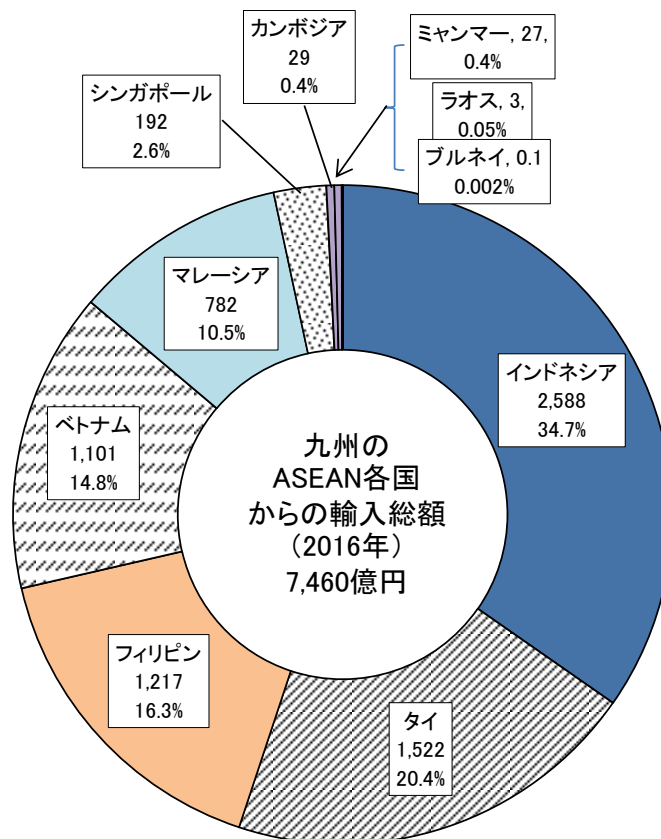
図表 2-6-4 九州から ASEAN への国別輸出額

(単位：億円、%)



図表 2-6-5 九州の ASEAN からの国別輸入額

(単位：億円、%)



図表 2-6-4～5 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-6 全国の ASEAN 域内における国別輸出入動向（2016 年）

（単位：億円、％）

国名	輸出				輸入			
	金額	構成比	伸び率	寄与度	金額	構成比	伸び率	寄与度
ベトナム	14,106	13.6%	-7.0%	-0.9%	17,661	17.6%	-3.6%	-0.6%
タイ	29,744	28.7%	-12.2%	-3.6%	21,897	21.8%	-11.4%	-2.4%
シンガポール	21,546	20.8%	-10.3%	-2.2%	8,110	8.1%	-15.2%	-1.2%
マレーシア	13,183	12.7%	-9.2%	-1.2%	18,781	18.7%	-27.8%	-6.1%
ブルネイ	91	0.1%	-37.7%	-0.05%	1,849	1.8%	-34.8%	-0.8%
フィリピン	11,230	10.8%	-2.2%	-0.2%	9,829	9.8%	-8.5%	-0.8%
インドネシア	12,301	11.9%	-11.9%	-1.4%	19,889	19.8%	-16.8%	-3.4%
カンボジア	333	0.3%	-8.9%	-0.03%	1,310	1.3%	11.8%	0.1%
ラオス	126	0.1%	-0.3%	-0.0003%	125	0.1%	6.4%	0.006%
ミャンマー	1,125	1.1%	-12.8%	-0.1%	1,017	1.0%	-2.7%	-0.02%
ASEAN 計	103,785	100.0%	-9.7%	-9.7%	100,467	100.0%	-15.2%	-15.2%

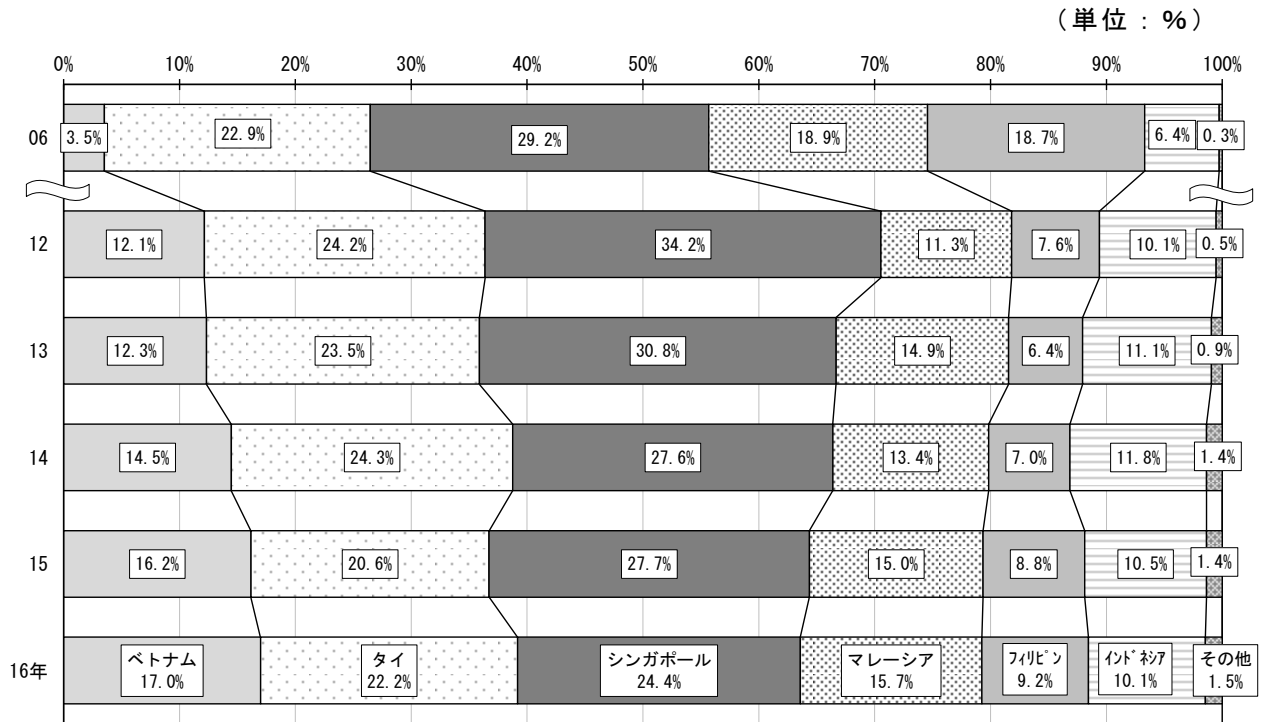
図表 2-6-7 九州の ASEAN 域内における国別輸出入動向（2016 年）

（単位：億円、％）

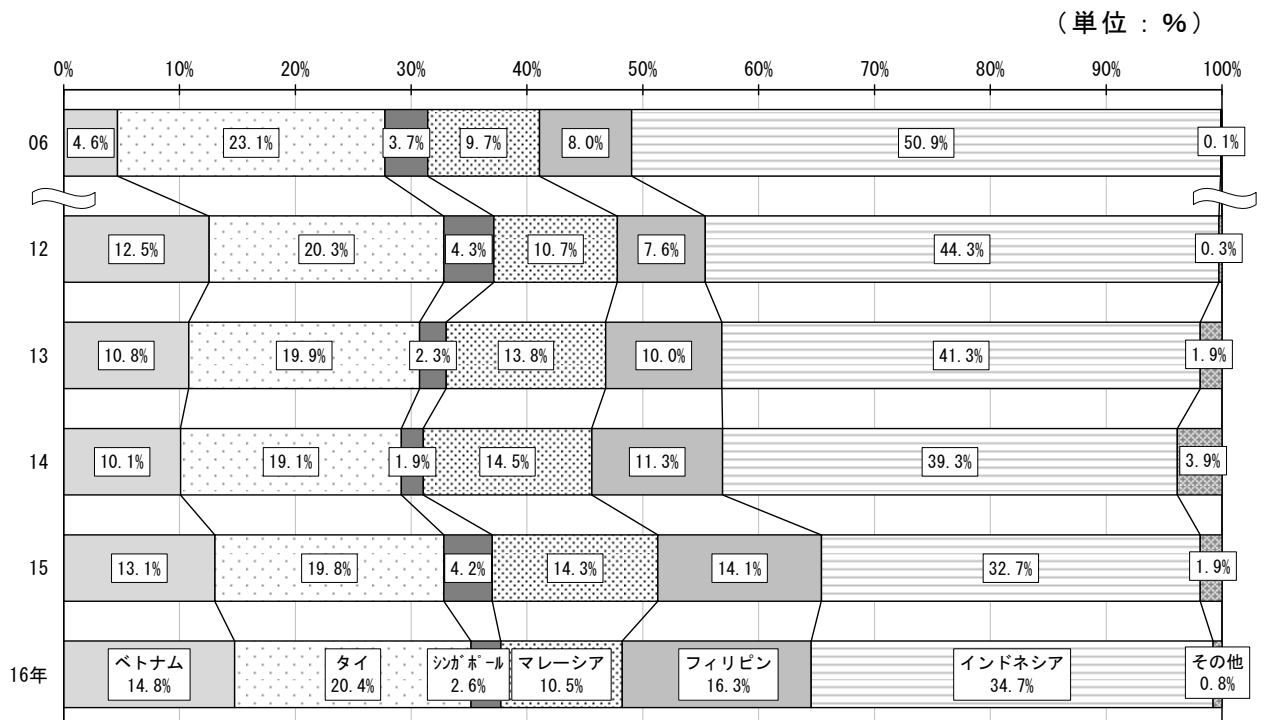
国名	輸出					輸入				
	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比	金額	構成比	伸び率	寄与度	全国比
ベトナム	1,254	17.0%	-7.9%	-1.3%	8.9%	1,101	14.8%	-3.2%	-0.4%	6.2%
タイ	1,637	22.2%	-5.4%	-1.10%	5.5%	1,522	20.4%	-11.6%	-2.3%	7.0%
シンガポール	1,800	24.4%	-22.7%	-6.3%	8.4%	192	2.6%	-47.3%	-2.0%	2.4%
マレーシア	1,156	15.7%	-8.3%	-1.24%	8.8%	782	10.5%	-37.2%	-5.3%	4.2%
ブルネイ	10	0.1%	-18.8%	-0.03%	10.8%	0.1	0.002%	-99.9%	-1.1%	0.01%
フィリピン	679	9.2%	-8.1%	-0.71%	6.0%	1,217	16.3%	-1.0%	-0.1%	12.4%
インドネシア	745	10.1%	-15.8%	-1.7%	6.1%	2,588	34.7%	-9.2%	-3.0%	13.0%
カンボジア	27	0.4%	40.1%	0.09%	8.0%	29	0.4%	-24.7%	-0.11%	2.2%
ラオス	2	0.03%	70.7%	0.01%	1.6%	3	0.05%	-9.6%	-0.004%	2.7%
ミャンマー	69	0.9%	-16.0%	-0.16%	6.1%	27	0.4%	2.9%	0.01%	2.6%
ASEAN 計	7,378	100.0%	-12.3%	-12.3%	7.1%	7,460	100.0%	-14.4%	-14.4%	7.4%

図表 2-6-6～7 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-8 ASEAN 域内における九州の輸出相手国の推移



図表 2-6-9 ASEAN 域内における九州の輸入相手国の推移

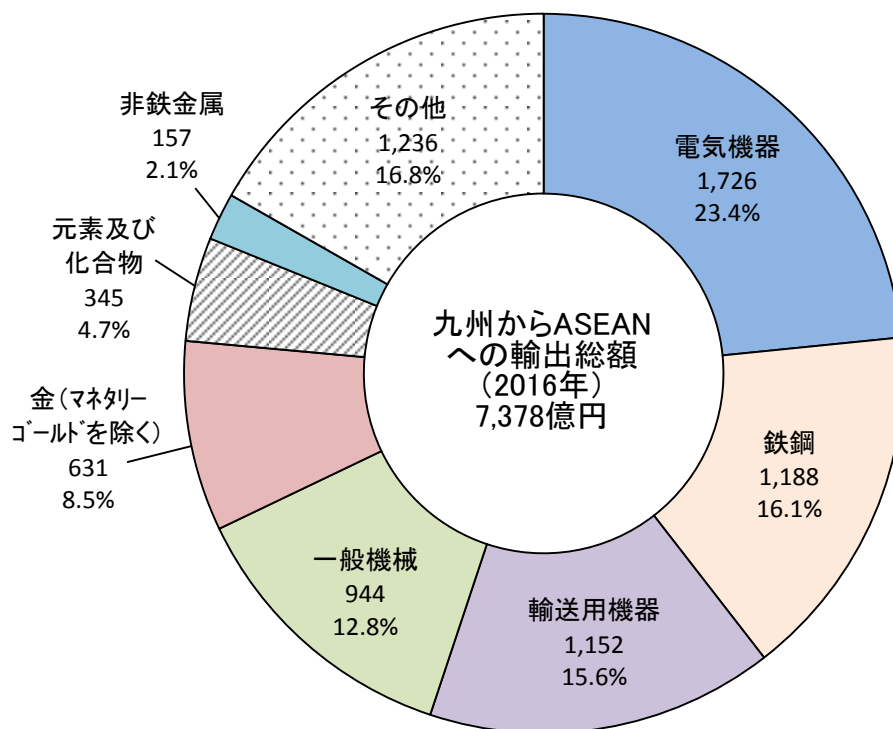


図表 2-6-8～9 出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-10 九州から ASEAN への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



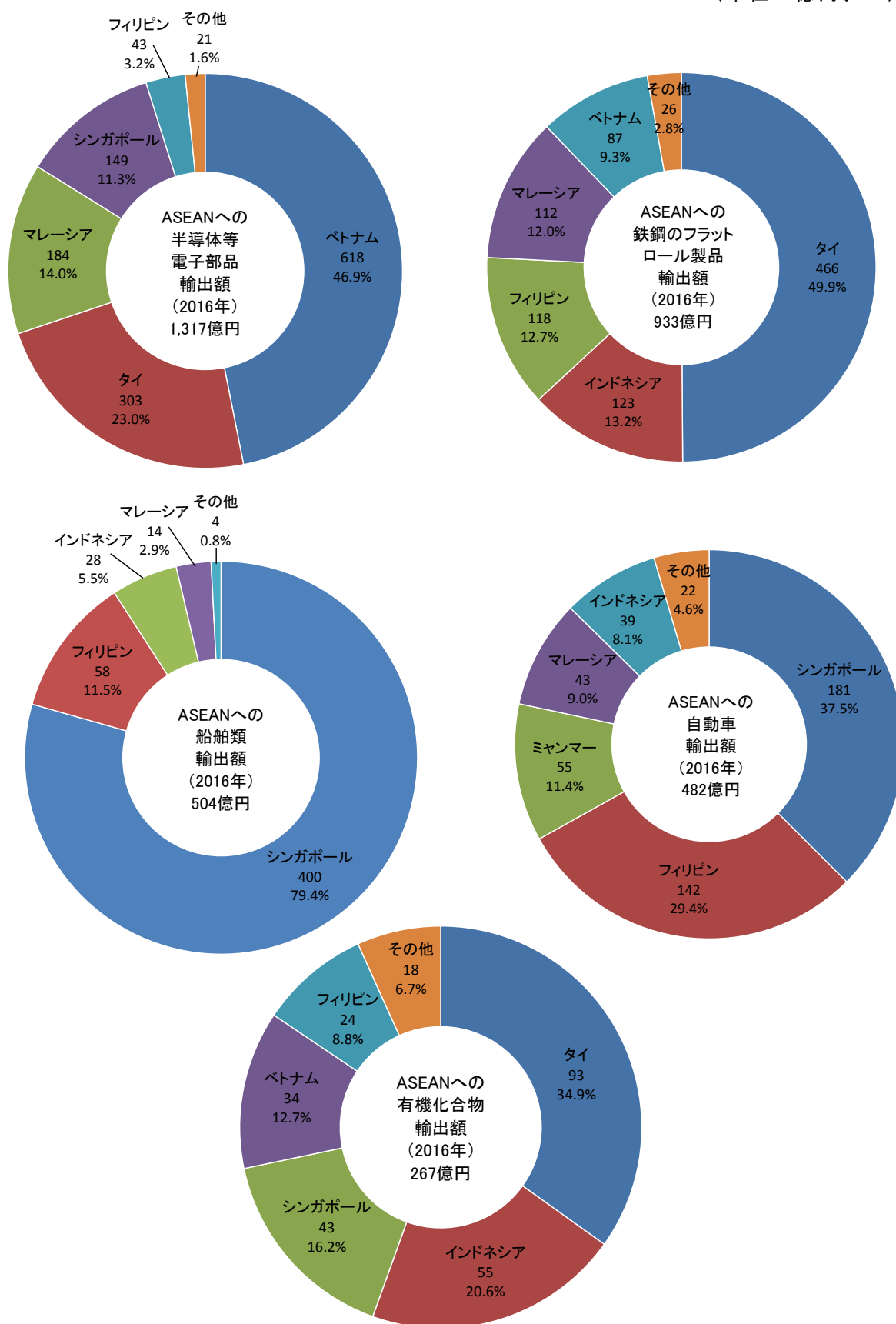
主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	電気機器	1,317	17.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	933	12.6%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	631	8.5%
船舶類	輸送用機器	504	6.8%
自動車	輸送用機器	482	6.5%
有機化合物	元素及び化合物	267	3.6%
事務用機器	一般機械	245	3.3%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	231	3.1%
荷役機械	一般機械	155	2.1%
自動車の部分品	輸送用機器	138	1.9%
その他		2,474	33.5%
総 額		7,378	100%

寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲3.6%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲3.3%）
自動車（▲1.2%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-11 九州から ASEAN への主要輸出品目に係る輸出相手国

(単位：億円、%)

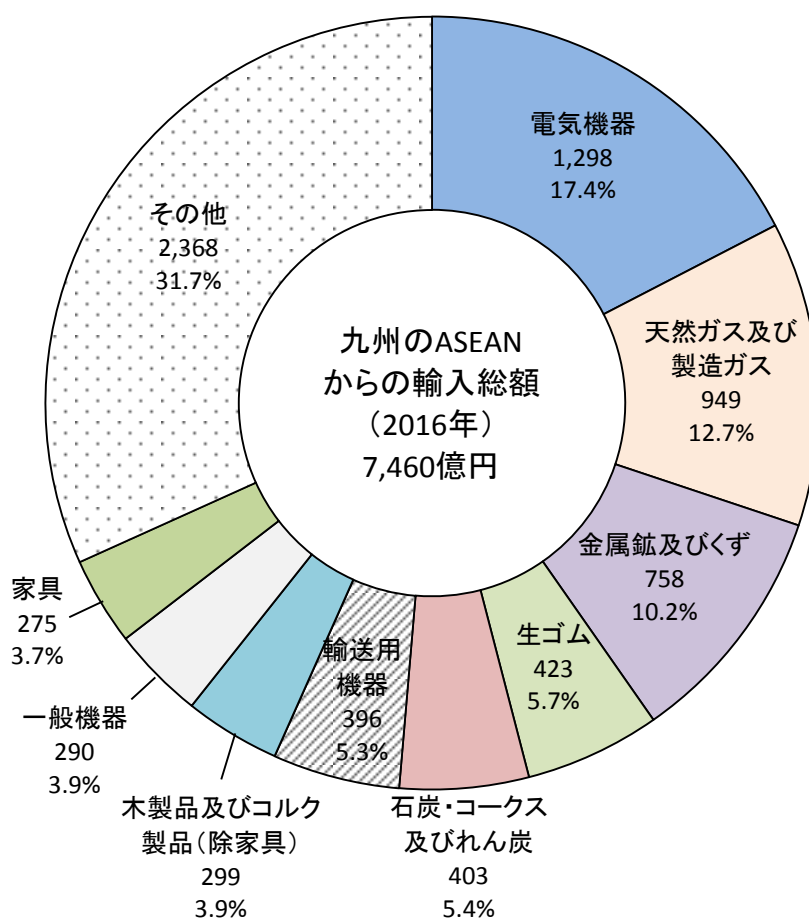


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

表 2-6-12 九州の ASEAN からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油ガス類(液化天然ガス)	天然ガス及び製造ガス	949	12.7%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	690	9.3%
非鉄金属鉱(銅鉱等)	金属鉱及びびくず	658	8.8%
天然ゴム	生ゴム	407	5.4%
石炭	石炭・コークス及びれん炭	403	5.4%
自動車の部分品	輸送用機器	359	4.8%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	170	2.3%
原油及び粗油	石油及び同製品	137	1.8%
半導体等電子部品	電気機器	126	1.7%
果実	果実及び野菜	116	1.6%
その他		3,445	46.2%
総 額		7,460	100%

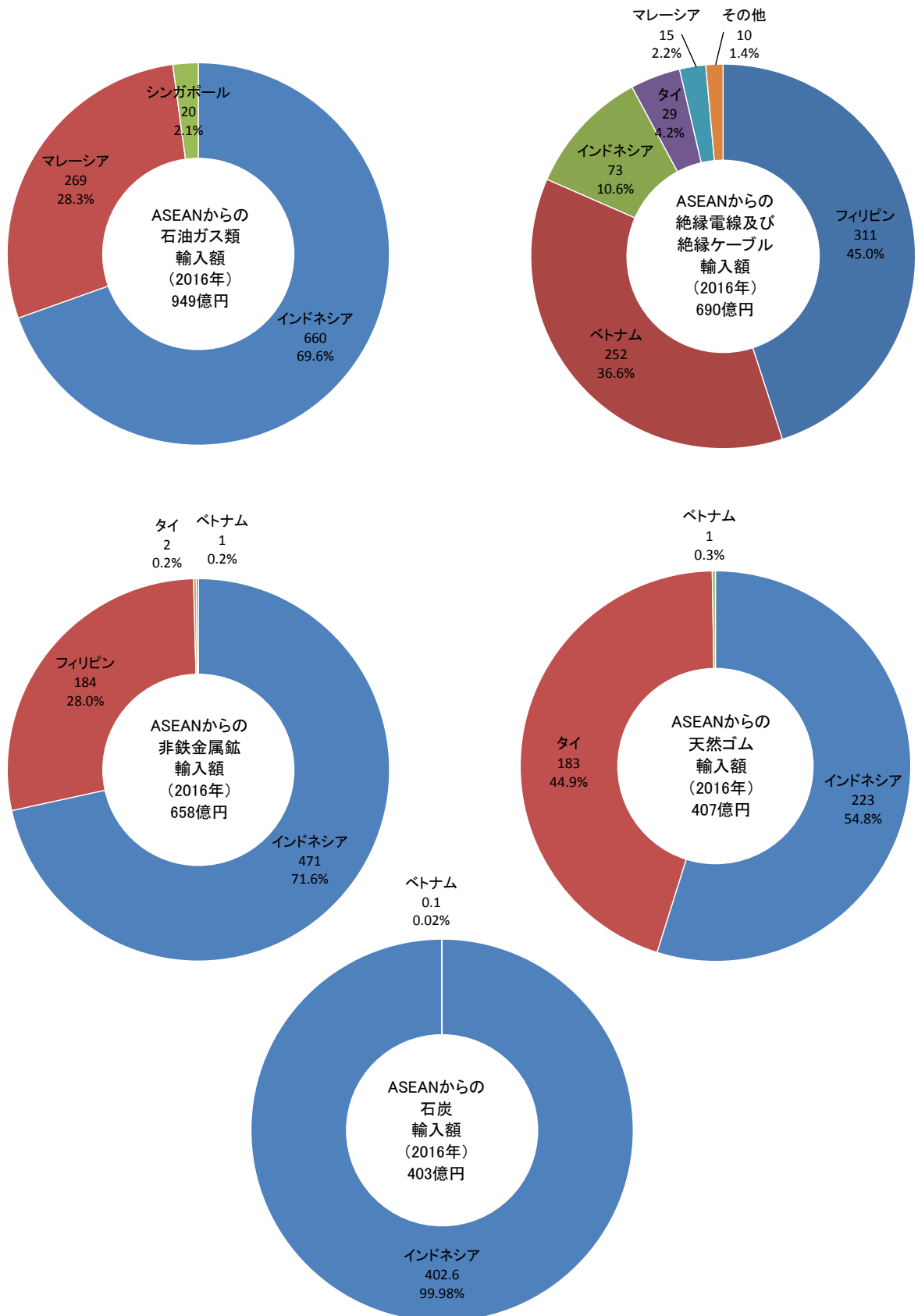
寄与度(増加分)：非鉄金属鉱(銅鉱等)(+1.6%)等

寄与度(減少分)：石油ガス類(液化天然ガス)(▲4.1%)、原油及び粗油(▲3.5%)、石油製品(▲1.8%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

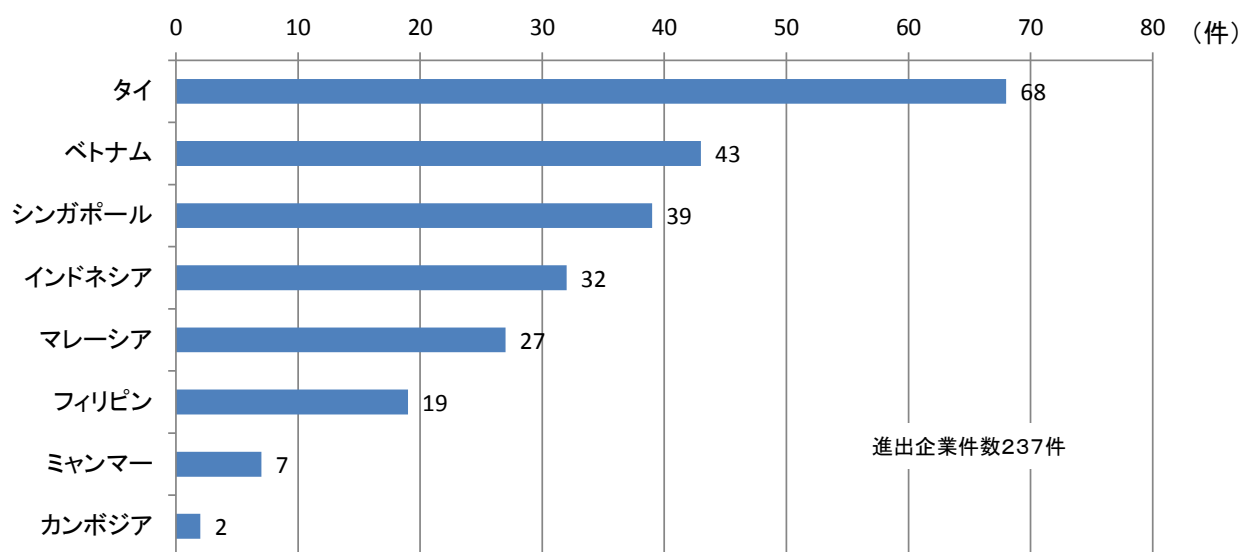
図表 2-6-13 九州の ASEAN からの主要輸入品目に係る輸入相手国

(単位：億円、%)

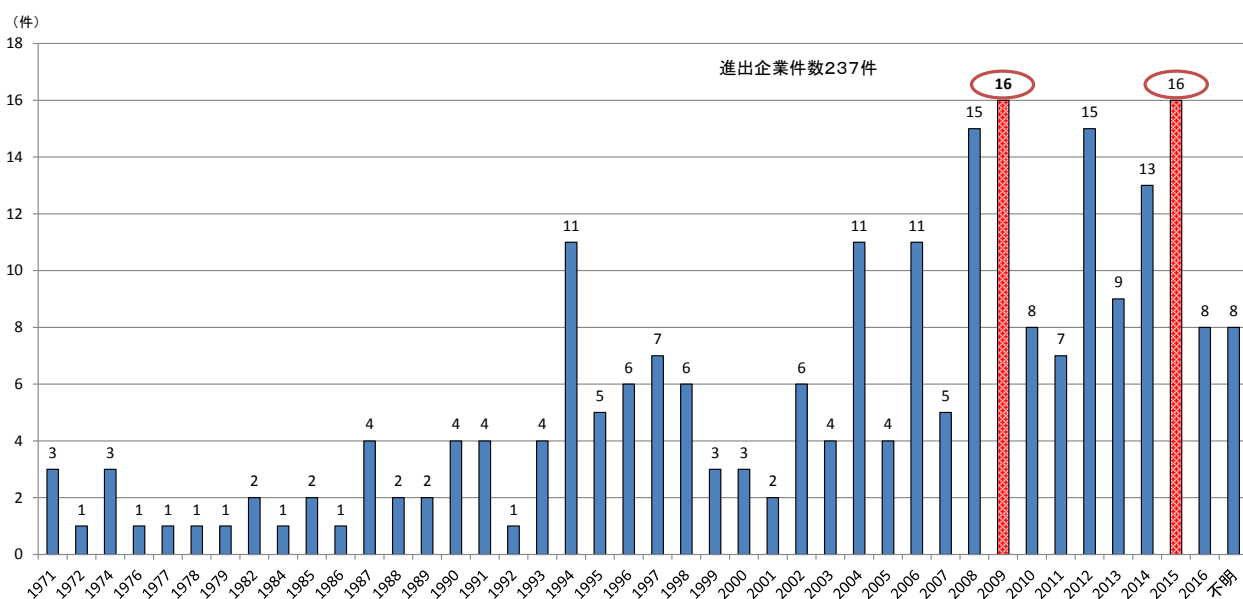


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-14 九州企業の ASEAN 各国への進出件数（国別）

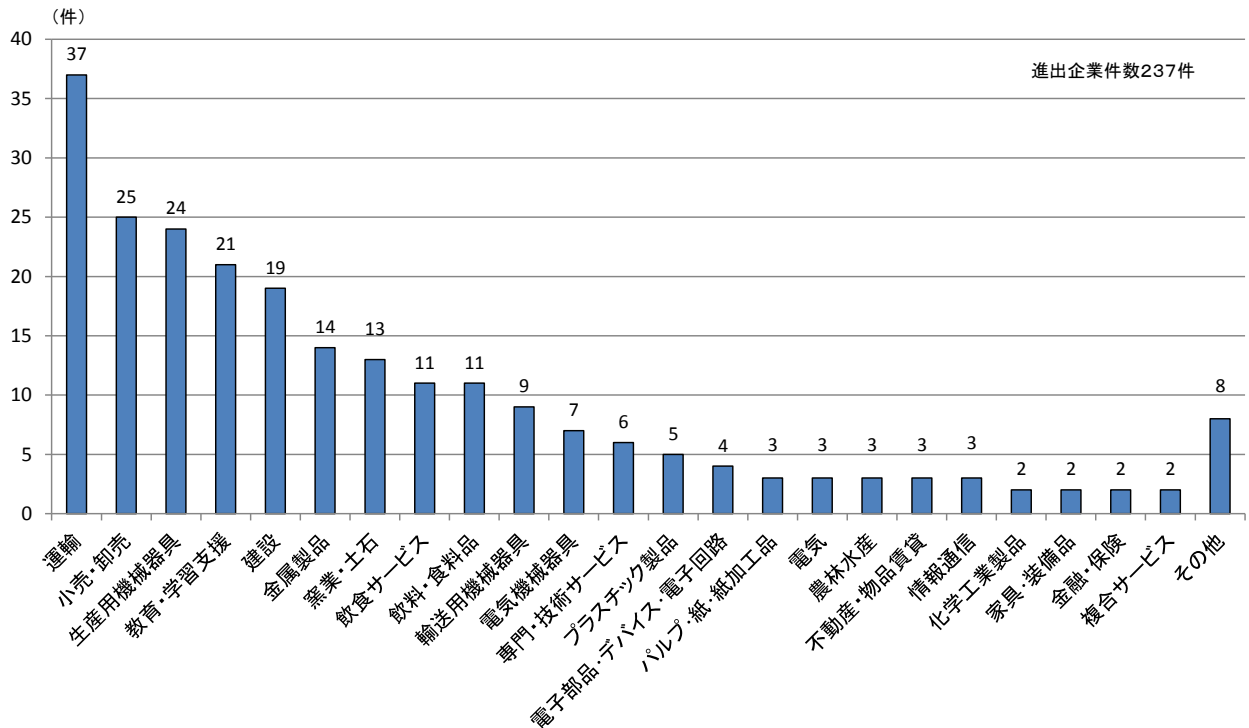


図表 2-6-15 九州企業の ASEAN への年次別進出件数の推移



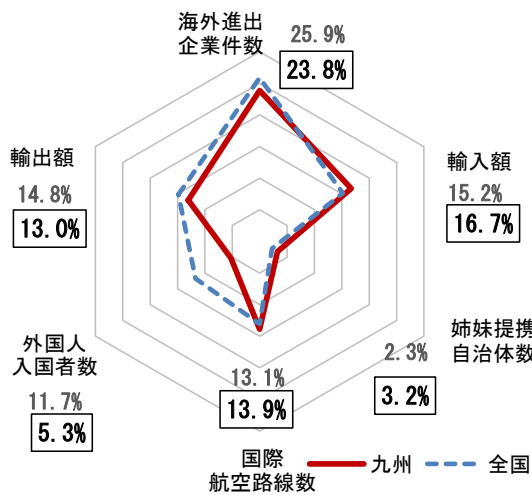
図表 2-6-14～15 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

図表 2-6-16 ASEAN に進出した九州企業の業種別内訳



出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

【トピックス】九州と全国の ASEAN 度



九州と全国の「ASEAN 度」について、「アジア度」と同じ手法で分析したものが左図。

アジア度と比べると九州、全国ともに数値が低くなっており、九州の ASEAN 度が全国の ASEAN 度より高いのは、姉妹提携自治体数、国際航空路線数、輸入額の 3 指標。

備考・出所：図表 1-1-6 と同じ

項目	単位	九州			全国		
		ASEAN	世界	アジア度	アジア	世界	アジア度
海外進出企業件数	件	237	994	23.8%	7,736	29,904	25.9%
輸入額	億円	7,460	44,643	16.7%	100,467	660,420	15.2%
姉妹提携自治体数	件	6	185	3.2%	39	1,717	2.3%
国際航空路線数	路線	5	36	13.9%	46	352	13.1%
外国人入国者数	人	121,414	2,309,519	5.3%	2,724,203	23,218,912	11.7%
輸出額	億円	7,378	56,548	13.0%	103,785	700,358	14.8%

第7章 九州とベトナムの経済関係

1. ベトナムの経済概況

国名	ベトナム社会主義共和国
面積	32万9,241km ²
人口	約9,270万人(2016年時点、越統計総局)
首都	ハノイ
人種	キン族(越人)約86%、他に53の少数民族
言語	ベトナム語
宗教	仏教、カトリック、カオダイ教他
政体	社会主義共和国
主要産業	農林水産業、鉱業、工業

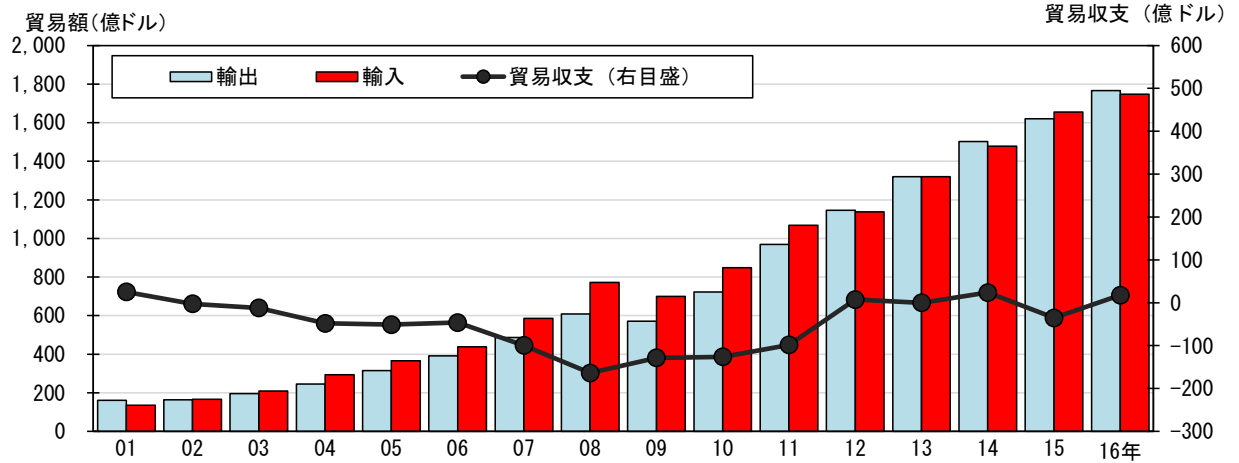
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-7-1 ベトナムのマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.2	5.4	6.0	6.7	6.2
名目GDP総額	億ドル	1,556	1,706	1,859	1,915	2,005 *
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,753	1,902	2,049	2,088	2,164 *
輸出額	億ドル	1,145	1,320	1,502	1,620	1,766
	前年比(%)	18.2	15.3	13.8	7.9	9.0
輸入額	億ドル	1,138	1,320	1,478	1,656	1,748
	前年比(%)	6.6	16.0	12.0	12.0	5.6
貿易収支	億ドル	7	0	24	▲ 36	18
対日貿易収支	億ドル	15	20	18	▲ 2	▲ 4 *
鉱工業生産指数伸び率	前年比(%)	7.0	5.6	5.8	10.1	7.2
失業率	(%)	3.2	3.6	3.4	3.4	3.2
消費者物価上昇率	(%)	9.1	6.6	4.1	0.6	2.7
直接投資受入額	億ドル	163	224	219	241	224 *
為替レート(1ドル)	ドン	20,828	20,933	21,148	21,698	21,935 *

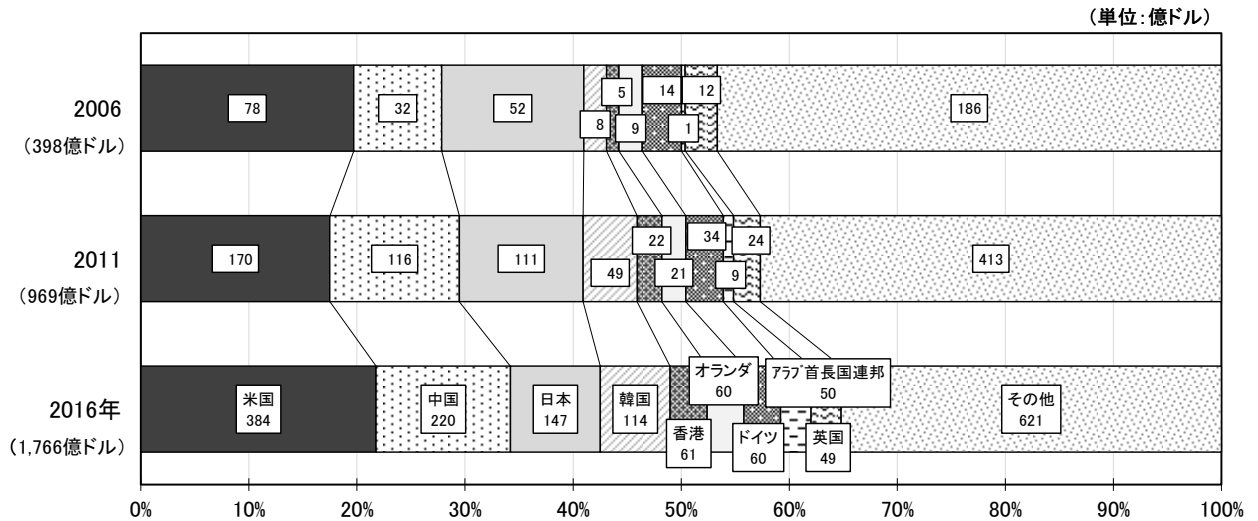
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(ベトナム一般概況)より九州経済産業局作成。

図表 2-7-2 ベトナムの対外貿易額の推移

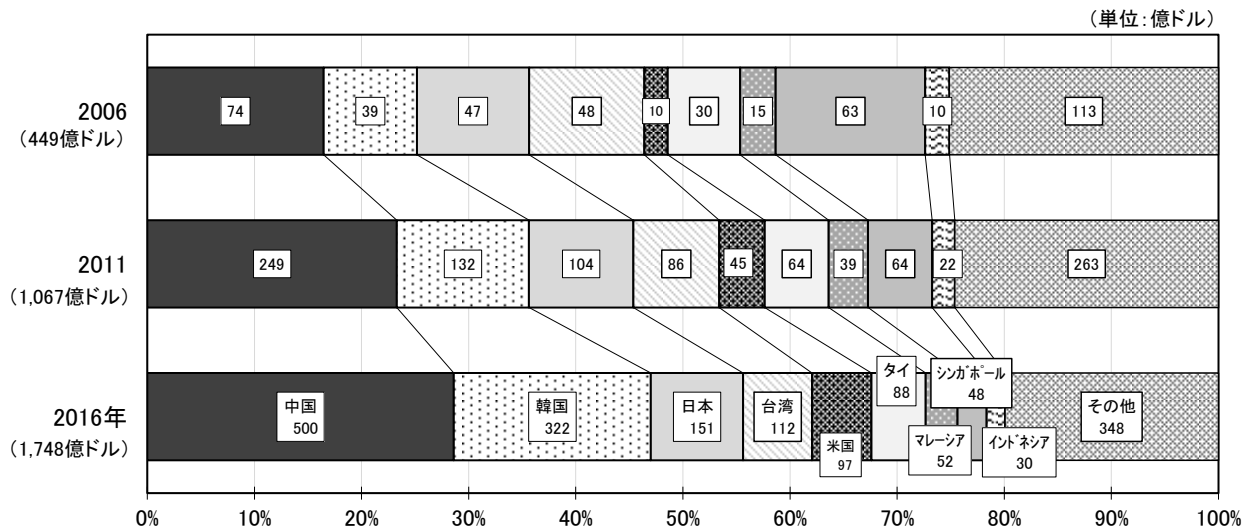


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成 29 年 10 月)」より九州経済産業局作成。

図表 2-7-3 ベトナムの輸出相手国・地域の推移



図表 2-7-4 ベトナムの輸入相手国・地域の推移

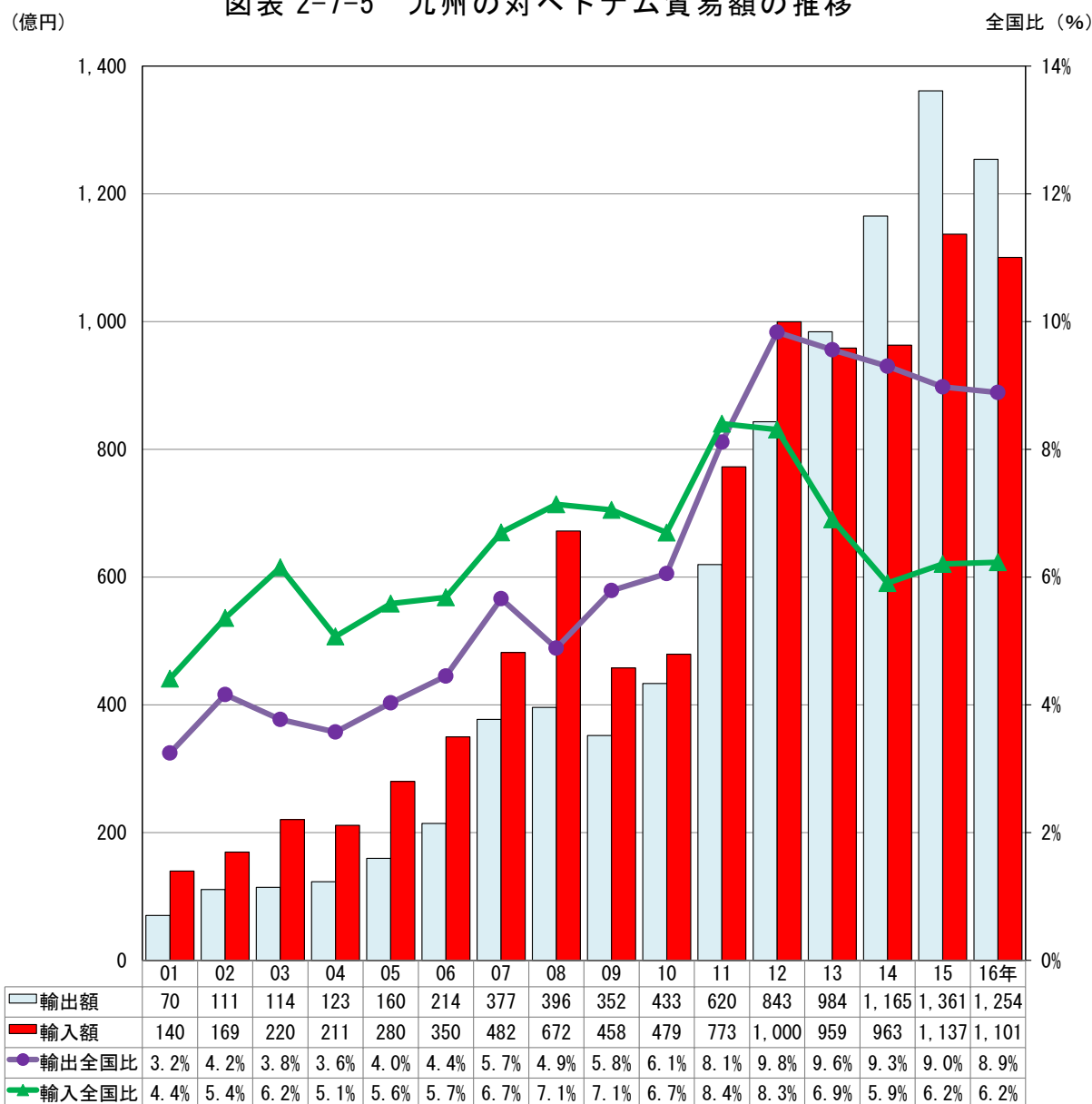


図表 2-7-3～4 出所：ベトナム統計局（GSO）データより九州経済産業局作成。

2. 九州とベトナムの経済動向

- 2016年の九州の対ベトナム貿易額は、輸出が1,254億円（前年比7.9%減）と7年ぶりに減少した。輸入は1,101億円（前年比3.2%減）と3年ぶりに減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品、事務用機器等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、科学光学機器（寄与度：+2.2%）、原動機（同+1.2%）、自動車の部分品（同+1.2%）となっている。一方、減少では、半導体等電子部品（同▲6.6%）、鉄鋼のフラットロール製品（同▲3.0%）、事務用機器（同▲1.6%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、絶縁電線及び絶縁ケーブル、パルプウッド等、メリヤス編み及びクロセ編み衣類等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、メリヤス編み及びクロセ編み衣類（同+3.9%）となっている。一方、減少では、パルプウッド等（寄与度：▲2.7%）、魚の粉及びミール（同▲1.3%）、原油及び粗油（同▲1.1%）となっている。

図表 2-7-5 九州の対ベトナム貿易額の推移

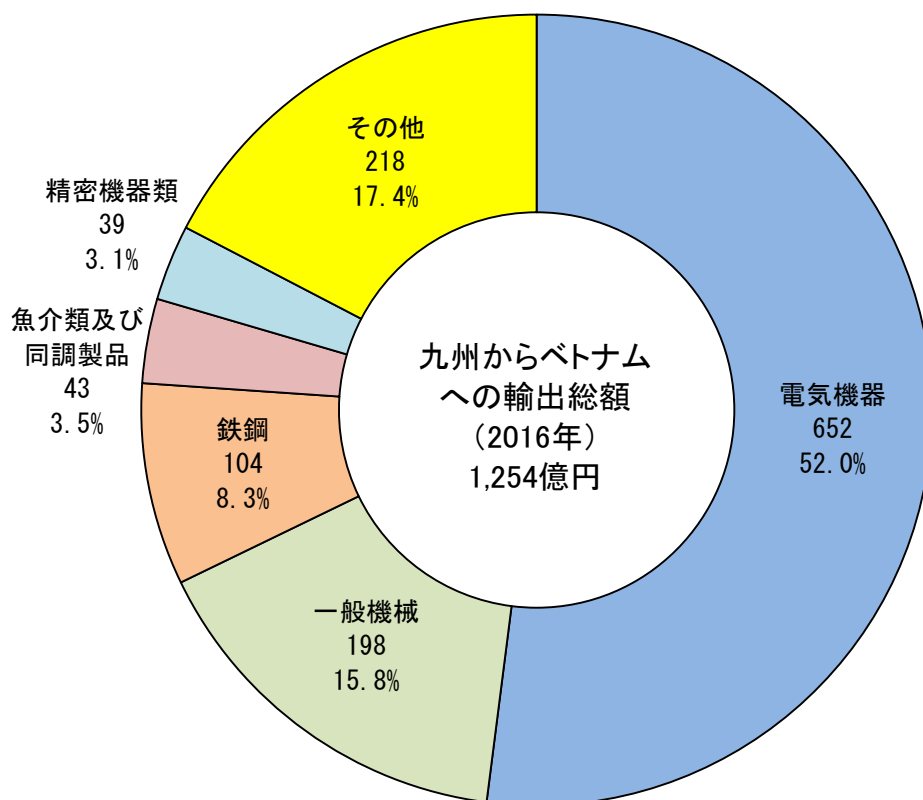


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-7-6 九州からベトナムへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
半導体等電子部品	電気機器	618	49.2%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	87	7.0%
事務用機器	一般機械	57	4.6%
魚介類(生鮮)	魚介類及び同調製品	43	3.4%
科学光学機器	精密機器類	39	3.1%
建設用・鉱山用機械	一般機械	35	2.8%
有機化合物	元素及び化合物	34	2.7%
鉄鋼のくず	金属鉱及びくず	28	2.2%
荷役機械	一般機械	25	2.0%
原動機	一般機械	22	1.7%
その他		266	21.2%
総 額		1,254	100%

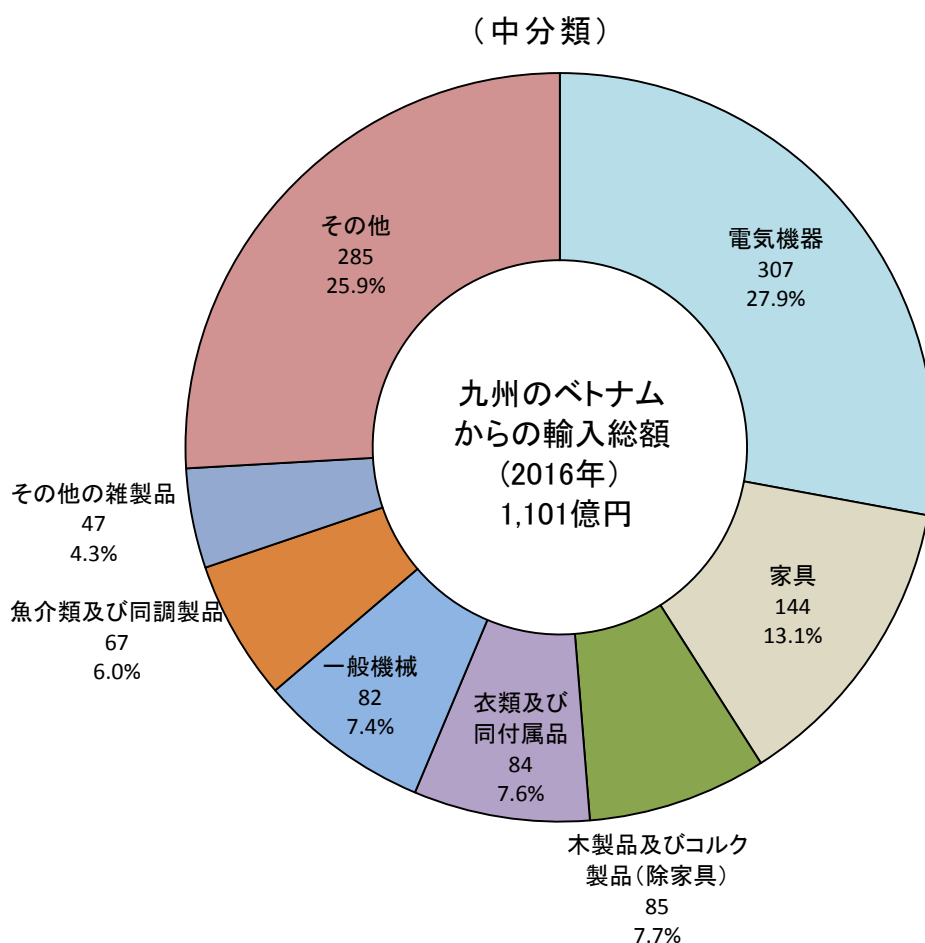
寄与度（増加分）：科学光学機器（+2.2%）、原動機（+1.2%）、自動車の部分品（+1.2%）等

寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲6.6%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲3.0%）、事務用機器（▲1.6%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-7-7 九州のベトナムからの輸入品目

(単位：億円、%)



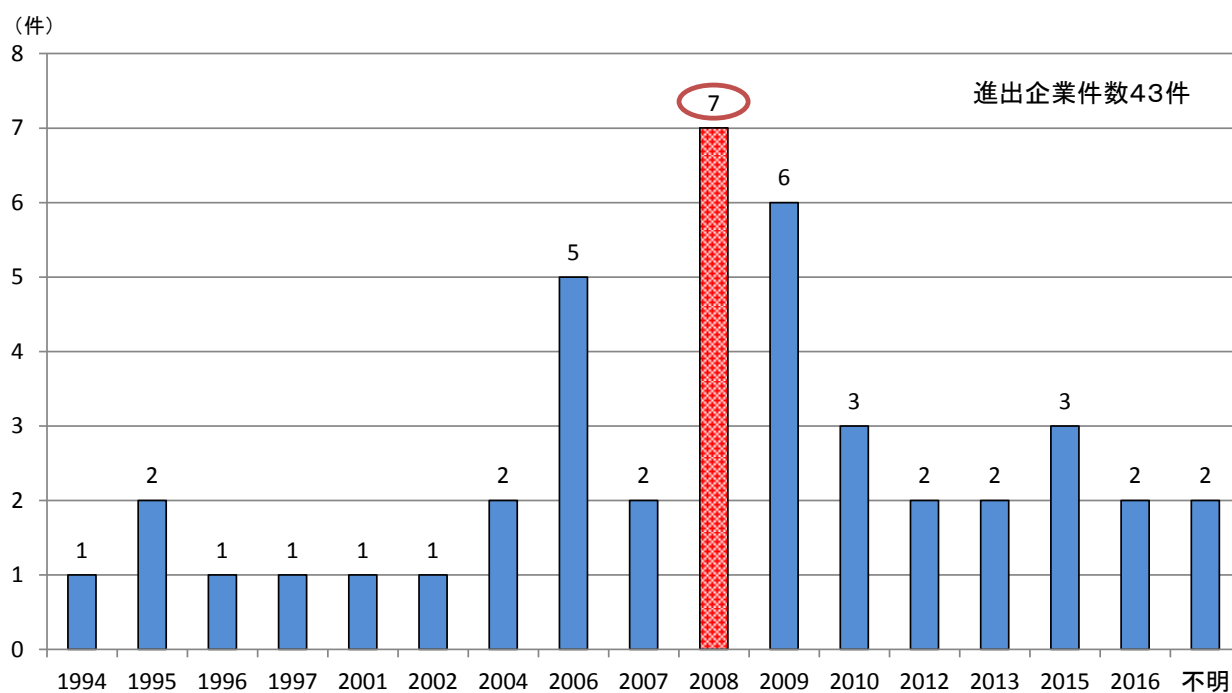
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	252	22.9%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	76	6.9%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同付属品	54	4.9%
プラスチック製品	その他の雑製品	38	3.4%
魚介類の調製品	魚介類及び同調製品	35	3.2%
魚介類(生鮮・冷凍)	魚介類及び同調製品	31	2.9%
合金鉄	鉄鋼	26	2.3%
衣類	衣類及び同付属品	25	2.3%
コック・弁類	一般機械	25	2.2%
原動機	一般機械	21	1.9%
その他		517	47.0%
総 額		1,101	100.0%

寄与度(増加分)：メリヤス編み及びクロセ編み衣類(+3.9%)等

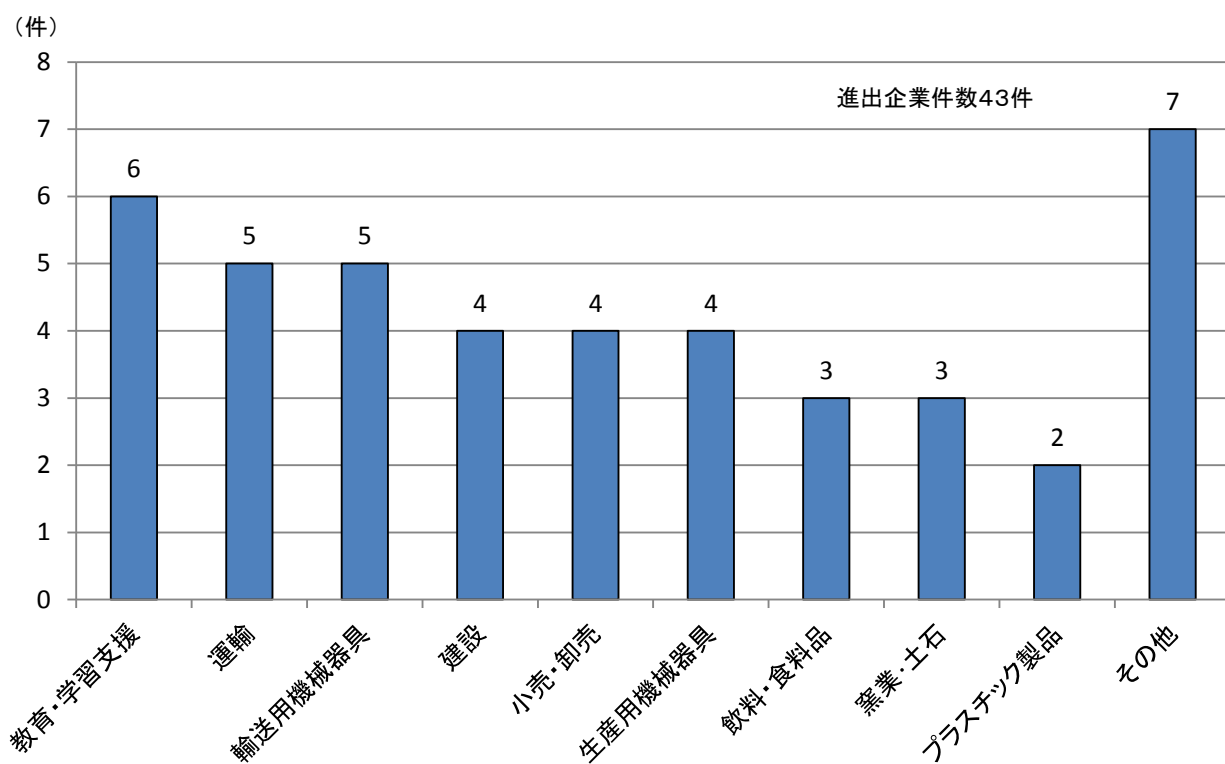
寄与度(減少分)：パルプウッド等(▲2.7%)、魚の粉及びミール(▲1.3%)、
原油及び粗油(▲1.1%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-7-8 九州企業のベトナムへの進出件数の推移



図表 2-7-9 ベトナムに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-7-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第 8 章 九州とタイの経済関係

1. タイの経済概況

国 名	タイ王国
面 積	51万4千km ² (日本の約1.4倍)
人 口	6,572万人(2015年)(タイ国勢調査)
首 都	バンコク
人 種	大多数がタイ族。その他 華人、マレー族等
言 語	タイ語
宗 教	仏教 94%、イスラム教 5%
政 体	立憲君主制
主要産業	農業は就業者の約40%弱を占めるが、GDPでは12%にとどまる。一方、製造業の就業者は約15%だが、GDPの約34%、輸出額の90%弱を占める。

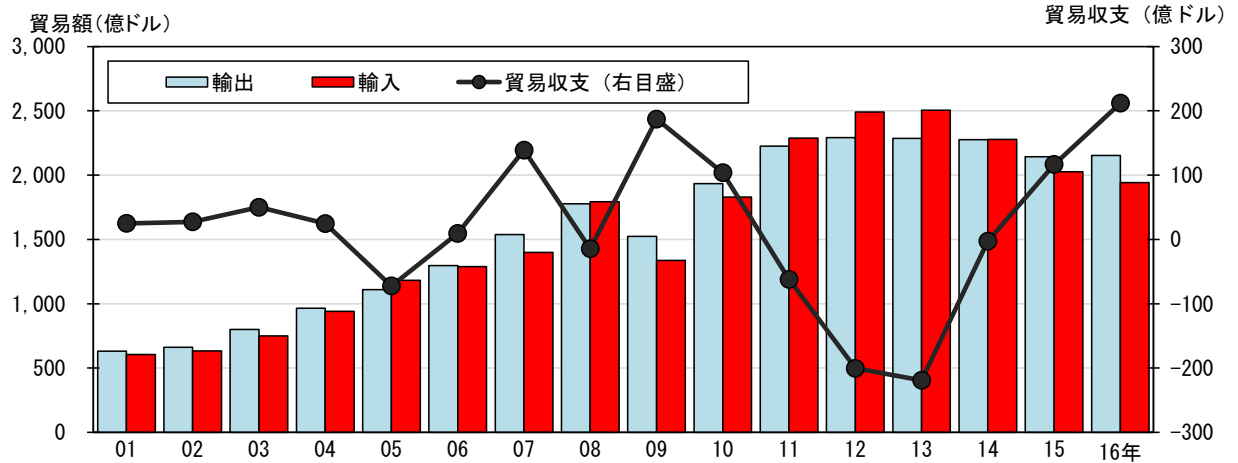
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-8-1 タイのマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.2	2.7	0.9	2.9	3.2
名目GDP総額	十億ドル	398	421	407	399	407
一人当たりGDP(名目)	ドル	5,850	6,157	5,921	5,799	5,902
輸出額	億ドル	2,291	2,285	2,275	2,143	2,154
	前年比(%)	2.9	▲ 0.3	▲ 0.5	▲ 5.8	0.5
輸入額	億ドル	2,491	2,504	2,277	2,027	1,942
	前年比(%)	8.9	0.5	▲ 9.1	▲ 11.0	▲ 4.2
貿易収支	億ドル	▲ 200	▲ 219	▲ 3	117	212
対日貿易収支	億ドル	▲ 253	▲ 189	▲ 138	▲ 112	▲ 102 *
製造業生産指数	前年比(%)	10.6	2.3	▲ 3.8	0.0	1.6
失業率	(%)	0.7	0.7	0.9	1.0	1.0
消費者物価指数(総合)	前年比(%)	3.0	2.2	1.9	▲ 0.9	0.2
直接投資受入額	億ドル	129	159	37	86	16 *
為替レート(1ドル)	バーツ	31.08	30.73	32.48	34.25	35.30
為替レート(1バーツ)	円	2.57	3.18	3.26	3.13	3.07

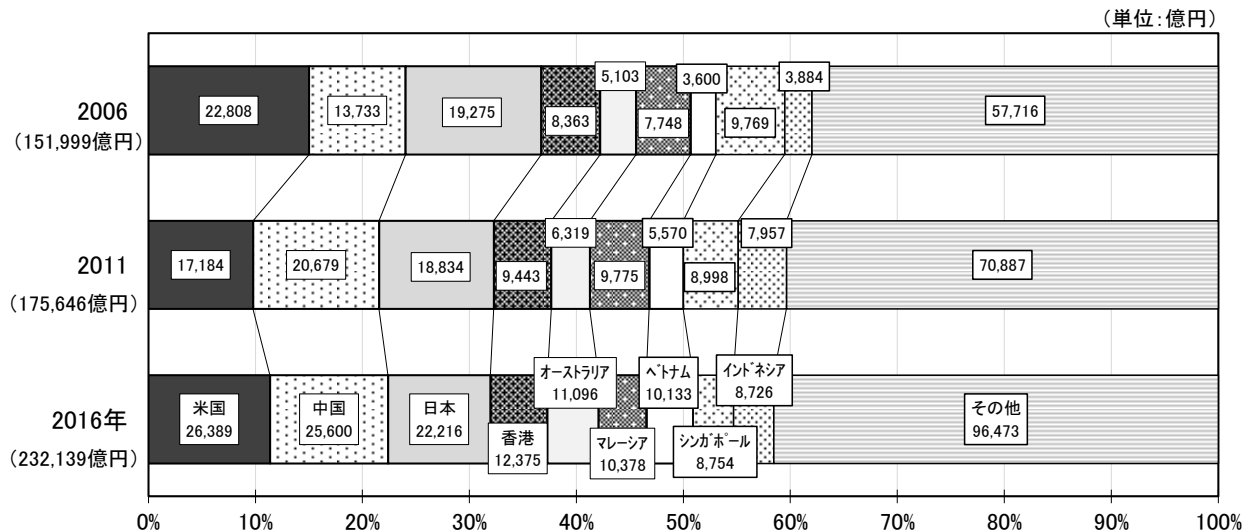
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(J-FILE)より九州経済産業局作成。

図表 2-8-2 タイの対外貿易額の推移

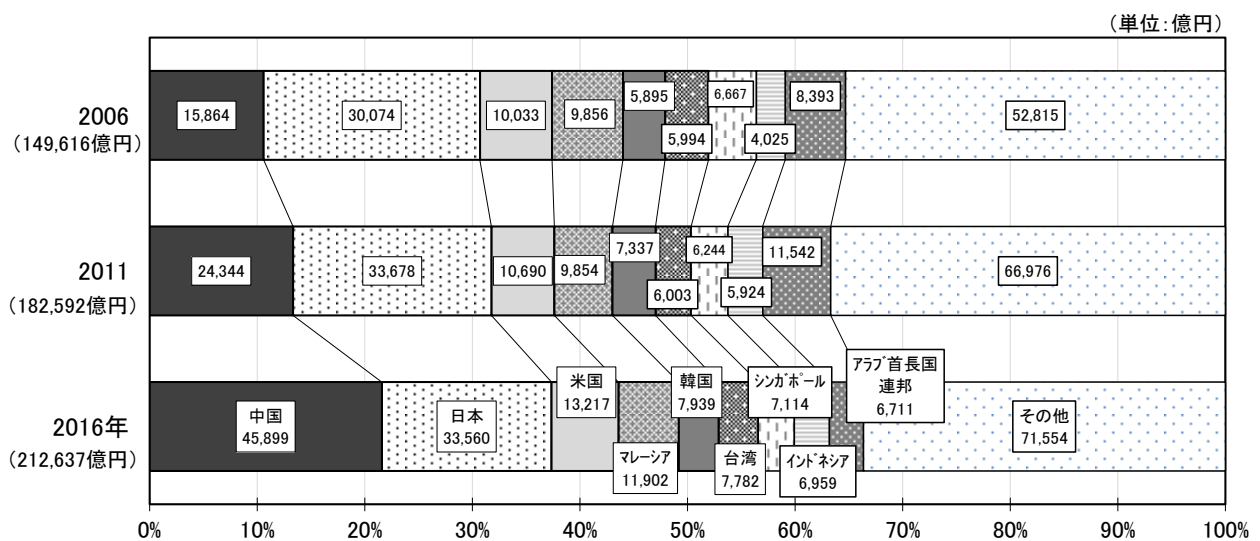


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成 29 年 10 月)」より九州経済産業局作成。

図表 2-8-3 タイの輸出相手国・地域の推移



図表 2-8-4 タイの輸入相手国・地域の推移

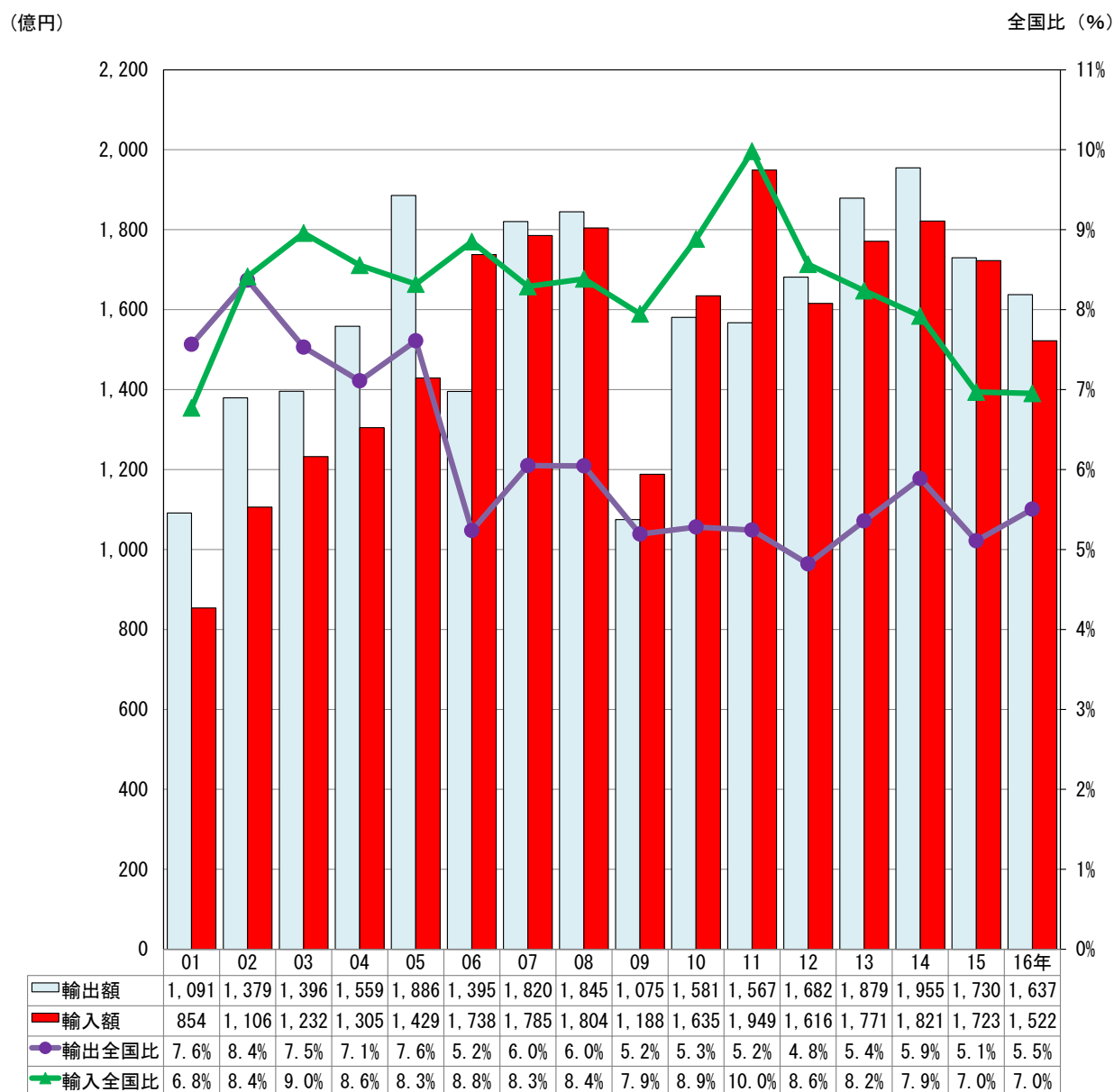


図表 2-8-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州とタイの経済動向

- 2016年の九州の対タイ貿易額は、輸出が1,637億円（前年比5.4%減）、輸入が1,522億円（前年比11.6%減）と、輸出入とも2年連続で減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、半導体等電子部品、鉄鋼の棒・形鋼及び線等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、半導体等電子部品（寄与度：+2.7%）、科学光学機器（同+1.9%）、有機化合物（同+1.4%）となっている。一方、減少では、鉄鋼のフラットロール製品（同▲6.1%）、銅及び同合金（同▲3.2%）、自動車の部分品（同▲1.5%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、天然ゴム、自動車の部分品、音響・映像機器（含部品）等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、天然ゴム（寄与度：▲2.5%）、半導体等電子部品（同▲2.1%）、魚の粉及びミール（同▲1.4%）となっている。

図表 2-8-5 九州の対タイ貿易額の推移

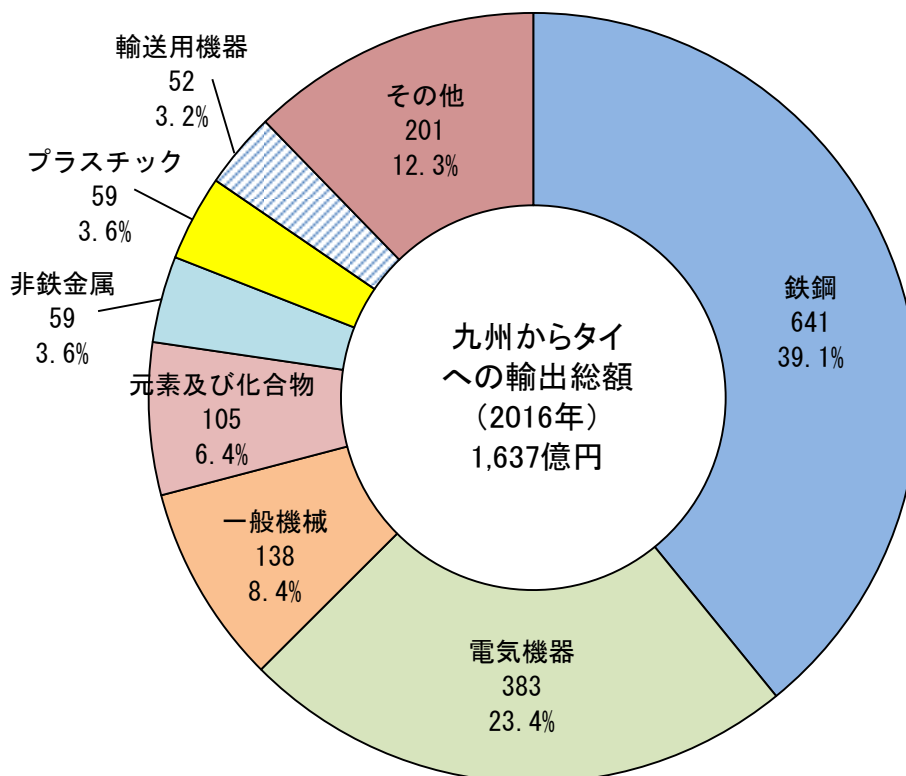


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-8-6 九州からタイへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	466	28.4%
半導体等電子部品	電気機器	303	18.5%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	160	9.8%
有機化合物	元素及び化合物	93	5.7%
銅及び同合金	非鉄金属	52	3.2%
科学光学機器	精密機器類	43	2.6%
自動車の部分品	輸送用機器	26	1.6%
建設用・鉱山用機械	一般機械	21	1.3%
ポリエチレン	プラスチック	19	1.1%
石油製品	石油及び同製品	18	1.1%
その他		437	26.7%
総 額		1,637	100.0%

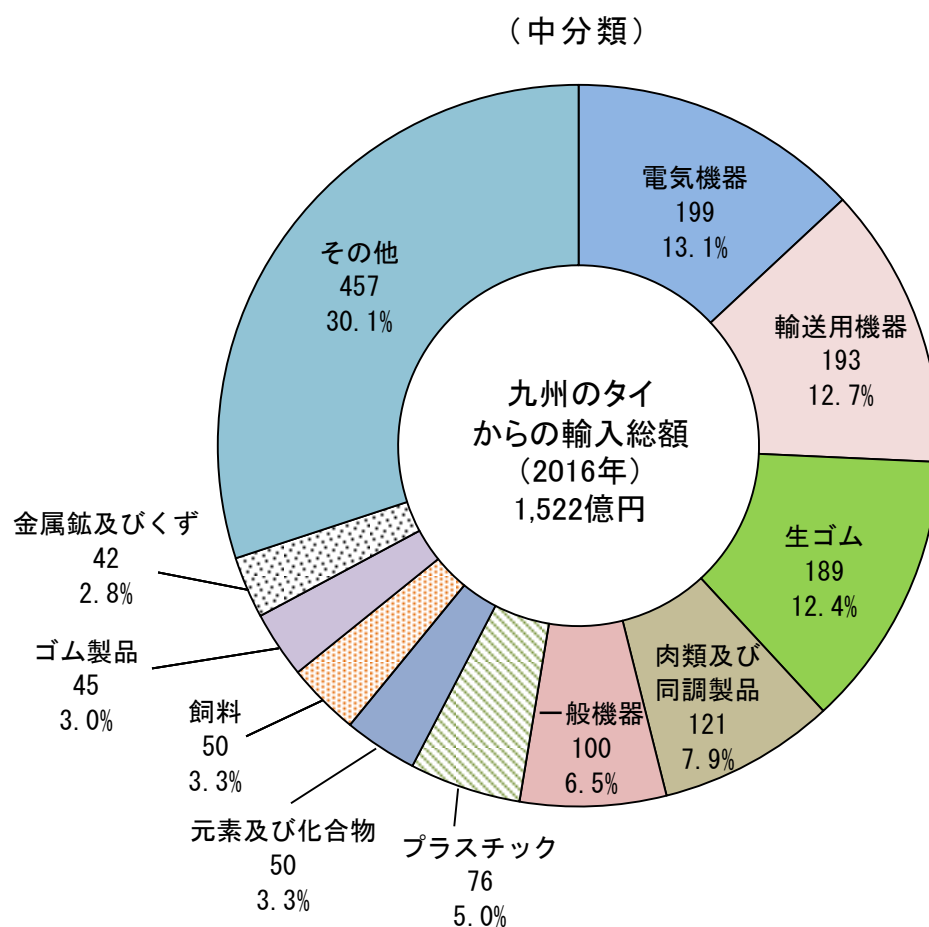
寄与度（増加分）：半導体等電子部品（+2.7%）、科学光学機器（+1.9%）、有機化合物（+1.4%）等

寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲6.1%）、銅及び同合金（▲3.2%）、自動車の部分品（▲1.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-8-7 九州のタイからの輸入品目

(単位：億円、%)

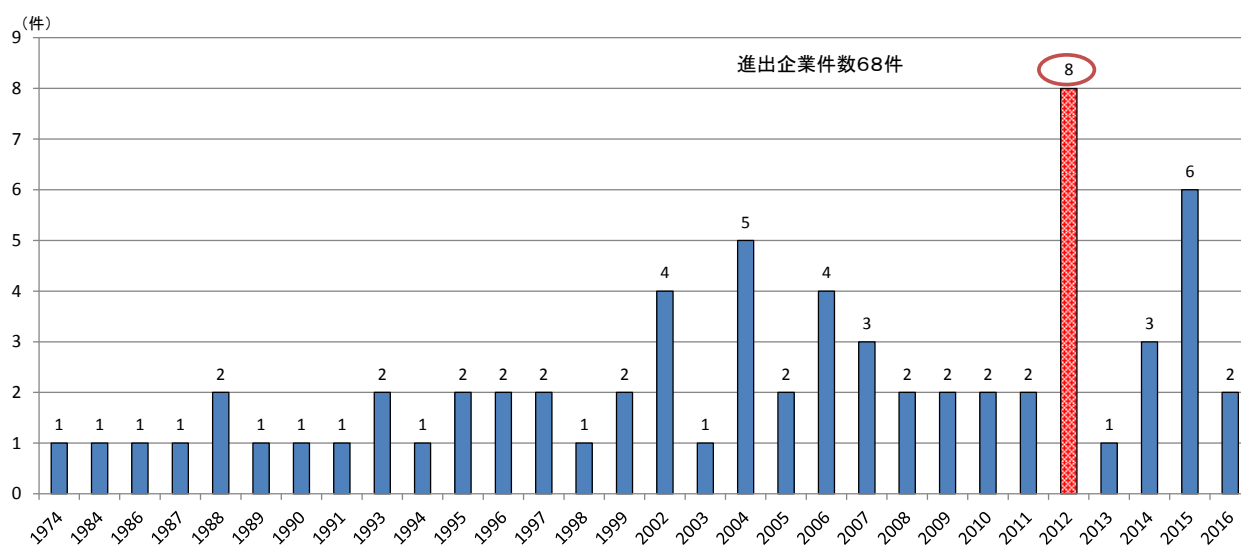


主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
天然ゴム	生ゴム	183	12.0%
自動車の部分品	輸送用機器	182	11.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	58	3.8%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	36	2.4%
砂糖	糖類及び同調製品・はちみつ	35	2.3%
米	穀物及び同調製品	35	2.3%
電気回路等の機器	電気機器	32	2.1%
電気計測機器	電気機器	32	2.1%
合成樹脂	プラスチック	29	1.9%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	29	1.9%
その他		872	57.3%
総 額		1,522	100.0%

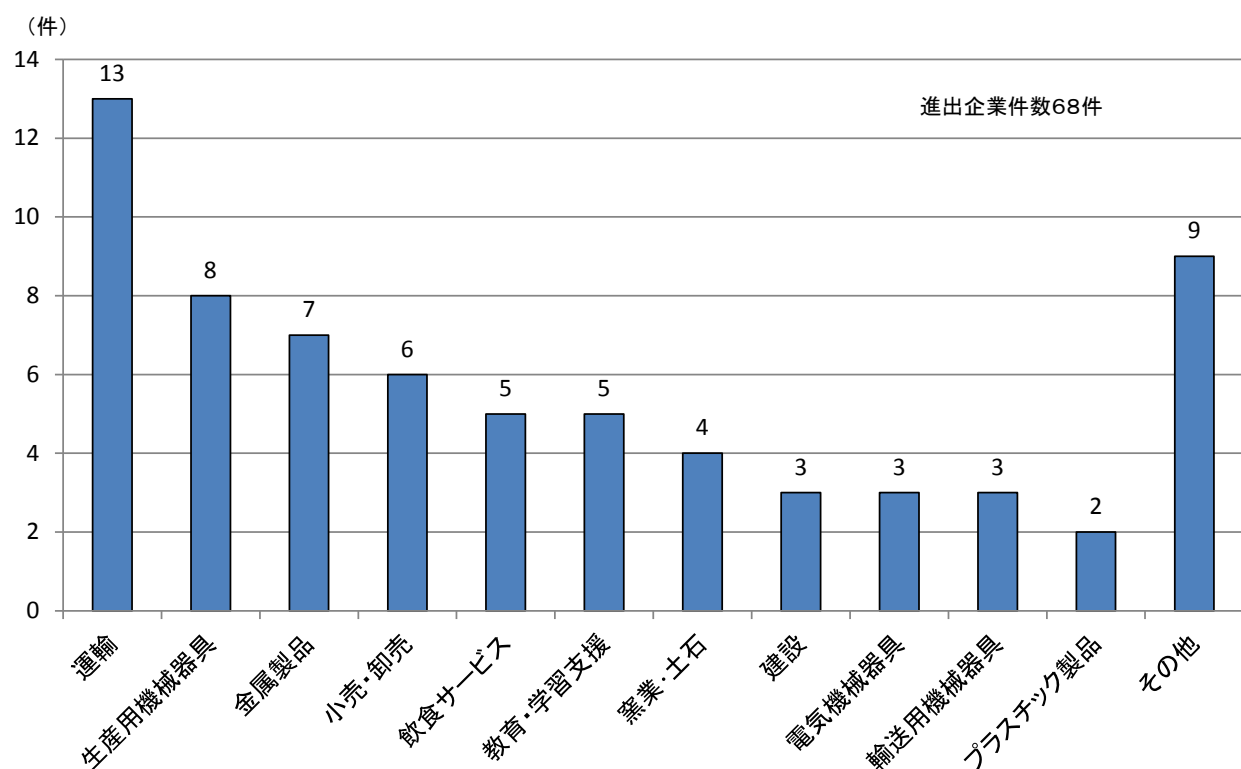
寄与度(減少分): 天然ゴム(▲2.5%)、半導体等電子部品(▲2.1%)、
魚の粉及びミール(▲1.4%)等

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-8-8 九州企業のタイへの進出件数の推移



図表 2-8-9 タイに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-8-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より
九州経済産業局作成。

第9章 九州とシンガポールの経済関係

1. シンガポールの経済概況

国名	シンガポール共和国
面積	約719km ² (東京23区と同程度)
人口	約561万人(うちシンガポール人・永住者は393万)(2016年6月)
人種	中華系74%、マレー系13%、インド系9%、(2016年6月)
言語	国語はマレー語。公用語として英語、中国語、マレー語、タミール語
宗教	仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンズー教
政体	立憲共和制(1965年8月9日成立)(英連邦加盟)
主要産業	製造業(エレクトロニクス、化学関連、バイオメディカル、輸送機械、精密器械)、商業、ビジネスサービス、運輸・通信業、金融サービス業

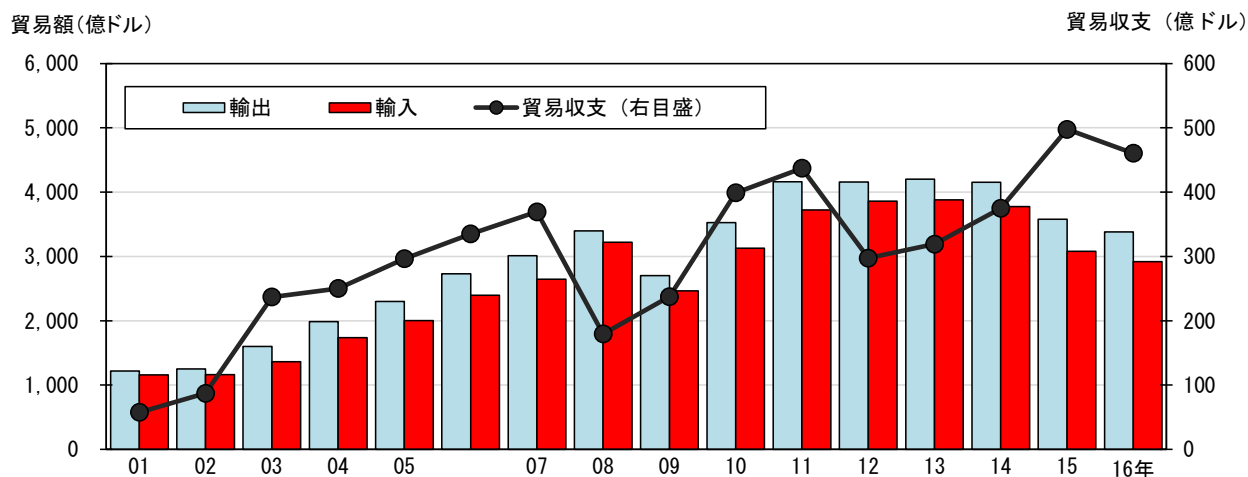
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-9-1 シンガポールのマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.9	5.0	3.6	1.9	2.0
名目GDP総額	十億ドル	289	303	308	297	297
一人当たりGDP(名目)	ドル	54,432	56,029	56,338	53,629	52,961
輸出額	億ドル	4,156	4,200	4,152	3,577	3,380
	前年比(%)	▲ 0.1	1.1	▲ 1.1	▲ 13.8	▲ 5.5
輸入額	億ドル	3,859	3,881	3,777	3,080	2,919
	前年比(%)	3.6	0.6	▲ 2.7	▲ 18.5	▲ 5.2
貿易収支	億ドル	297	319	375	498	460
対日貿易収支	億ドル	▲ 48	▲ 27	▲ 34	▲ 33	▲ 47
製造業生産指数	前年比(%)	0.3	1.7	2.7	▲ 5.1	3.6
失業率	(%)	2.0	1.9	2.0	1.9	2.1
消費者物価指数	前年比(%)	4.6	2.4	1.0	▲ 0.5	▲ 0.5
直接投資受入額	億ドル	562	647	740	706	616
為替レート(1ドル)	Sドル	1.25	1.25	1.27	1.38	1.38
為替レート(1Sドル)	円	63.85	78.00	83.61	77.93	78.54

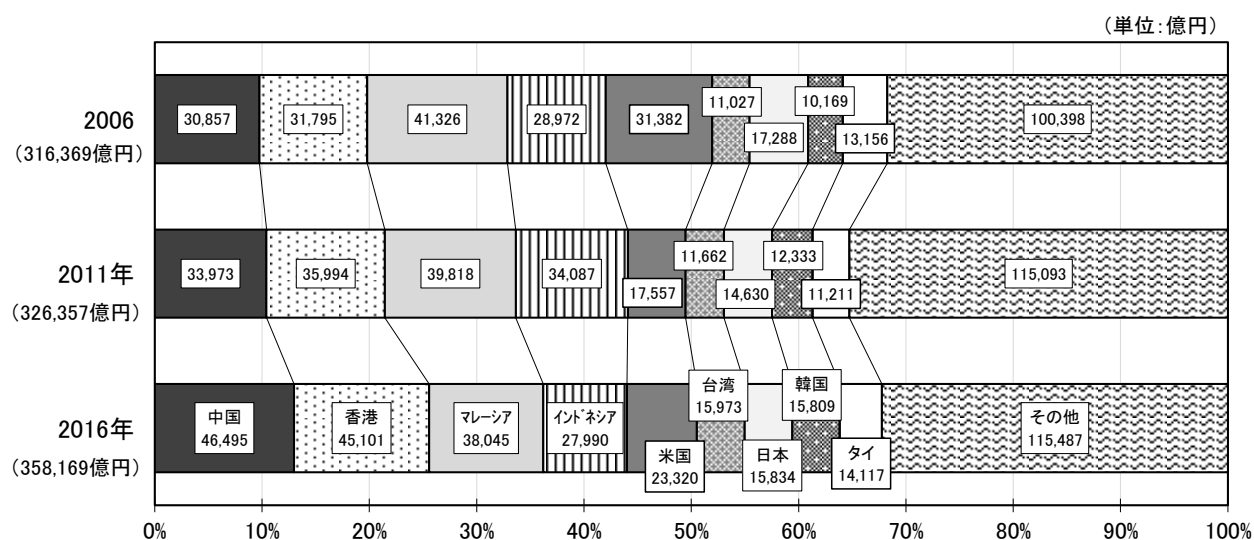
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*1はジェットロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)、*2はUNCTADstatより九州経済産業局作成。

図表 2-9-2 シンガポールの対外貿易額の推移

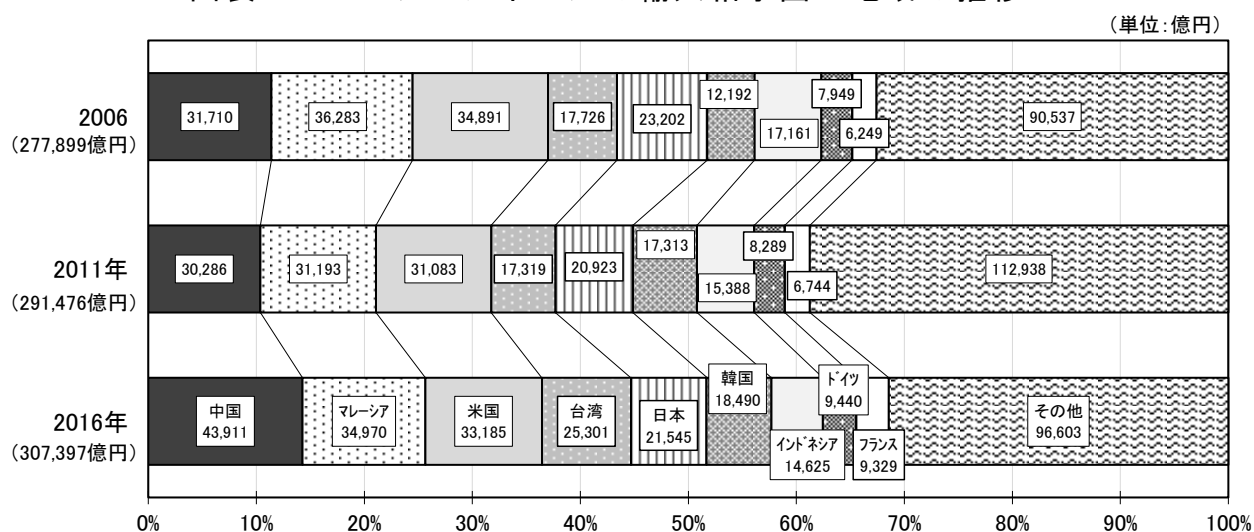


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成 29 年 10 月)」より九州経済産業局作成。

図表 2-9-3 シンガポールの輸出相手国・地域の推移



図表 2-9-4 シンガポールの輸入相手国・地域の推移

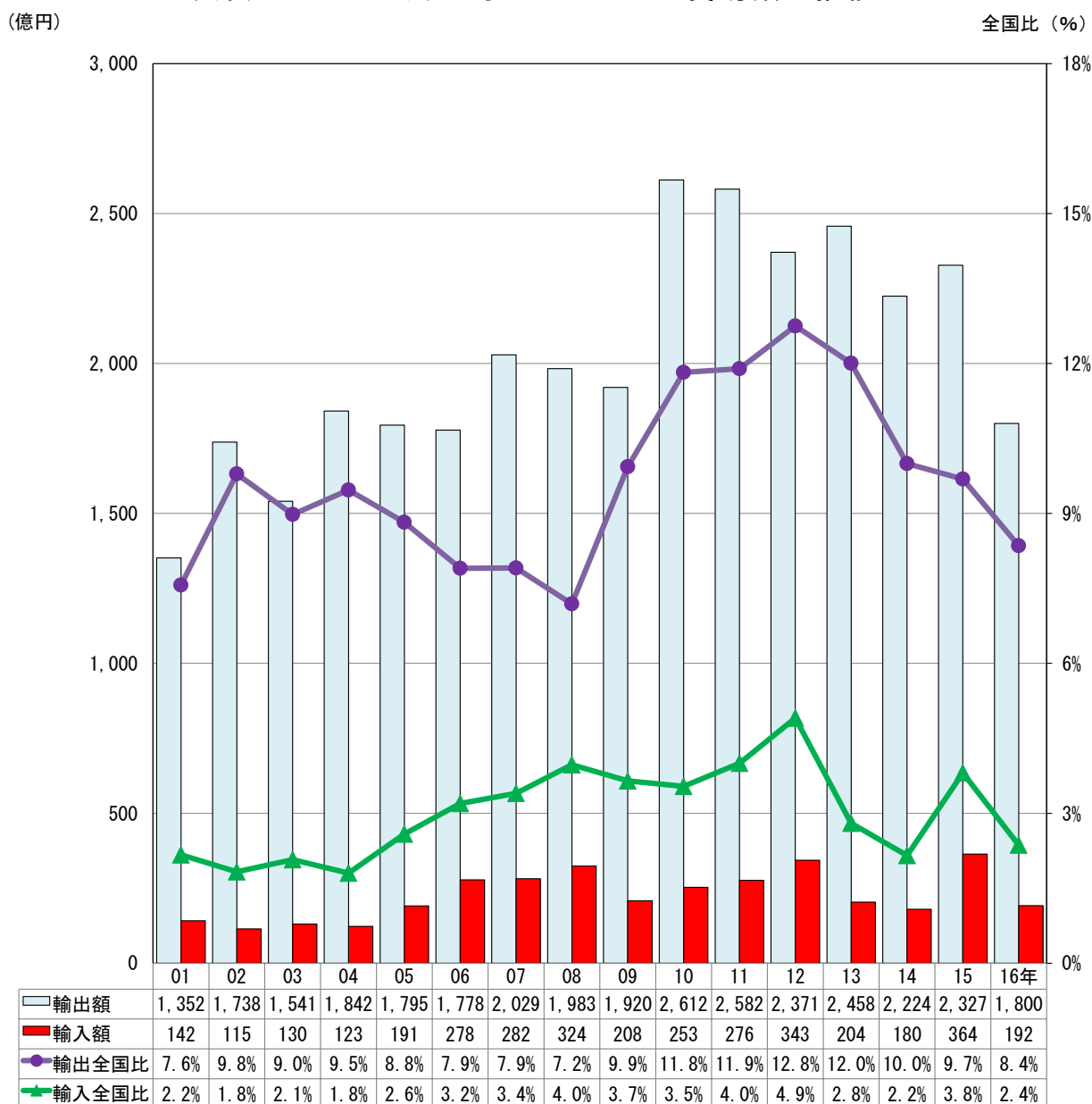


図表 2-9-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州とシンガポールの経済動向

- 2016年の九州の対シンガポール貿易額は、輸出が1,800億円（前年比22.7%減）、輸入が192億円（前年比47.3%減）と、輸出入とも前年より減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、船舶類、金（マテリアル・ゴールドを除く）、自動車等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車（寄与度：+3.5%）となっている。一方、減少では、半導体等電子部品（同▲7.9%）、構造物及び同建設材（同▲4.2%）、金（マテリアル・ゴールドを除く）（同▲3.2%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油製品（重油等）、石油ガス類（液化天然ガス）、科学光学機器等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、石油ガス類（液化天然ガス）（寄与度：+5.6%）となっている。一方、減少では、半導体等電子部品（同▲8.9%）、石油製品（重油等）（同▲8.6%）、非鉄卑金属くず（同▲6.3%）、半導体等製造装置（同▲5.0%）となっている。

図表 2-9-5 九州の対シンガポール貿易額の推移

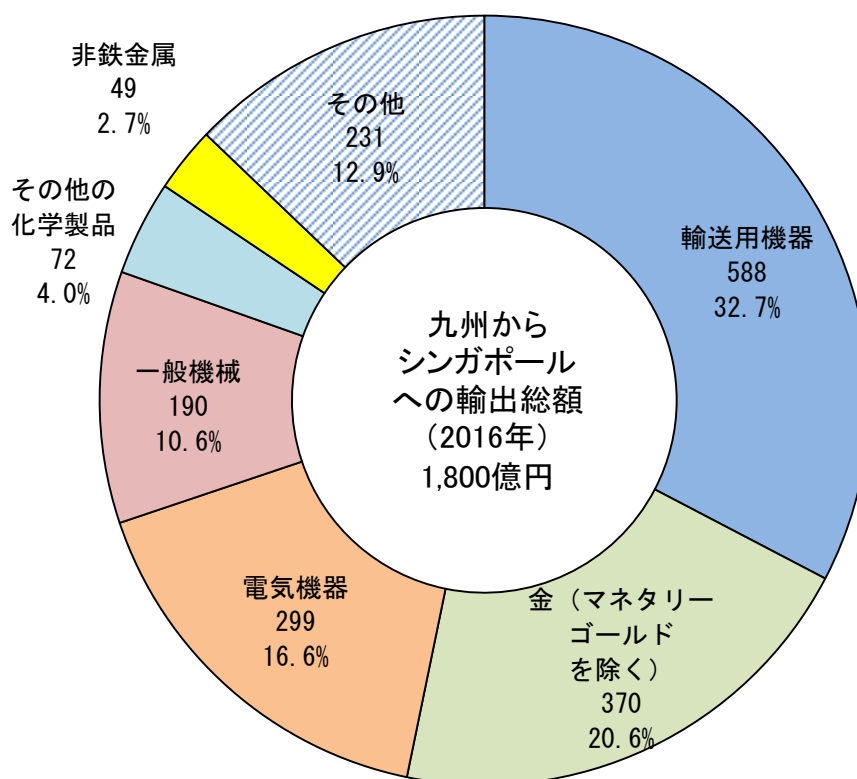


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-9-6 九州からシンガポールへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
船舶類	輸送用機器	400	22.2%
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	370	20.6%
自動車	輸送用機器	181	10.0%
半導体等電子部品	電気機器	149	8.3%
事務用機器	一般機械	142	7.9%
映像機器	電気機器	94	5.2%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	45	2.5%
有機化合物	元素及び化合物	43	2.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	26	1.4%
セメント	非金属鉱物製品	24	1.4%
その他		326	18.1%
総 額		1,800	100%

寄与度(増加分): 自動車(+3.5%)等

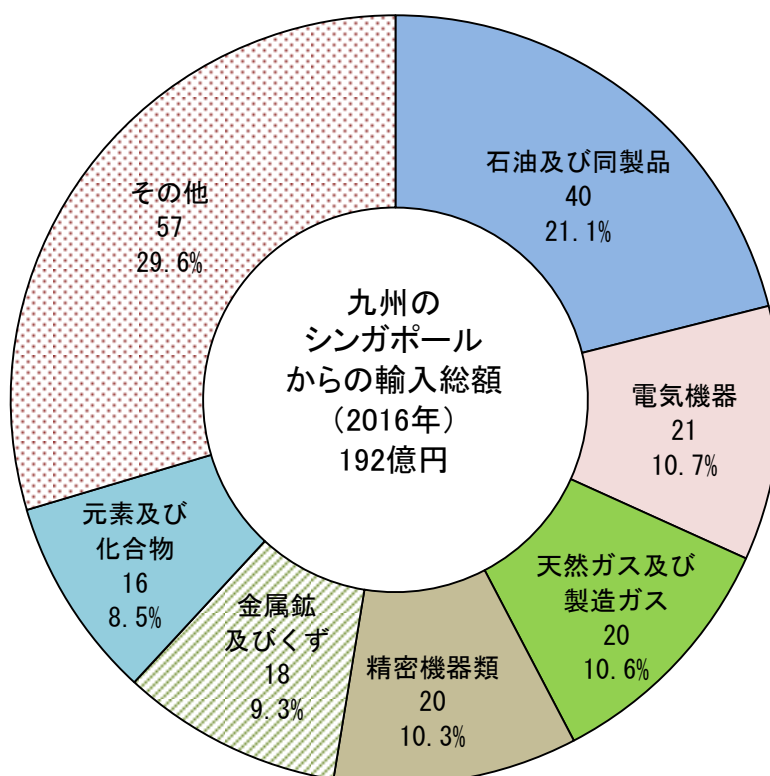
寄与度(減少分): 半導体等電子部品(▲7.9%)、構造物及び同建設材(▲4.2%)、
金(マネタリーゴールドを除く)(▲3.2%)等

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-9-7 九州のシンガポールからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



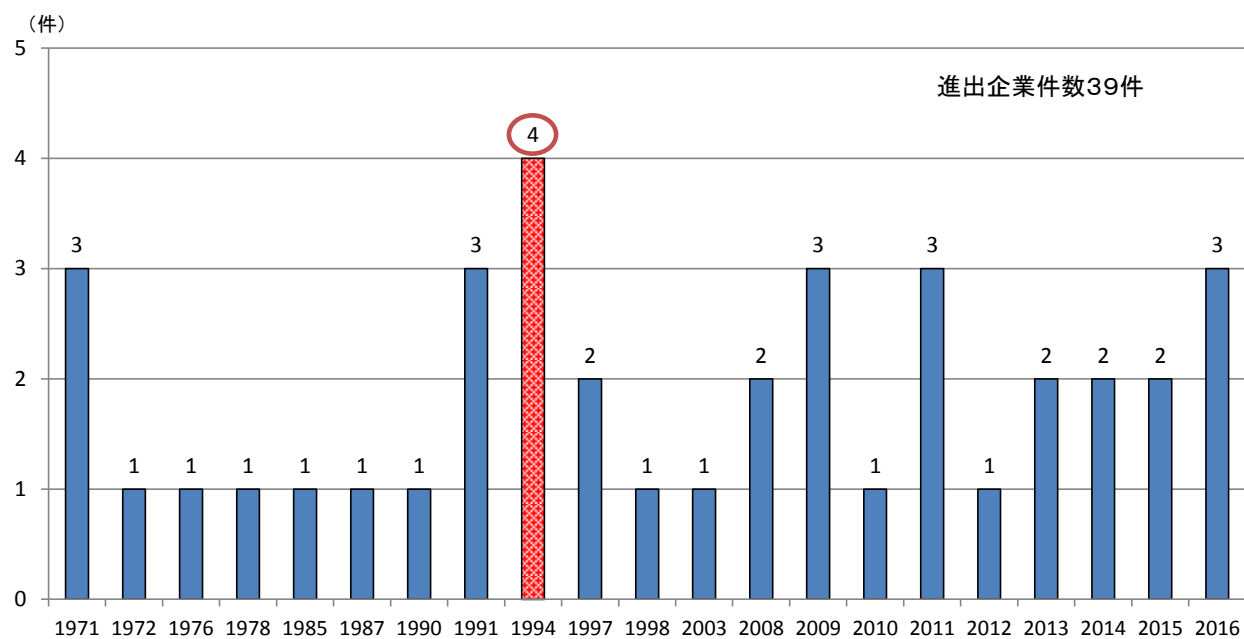
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油製品(重油等)	石油及び同製品	40	21.1%
石油ガス類(液化天然ガス)	天然ガス及び製造ガス	20	10.6%
科学光学機器	精密機器類	20	10.3%
有機化合物	元素及び化合物	16	8.4%
半導体等電子部品	電気機器	14	7.2%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	14	7.0%
合成ゴム	生ゴム	10	5.2%
合成樹脂	プラスチック	6	3.1%
半導体等製造装置	一般機械	3	1.8%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	3	1.4%
その他		46	24.0%
総 額		192	100%

寄与度（増加分）：石油ガス類（液化天然ガス）（+5.6%）等

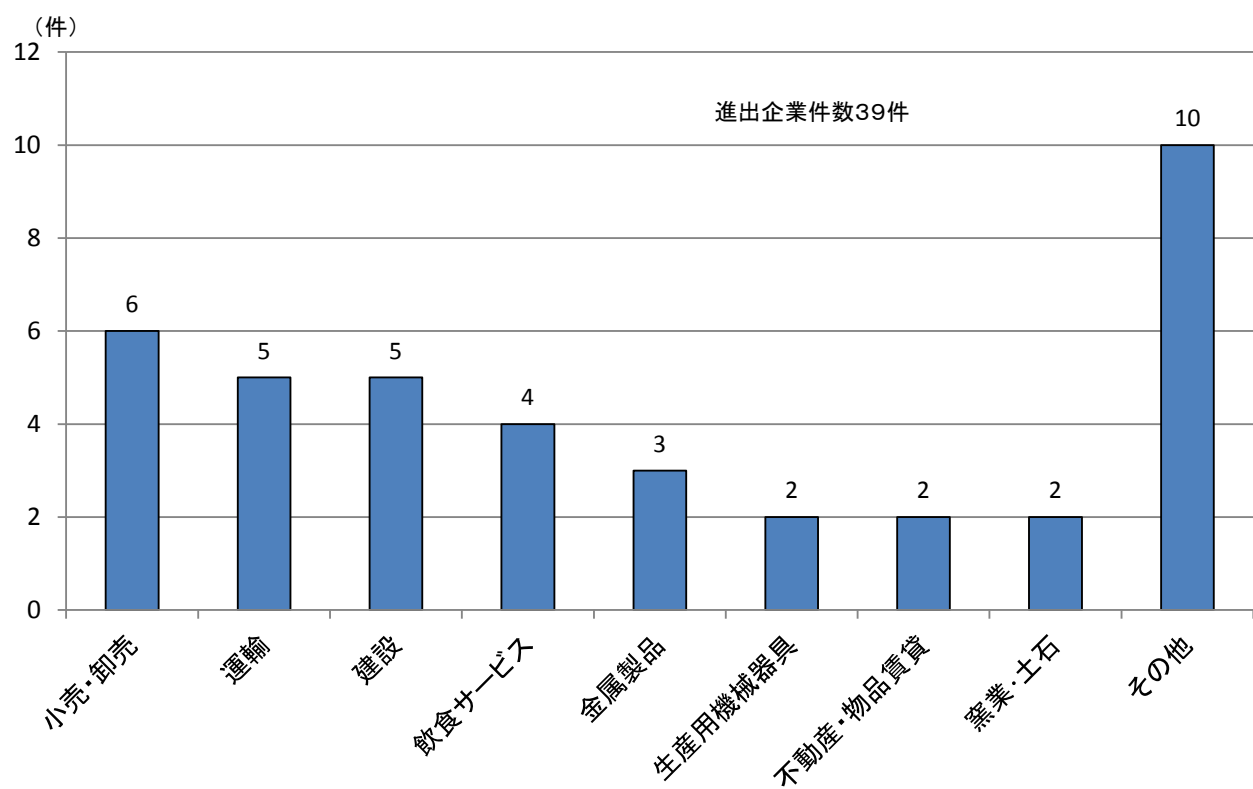
寄与度（減少分）：半導体等電子部品（▲8.9%）、石油製品（▲8.6%）、非鉄卑金属くず（▲6.3%）、半導体等製造装置（▲5.0%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-9-8 九州企業のシンガポールへの進出件数の推移



図表 2-9-9 シンガポールに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-9-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第 10 章 九州とマレーシアの経済関係

1. マレーシアの経済概況

国名	マレーシア
面積	約33万km ² (日本の約0.9倍)
人口	3,119万人(2015年マレーシア統計局)
首都	クアラルンプール
人種	マレー系(約67%)、中国系(約25%)、インド系(約7%) (注: マレー系には中国系及びインド系を除く他民族を含む)
言語	マレー語(国語)、中国語、タミール語、英語
宗教	イスラム教(連邦の宗教)61%、仏教20%、儒教・道教1.0%、ヒンドゥー教6.0%、キリスト教9.0%、その他
政体	立憲君主制(議会制民主主義)
主要産業	製造業(電気機器)、農林業(天然ゴム、パーム油、木材)及び鉱業(錫、原油、LNG)

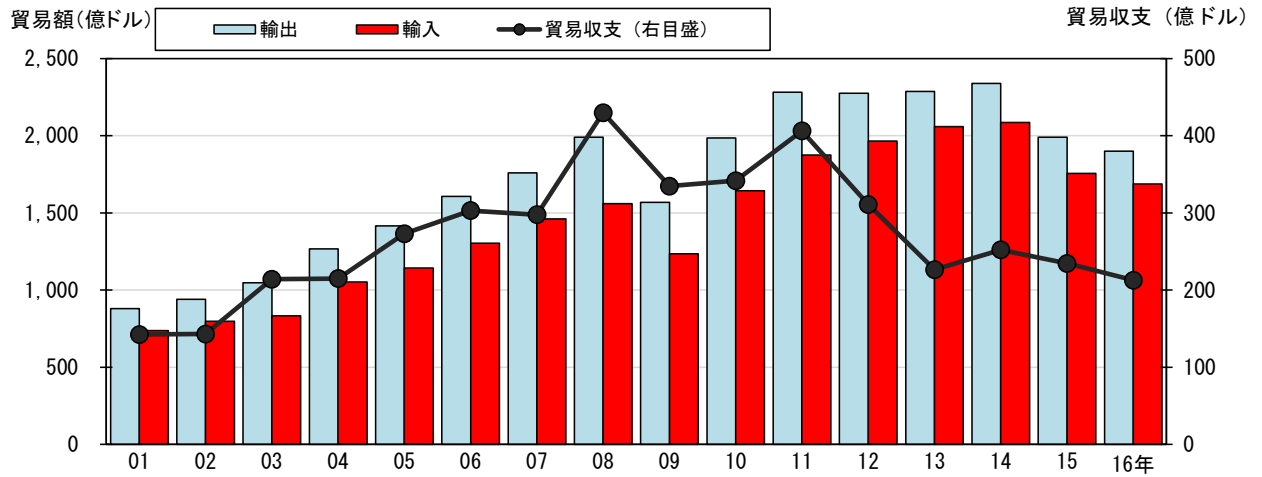
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-10-1 マレーシアのマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	5.5	4.7	6.0	5.0	4.2
名目GDP総額	十億ドル	314	323	338	296	297
一人当たりGDP(名目)	ドル	10,655	10,700	11,009	9,505	9,374
輸出額	億ドル	2,275	2,286	2,338	1,990	1,899
	前年比(%)	▲ 0.3	0.5	2.3	▲ 14.9	▲ 4.6
輸入額	億ドル	1,965	2,059	2,086	1,755	1,686
	前年比(%)	4.8	4.8	1.3	▲ 15.9	▲ 3.9
貿易収支	億ドル	311	226	252	234	213
対日貿易収支	億ドル	68	73	85	49	15
鉱工業生産指数	前年比(%)	4.2	3.4	5.2	4.7	3.8
失業率	(%)	2.9	3.3	2.9	3.2	3.5
消費者物価上昇率	前年比(%)	1.7	2.1	3.1	2.1	2.1
直接投資受入額	億ドル	92	121	109	111	99
為替レート(1ドル)	リンギ	3.09	3.15	3.27	3.91	4.15
為替レート(1リンギ)	円	25.83	30.97	32.37	27.43	26.16

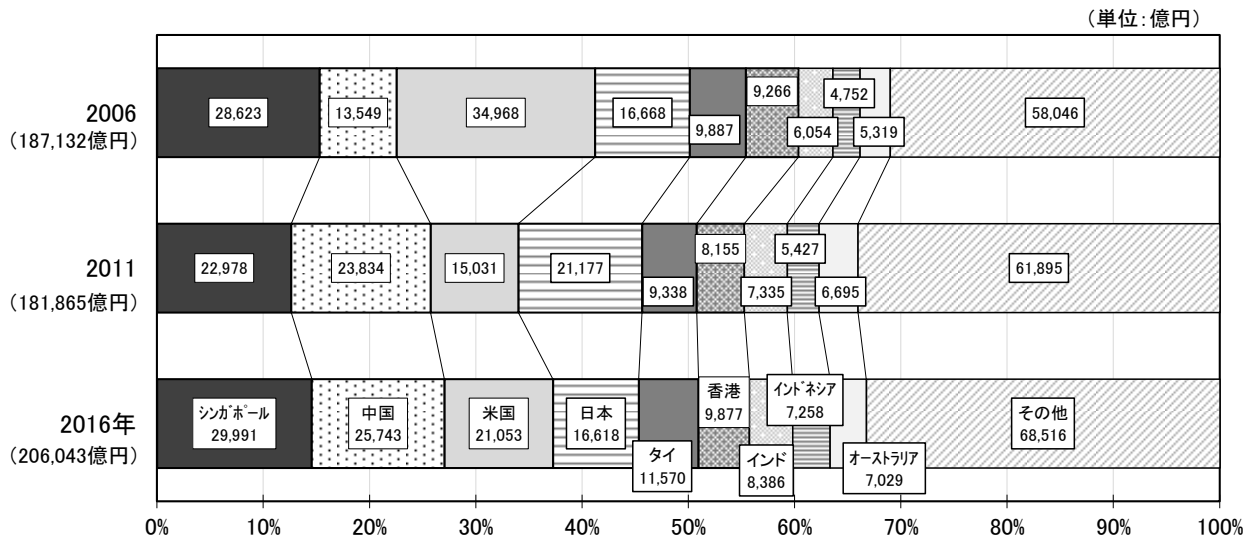
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*1はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)、*2はUNCTADstatより九州経済産業局作成。

図表 2-10-2 マレーシアの対外貿易額の推移

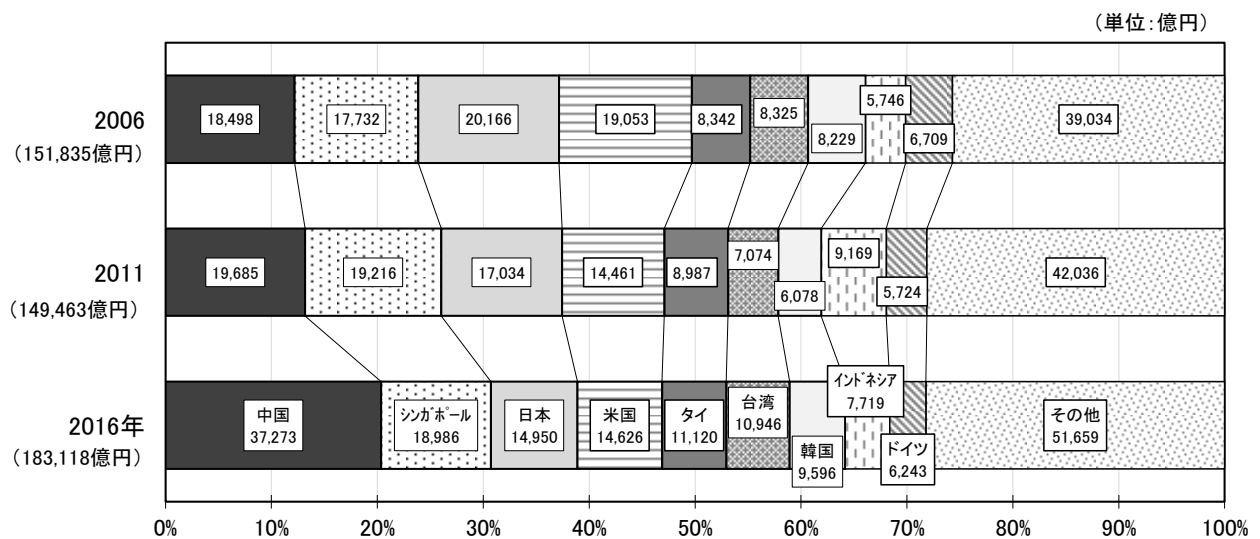


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成 29 年 10 月)」より九州経済産業局作成。

図表 2-10-3 マレーシアの輸出相手国・地域の推移



図表 2-10-4 マレーシアの輸入相手国・地域の推移

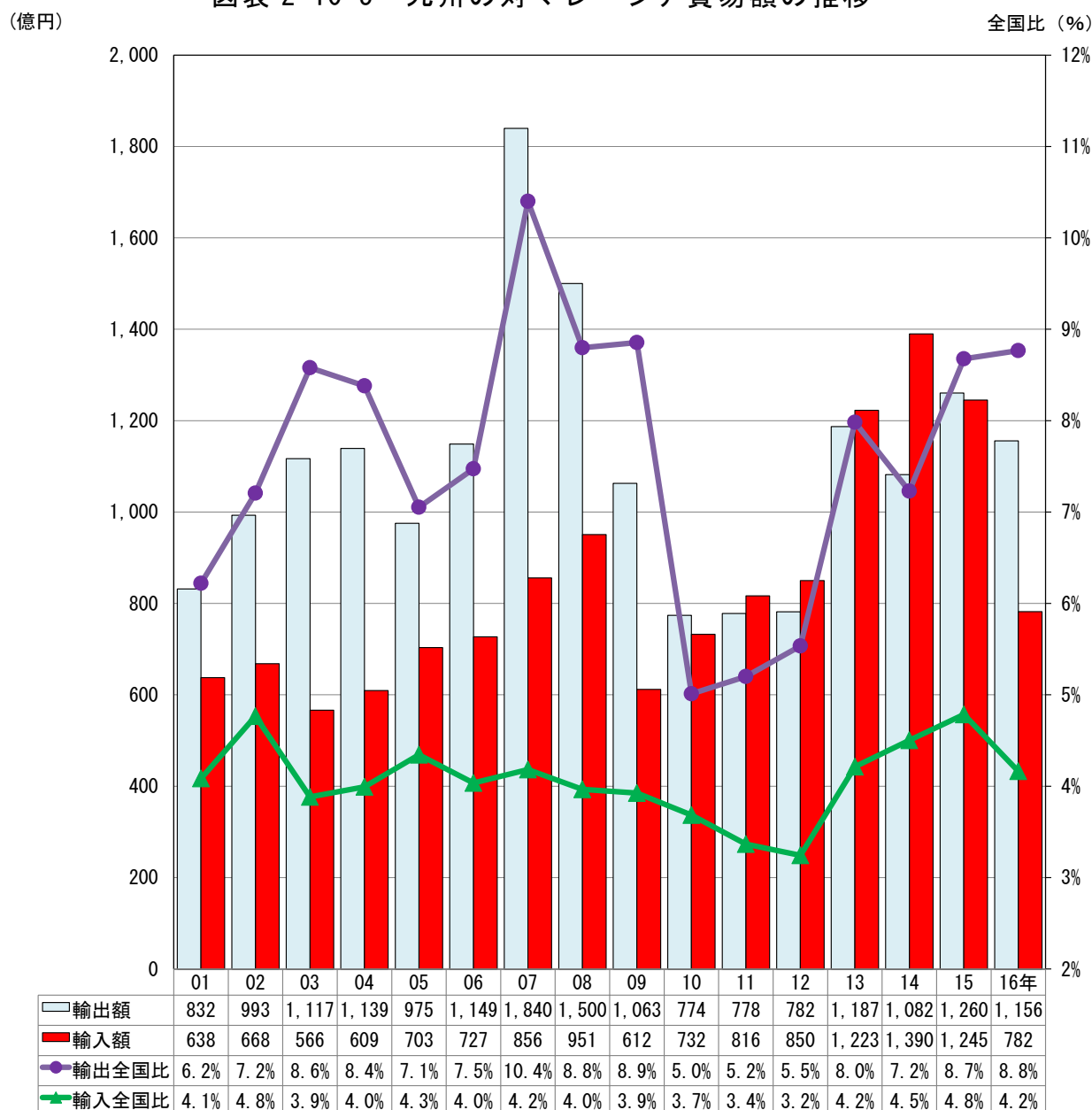


図表 2-10-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州とマレーシアの経済動向

- 2016年の九州の対マレーシア貿易額は、輸出が1,156億円（前年比8.3%減）と前年より減少した。輸入は782億円（前年比37.2%減）と2年連続で減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、金（マテリアル・ゴールドを除く）、半導体等電子部品、鉄鋼のフラットロール製品等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車の部分品（寄与度：+4.7%）、金（マテリアル・ゴールドを除く）（同+2.4%）、荷役機械（同+1.7%）となっている。一方、減少では、自動車（同▲9.1%）、半導体等電子部品（同▲5.6%）、アルミニウム及び同合金（同▲2.0%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油ガス類（液化天然ガス）、合板・ウッドパネル、科学光学機器等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、石油ガス類（液化天然ガス）（寄与度：▲22.5%）、石油製品（同▲8.0%）、半導体等電子部品（同▲2.5%）となっている。

図表 2-10-5 九州の対マレーシア貿易額の推移

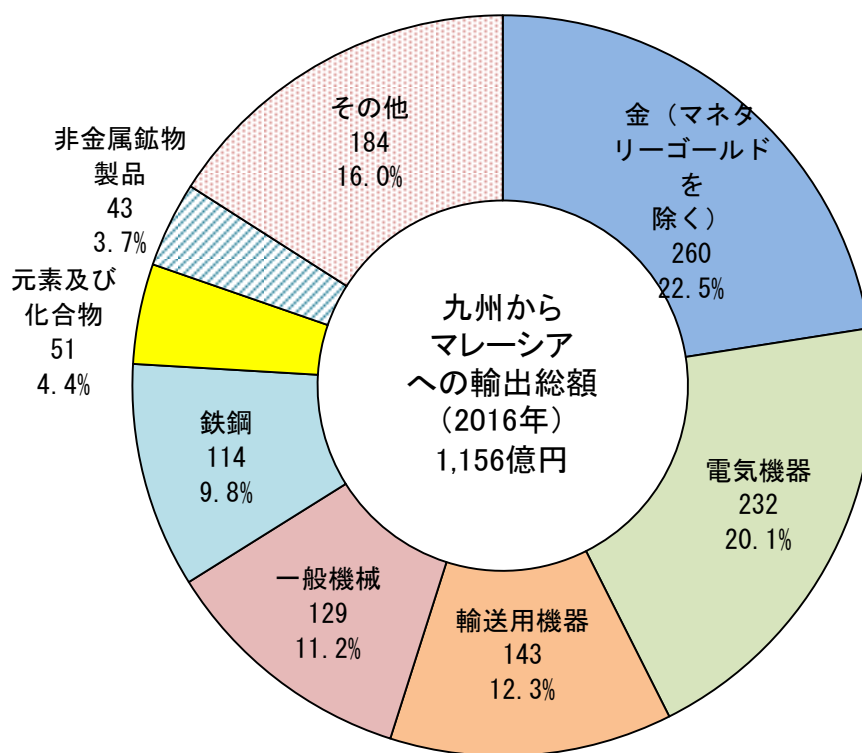


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-10-6 九州からマレーシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
金(マネタリーゴールドを除く)	金(マネタリーゴールドを除く)	260	22.5%
半導体等電子部品	電気機器	184	16.0%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	112	9.7%
自動車の部分品	輸送用機器	84	7.3%
荷役機械	一般機械	47	4.1%
自動車	輸送用機器	43	3.8%
ガラス及び同製品	非金属鉱物製品	40	3.5%
原動機	一般機械	35	3.0%
無機化合物	元素及び化合物	33	2.9%
塗料類	染料・なめし剤及び着色剤	23	2.0%
その他		292	25.3%
総 額		1,156	100.0%

寄与度(増加分)：自動車の部分品(+4.7%)、金(マネタリーゴールドを除く)(+2.4%)、荷役機械(+1.7%)等

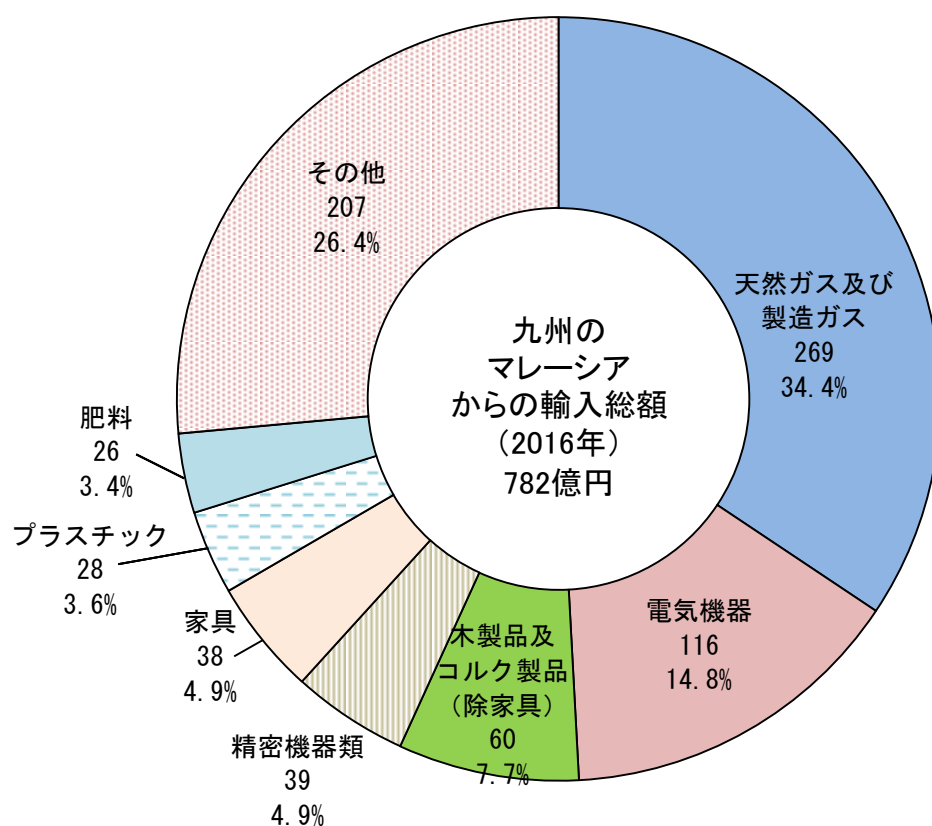
寄与度(減少分)：自動車(▲9.1%)、半導体等電子部品(▲5.6%)、アルミニウム及び同合金(▲2.0%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-10-7 九州のマレーシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

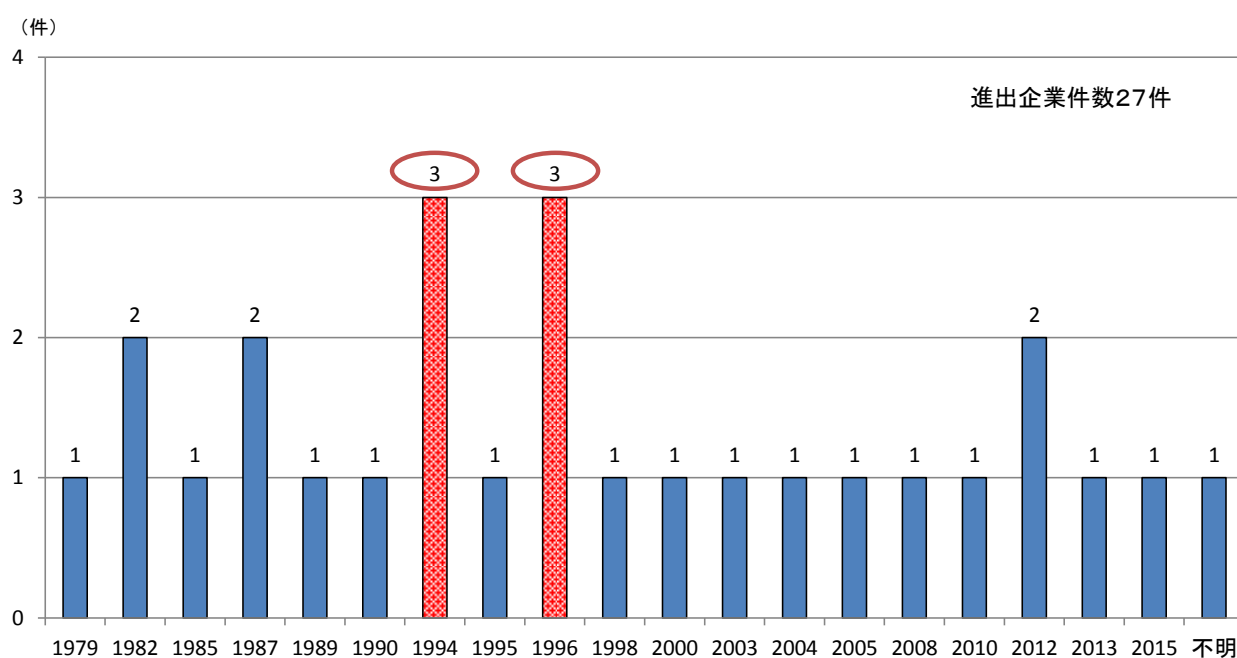


主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油ガス類(液化天然ガス)	天然ガス及び製造ガス	269	34.4%
合板・ウッドパネル	木製品及びコルク製品(除家具)	50	6.5%
科学光学機器	精密機器類	39	4.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	38	4.8%
半導体等電子部品	電気機器	27	3.4%
自動車の部分品	輸送用機器	24	3.0%
植物性原材料	その他の動植物性原材料	22	2.8%
通信機	電気機器	16	2.1%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	15	1.9%
ポリエチレン	プラスチック	14	1.8%
その他		268	34.3%
総 額		782	100.0%

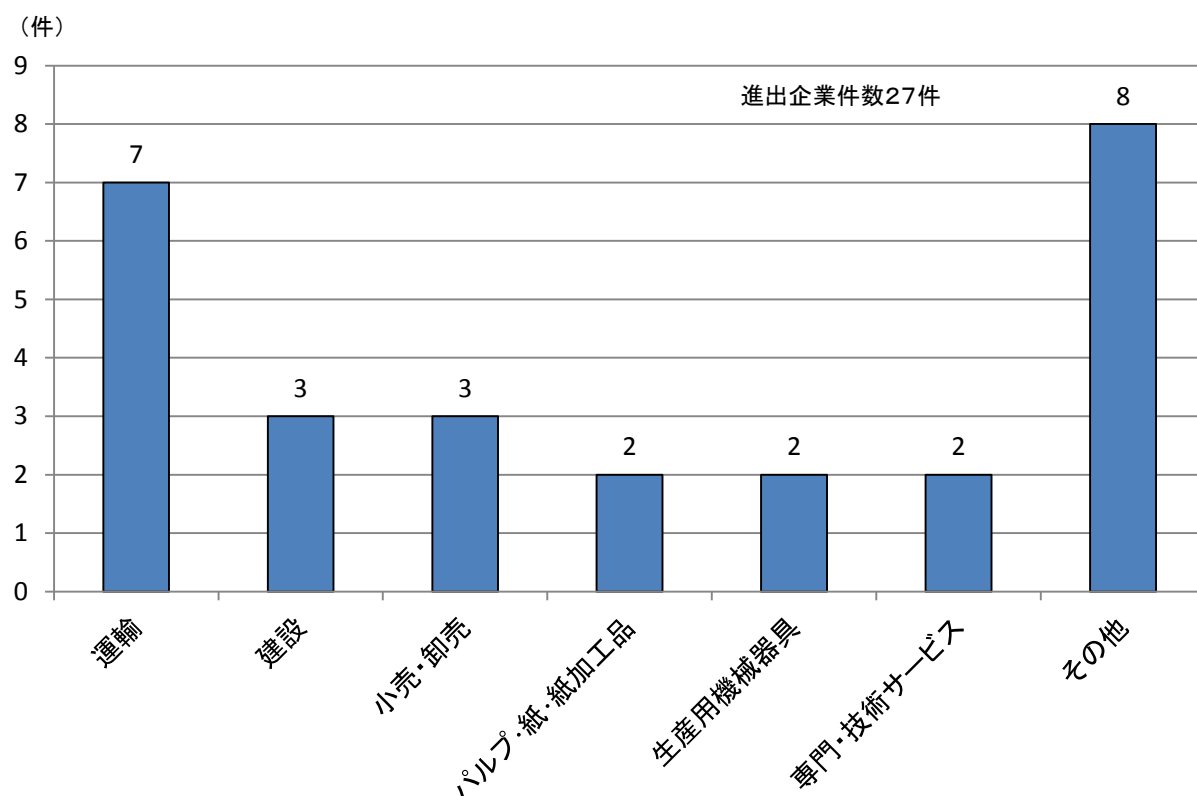
寄与度(減少分)：石油ガス類(液化天然ガス)(▲22.5%)、石油製品(▲8.0%)、半導体等電子部品(▲2.5%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-10-8 九州企業のマレーシアへの進出件数の推移



図表 2-10-9 マレーシアに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-10-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第 11 章 九州とフィリピンの経済関係

1. フィリピンの経済概況

国 名	フィリピン共和国
面 積	29万9,404km ² (日本の約8割)。7,109の島々がある。
人 口	約1億98万人(2015年フィリピン国勢調査)
首 都	マニラ(首都圏人口約1,288万人)(2015年フィリピン国勢調査)
人 種	マレー系が主体。ほかに中国系、スペイン系及びこれらとの混血並びに少数民族がいる。
言 語	国語はフィリピン語、公用語はフィリピン語及び英語。80前後の言語がある。
宗 教	ASEAN唯一のキリスト教国。国民の83%がカトリック、その他のキリスト教10%。イスラム教5%(ミンダナオではイスラム教徒が人口の2割以上)。
政 体	立憲共和制
主要産業	農林水産業(全就業人口の約27%が従事)(2016年1月) 近年、コールセンター事業等のビジネス・プロセス・アウトソーシング(BPO)産業を含めたサービス業が大きく成長(全就業人口の約56%が従事)(2016年1月)

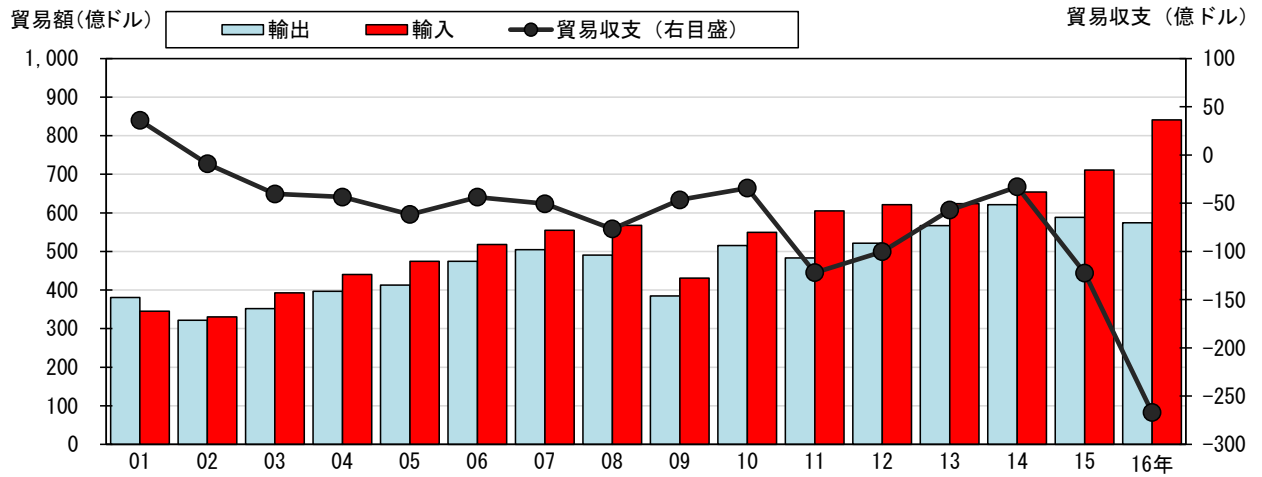
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-11-1 フィリピンのマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.7	7.1	6.1	6.1	6.9
名目GDP総額	十億ドル	250	272	285	293	305
一人当たりGDP(名目)	ドル	2,592	2,769	2,842	2,866	2,927
輸出額	億ドル	521	567	621	588	574
	前年比(%)	7.9	8.8	9.5	▲ 5.3	▲ 2.4
輸入額	億ドル	621	624	654	711	841
	前年比(%)	2.7	0.5	4.8	8.7	18.3
貿易収支	億ドル	▲ 100	▲ 57	▲ 33	▲ 122	▲ 267
対日貿易収支	億ドル	34	68	86	53	21 *
製造業生産指数	前年比(%)	7.1	5.4	6.2	▲ 4.4	6.4
失業率	(%)	7.0	7.0	7.2	6.6	6.1
消費者物価指数	前年比(%)	3.2	2.9	4.2	1.4	1.8
直接投資受入額	億ドル	69	65	42	54	46 *
為替レート(1ドル)	ペソ	42.23	42.45	44.40	45.50	47.49
為替レート(1ペソ)	円	1.89	2.30	2.39	2.35	2.29

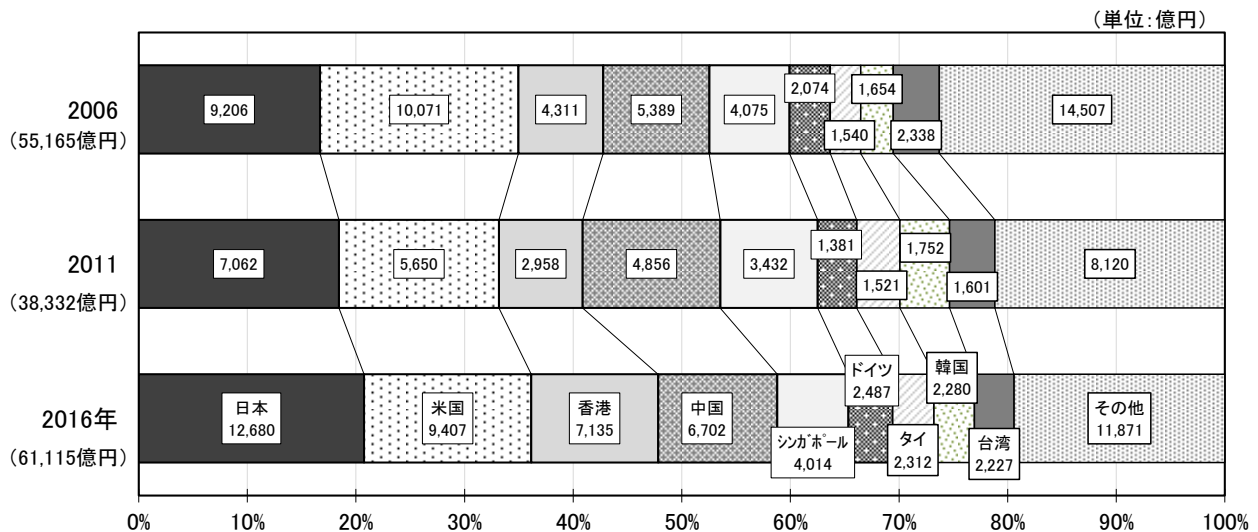
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-11-2 フィリピンの対外貿易額の推移

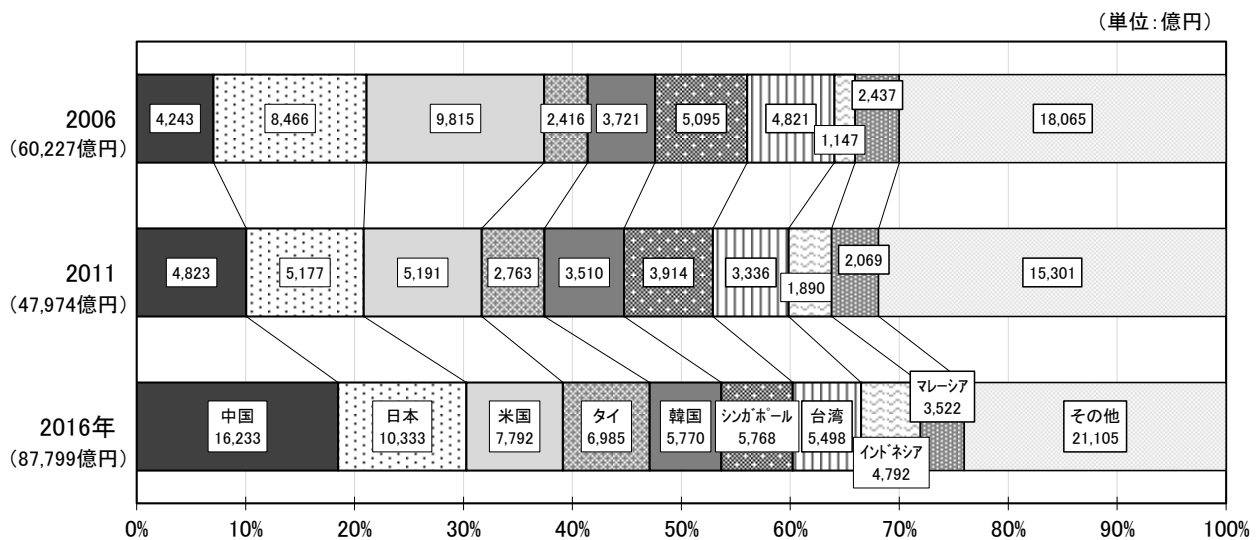


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成 29 年 10 月)」より九州経済産業局作成。

図表 2-11-3 フィリピンの輸出相手国・地域の推移



図表 2-11-4 フィリピンの輸入相手国・地域の推移

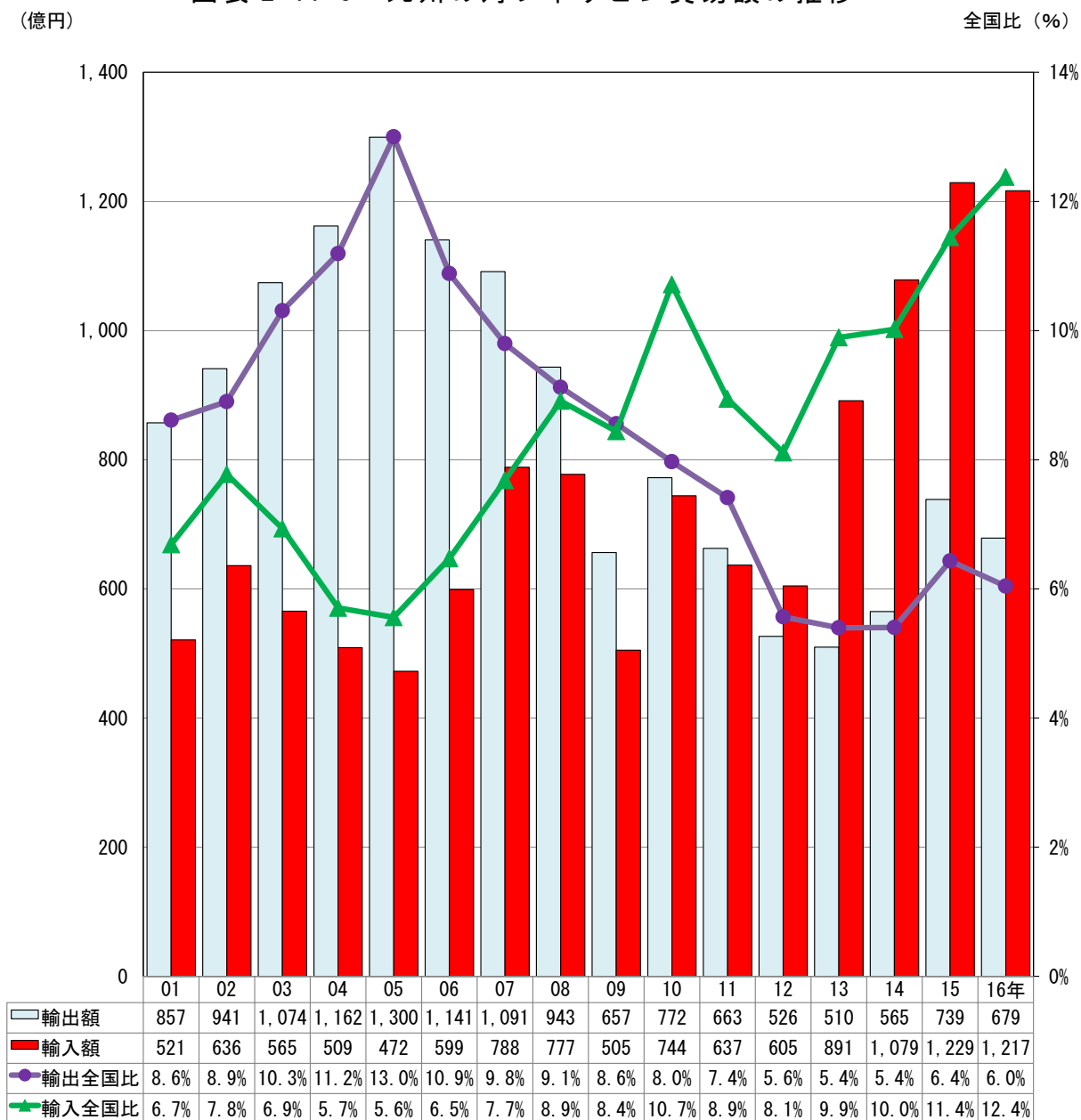


図表 2-11-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州とフィリピンの経済動向

- 2016年の九州の対フィリピン貿易額は、輸出が679億円（前年比8.1%減）、輸入が1,217億円（前年比1.0%減）と、輸出入とも前年より減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、鉄鋼のフラットロール製品、船舶類等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、原動機（寄与度：+3.7%）、自動車（同+2.6%）、セメント（同+1.5%）となっている。一方、減少では、鉄鋼のフラットロール製品（同▲8.2%）、船舶類（同▲4.5%）、半導体等電子部品（同▲1.0%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、絶縁電線及び絶縁ケーブル、非鉄金属鉱（銅鉱）、果実（バナナ等）等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、音響・映像機器（含部品）（寄与度：+4.0%）、絶縁電線及び絶縁ケーブル（同+2.7%）、電気回路等の機器（同+1.1%）となっている。一方、減少では、非鉄金属鉱（銅鉱）（同▲5.9%）、半導体等電子部品（同▲3.4%）、重電機器（同▲1.1%）となっている。

図表 2-11-5 九州の対フィリピン貿易額の推移

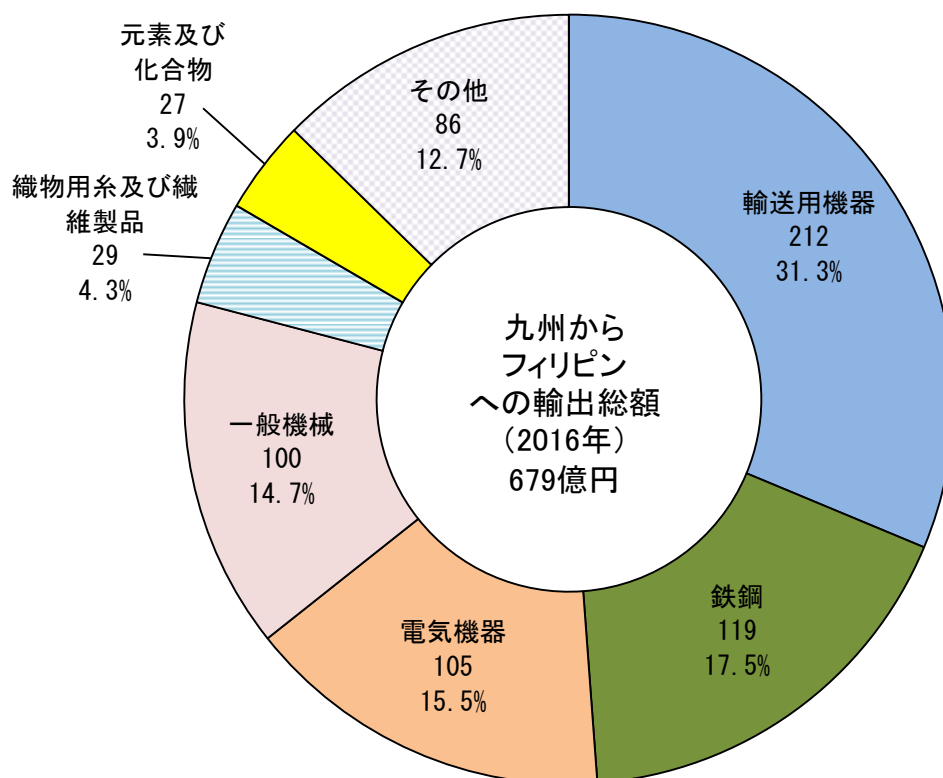


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-11-6 九州からフィリピンへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	142	20.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	118	17.5%
船舶類	輸送用機器	58	8.5%
半導体等電子部品	電気機器	43	6.3%
原動機	一般機械	31	4.5%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	27	4.0%
事務用機器	一般機械	27	3.9%
有機化合物	元素及び化合物	24	3.5%
セメント	非金属鉱物製品	20	3.0%
建設用・鉱山用機械	一般機械	14	2.1%
その他		175	25.8%
総 額		679	100.0%

寄与度（増加分）：原動機（+3.7%）、自動車（+2.6%）、セメント（+1.5%）等

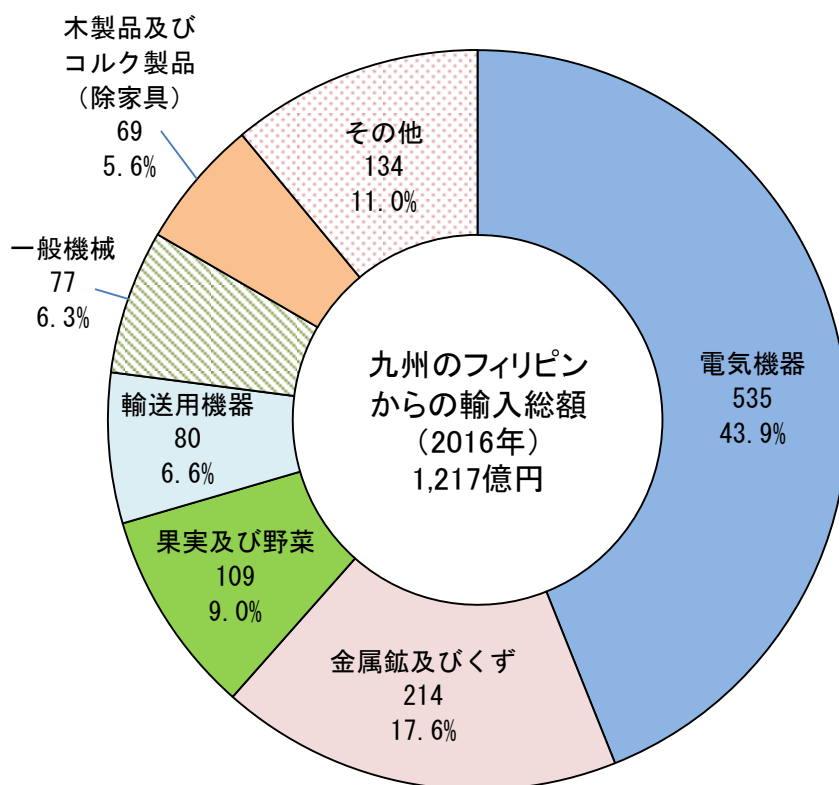
寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲8.2%）、船舶類（▲4.5%）、半導体等電子部品（▲1.0%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-11-7 九州のフィリピンからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



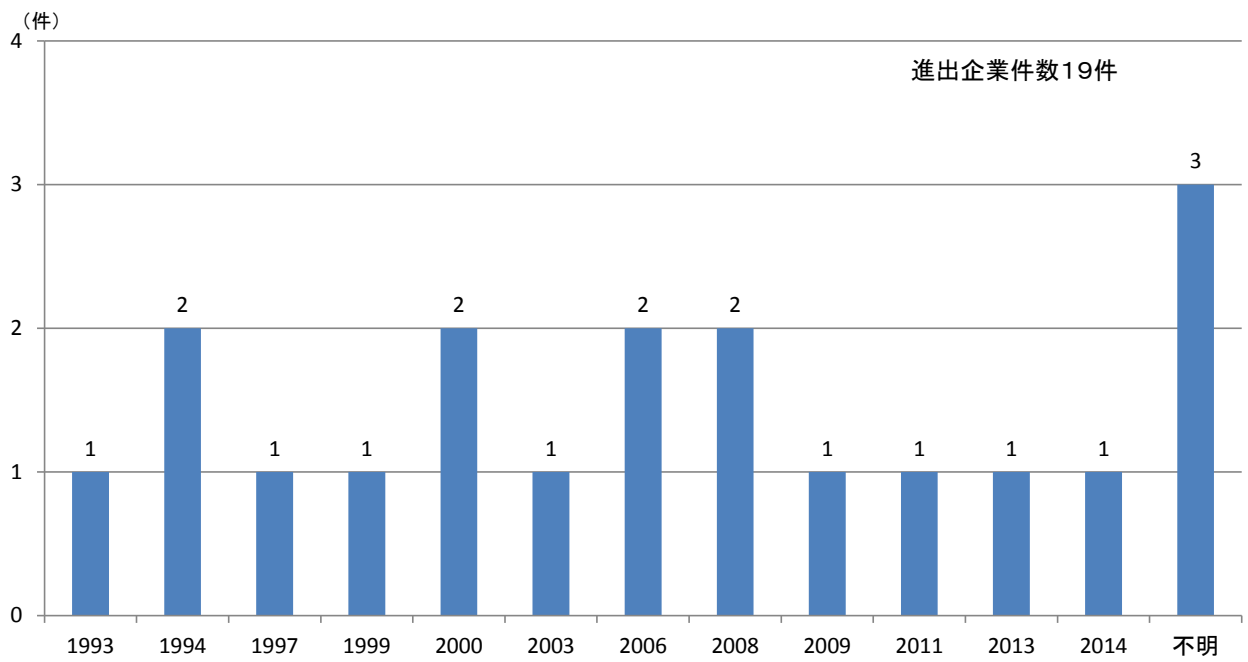
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	311	25.5%
非鉄金属鉱(銅鉱)	金属鉱及びくず	184	15.1%
果実(バナナ等)	果実及び野菜	109	9.0%
自動車の部分品	輸送用機器	74	6.0%
重電機器	電気機器	66	5.4%
建築用木工品及び木製建具	木製品及びコルク製品(除家具)	66	5.4%
半導体等電子部品	電気機器	60	4.9%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	56	4.6%
事務用機器	一般機械	46	3.8%
非鉄卑金属くず	金属鉱及びくず	28	2.3%
その他		218	17.9%
総 額		1,217	100.0%

寄与度(増加分)：音響・映像機器(含部品)(+4.0%)、絶縁電線及び絶縁ケーブル(+2.7%)、電気回路等の機器(+1.1%)等

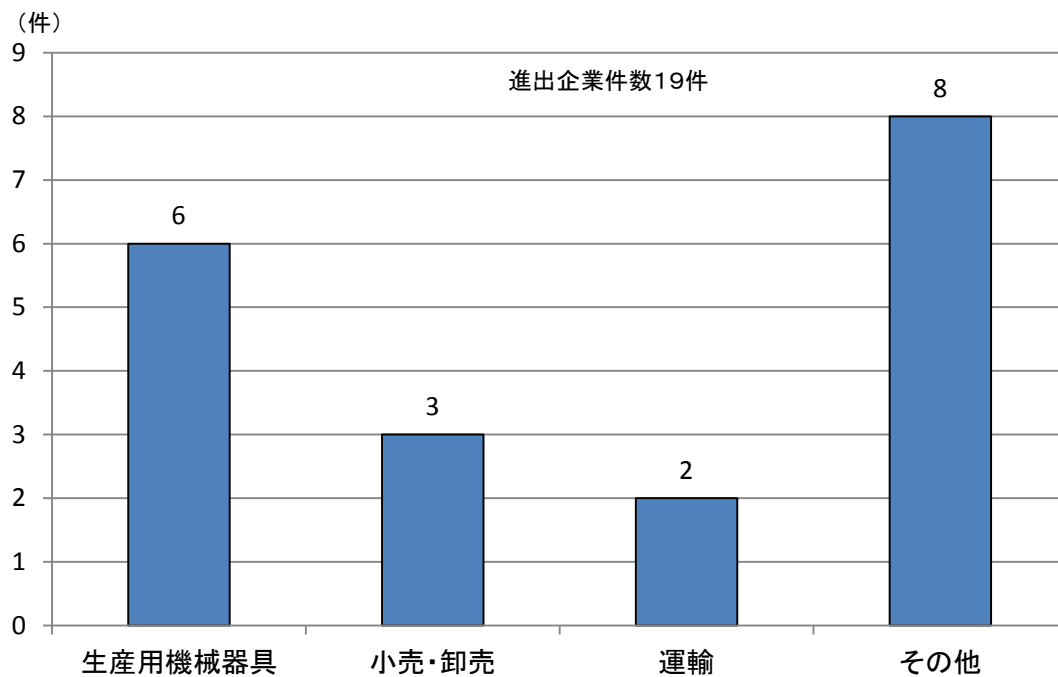
寄与度(減少分)：非鉄金属鉱(銅鉱)(▲5.9%)、半導体等電子部品(▲3.4%)、重電機器(▲1.1%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-11-8 九州企業のフィリピンへの進出件数の推移



図表 2-11-9 フィリピンに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-11-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第 12 章 九州とインドネシアの経済関係

1. インドネシアの経済概況

国 名	インドネシア共和国
面 積	約189万km ² (日本の約5倍)
人 口	約2.55億人(2015年、インドネシア政府統計)
首 都	ジャカルタ(人口1,017万人:2015年、インドネシア政府統計)
人 種	大半がマレー系(ジャワ、スンダ等約300種族)
言 語	インドネシア語
宗 教	イスラム教 87.21%、キリスト教 9.87%(プロテスタント 6.96%、カトリック 2.91%)、 ヒンズー教 1.69%、仏教 0.72%、儒教 0.05%、その他 0.50%(2013年、宗教省統計)
政 体	大統領制、共和制
主要産業	製造業(20.51%):輸送機器(二輪車など)、飲食品など 農林水産業(13.45%):パーム油、ゴム、米、ココア、キャッサバ、コーヒー豆など 商業・ホテル・飲食業(16.11%)、鉱業(7.20%):LNG、石炭、錫、石油など 建設(10.38%)、運輸・通信(8.84%)、金融・保険(4.20%) 行政サービス・軍事・社会保障(3.86%) (カッコ内は2016年における名目GDP構成比)(インドネシア政府統計)

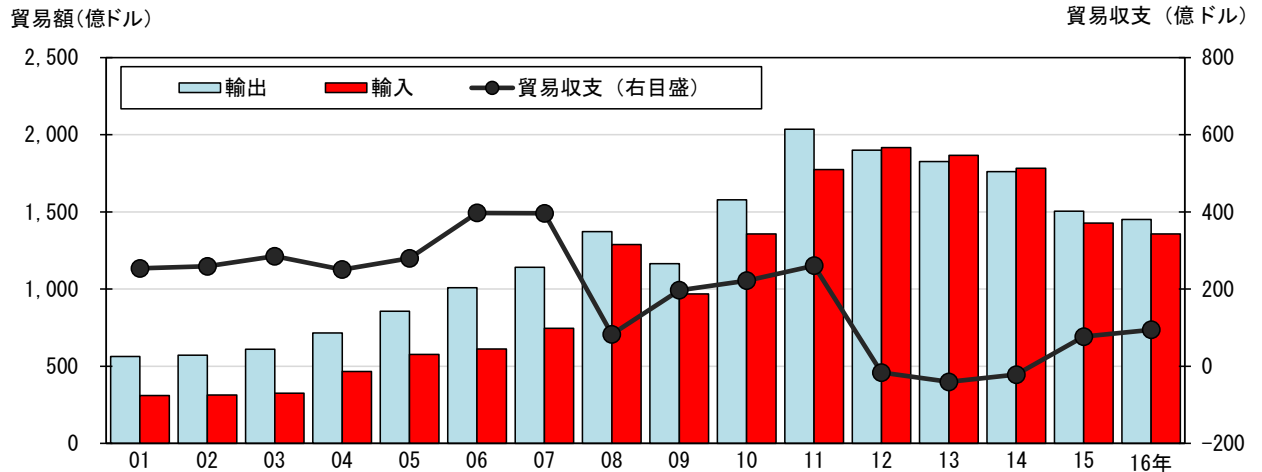
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-12-1 インドネシアのマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	6.0	5.6	5.0	4.9	5.0
名目GDP総額	十億ドル	919	917	891	861	932
一人当たりGDP(名目)	ドル	3,745	3,684	3,532	3,371	3,604
輸出額	億ドル	1,900	1,826	1,760	1,504	1,451
	前年比(%)	▲ 6.6	▲ 3.9	▲ 3.6	▲ 14.6	▲ 3.5
輸入額	億ドル	1,917	1,866	1,782	1,427	1,357
	前年比(%)	8.0	▲ 2.6	▲ 4.5	▲ 19.9	▲ 4.9
貿易収支	億ドル	▲ 17	▲ 41	▲ 22	77	94
対日貿易収支	億ドル	74	78	61	48	31 *
製造業生産指数	前年比(%)	3.5	6.6	4.8	4.8	4.0
失業率	(%)	6.1	6.3	5.9	6.2	5.6
消費者物価指数	前年比(%)	4.0	6.4	6.4	6.4	3.5
直接投資受入額	億ドル	246	286	285	293	290 *
為替レート(1ドル)	ルピア	9,386.63	10,461.24	11,865.21	13,389.41	13,308.33
為替レート(1ルピア)	円	0.009	0.009	0.009	0.008	0.008

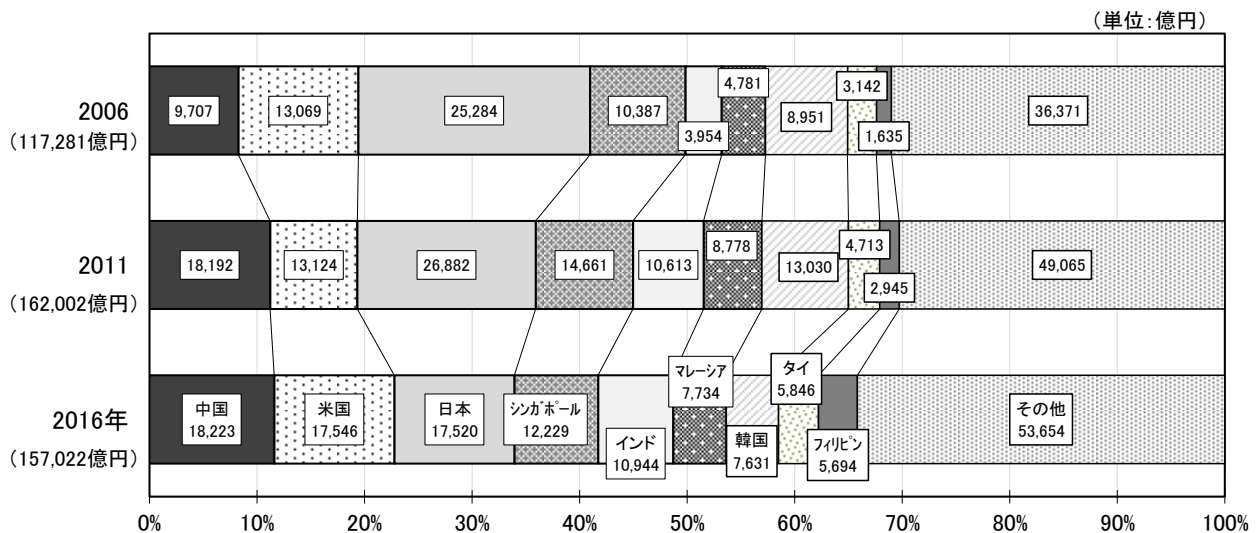
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-12-2 インドネシアの対外貿易額の推移

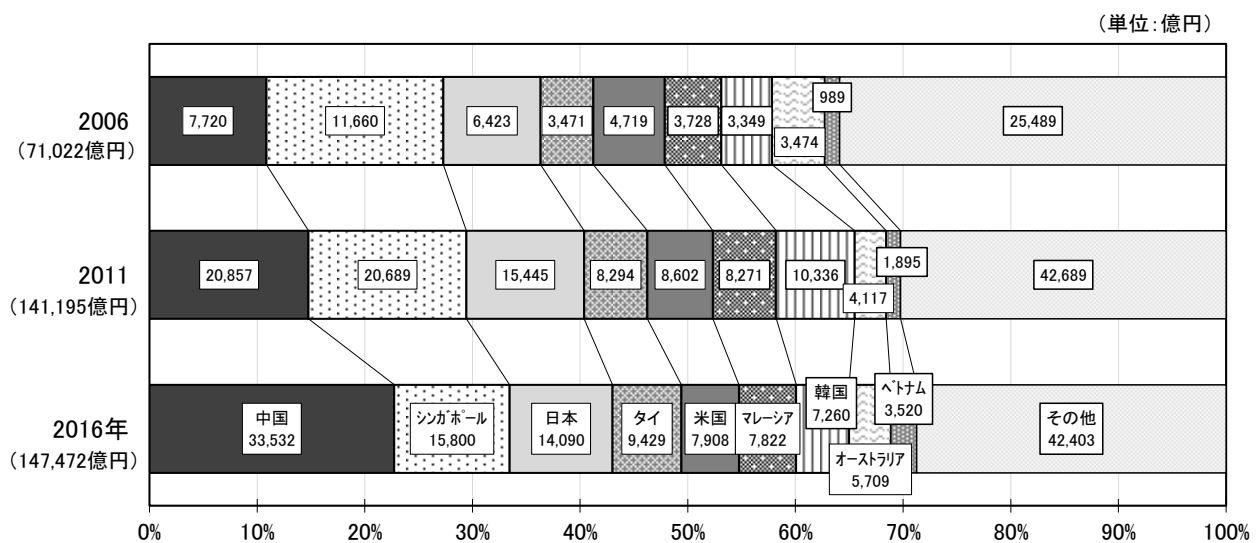


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-（平成 29 年 10 月）」より九州経済産業局作成。

図表 2-12-3 インドネシアの輸出相手国・地域の推移



図表 2-12-4 インドネシアの輸入相手国・地域の推移

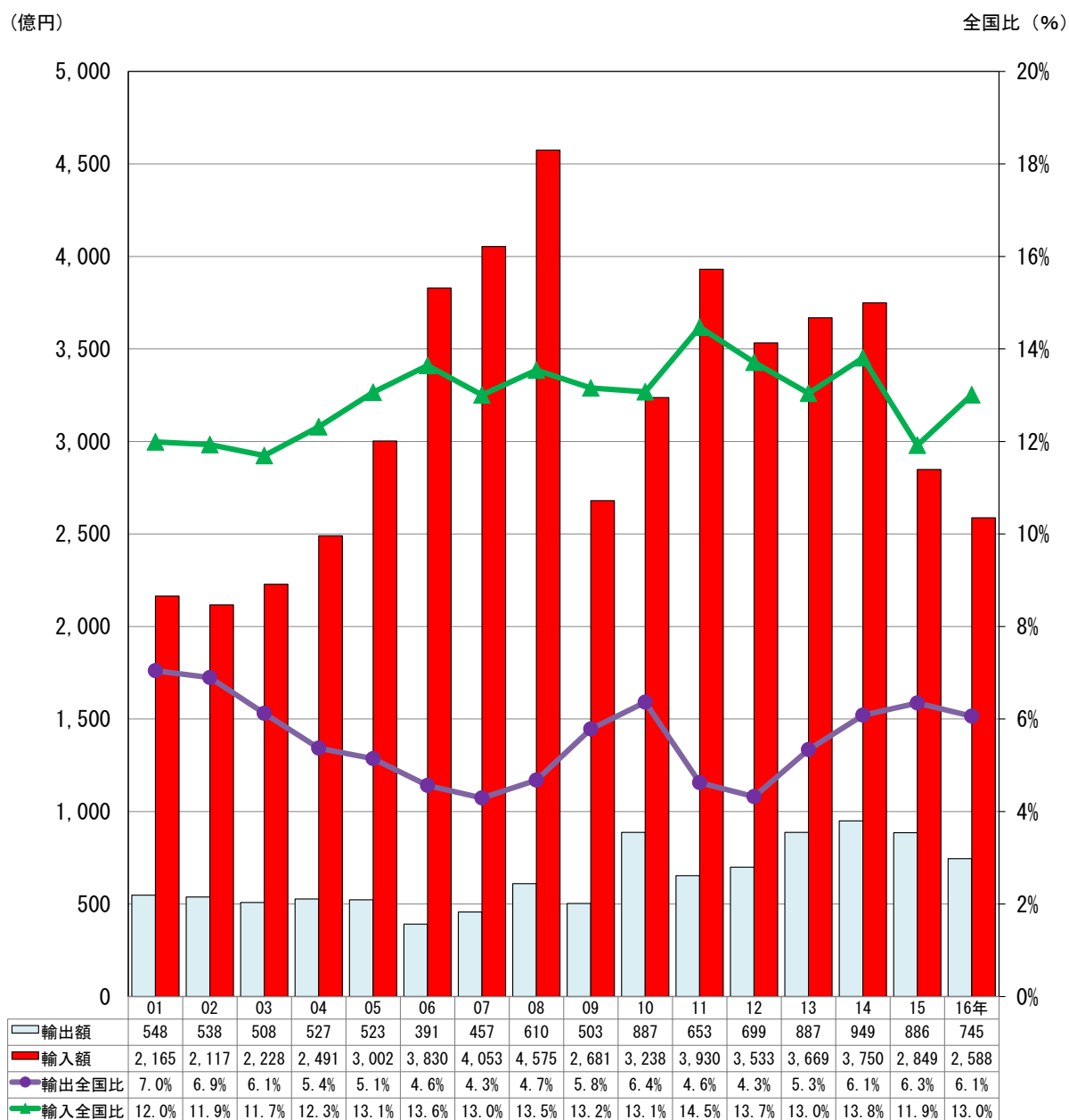


図表 2-12-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州とインドネシアの経済動向

- 2016年の九州の対インドネシア貿易額は、輸出が745億円（前年比15.8%減）、輸入が2,588億円（前年比9.2%減）と、輸出入とも2年連続で減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、ゴムタイヤ及びチューブ、荷役機械等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、加熱用・冷却用機器（寄与度：+2.4%）となっている。一方、減少では、自動車（同▲6.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（同▲3.0%）、軌条及びその他の鉄道線路建設材（同▲2.7%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油ガス類（液化天然ガス）、非鉄金属鉱（銅鉱）、石炭等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、非鉄金属鉱（銅鉱）（寄与度：+7.4%）となっている。一方、減少では、原油及び粗油（同▲10.4%）、石炭（同▲3.0%）、天然ゴム（同▲1.9%）となっている。

図表 2-12-5 九州の対インドネシア貿易額の推移

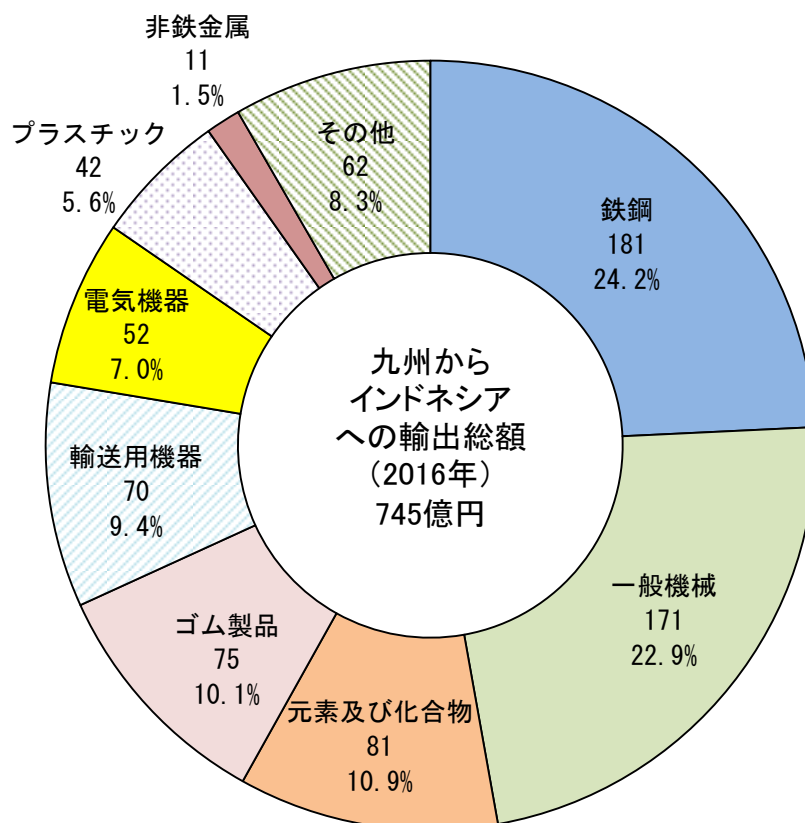


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-12-6 九州からインドネシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	123	16.5%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	73	9.8%
荷役機械	一般機械	63	8.4%
有機化合物	元素及び化合物	55	7.4%
鉄鋼の棒・形鋼及び線	鉄鋼	52	7.0%
自動車	輸送用機器	39	5.2%
原動機	一般機械	36	4.8%
船舶類	輸送用機器	28	3.7%
無機化合物	元素及び化合物	26	3.5%
加熱用・冷却用機器	一般機械	24	3.2%
その他		227	30.5%
総 額		745	100.0%

寄与度（増加分）：加熱用・冷却用機器（+2.4%）等

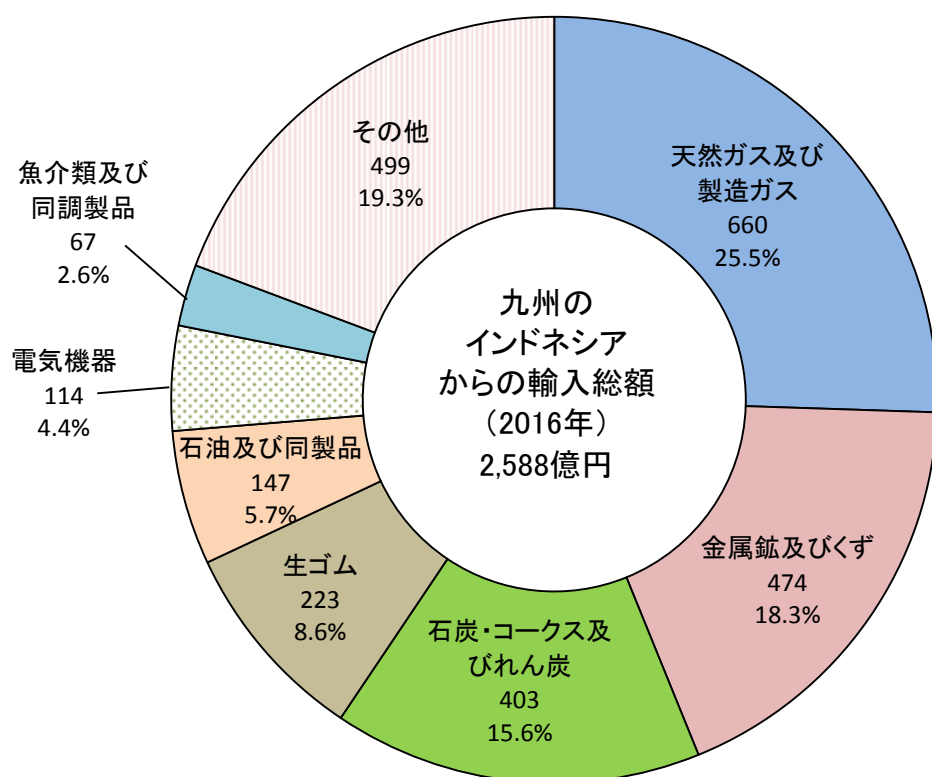
寄与度（減少分）：自動車（▲6.7%）、ゴムタイヤ及びチューブ（▲3.0%）、
軌条及びその他の鉄道線路建設材（▲2.7%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-12-7 九州のインドネシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



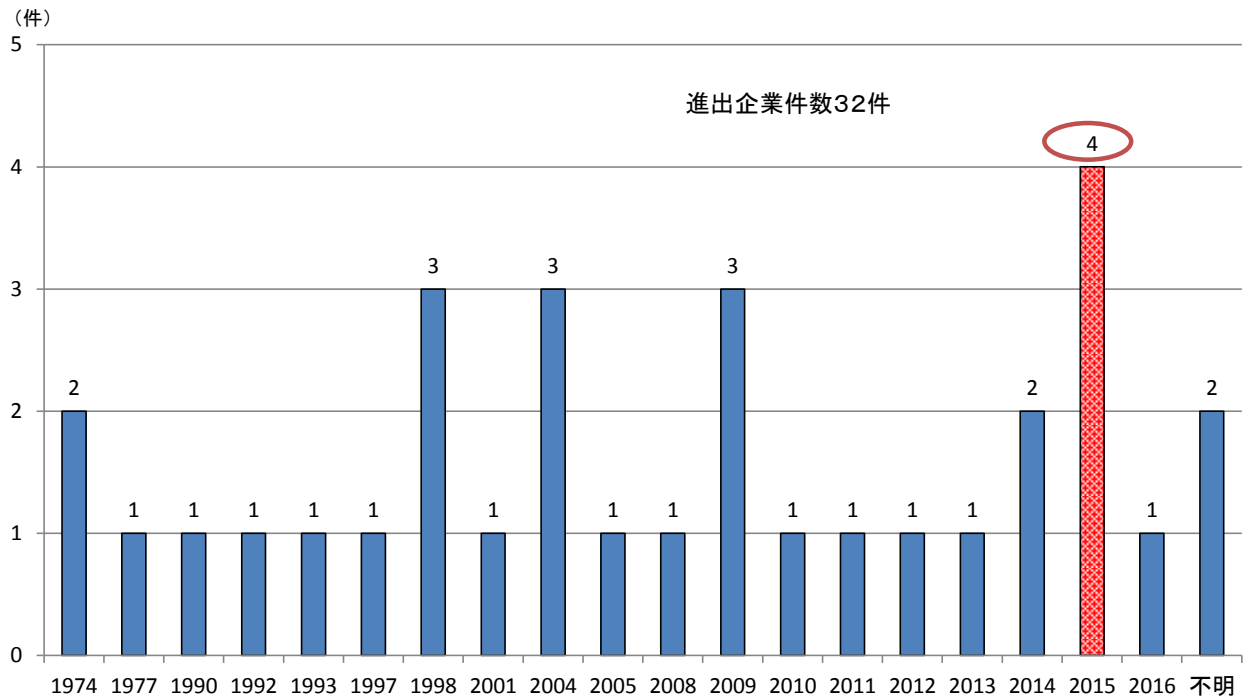
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油ガス類(液化天然ガス)	天然ガス及び製造ガス	660	25.5%
非鉄金属鉱(銅鉱)	金属鉱及びくず	471	18.2%
石炭	石炭・コークス及びれん炭	403	15.6%
天然ゴム	生ゴム	223	8.6%
原油及び粗油	石油及び同製品	123	4.8%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	73	2.8%
自動車の部分品	輸送用機器	65	2.5%
すず及び同合金	非鉄金属	49	1.9%
魚介類(生鮮・冷凍)	魚介類及び同調製品	47	1.8%
紙及び板紙	紙類及び同製品	44	1.7%
その他		429	16.6%
総 額		2,588	100.0%

寄与度(増加分)：非鉄金属鉱(+7.4%)等

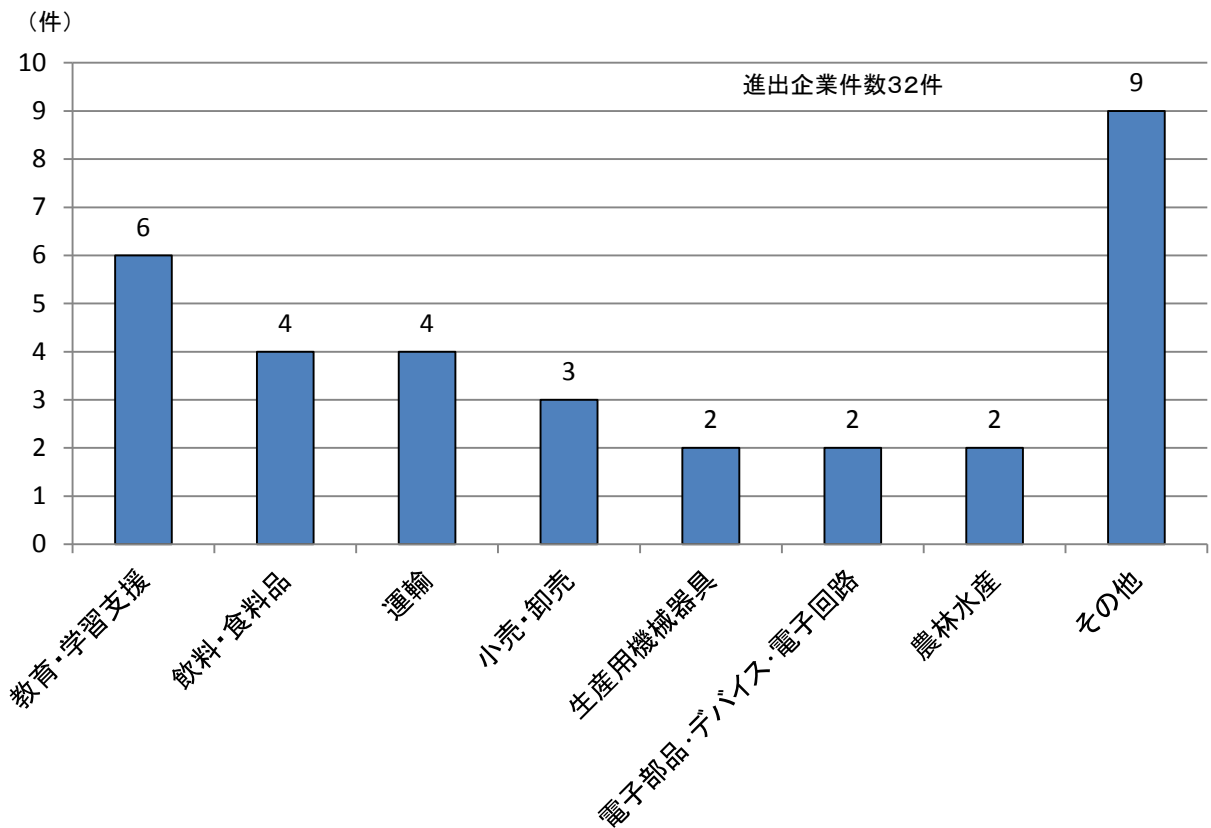
寄与度(減少分)：原油及び粗油(▲10.4%)、石炭(▲3.0%)、天然ゴム(▲1.9%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-12-8 九州企業のインドネシアへの進出件数の推移



図表 2-12-9 インドネシアに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-12-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第 13 章 九州とミャンマーの経済関係

1. ミャンマーの経済概況

国 名	ミャンマー連邦共和国
面 積	約68万km ² (日本の約1.8倍)
人 口	5,141万人(2014年9月(ミャンマー入国管理・人口省発表))
首 都	ネーピードー
人 種	ビルマ族(約70%)、その他多くの少数民族
言 語	ミャンマー語
宗 教	仏教(90%)、キリスト教、イスラム教等
政 体	大統領制、共和制
主要産業	農業

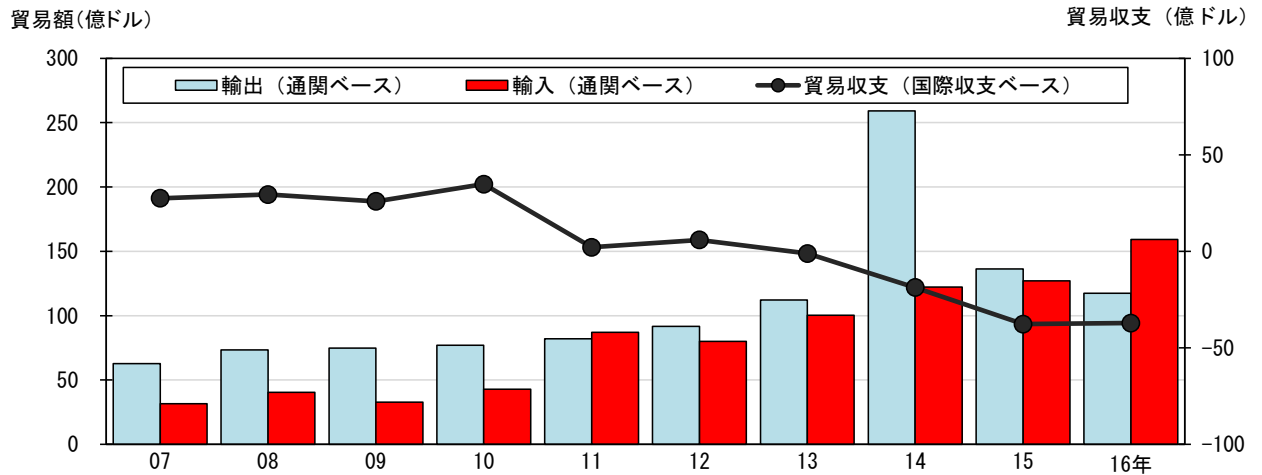
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-13-1 ミャンマーのマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	7.3	8.4	8.0	7.3	6.3
名目GDP総額	10億ドル	59.7	60.1	65.6	59.5	66.3
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,182	1,180	1,275	1,148	1,269
輸出額(通関ベース)	億ドル	92	112	259	136	117
	前年比(%)	11.6	22.5	130.8	▲ 47.4	▲ 13.9
輸入額(通関ベース)	億ドル	80	100	122	127	159
	前年比(%)	▲ 8.1	25.4	21.8	4.0	25.2
貿易収支(国際収支ベース)	億ドル	6	▲ 1	▲ 19	▲ 38	▲ 37
対日貿易収支	百万ドル	▲ 512	▲ 208	▲ 251	▲ 168	▲ 591
失業率	(%)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0
消費者物価上昇率	(%)	1.5	5.5	5.5	9.5	7.0
直接投資受入額	億ドル	11.28	31.67	43.42	77.76	111.18
為替レート(1ドル)	チャット	640.65	933.57	984.35	1162.62	1234.87

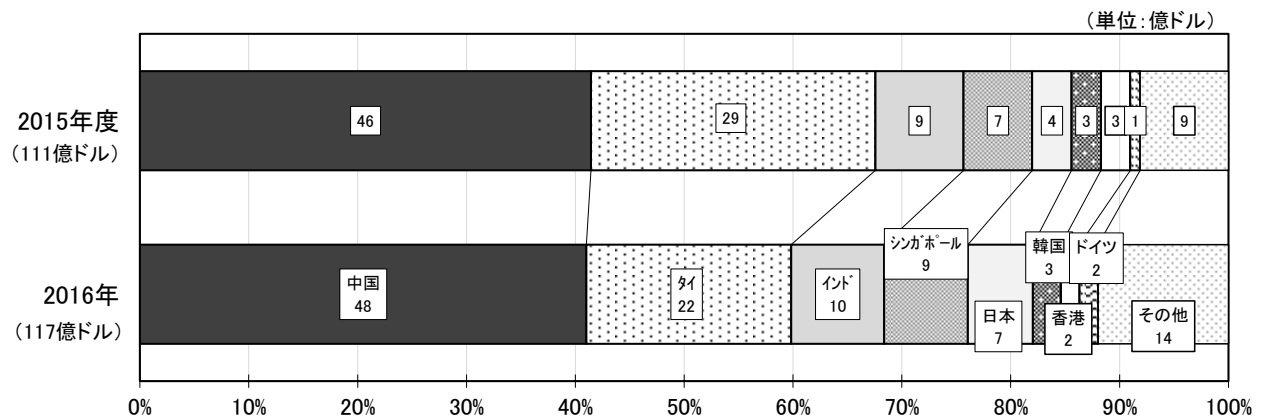
出所：ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-13-2 ミャンマーの対外貿易額の推移

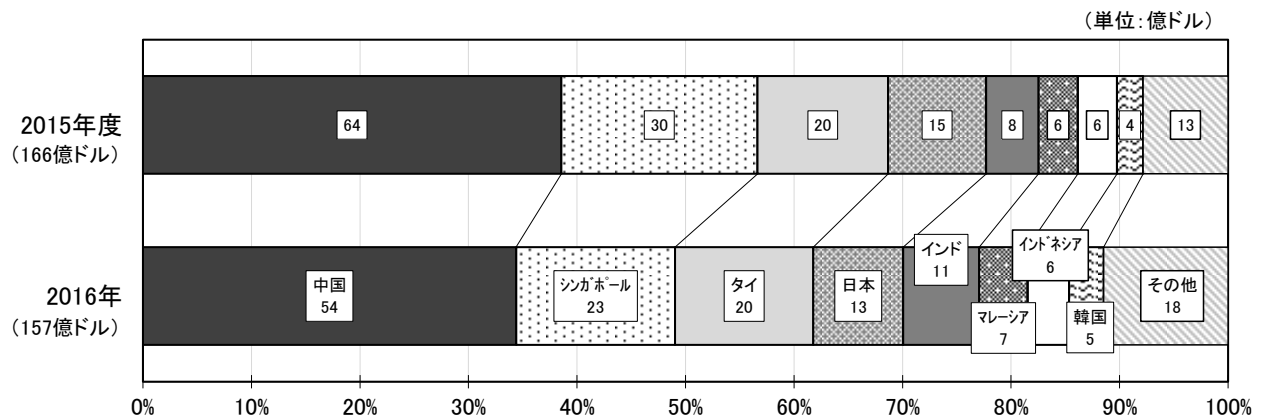


出所：ジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）より九州経済産業局作成。

図表 2-13-3 ミャンマーの輸出相手国・地域の推移



図表 2-13-4 ミャンマーの輸入相手国・地域の推移



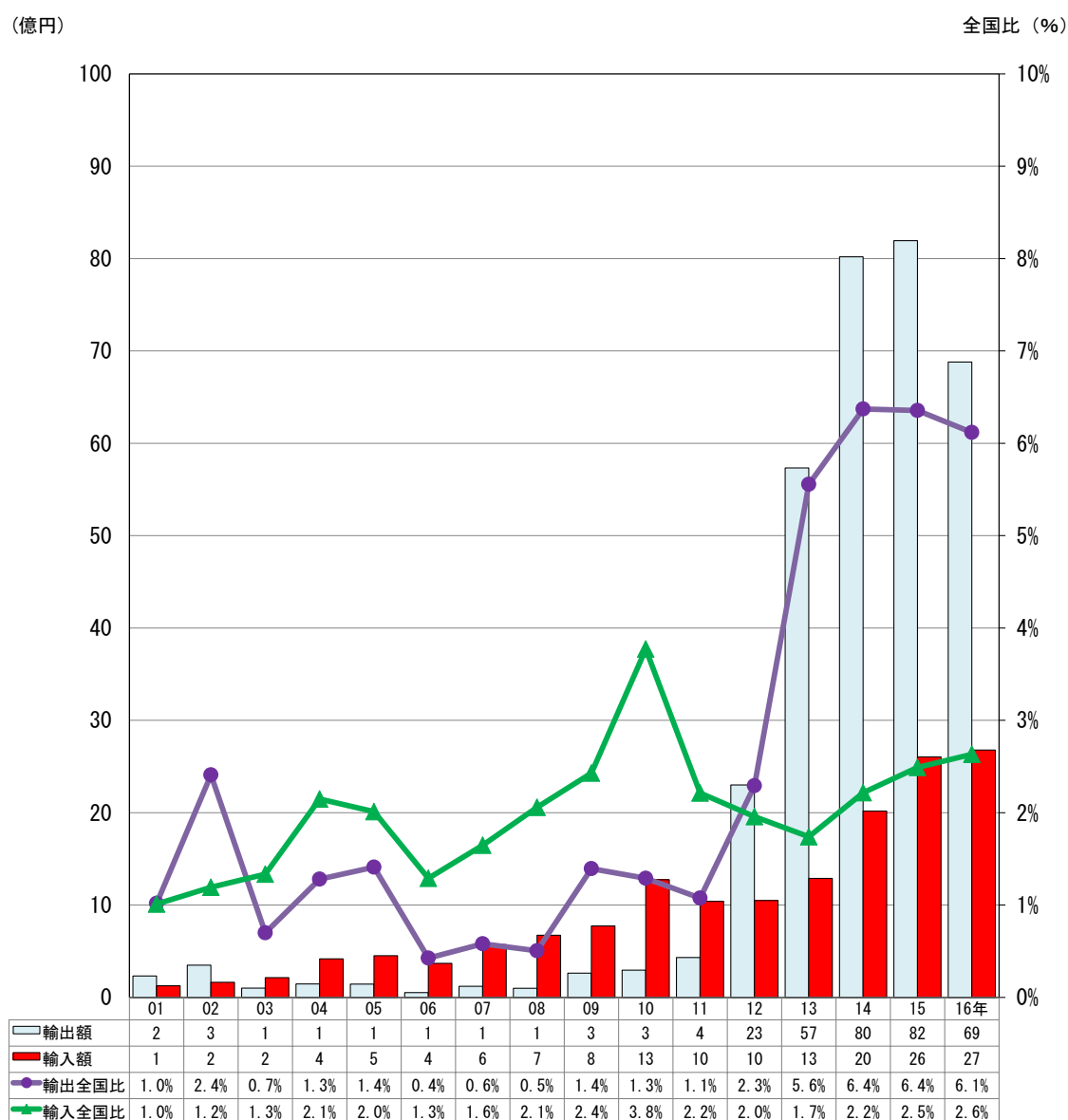
注：2015年度は、年度集計を採用、2016年は年収計を採用。

図表 2-13-3～4 出所：ミャンマー中央統計局（CSO）より九州経済産業局作成。

2. 九州とミャンマーの経済動向

- 2012 年以降、欧米諸国による制裁措置が緩和され、貿易額が大きく増加した。2016 年の九州の対ミャンマー貿易額は、輸出が 69 億円（前年比 16.0%減）と 2012 年以降 4 年ぶりに減少した。輸入は 27 億円（前年比 2.9%増）と 2012 年以降 4 年連続で増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、絶縁電線及び絶縁ケーブル等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、ゴムタイヤ及びチューブ（寄与度：+3.2%）、絶縁電線及び絶縁ケーブル（同+1.3%）となっている。一方、減少では、自動車（同▲14.1%）、鉄鋼のフラットロール製品（同▲8.0%）、建設用・鉱山用機械（同▲1.4%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、衣類、野菜、メリヤス編み及びクロセ編み衣類等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、衣類（寄与度：+7.8%）、メリヤス編み及びクロセ編み衣類（同+5.6%）、野菜（同+2.6%）となっている。

図表 2-13-5 九州の対ミャンマー貿易額の推移

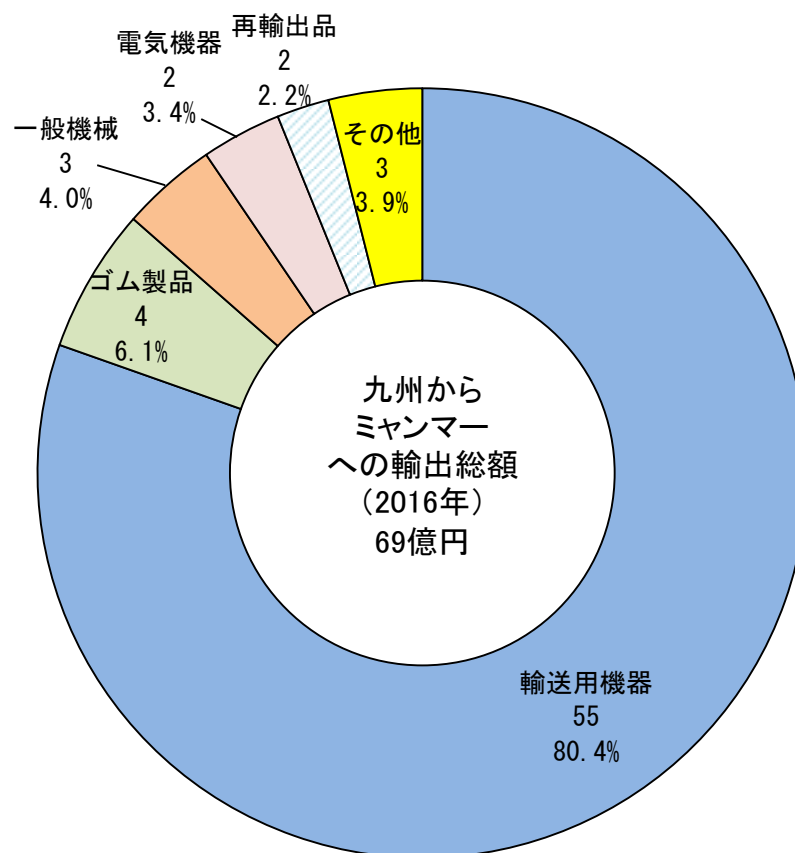


出所：財務省「貿易統計」、門司税関提供のデータより九州経済産業局作成。

図表 2-13-6 九州からミャンマーへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	55	80.2%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	4	6.1%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	1	1.6%
農業用機械	一般機械	0.8	1.1%
科学光学機器	精密機器類	0.7	1.1%
建設用・鉱山用機械	一般機械	0.7	1.1%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	0.7	1.1%
原動機	一般機械	0.5	0.7%
有機化合物	元素及び化合物	0.5	0.7%
加熱用・冷却用機器	一般機械	0.3	0.5%
その他		4	6.0%
総 額		69	100.0%

寄与度（増加分）：ゴムタイヤ及びチューブ（+3.2%）、絶縁電線及び絶縁ケーブル（+1.3%）等

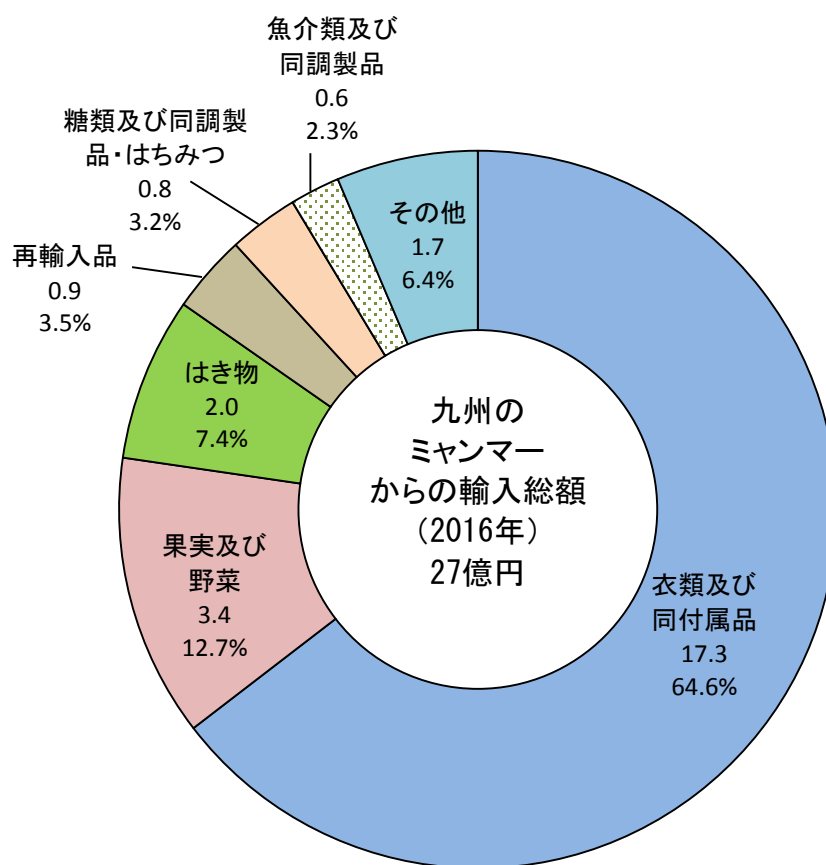
寄与度（減少分）：自動車（▲14.1%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲8.0%）、建設用・鉱山用機械（▲1.4%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-7 九州のミャンマーからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



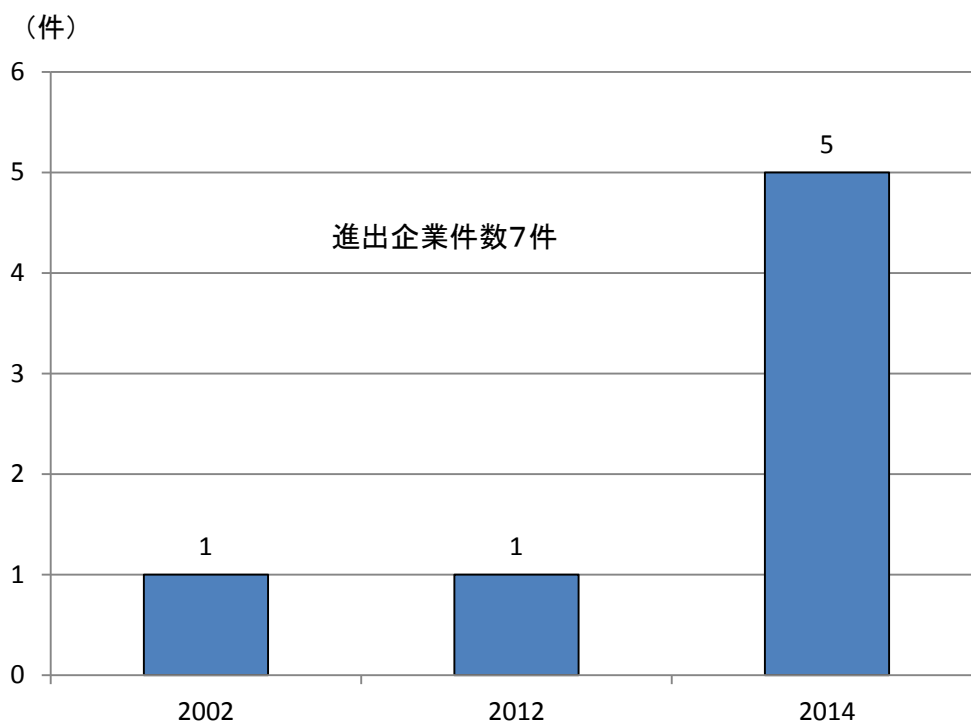
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
衣類	衣類及び同付属品	15	56.1%
野菜	果実及び野菜	3	12.7%
メリヤス編み及びクロセ編み衣類	衣類及び同付属品	2	8.2%
魚介類(生鮮・冷凍)	魚介類及び同調製品	1	2.0%
その他		6	21.0%
総 額		27	100.0%

寄与度（増加分）：衣類（+7.8%）、メリヤス編み及びクロセ編み衣類（+5.6%）、野菜（+2.6%）等

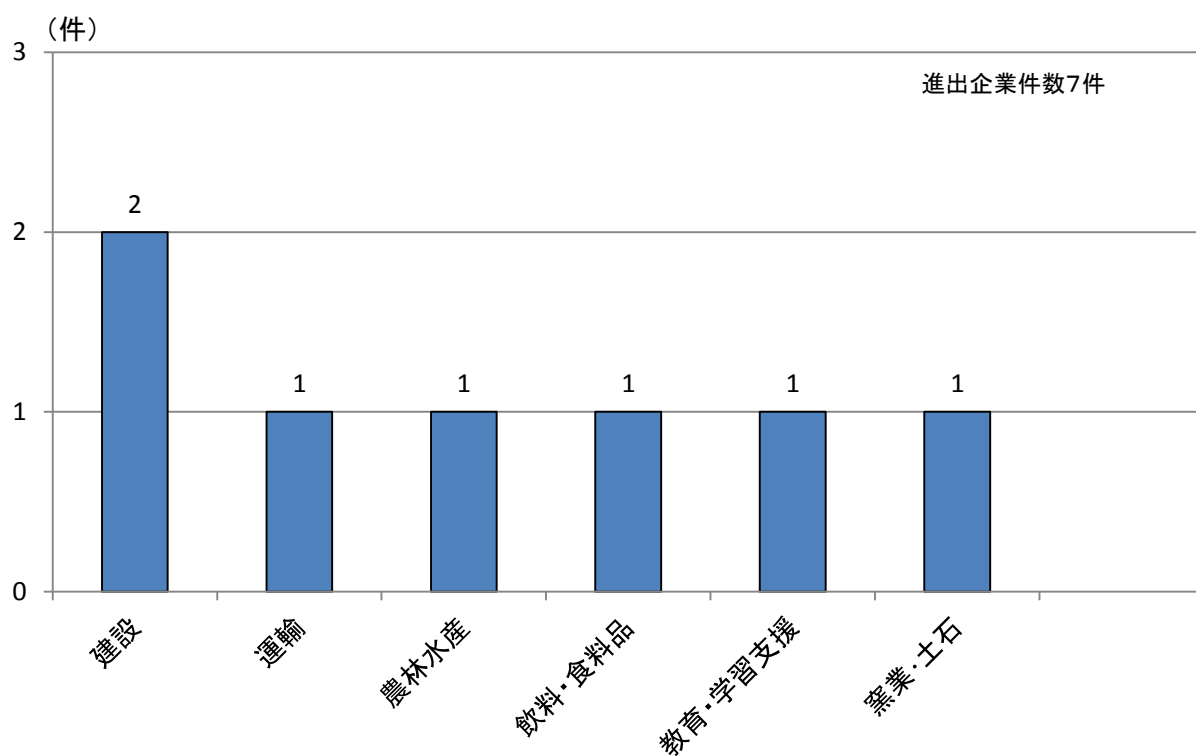
寄与度（減少分）：魚の粉及びミール（▲7.9%）、でん粉（▲3.4%）、魚介類（生鮮・冷凍）（▲2.2%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-13-8 九州企業のミャンマーへの進出件数の推移



図表 2-13-9 ミャンマーに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-13-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第 14 章 九州とインドの経済関係

1. インドの経済概況

国 名	インド
面 積	328万7,469km ² (インド政府資料:パキスタン、中国との係争地を含む;2011年国勢調査)
人 口	12億1,057万人(2011年国勢調査)、人口増加率17.69%(2011年国勢調査)
首 都	ニューデリー
人 種	インド・アーリヤ族、ドラビダ族、モンゴロイド族等
言 語	連邦公用語はヒンディー語、他に憲法で公認されている州の言語が21
宗 教	ヒンドゥー教徒79.8%、イスラム教徒14.2%、キリスト教徒2.3%、シク教徒1.7%、仏教徒0.7%、ジャイナ教徒0.4%(2011年国勢調査)
政 体	共和制
主要産業	農業、工業、鉱業、IT産業

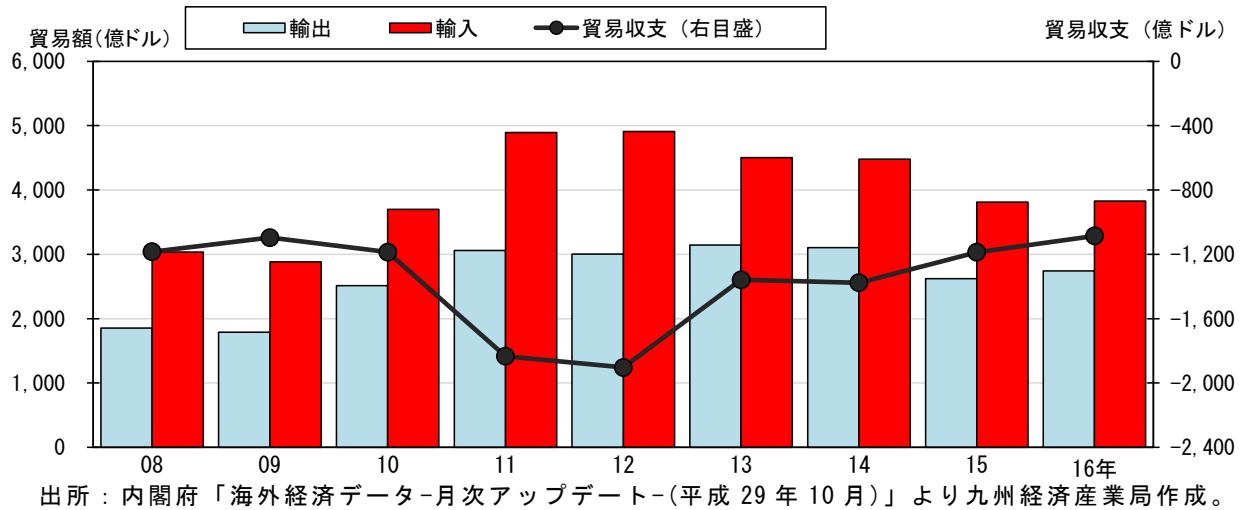
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-14-1 インドのマクロ経済

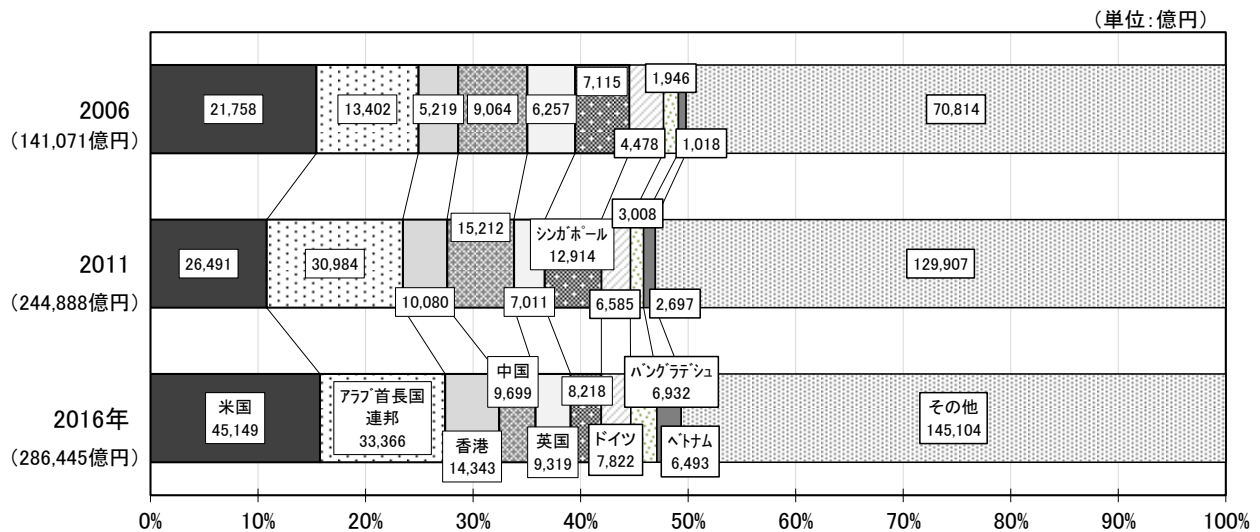
	単位	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
実質GDP成長率	前年比(%)	5.5	6.4	7.5	8.0	7.1
名目GDP総額	十億ドル	1,828	1,857	2,035	2,090	2,264
一人当たりGDP(名目)	ドル	1,482	1,486	1,607	1,629	1,742
輸出額	億ドル	3,004	3,144	3,104	2,623	2,741
	前年比(%)	▲ 1.8	4.7	▲ 1.3	▲ 15.5	4.5
輸入額	億ドル	4,907	4,502	4,480	3,810	3,827
	前年比(%)	0.3	▲ 8.3	▲ 0.5	▲ 15.0	0.4
貿易収支	億ドル	▲ 1,903	▲ 1,358	▲ 1,377	▲ 1,187	▲ 1,085
対日貿易収支	億ドル	▲ 63	▲ 27	▲ 47	▲ 52	▲ 59 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	1.1	3.3	4.0	3.3	4.6
消費者物価指数(総合)	前年比(%)	9.9	9.4	5.9	4.9	4.5
直接投資受入額	億ドル	270	308	353	449	438 *
為替レート(1ドル)	ルピー	53.44	58.60	61.03	64.15	67.20
為替レート(1ルピー)	円	1.49	1.67	1.74	1.67	1.61

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

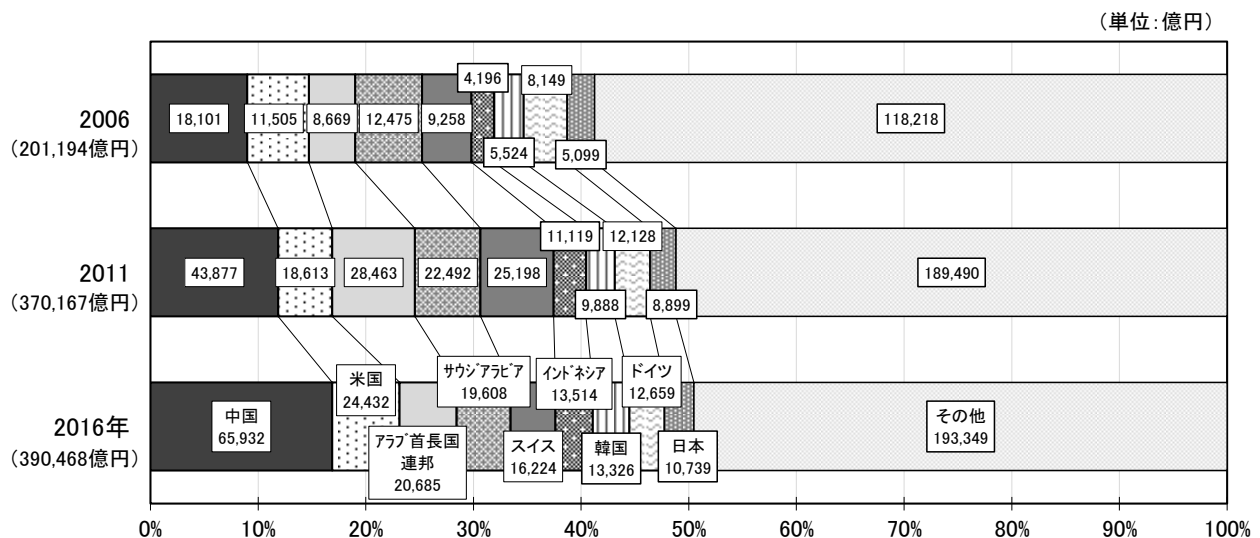
図表 2-14-2 インドの対外貿易額の推移



図表 2-14-3 インドの輸出相手国・地域の推移



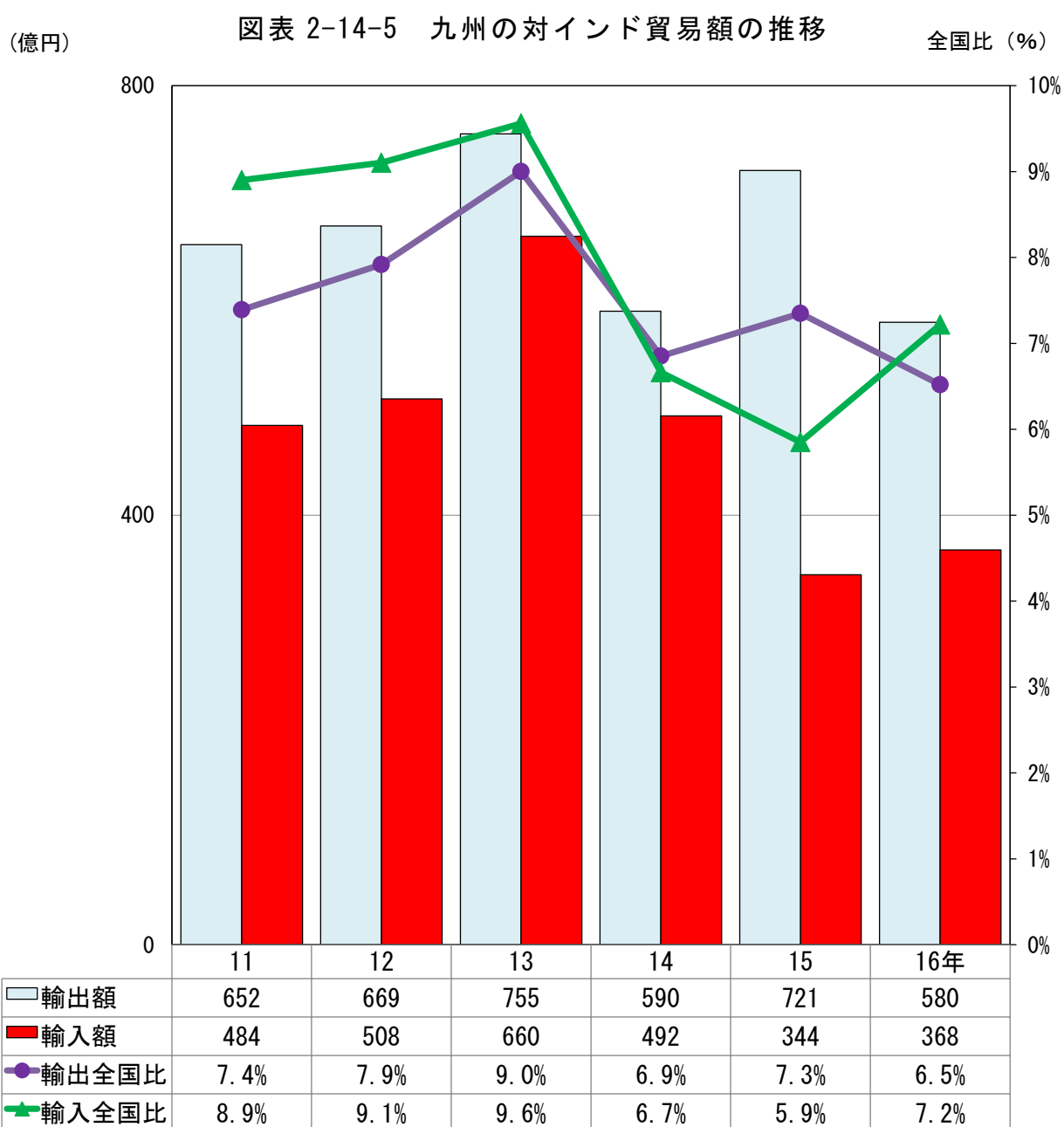
図表 2-14-4 インドの輸入相手国・地域の推移



図表 2-14-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州とインドの経済動向

- 2016年の九州の対インド貿易額は、輸出が580億円（前年比19.6%減）と前年より減少した。輸入は368億円（前年比6.7%増）と3年ぶりに増加した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、鉄鋼のフラットロール製品、原動機、織物用糸等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、コークス（寄与度：+7.1%）、原動機（同+3.4%）、有機化合物（同+1.1%）となっている。一方、減少では、鉄鋼のフラットロール製品（同▲11.8%）、半導体等電子部品（同▲4.5%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油製品（揮発油）、魚介類（生鮮・冷凍）、有機化合物等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、石油製品（揮発油）（寄与度：+16.9%）、鉄鉱石（同+1.3%）、アルミニウム及び同合金（同+1.2%）となっている。一方、減少では、合金鉄（同▲6.6%）、魚の粉及びミール（同▲2.1%）、自動車の部分品（同▲1.6%）となっている。

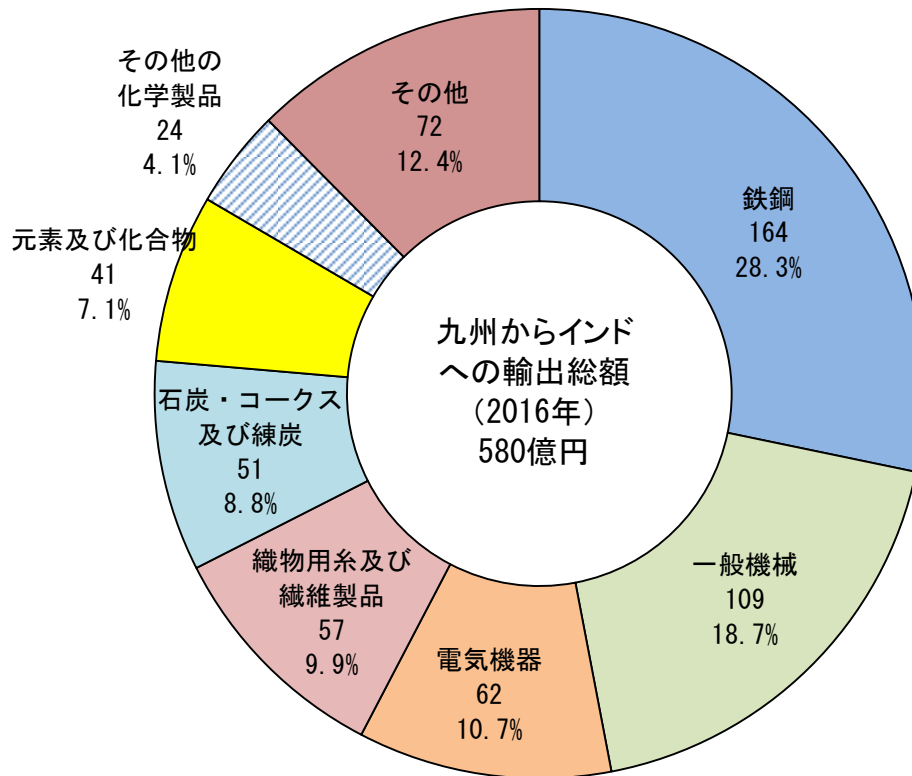


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-6 九州からインドへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	103	17.7%
原動機	一般機械	58	9.9%
織物用糸	織物用糸及び繊維製品	55	9.5%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	52	8.9%
コークス	石炭・コークス及び練炭	51	8.8%
有機化合物	元素及び化合物	30	5.2%
半導体等電子部品	電気機器	30	5.1%
金属加工機械	一般機械	13	2.2%
銅及び同合金	非鉄金属	11	1.9%
無機化合物	元素及び化合物	11	1.8%
その他		167	28.8%
総 額		580	100.0%

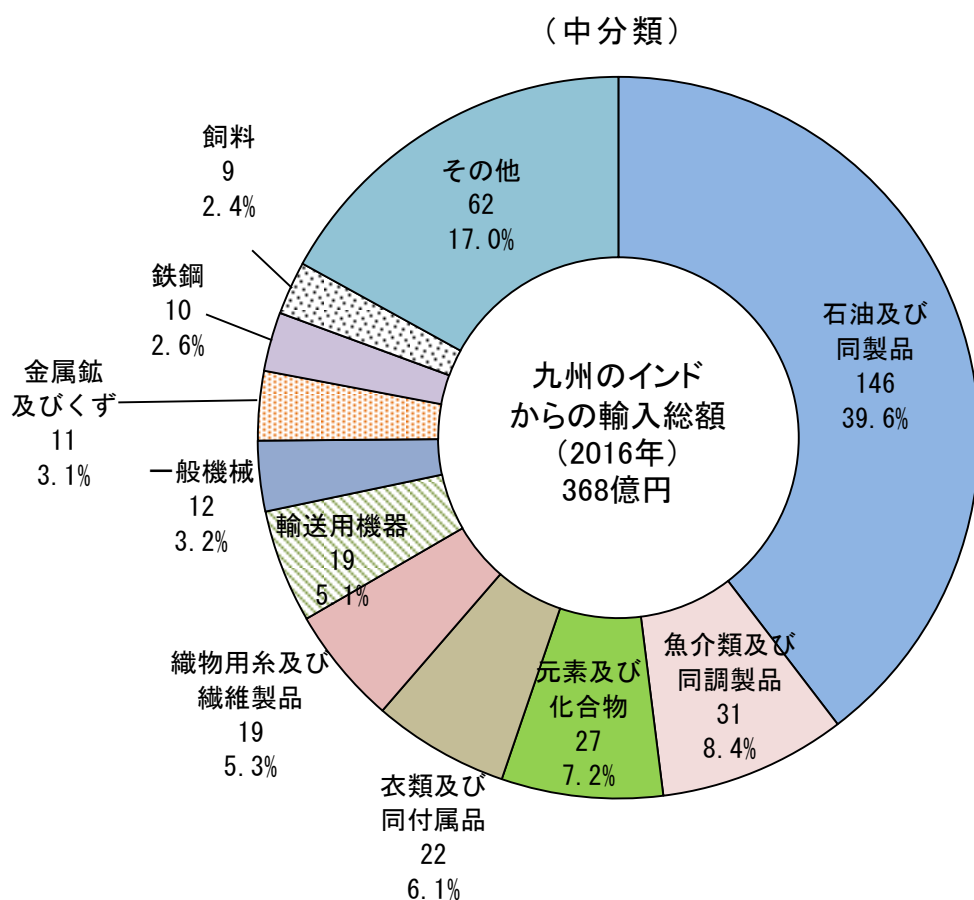
寄与度（増加分）：コークス（+7.1%）、原動機（+3.4%）、有機化合物（+1.1%）

寄与度（減少分）：鉄鋼のフラットロール製品（▲11.8%）、半導体等電子部品（▲4.5%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-7 九州のインドからの輸入品目

(単位：億円、%)



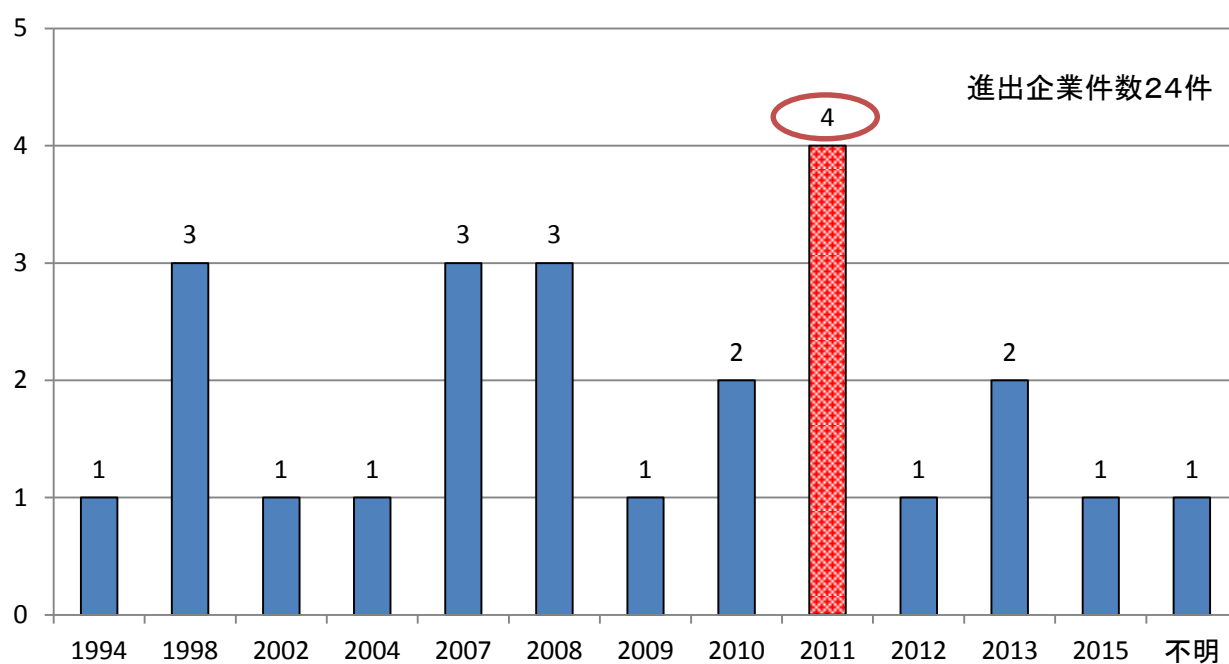
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油製品(揮発油)	石油及び同製品	146	39.6%
魚介類(生鮮・冷凍)	魚介類及び同調製品	31	8.4%
有機化合物	元素及び化合物	23	6.3%
衣類	衣類及び同付属品	21	5.7%
自動車の部分品	輸送用機器	15	4.0%
合金鉄	鉄鋼	9	2.3%
綿花	織物用繊維及びくず	8	2.1%
有機合成染料及びレーキ顔料	染料・なめし剤及び着色剤	8	2.1%
果実	果実及び野菜	7	1.9%
非鉄金属鉱	金属鉱及びくず	7	1.9%
その他		95	25.8%
総 額		368	100.0%

寄与度(増加分)：石油製品(揮発油)(+16.9%)、鉄鉱石(+1.3%)、
アルミニウム及び同合金(+1.2%)等

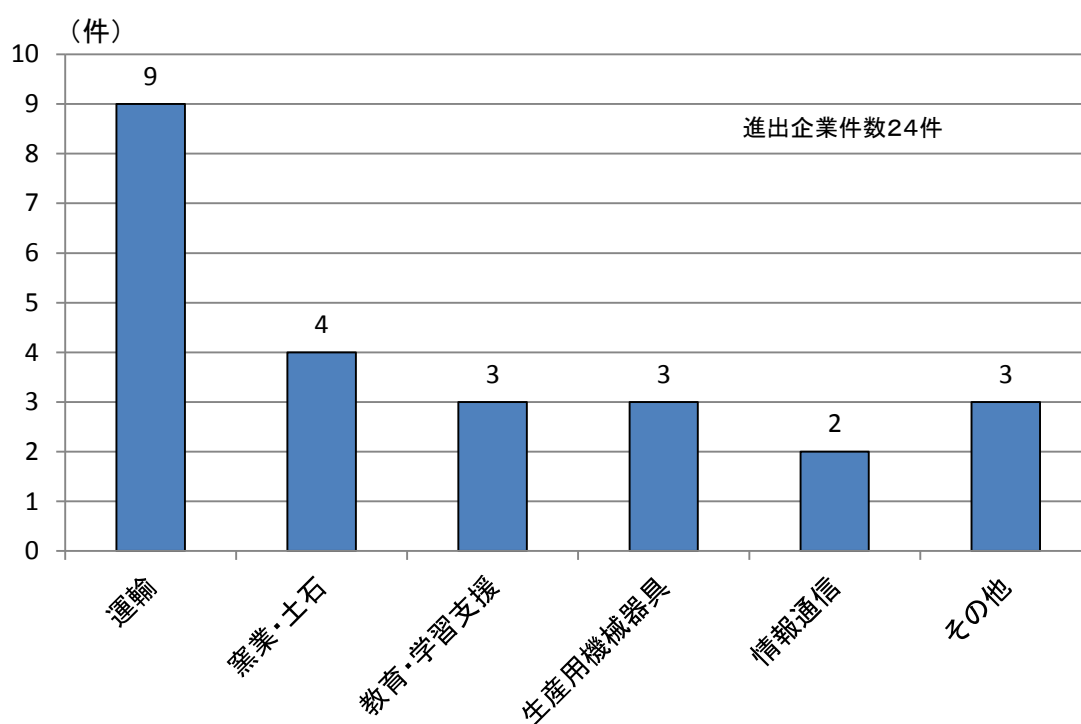
寄与度(減少分)：合金鉄(▲6.6%)、魚の粉及びミール(▲2.1%)、自動車の部分品
(▲1.6%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-14-8 九州企業のインドへの進出件数の推移



図表 2-14-9 インドに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-14-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第 15 章 九州と EU の経済関係

1. EU の経済概況

名 称	欧州連合 (European Union)
設 立	1993年11月
体 制	欧州理事会: 常任議長 ドナルド・タスク (Donald Tusk) 前ポーランド首相 EU理事会: 半年交代の輪番制議長国閣僚 (2016年前半オランダ、2016年後半スロバキア)
加 盟 国	28ヶ国: フランス、ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルク、英国、デンマーク、アイルランド、ギリシャ、スペイン、ポルトガル、オーストリア、スウェーデン、フィンランド、キプロス、チェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、スロバキア、スロベニア、ブルガリア、ルーマニア、クロアチア

出所: 外務省HP「各国・地域情勢」

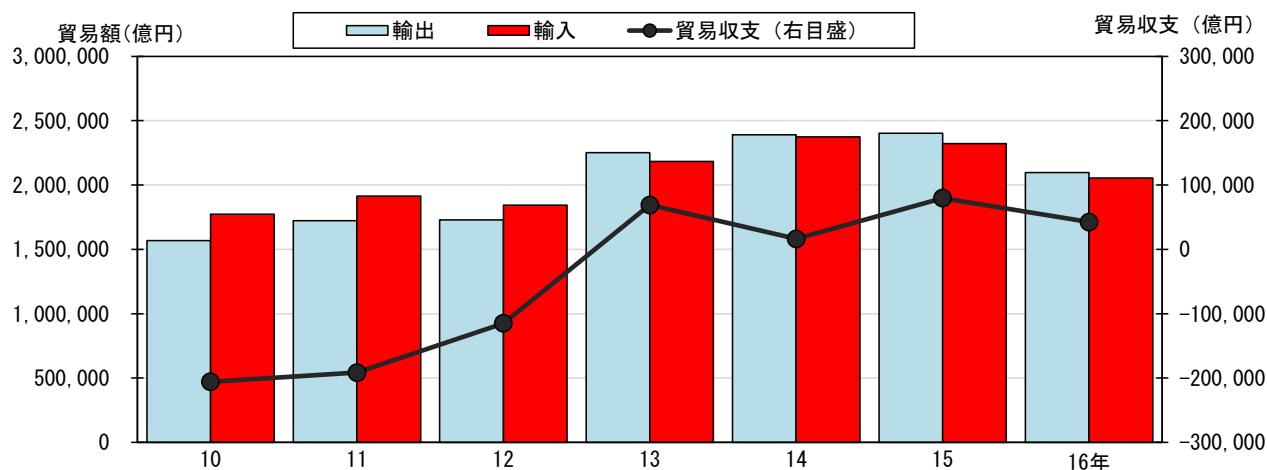
図表 2-15-1 世界の地域経済圏との比較 (2016 年)

	加盟国	人口 (万人)	GDP (億米ドル)	GDP/人 (米ドル)	貿易額 (億米ドル)
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10か国	64,051	25,554	3,990	22,375
欧州連合 (EU)	28か国	51,039	162,676	31,873	106,289
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3か国	48,978	212,158	43,317	52,843
南米共同市場 (MERCOSUR)	6か国	29,324	35,032	11,946	5,129

出所: UNCTADstat より九州経済産業局作成。

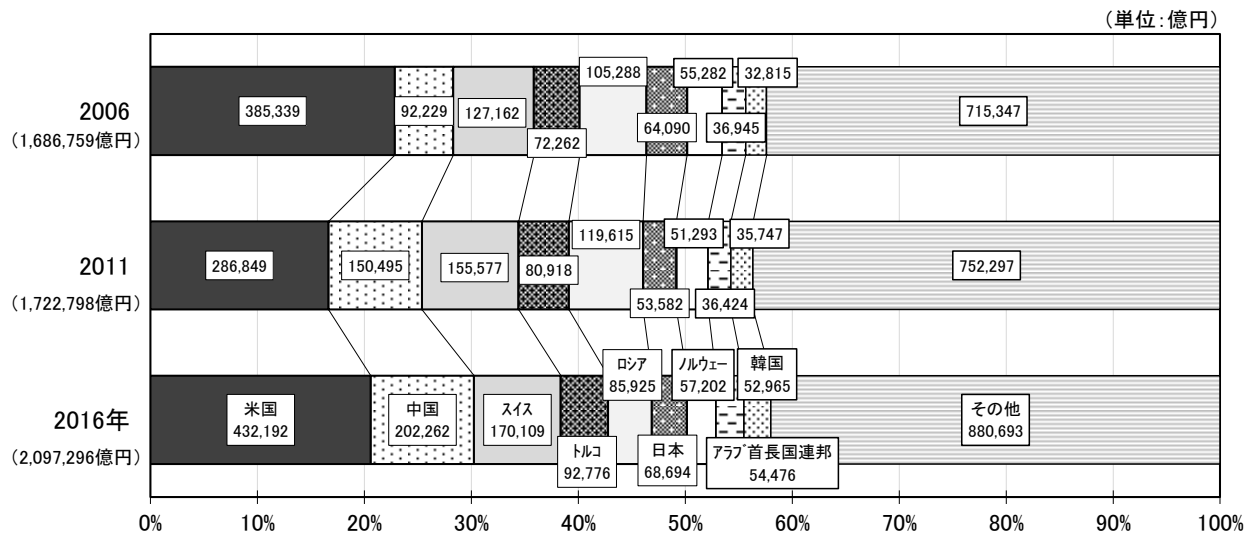
備考: NAFTA 加盟国 (アメリカ、カナダ、メキシコ)、MERCOSUR 加盟国 (アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ)

図表 2-15-2 EU の対外貿易額の推移

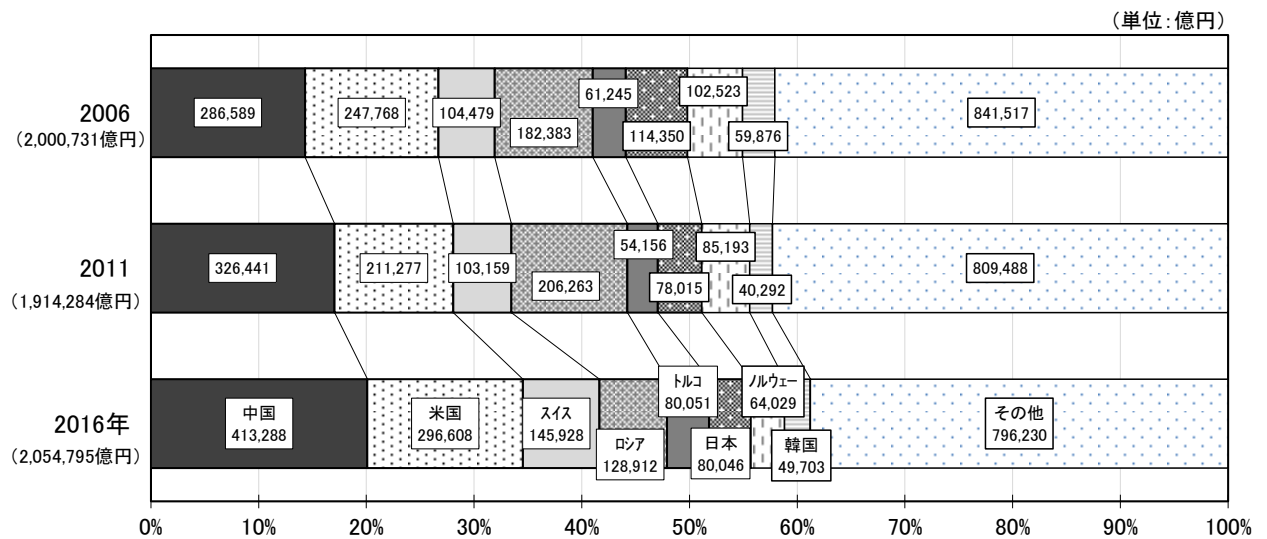


出所: 「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-3 EU の輸出相手国・地域の推移



図表 2-15-4 EU の輸入相手国・地域の推移

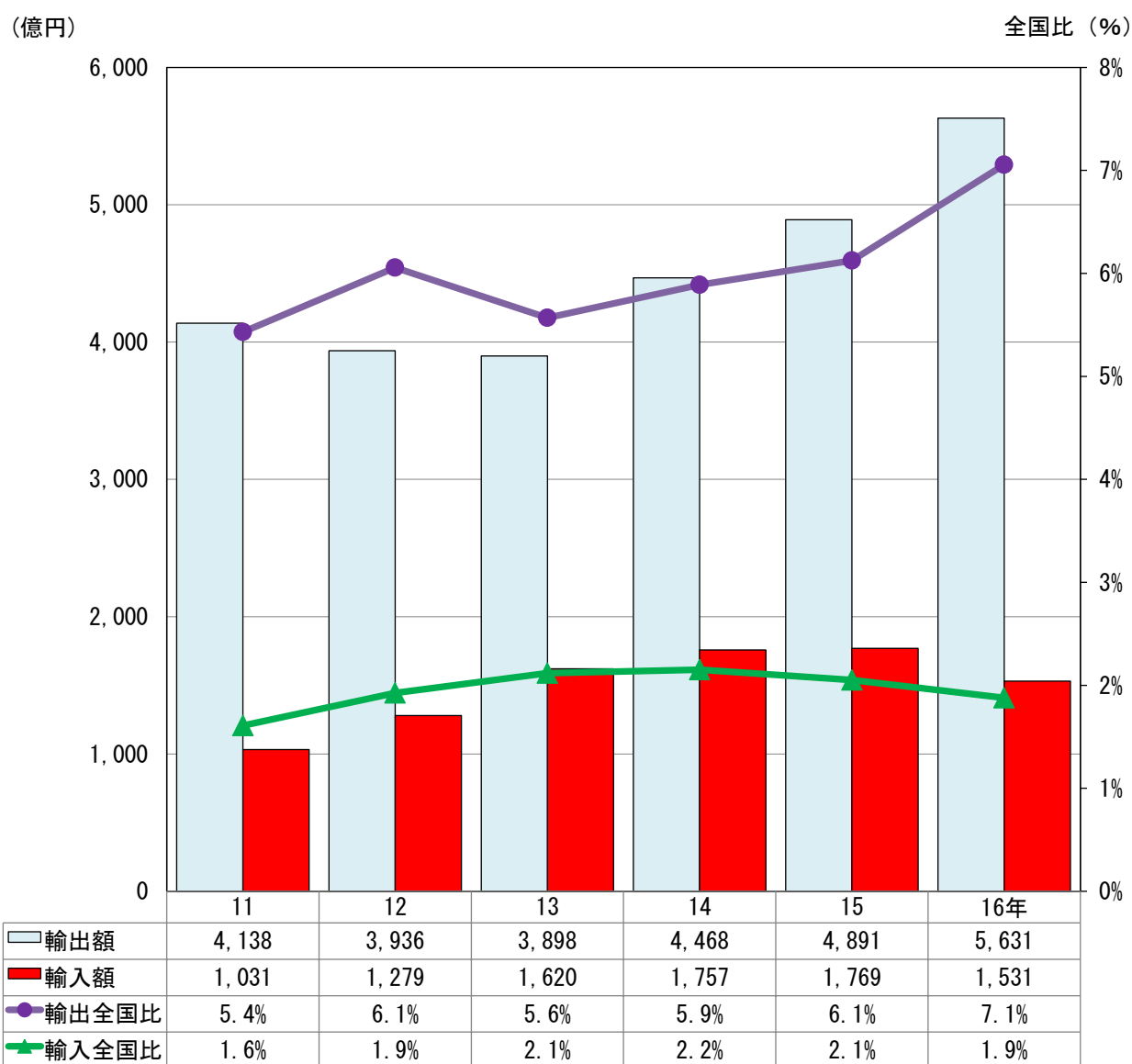


図表 2-15-3～4 出所:「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州とEUの経済動向

- 2016年の九州の対EU貿易額は、輸出が5,631億円（前年比15.1%増）と3年連続で増加した。輸入は1,531億円（前年比13.5%減）と5年ぶりに減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、船舶類、事務用機器等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、船舶類（寄与度：+15.0%）、自動車（同+6.6%）となっている。一方、減少では、映像機器（同▲3.0%）、事務用機器（同▲1.3%）、ゴムタイヤ及びチューブ（同▲1.1%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、原動機、自動車の部分品、電気計測器等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、航空機類（寄与度：+2.0%）となっている。一方、減少では、大麦及びはだか麦（同▲2.4%）、音響・映像機器（含部品）（同▲1.5%）、重電機器（同▲1.2%）となっている。

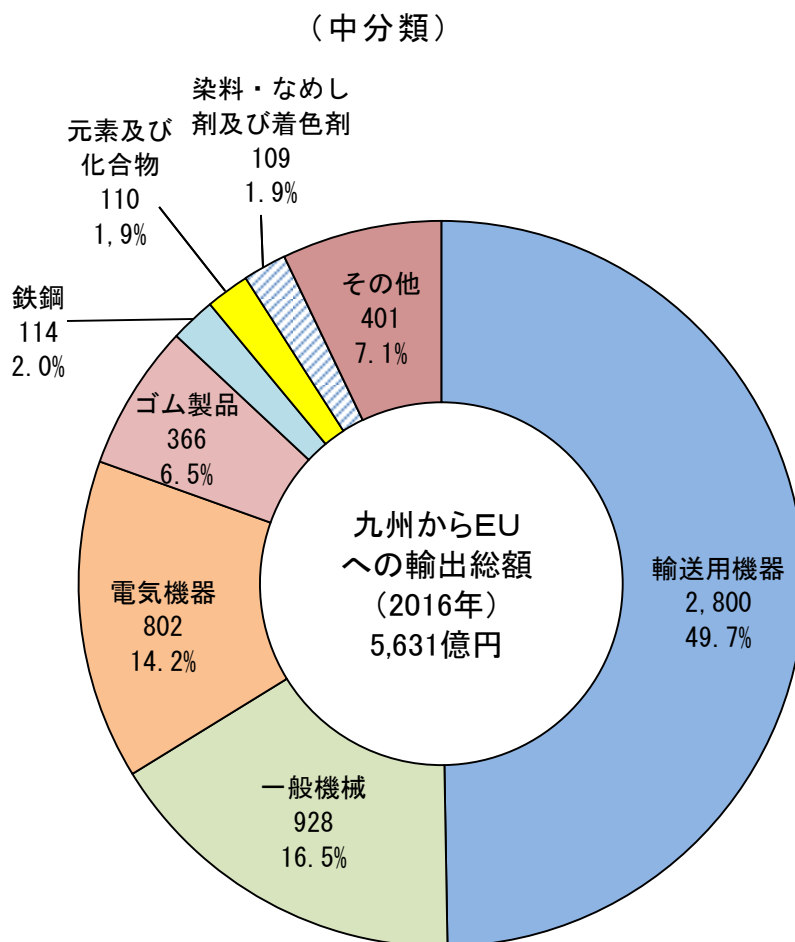
図表 2-15-5 九州の対EU貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-6 九州から EU への輸出品目

(単位：億円、%)



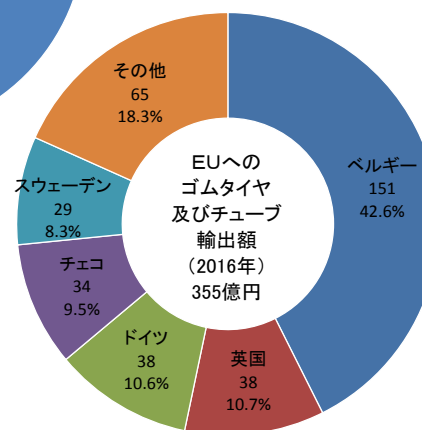
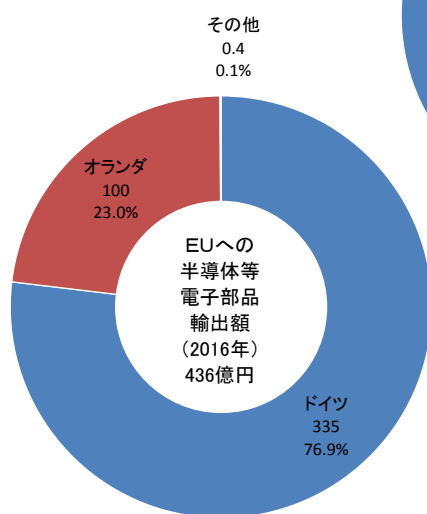
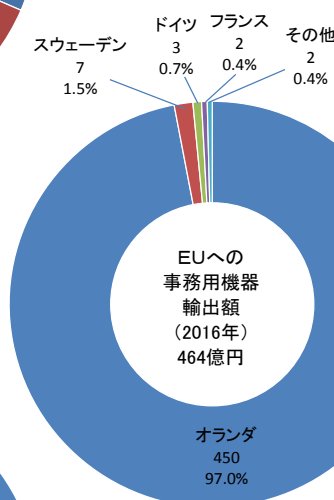
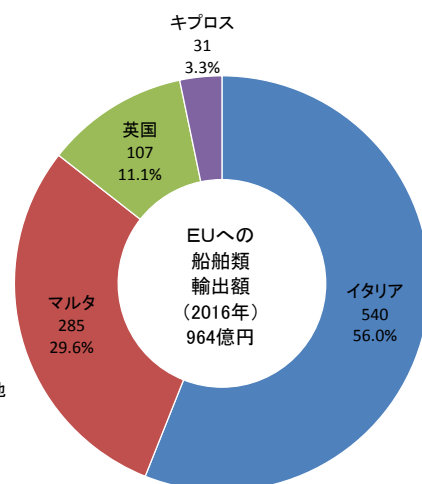
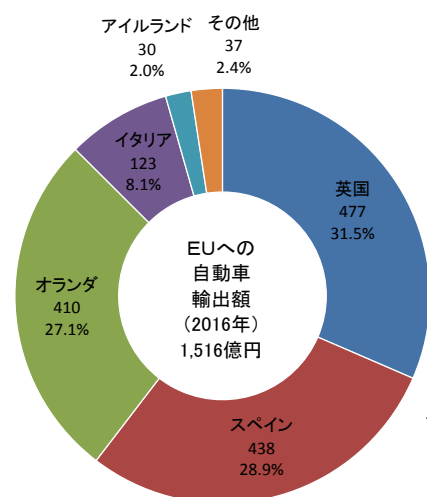
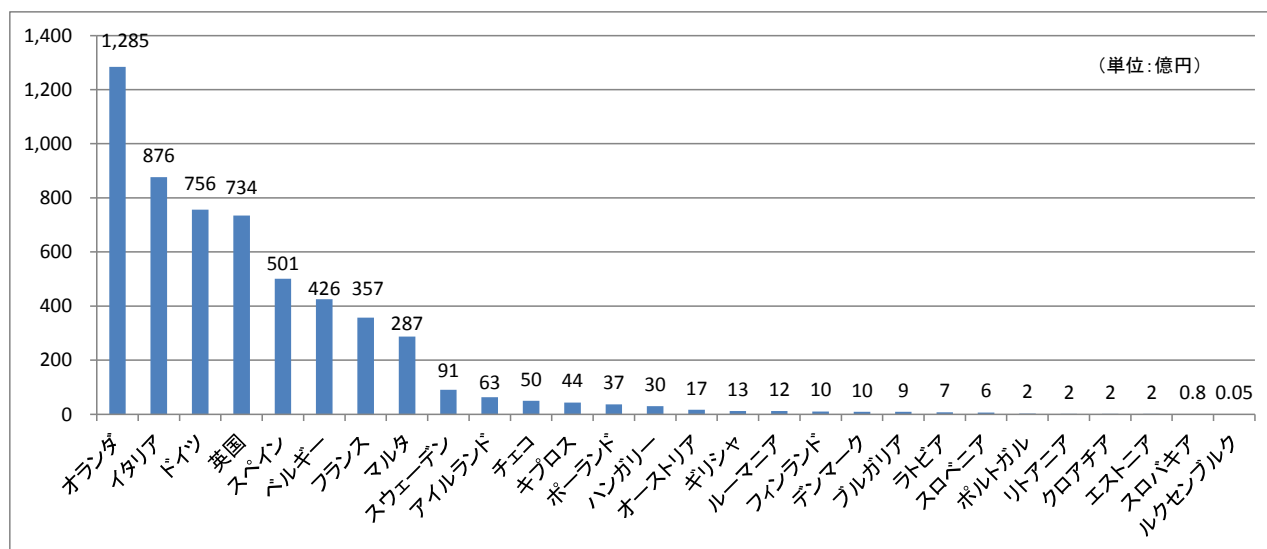
主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	1,516	26.9%
船舶類	輸送用機器	964	17.1%
事務用機器	一般機械	464	8.2%
半導体等電子部品	電気機器	436	7.7%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	355	6.3%
二輪自動車類	輸送用機器	279	5.0%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	144	2.6%
映像機器	電気機器	136	2.4%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	109	1.9%
自動車用等の電気機器	電気機器	102	1.8%
その他		1,127	20.0%
総 計		5,631	100.0%

寄与度（増加分）：船舶類（+15.0%）、自動車（+6.6%）等

寄与度（減少分）：映像機器（▲3.0%）、事務用機器（▲1.3%）、ゴムタイヤ及びチューブ（▲1.1%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-7 九州から EU への国別輸出額

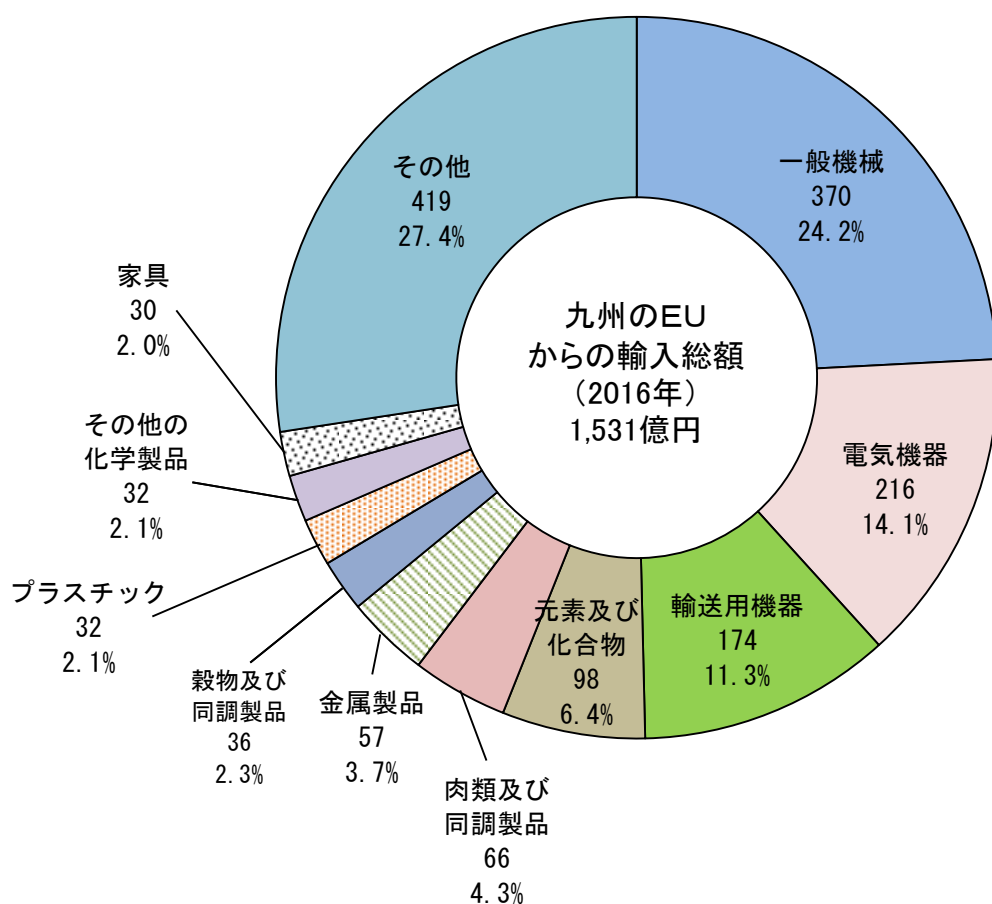


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-8 九州の EU からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



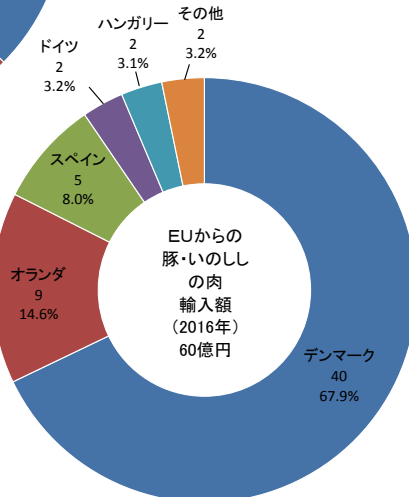
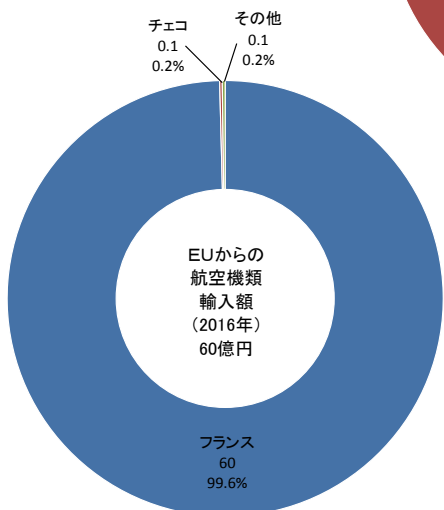
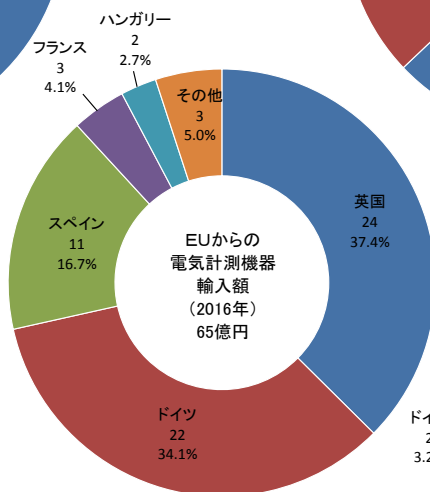
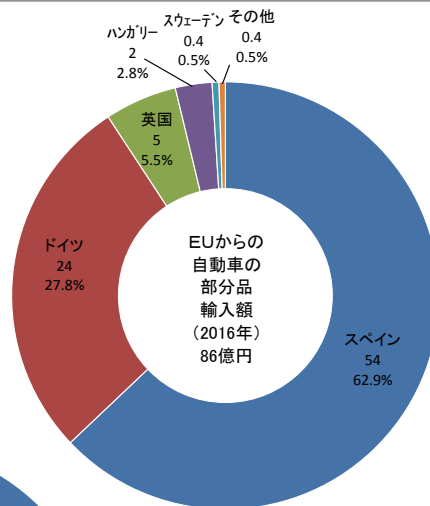
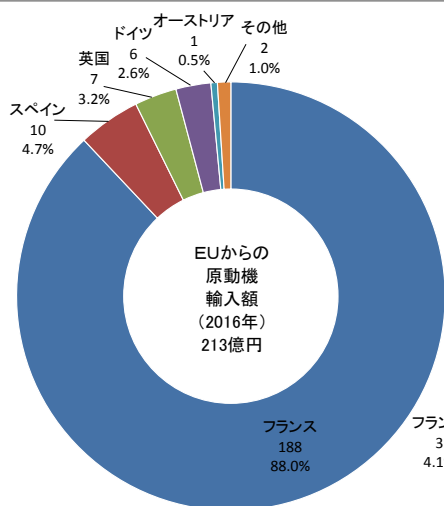
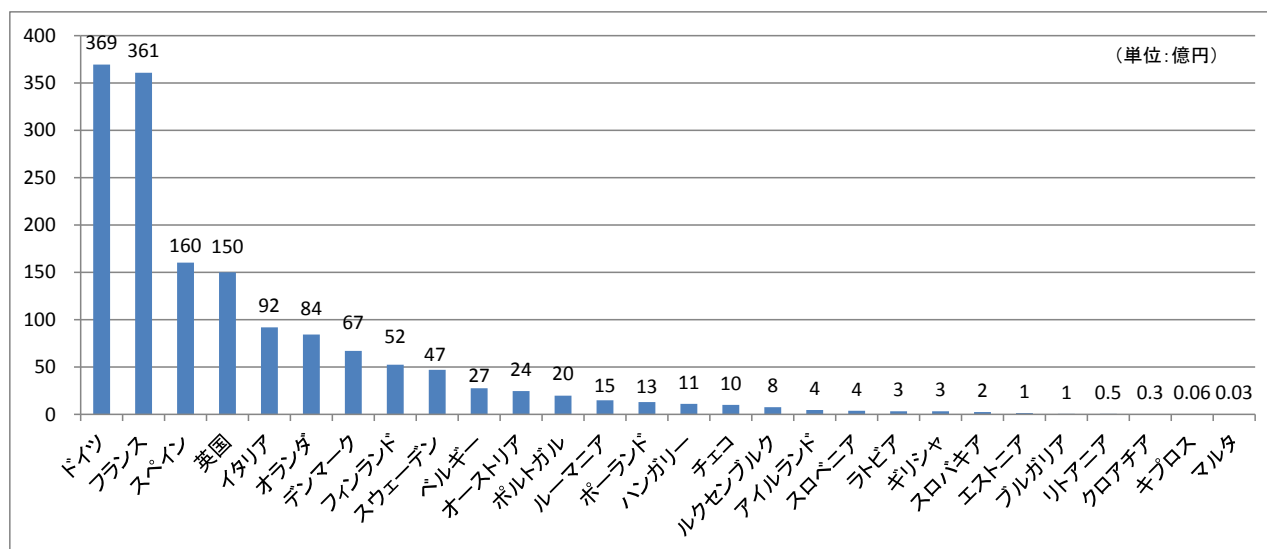
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
原動機	一般機械	213	13.9%
自動車の部分品	輸送用機器	86	5.6%
電気計測機器	電気機器	65	4.2%
航空機類	輸送用機器	60	3.9%
豚・いのししの肉(生鮮・冷凍)	肉類及び同調製品	60	3.9%
有機化合物	元素及び化合物	56	3.7%
無機化合物	元素及び化合物	42	2.7%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	30	1.9%
紙及び板紙	紙類及び同製品	26	1.7%
木材	木材及びコルク	24	1.6%
その他		869	56.8%
総 額		1,531	100.0%

寄与度（増加分）：航空機類（+2.0％）等

寄与度（減少分）：大麦及びはだか麦（▲2.4％）、音響・映像機器（含部品）（▲1.5％）、重電機器（▲1.2％）等

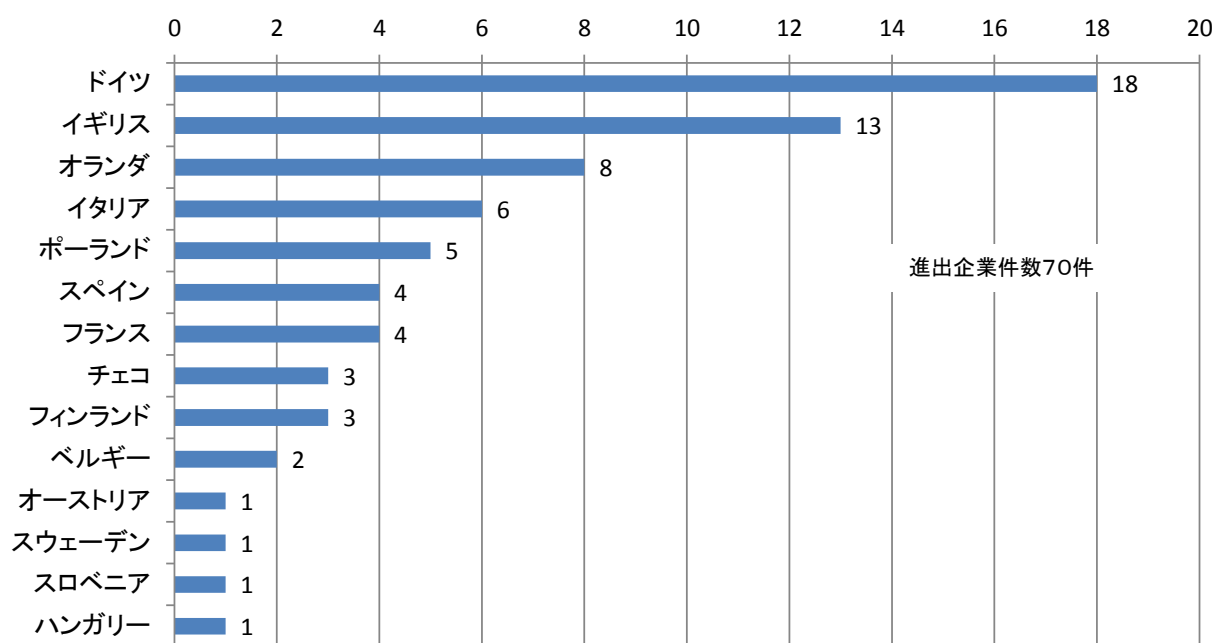
出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-9 九州の EU からの国別輸入額

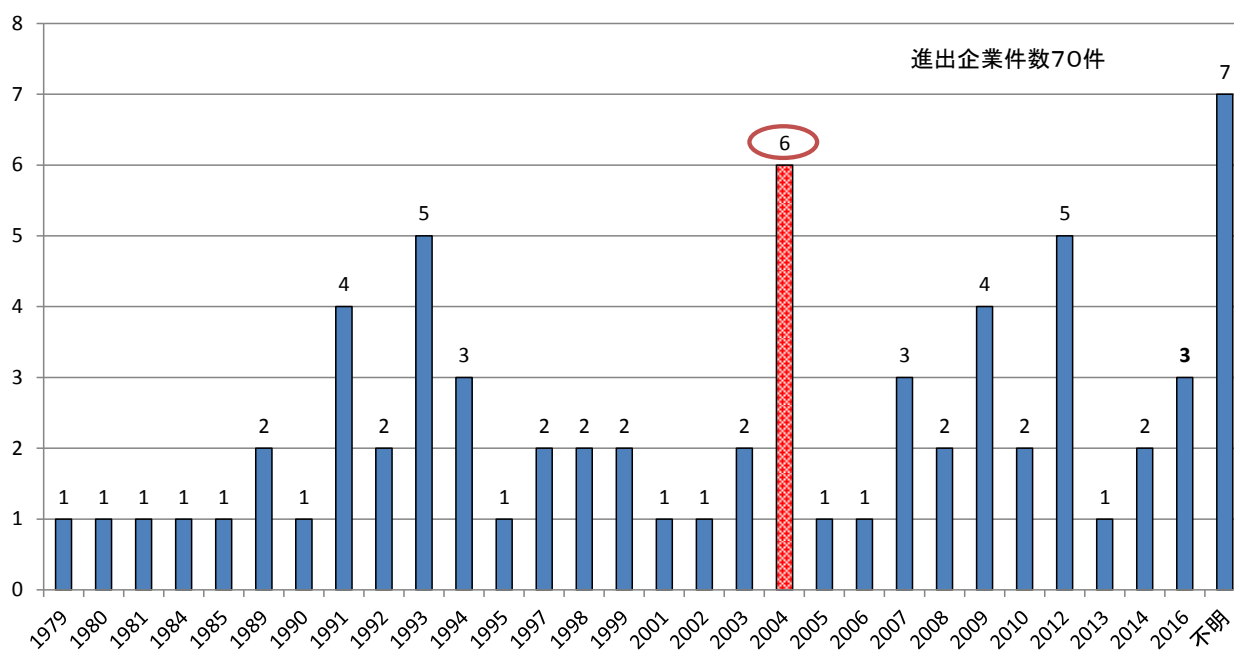


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-10 九州企業のEU各国への進出件数（国別）

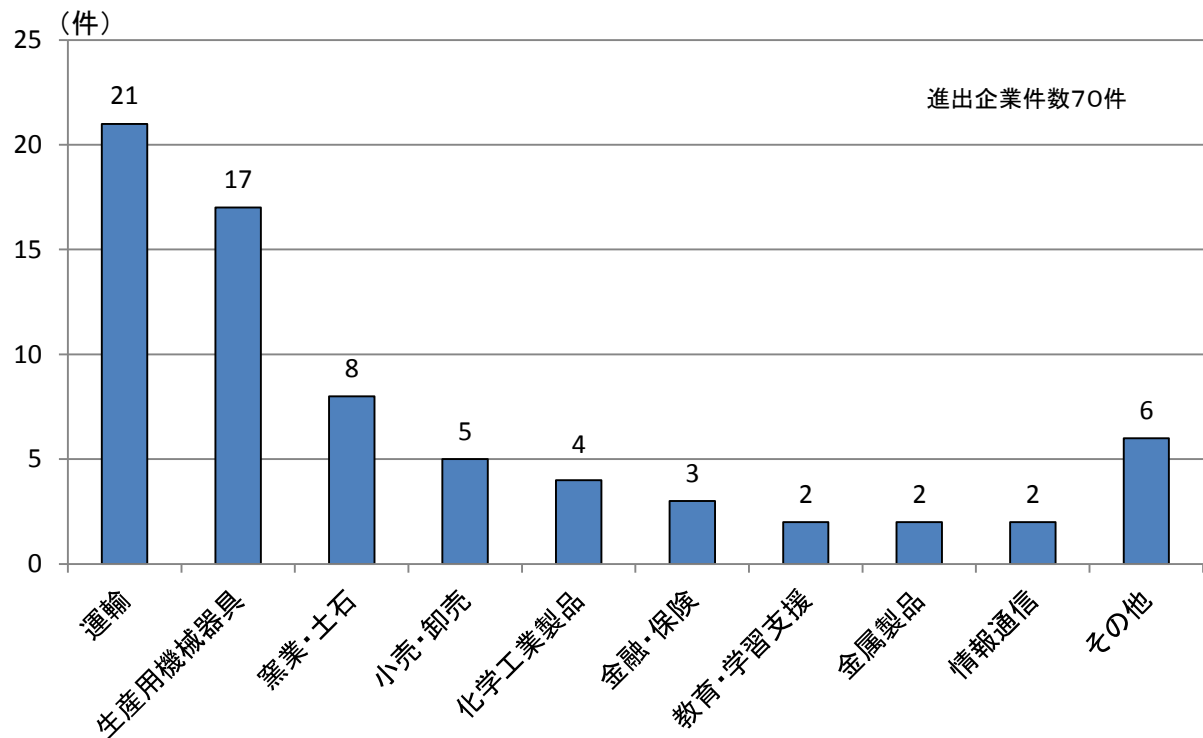


図表 2-15-11 九州企業のEUへの進出件数の推移



図表 2-15-10～11 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-12 E Uに進出した九州企業の業種別内訳

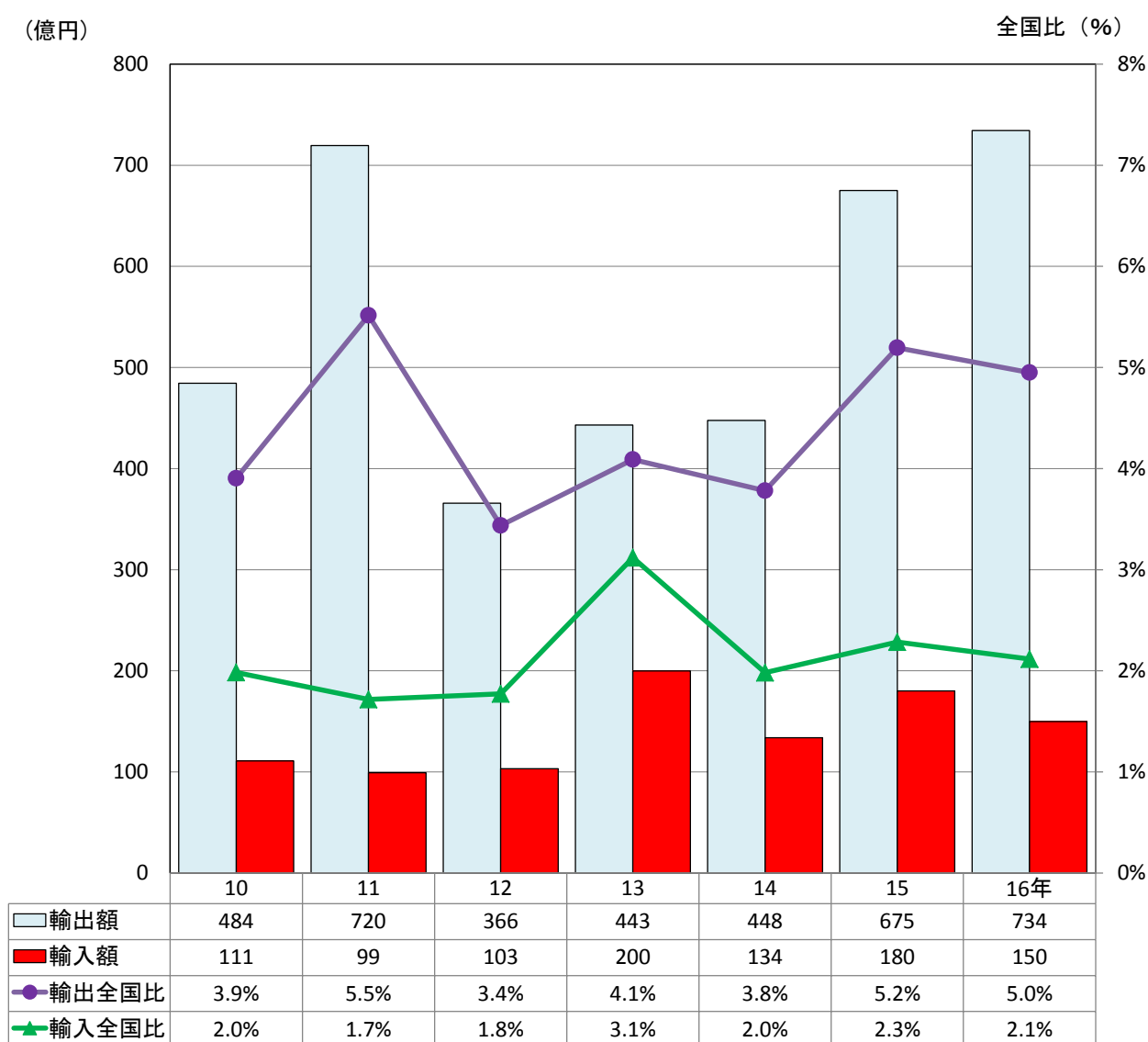


出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

3. 九州と英国の経済動向

- 2016年の九州の対英国貿易額は、輸出が734億円（前年比8.8%増、EU内比率13.0%）と4年連続で増加した。輸入は150億円（前年比16.8%減、EU内比率9.8%）と前年より減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、船舶類、ゴムタイヤ及びチューブ等となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、音響・映像機器（含部品）、電気計測機器、小麦及びメスリン等となっている。

図表 2-15-13 九州の対英国貿易額の推移

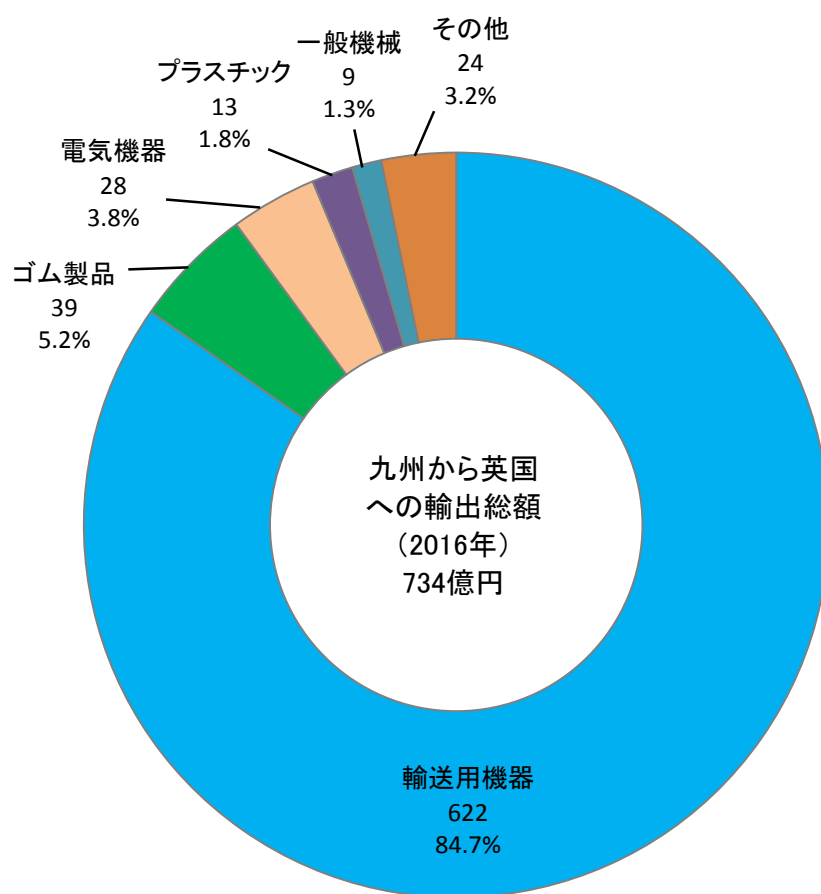


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-14 九州から英国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



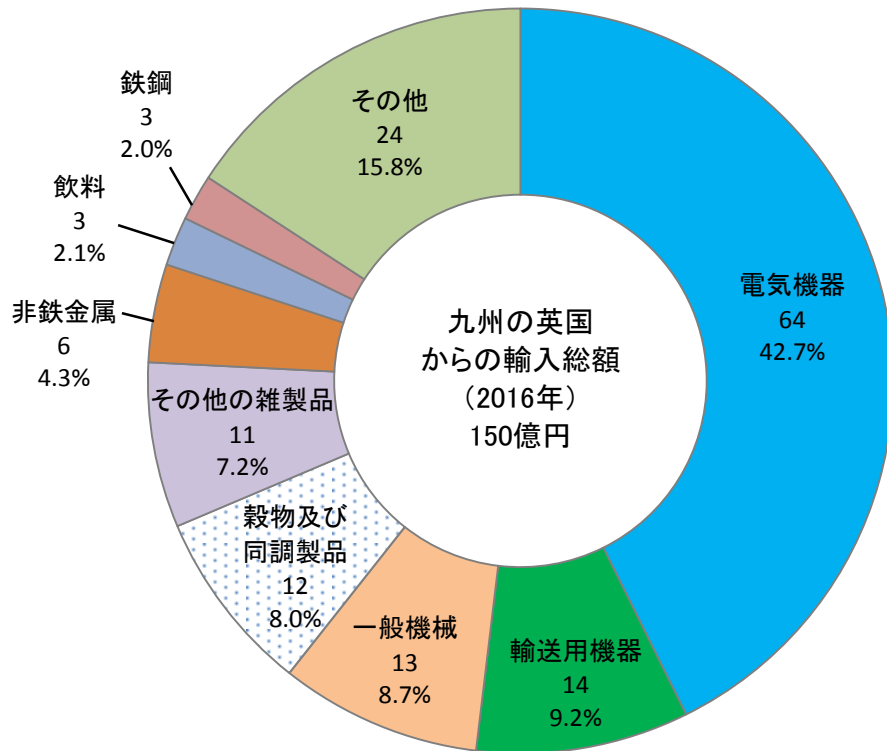
主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	477	65.0%
船舶類	輸送用機器	107	14.6%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	38	5.2%
二輪自動車類	輸送用機器	36	5.0%
自動車用等の電気機器	電気機器	18	2.4%
チタン及び同合金	非鉄金属	6	0.8%
重電機器	電気機器	4	0.6%
原動機	一般機械	3	0.4%
無機化合物	元素及び化合物	2	0.3%
有機化合物	元素及び化合物	2	0.2%
その他		41	5.5%
総 計		734	100.0%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-15 九州の英国からの輸入品目

(単位：億円、%)

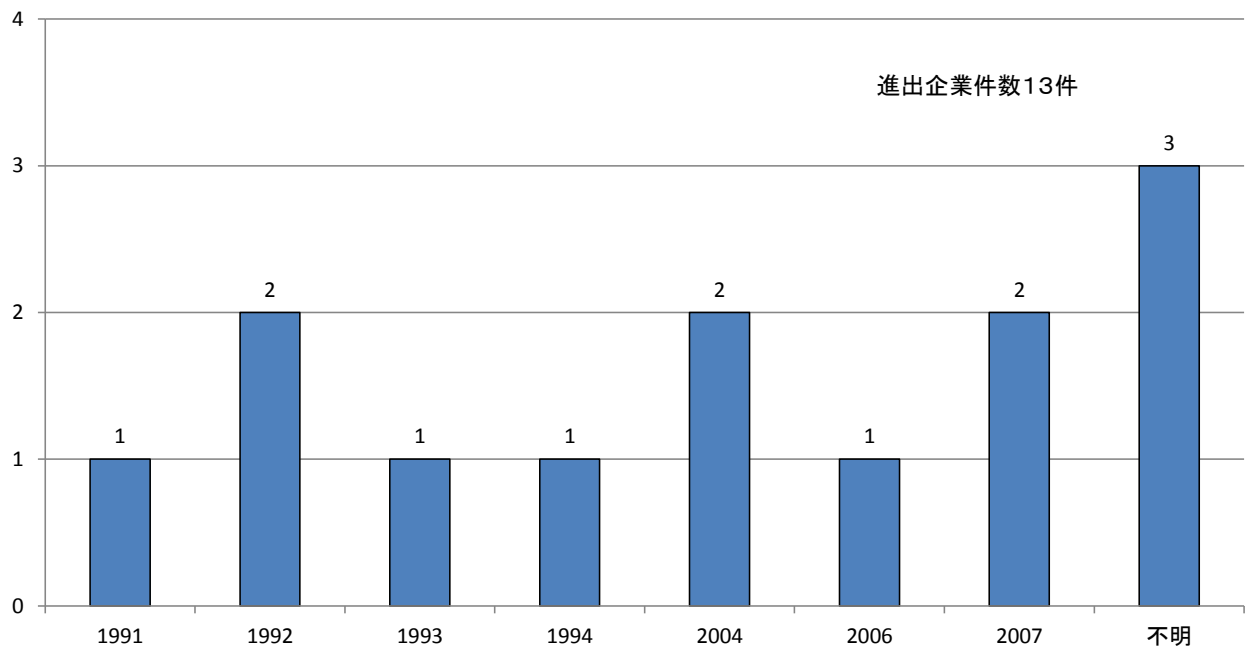
(中分類)



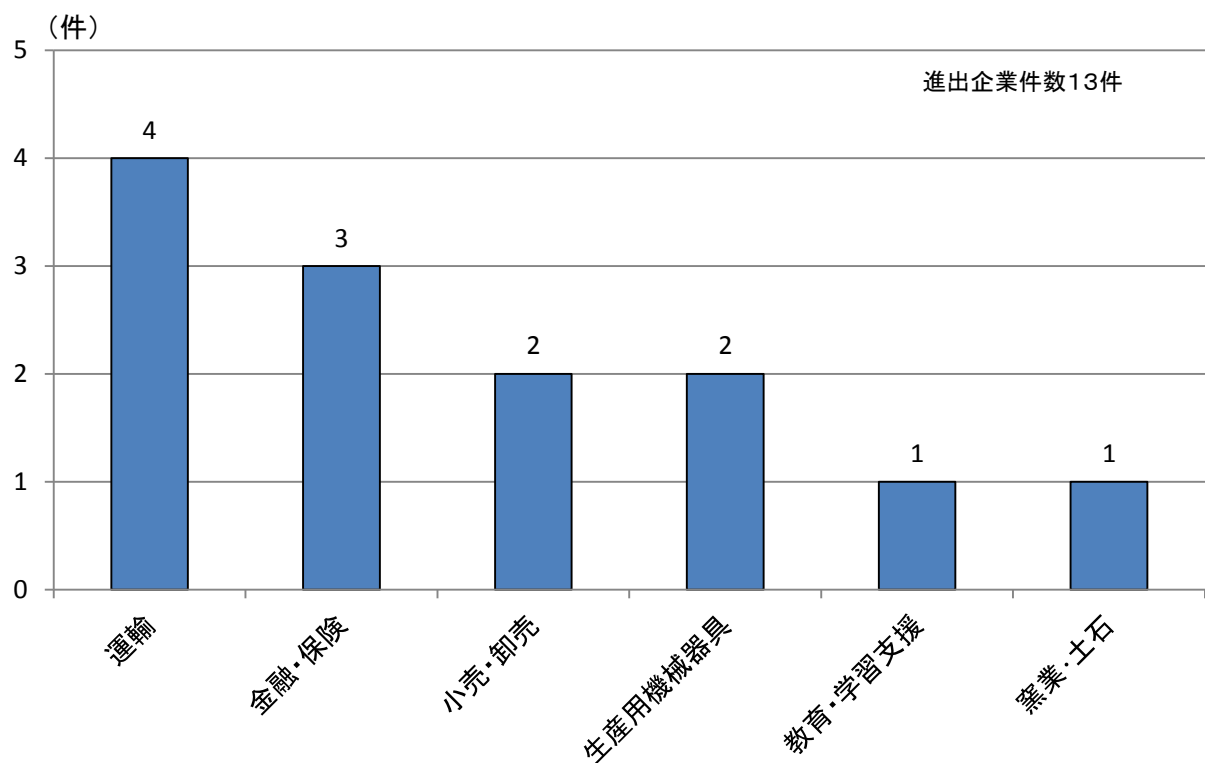
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
音響・映像機器(含部品)	電気機器	25	16.9%
電気計測機器	電気機器	24	16.1%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	9	5.7%
自動車	輸送用機器	8	5.6%
原動機	一般機械	7	4.5%
ニッケル及び同合金	非鉄金属	6	3.8%
自動車の部分品	輸送用機器	5	3.1%
アルコール飲料	飲料	3	2.1%
科学光学機器	精密機器類	3	1.8%
合金鉄	鉄鋼	2	1.7%
その他		58	38.6%
総 計		150	100.0%

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-15-16 九州企業の英国への進出件数の推移



図表 2-15-17 英国に進出した九州企業の業種別内訳

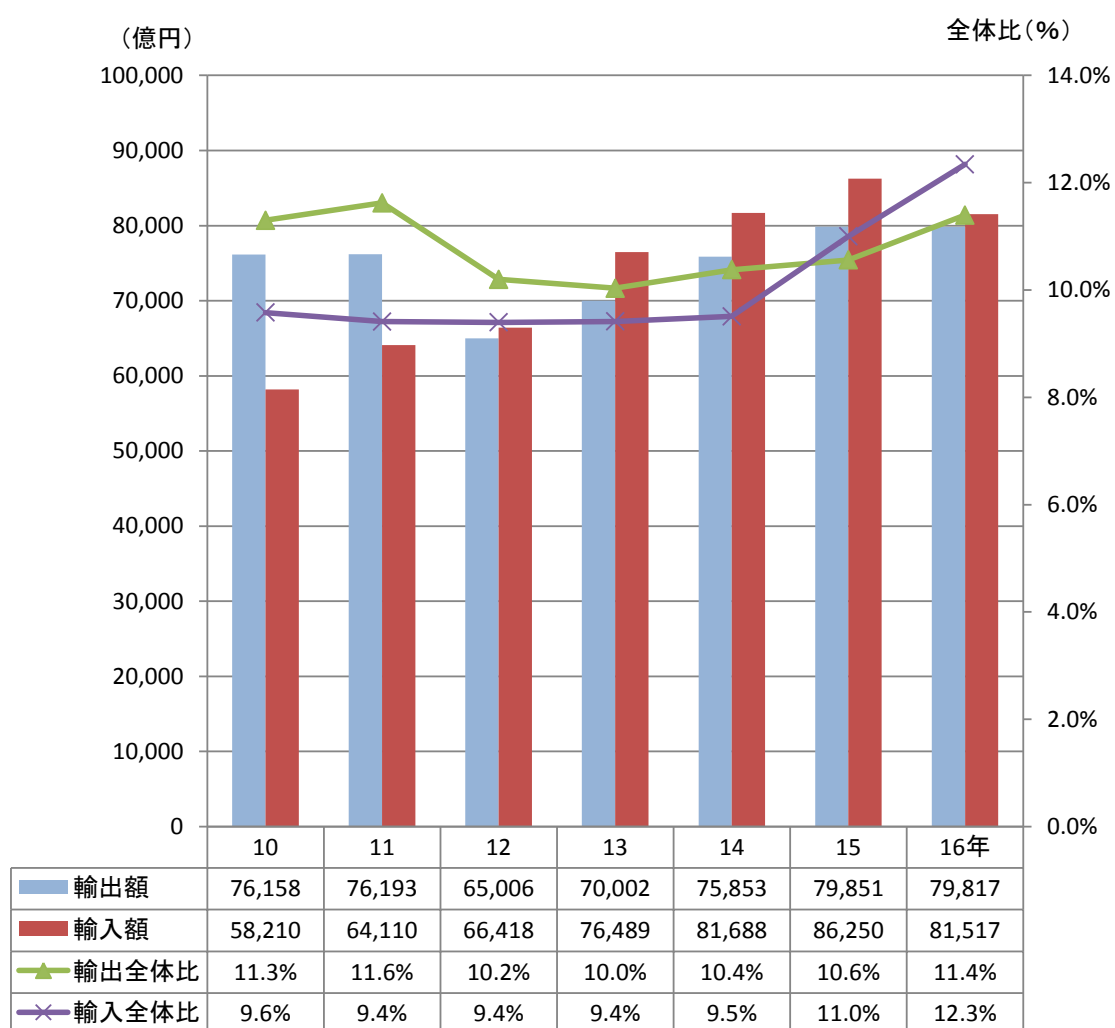


図表 2-15-16～17 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

【トピックス】日本とEUの貿易動向について

- ・2016年の日本のEUへの輸出額は7兆9,817億円で、輸出額全体に占める割合は11.4%、輸入額は8兆1,517億円で、輸入額全体に占める割合は12.3%で、輸出入額ともに全体の1割強を占めている。
- ・輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、自動車の部分品、事務用機器等となっている。一方、輸入品目は、輸入額が多い順に、自動車、有機化合物、科学光学機器等となっている。

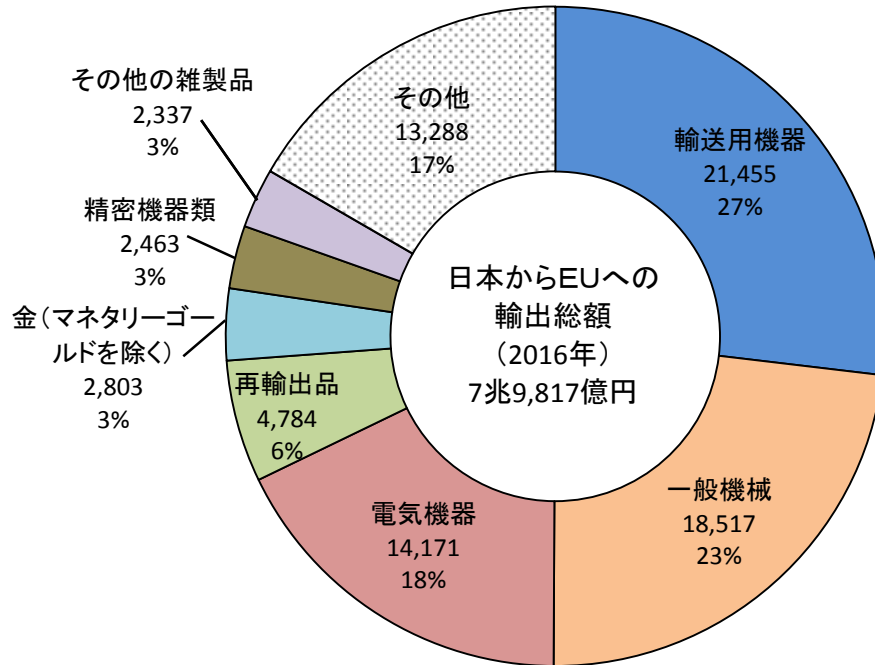
日本の対EU貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

日本からEUへの輸出品目

(単位: 億円、%)

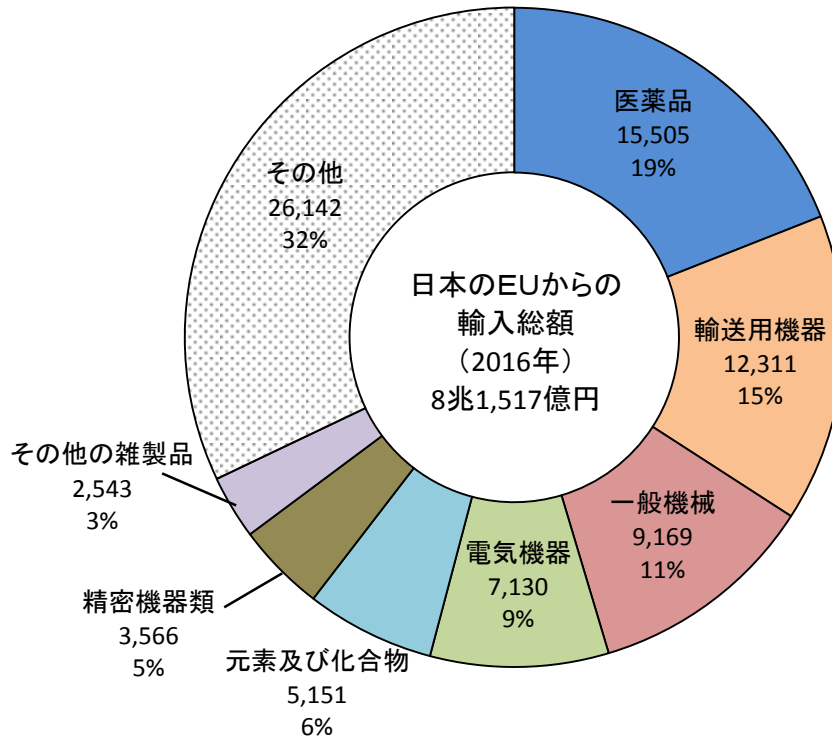


主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	12,494	15.7%
自動車の部分品	輸送用機器	4,658	5.8%
事務用機器	一般機械	3,624	4.5%
原動機	一般機械	3,522	4.4%
電気計測機器	電気機器	2,595	3.3%
科学光学機器	精密機器類	2,433	3.0%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	2,049	2.6%
半導体等電子部品	電気機器	1,931	2.4%
有機化合物	元素及び化合物	1,833	2.3%
建設用・鉱山用機械	一般機械	1,657	2.1%
その他		43,021	53.9%
総額		79,817	100%

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

日本のEUからの輸入品目

(単位: 億円、%)



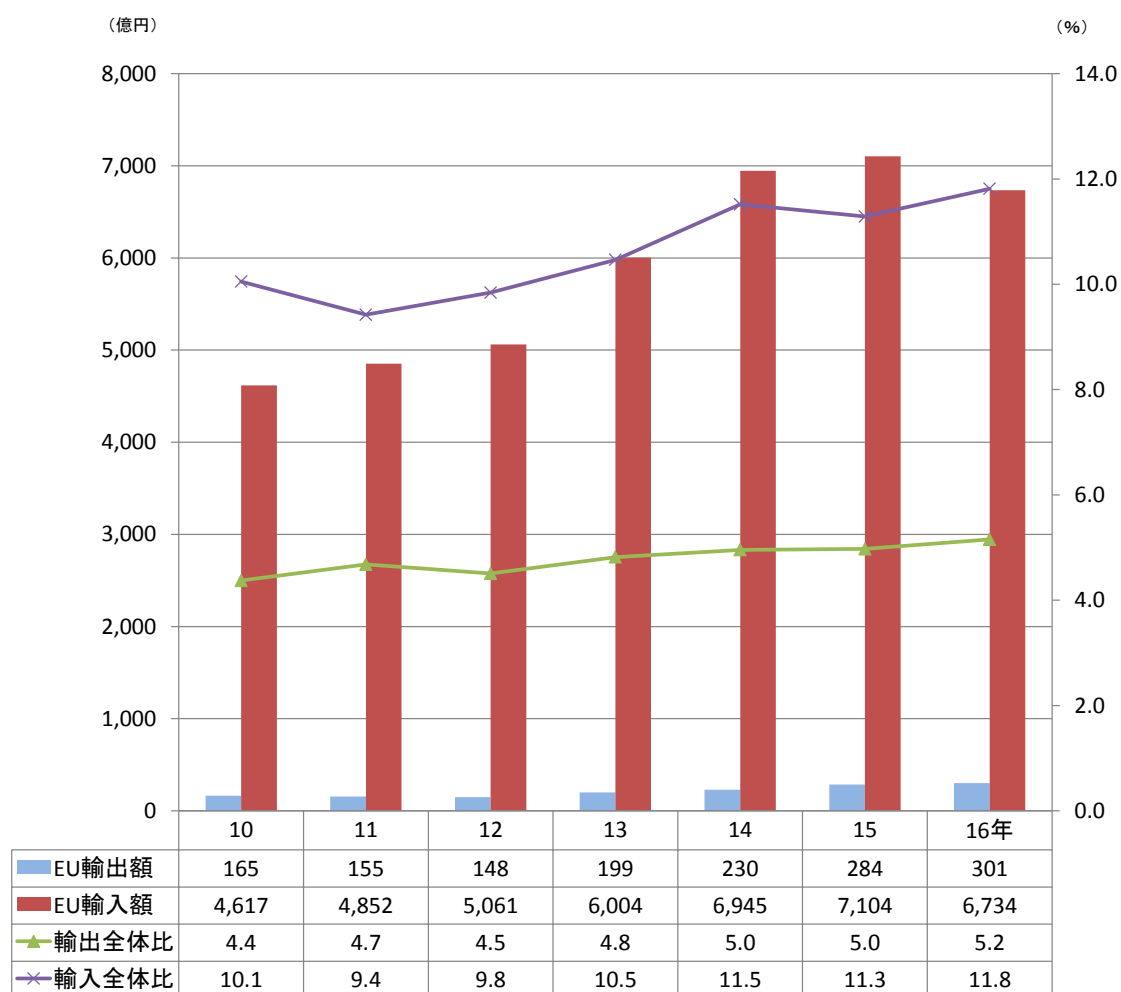
主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	9,497	11.7%
有機化合物	元素及び化合物	4,214	5.2%
科学光学機器	精密機器類	3,485	4.3%
原動機	一般機械	2,947	3.6%
電気計測機器	電気機器	1,792	2.2%
アルコール飲料	飲料	1,683	2.1%
製造たばこ	たばこ	1,653	2.0%
豚・いのししの肉	肉類及び同調製品	1,648	2.0%
自動車の部分品	輸送用機器	1,246	1.5%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	1,051	1.3%
その他		52,301	64.2%
総額		81,517	100%

出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

○食料品

- ・ 2016 年の日本の食料品貿易額は、輸出が 5,848 億円（前年比 2.3%増）と 2009 年から毎年増加している。輸入は 5 兆 6,992 億円（前年比 9.4%減）と前年を下回った。食料品の貿易収支は、大幅な輸入超過になっている。
- ・ EU との食料品貿易額は、輸出が 301 億円（全体比 5.2%）で、輸入が 6,734 億円（同 11.8%）となっており、大幅な輸入超過になっている。

日本の対EU食料品貿易額の推移

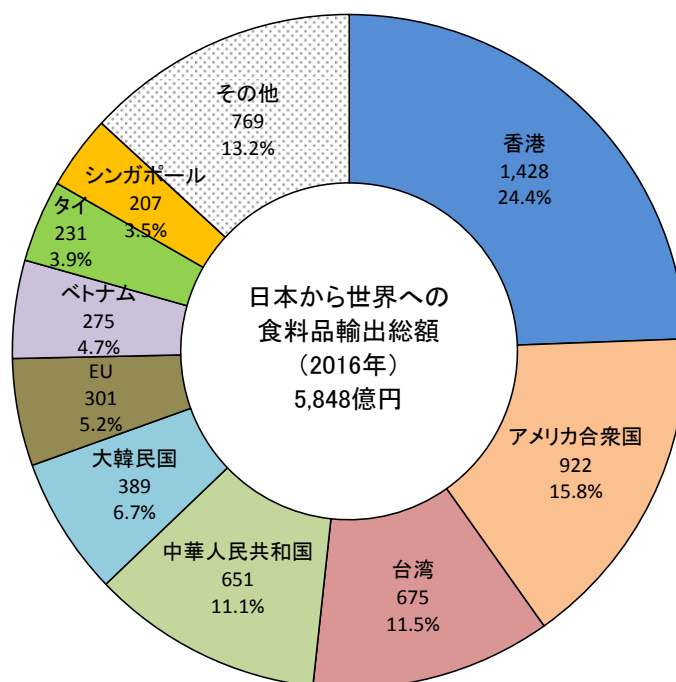


備考：「食料品」とは、「食料品及び動物（大分類）」、「飲料（中分類）」、「動植物性油脂（大分類）」を足したものから、「生きた動物（中分類）」、「飼料（中分類）」、「加工油脂及びろう（中分類）」を差し引いたものとする。

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

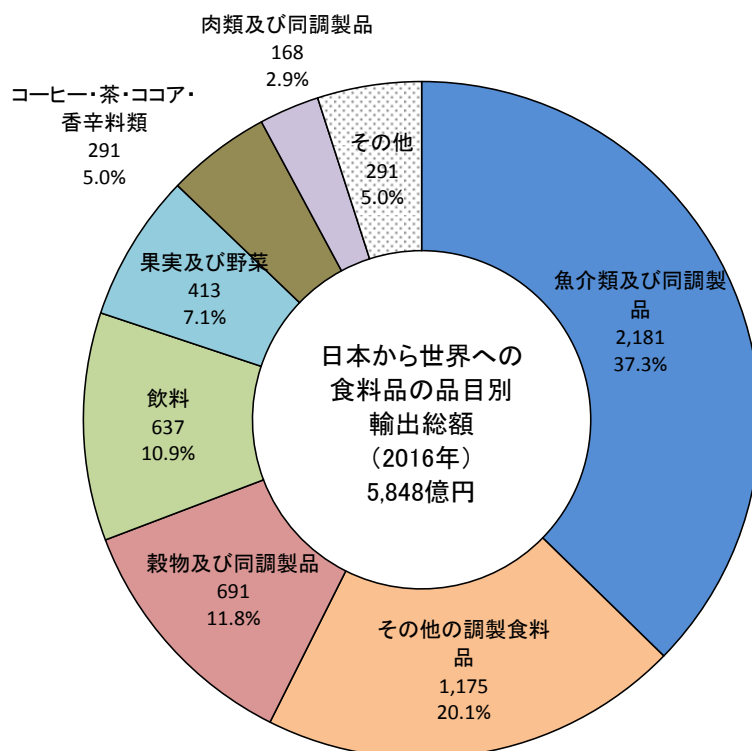
日本の食料品の国・地域別輸出額

(単位:億円、%)



日本の食料品の品目別輸出額

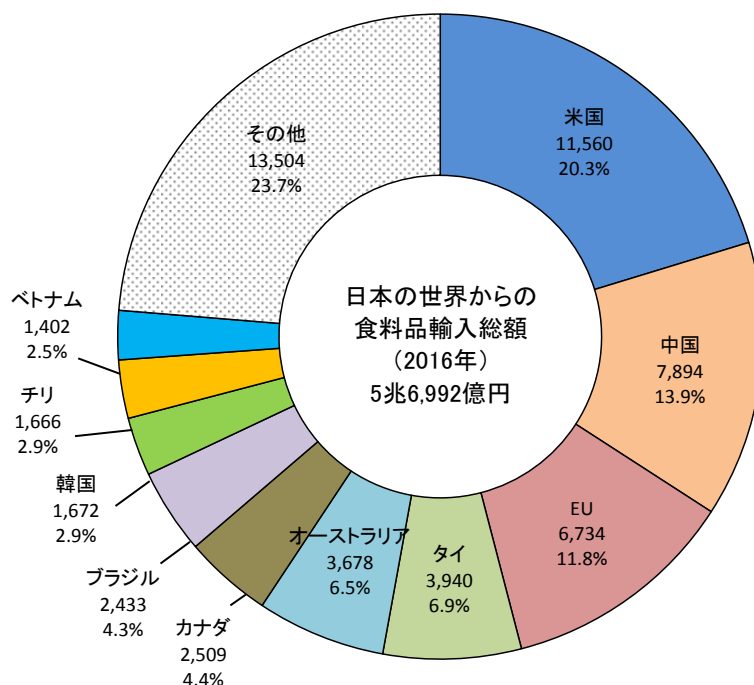
(単位:億円、%)



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

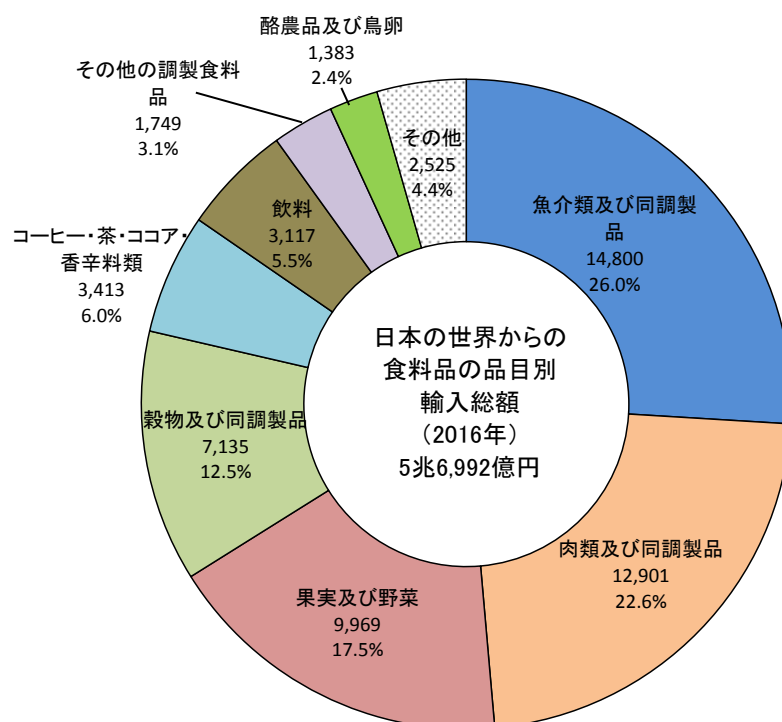
日本の食料品の国・地域別輸入額

(単位:億円、%)



日本の食料品の品目別輸入額

(単位:億円、%)



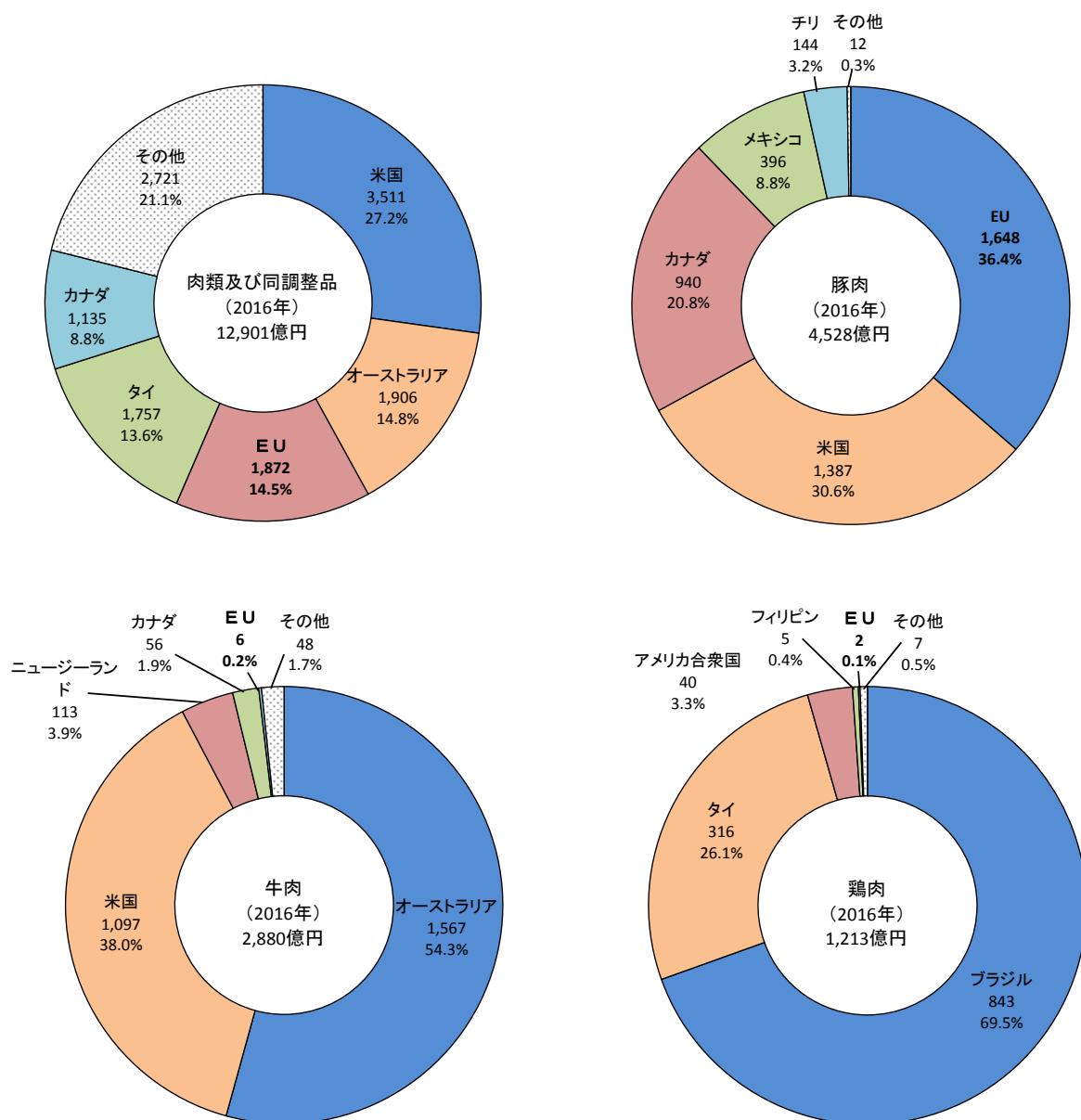
出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成

○農産物及び酒類

- ・日本が世界から輸入している肉類や酪農品などの農産物やぶどう酒などの酒類のなかで、ＥＵからの輸入分について、現状は以下のとおり。

○ 肉類

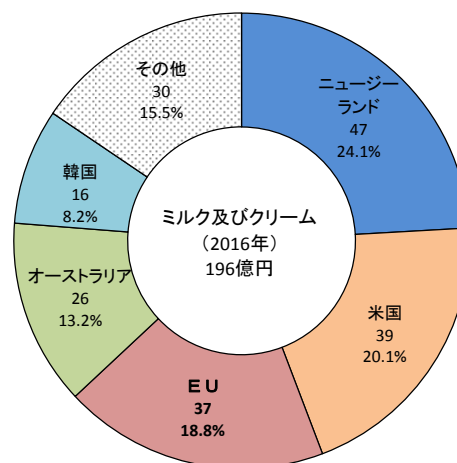
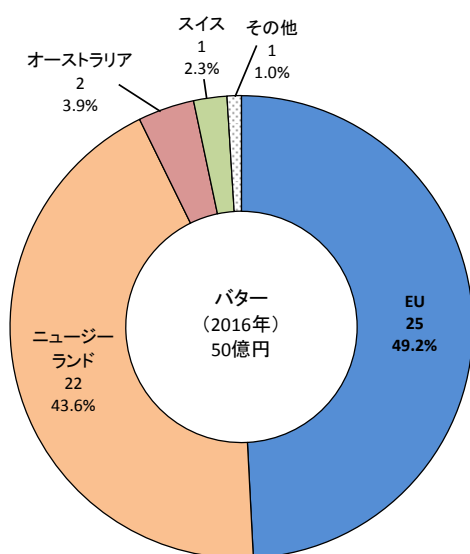
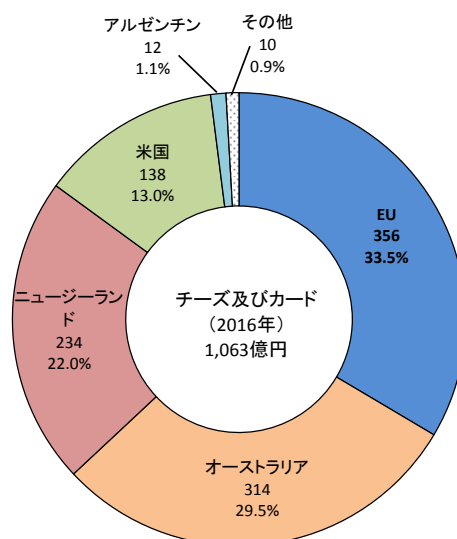
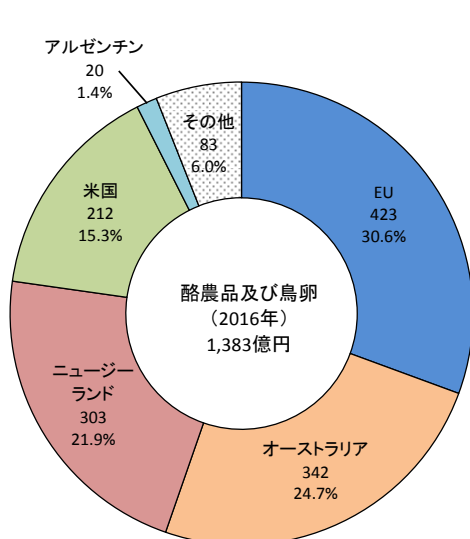
(単位:億円、%)



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

○ 酪農品

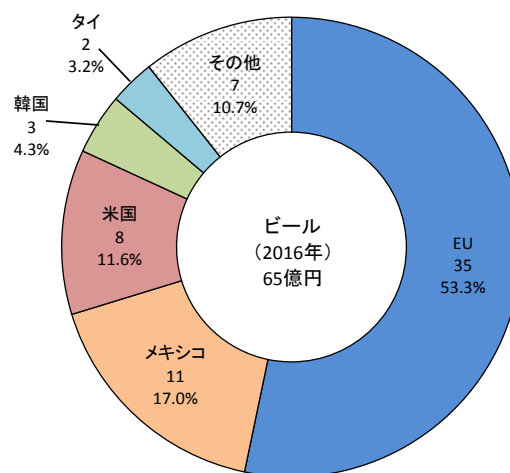
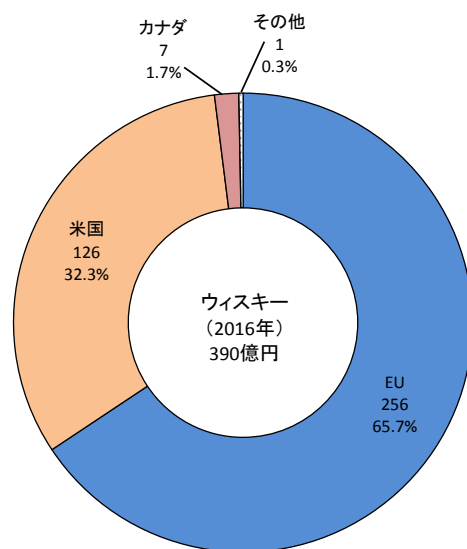
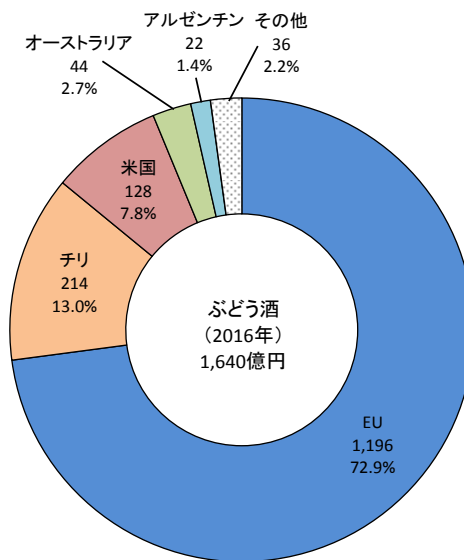
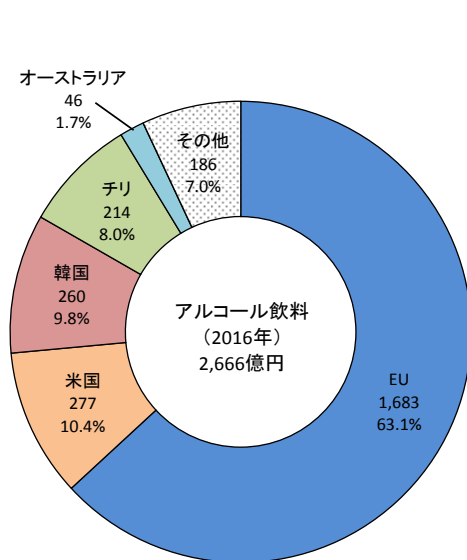
(単位:億円、%)



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

○ 酒類

(単位:億円、%)



出所:財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

第 16 章 九州とロシアの経済関係

1. ロシアの経済概況

国 名	ロシア連邦
面 積	約1,710万km ² (日本の45倍, 米国の2倍近く)
人 口	1億4,680万人(2017年1月)
首 都	モスクワ
言 語	ロシア語
宗 教	ロシア正教, イスラム教, 仏教, ユダヤ教等。
政 体	共和制, 連邦制(共和国や州等83の構成主体からなる連邦国家)
主要産業	鉱業(石油, 天然ガス, 石炭, 金, ダイヤモンド等)、鉄鋼業、機械工業、化学工業、繊維工業

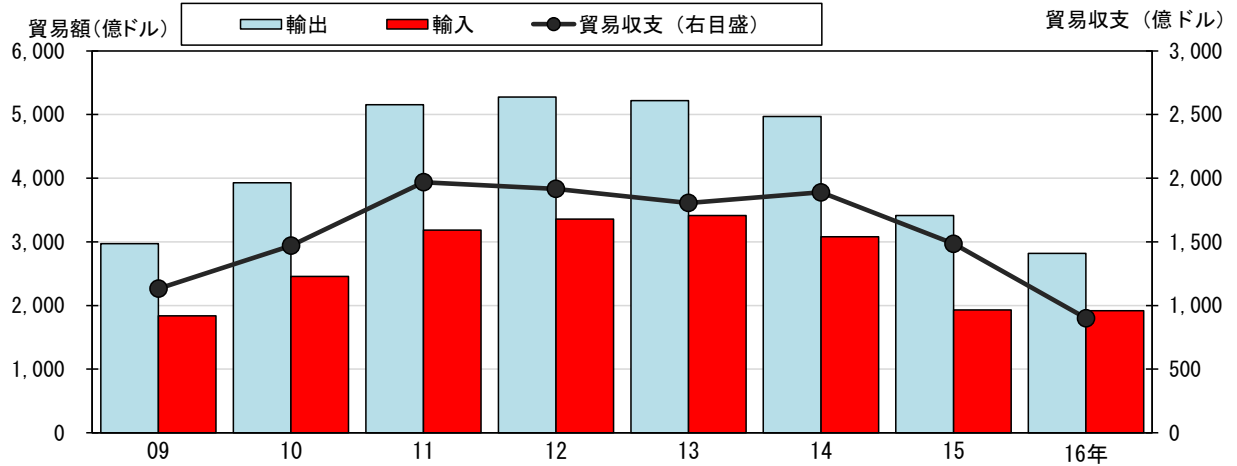
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-16-1 ロシアのマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.7	1.8	0.7	▲ 2.8	▲ 0.2
名目GDP総額	十億ドル	2,210	2,297	2,064	1,366	1,283
一人当たりGDP(名目)	ドル	15,425	16,023	14,388	9,521	8,946
輸出額	億ドル	5,274	5,218	4,968	3,415	2,817
	前年比(%)	2.3	▲ 1.1	▲ 4.8	▲ 31.3	▲ 17.5
輸入額	億ドル	3,358	3,413	3,079	1,930	1,917
	前年比(%)	5.4	1.6	▲ 9.8	▲ 37.3	▲ 0.7
貿易収支	億ドル	1,917	1,806	1,889	1,485	900
対日貿易収支	億ドル	▲ 1	61	89	77	27 *
鉱工業生産指数	前年比(%)	3.4	0.4	1.6	▲ 0.8	1.3
失業率	(%)	5.5	5.5	5.2	5.6	5.5
消費者物価指数(総合)	前年比(%)	5.1	6.8	7.8	15.5	7.1
直接投資受入額	億ドル	506	692	220	48	325 *
為替レート(1ドル)	ルーブル	31.06	31.87	38.64	61.24	66.95

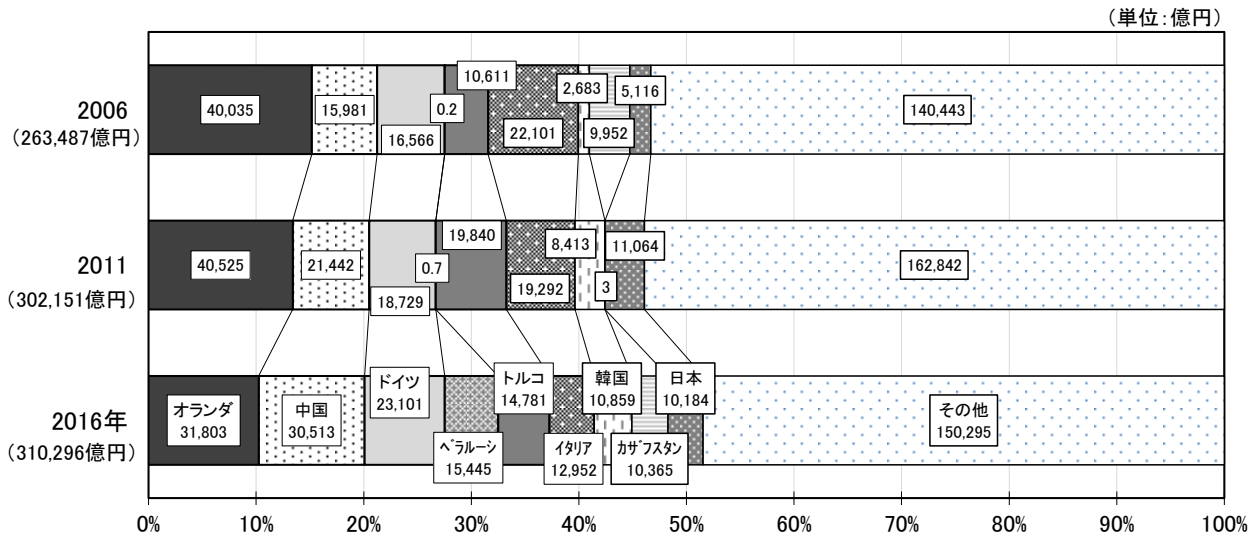
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-16-2 ロシアの対外貿易額の推移

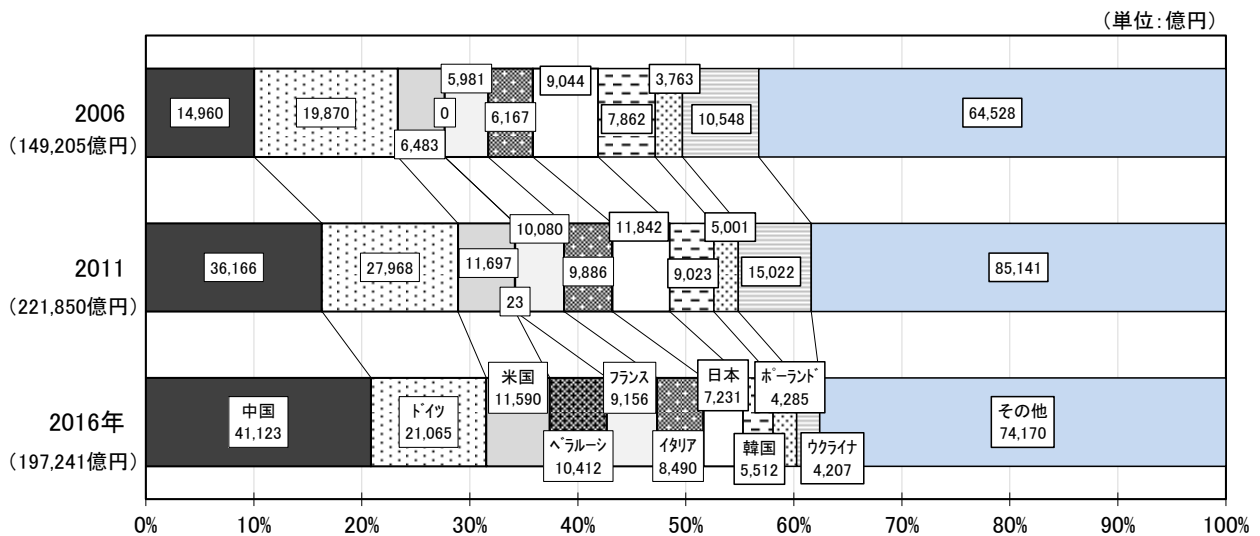


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成 29 年 10 月)」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-3 ロシアの輸出相手国・地域の推移



図表 2-16-4 ロシアの輸入相手国・地域の推移

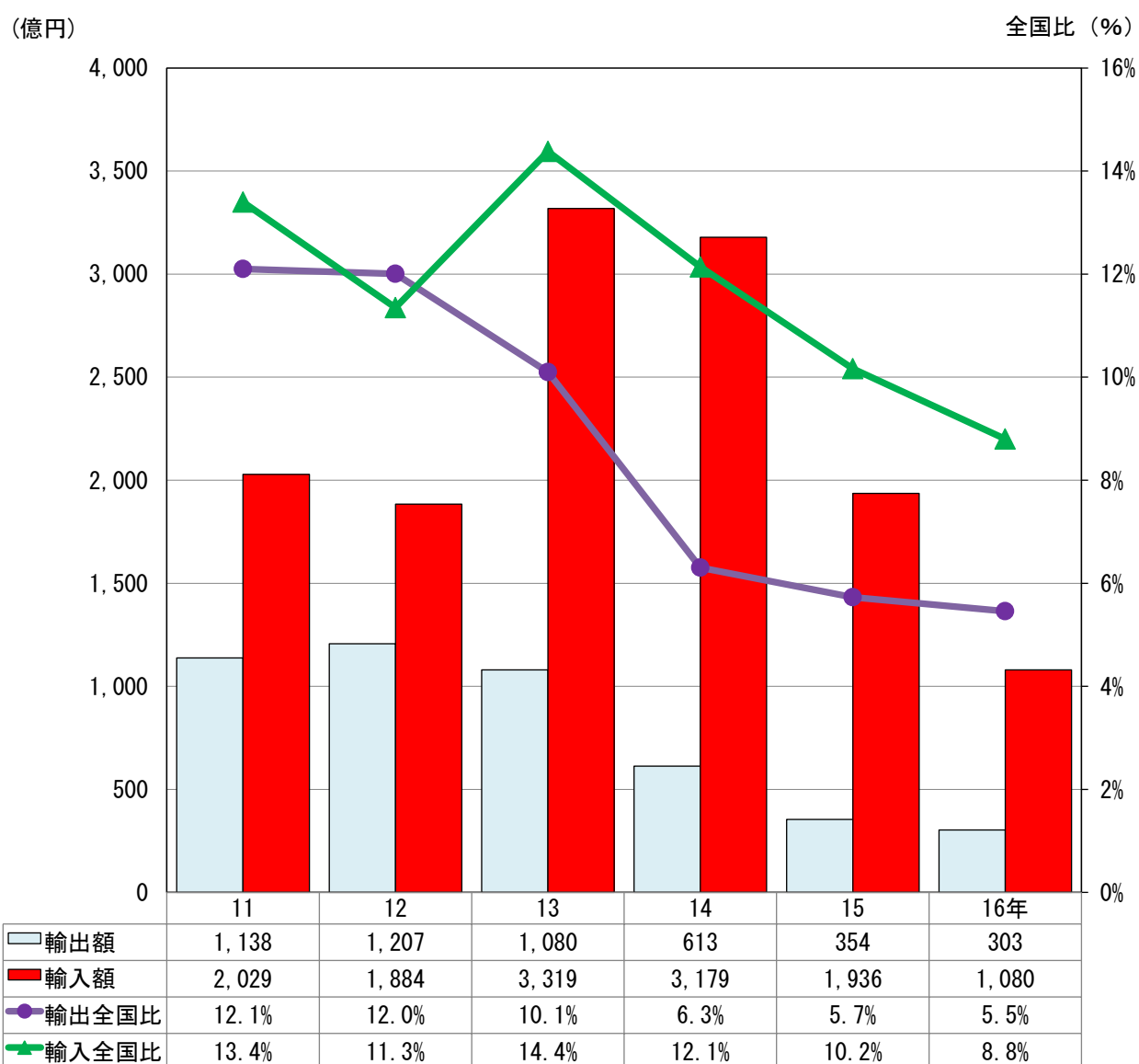


図表 2-16-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州とロシアの経済動向

- 2016年の九州の対ロシア貿易額は、輸出が303億円（前年比14.5%減）と4年連続で減少した。輸入は1,080億円（前年比44.2%減）と3年連続で減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、ゴムタイヤ及びチューブ、自動車の部分品、原動機等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、電気回路等の機器（寄与度：+1.7%）、石油製品（潤滑油及びグリス等）（同+1.0%）となっている。一方、減少では、ゴムタイヤ及びチューブ（同▲8.3%）、自動車の部分品（同▲3.2%）、二輪自動車類（同▲1.2%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石油ガス類（液化天然ガス）、原油及び粗油、石炭等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、原油及び粗油（寄与度：▲30.2%）、石油ガス類（液化天然ガス）（同▲10.0%）、石炭（同▲3.1%）となっている。

図表 2-16-5 九州の対ロシア貿易額の推移

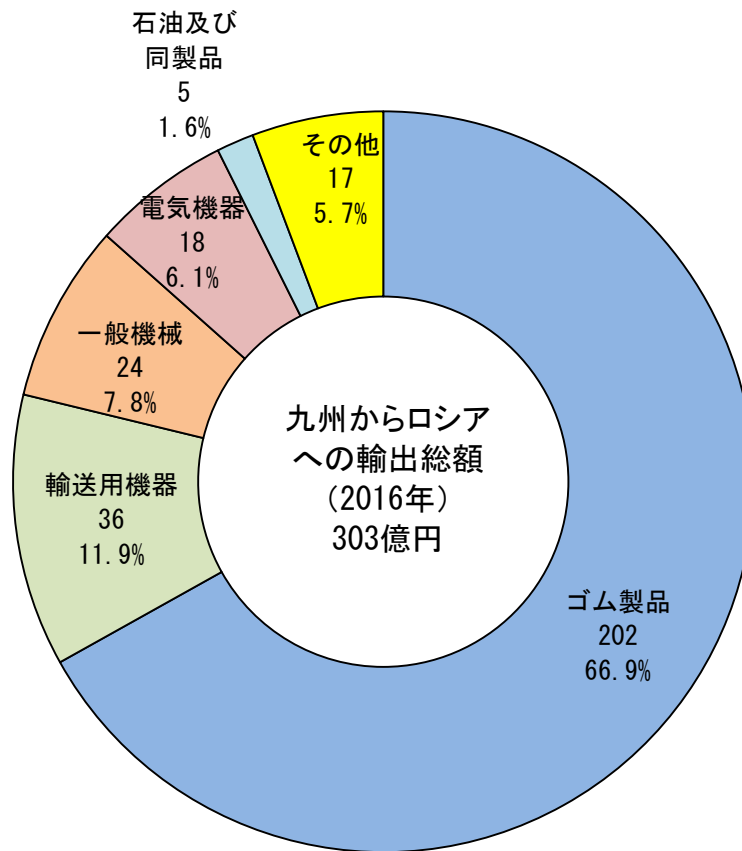


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-6 九州からロシアへの輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	202	66.8%
自動車の部分品	輸送用機器	26	8.5%
原動機	一般機械	10	3.3%
自動車	輸送用機器	7	2.4%
電気回路等の機器	電気機器	7	2.3%
石油製品(潤滑油及びグリス等)	石油及び同製品	5	1.6%
二輪自動車類	輸送用機器	3	0.9%
絶縁電線及び絶縁ケーブル	電気機器	3	0.9%
ポンプ及び遠心分離機	一般機械	3	0.8%
繊維二次製品(除衣類)	織物用糸及び繊維製品	2	0.8%
その他		35	11.6%
総 額		303	100.0%

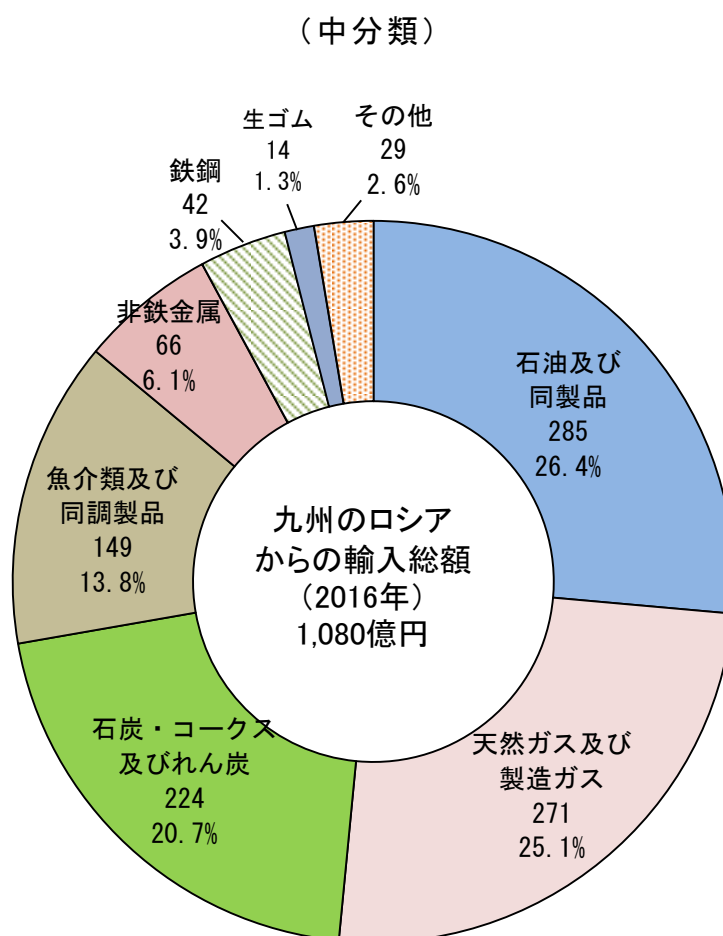
寄与度（増加分）：電気回路等の機器（+1.7%）、石油製品（潤滑油及びグリス等）（+1.0%）等

寄与度（減少分）：ゴムタイヤ及びチューブ（▲8.3%）、自動車の部分品（▲3.2%）
二輪自動車類（▲1.2%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-7 九州のロシアからの輸入品目

(単位：億円、%)

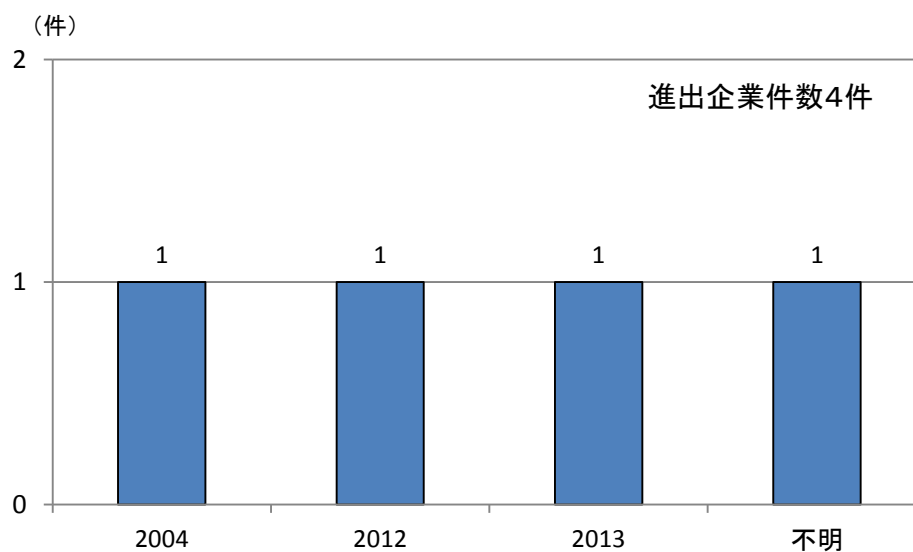


主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石油ガス類(液化天然ガス)	天然ガス及び製造ガス	271	25.1%
原油及び粗油	石油及び同製品	255	23.7%
石炭	石炭・コークス及びれん炭	223	20.7%
魚介類(生鮮・冷凍)	魚介類及び同調製品	149	13.8%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	62	5.8%
合金鉄	鉄鋼	41	3.8%
石油製品(揮発油)	石油及び同製品	30	2.8%
合成ゴム	生ゴム	14	1.3%
カリ肥料	肥料	8	0.8%
木材	木材及びコルク	4	0.4%
その他		22	2.0%
総 額		1,080	100.0%

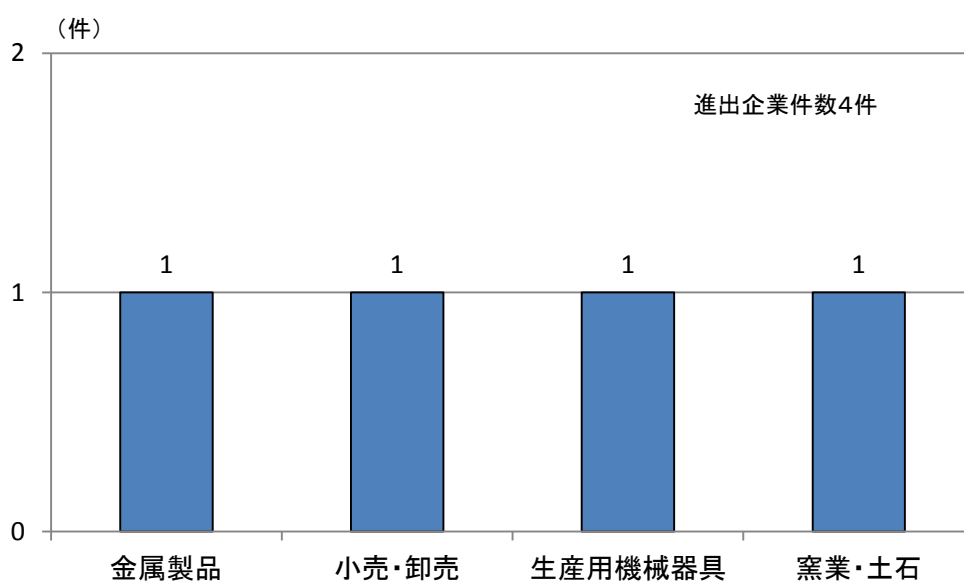
寄与度(減少分)：原油及び粗油(▲30.2%)、石油ガス類(液化天然ガス)(▲10.0%)、石炭(▲3.1%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-16-8 九州企業のロシアへの進出件数の推移



図表 2-16-9 ロシアに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-16-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第 17 章 九州と米国の経済関係

1. 米国の経済概況

国 名	アメリカ合衆国
面 積	962.8万km ² (50州・日本の約25倍)
人 口	3億875万人(2010年4月 米国国勢局)
首 都	ワシントンD.C.
言 語	主として英語(法律上の定めはない)
宗 教	信教の自由を憲法で保障、主にキリスト教
政 体	大統領制、連邦制(50州他)
主要産業	工業(全般)、農林業(小麦、トウモロコシ、大豆、木材他)、金融・保険・不動産業、サービス業

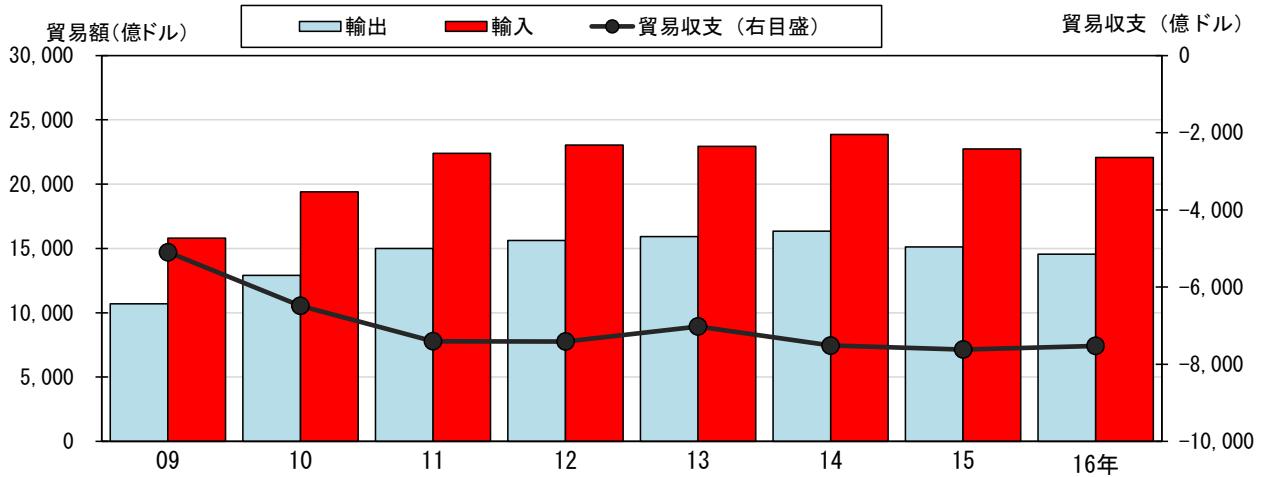
出所：外務省HP「各国・地域情勢」

図表 2-17-1 米国のマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	2.2	1.7	2.6	2.9	1.5
名目GDP総額	十億ドル	16,155	16,692	17,428	18,121	18,624
一人当たりGDP(名目)	ドル	51,403	52,742	54,668	56,437	57,608
輸出額(FOB)	億ドル	15,626	15,920	16,340	15,108	14,557
	前年比(%)	4.2	1.9	2.6	▲7.5	▲3.6
輸入額(FOB)	億ドル	23,038	22,942	23,855	22,726	22,082
	前年比(%)	2.9	▲0.4	4.0	▲4.7	▲2.8
貿易収支	億ドル	▲7,412	▲7,022	▲7,515	▲7,619	▲7,525
対日貿易収支	億ドル	▲765	▲733	▲676	▲690	▲688*
鉱工業生産指数	前年比(%)	2.9	2.0	3.1	▲0.7	▲1.2
失業率	(%)	8.1	7.4	6.2	5.3	4.9
消費者物価	前年比(%)	2.1	1.5	1.6	0.1	1.3
直接投資受入額	億ドル	1,990	2,014	2,017	4,658	4,571*
為替レート(1ドル)	円	79.79	97.60	105.94	108.79	112.05

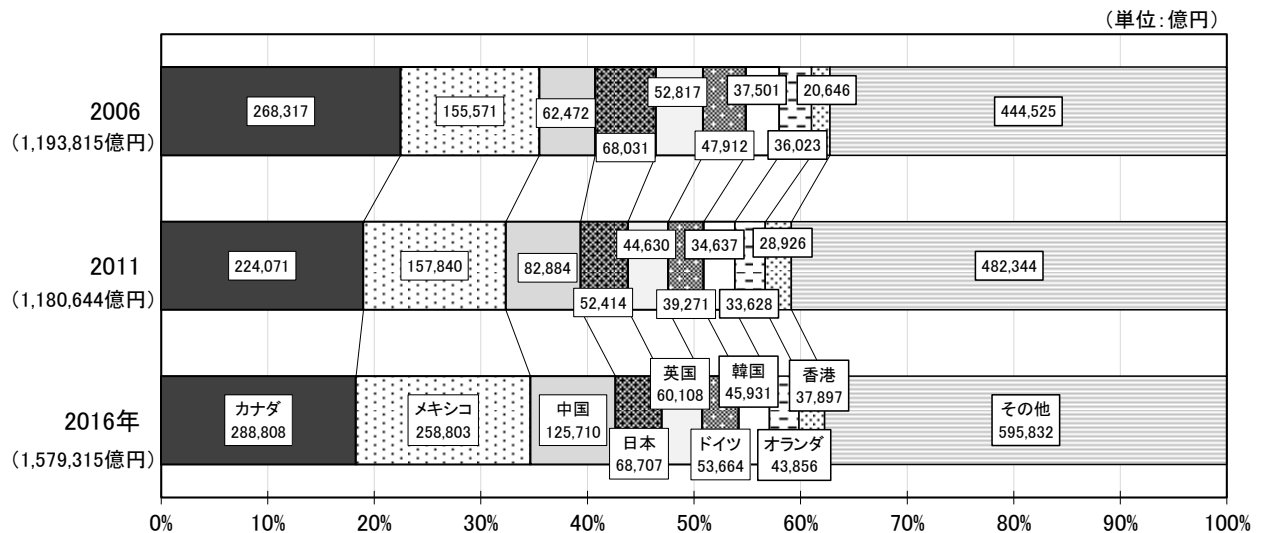
出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-(平成29年10月)」、*はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」(基礎的経済指標)より九州経済産業局作成。

図表 2-17-2 米国の対外貿易額の推移

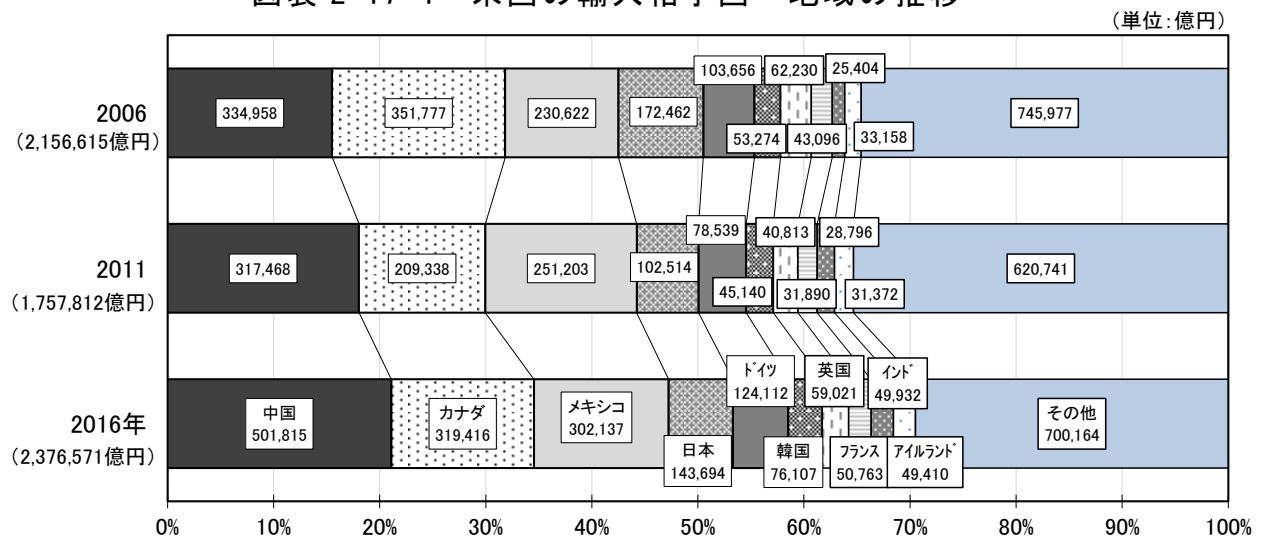


出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-（平成 29 年 10 月）」より九州経済産業局作成。

図表 2-17-3 米国の輸出相手国・地域の推移



図表 2-17-4 米国の輸入相手国・地域の推移

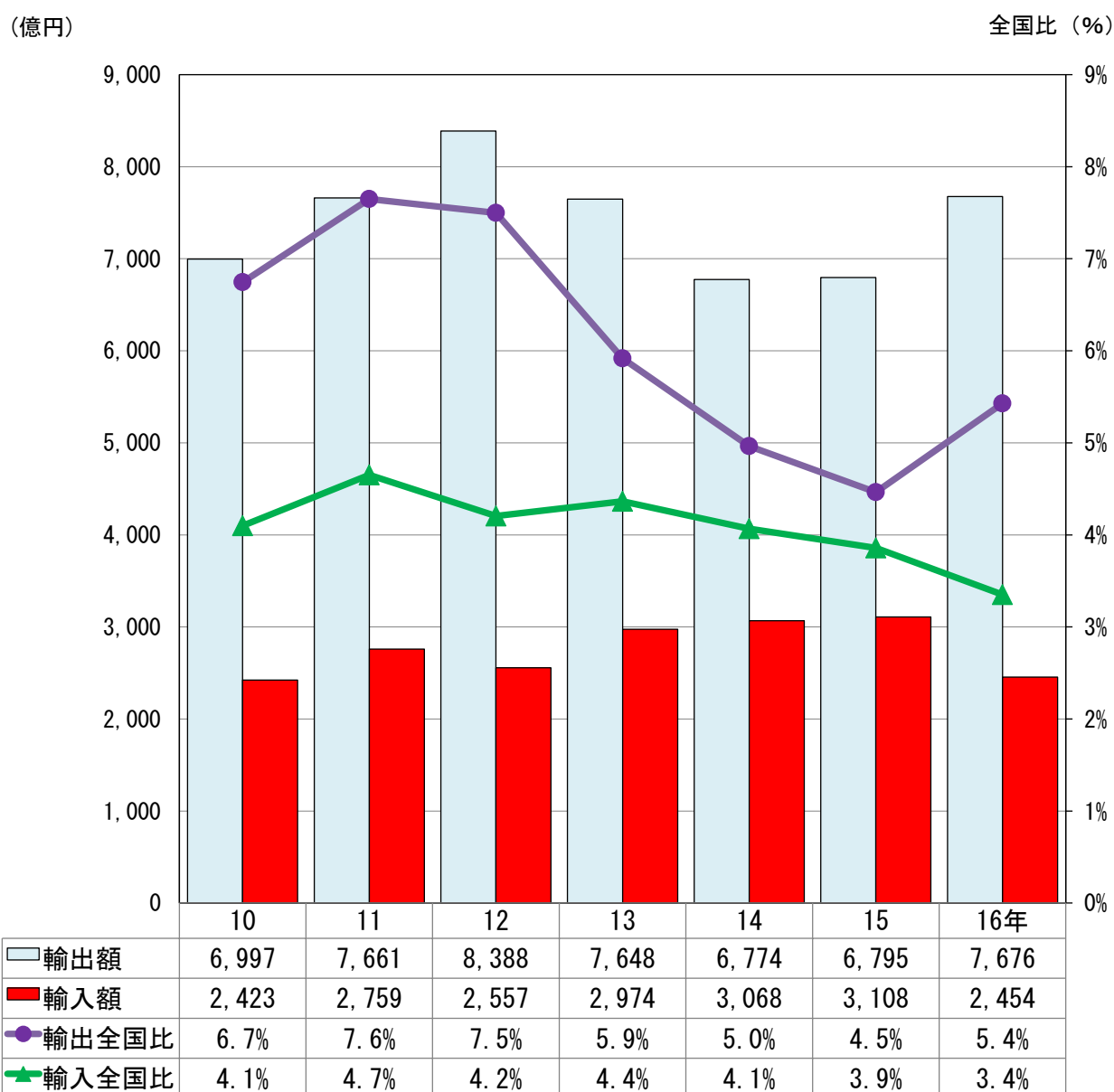


図表 2-17-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州と米国の経済動向

- 2016年の九州の対米貿易額は、輸出が7,676億円（前年比13.0%増）と2年連続で増加した。輸入は2,454億円（前年比21.0%減）と4年ぶりに減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、事務用機器、ゴムタイヤ及びチューブ等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車（寄与度：+19.5%）となっている。一方、減少では、映像機器（同▲3.6%）、ゴムタイヤ及びチューブ（同▲1.2%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、とうもろこし、石油ガス類（液化石油ガス）、石炭等となっている。輸入額の増加に大きく寄与したものは、原油及び粗油（寄与度：+1.4%）、音響・映像機器（含部品）（同+1.1%）となっている。一方、減少では、とうもろこし（同▲3.6%）、石油製品（同▲2.8%）、原動機（同▲2.4%）となっている。

図表 2-17-5 九州の対米貿易額の推移

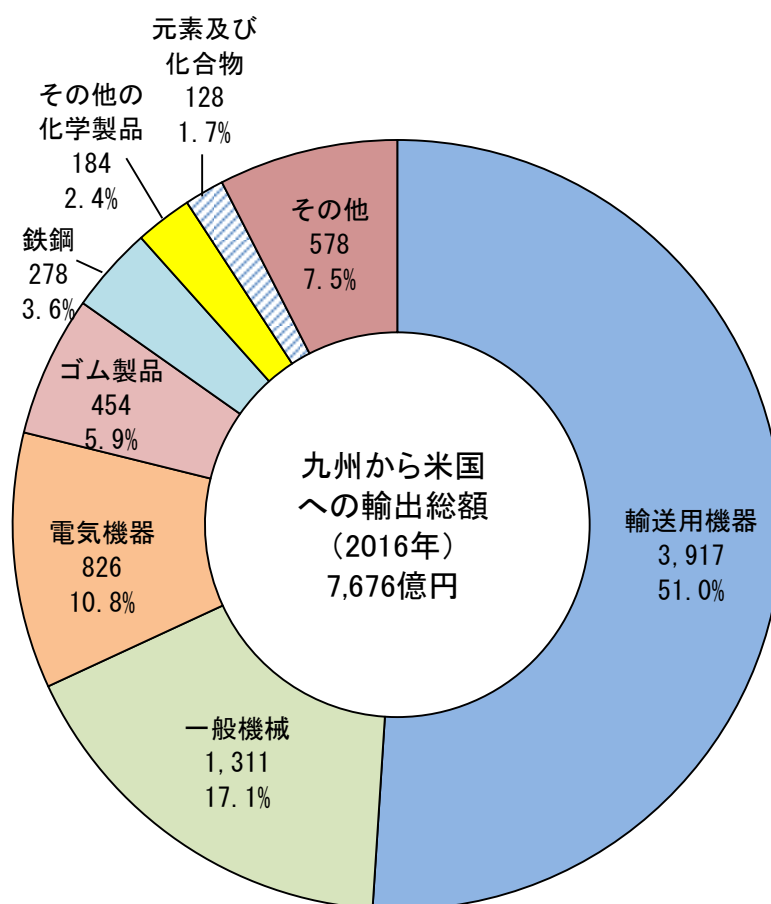


出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-17-6 九州から米国への輸出品目

(単位：億円、%)

(中分類)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	3,555	46.3%
事務用機器	一般機械	485	6.3%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	407	5.3%
半導体等電子部品	電気機器	345	4.5%
原動機	一般機械	297	3.9%
自動車の部分品	輸送用機器	184	2.4%
二輪自動車類	輸送用機器	175	2.3%
映像機器	電気機器	165	2.1%
自動車用等の電気機器	電気機器	142	1.9%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	133	1.7%
その他		1,788	23.3%
総 額		7,676	100%

寄与度（増加分）：自動車（+19.5%）等

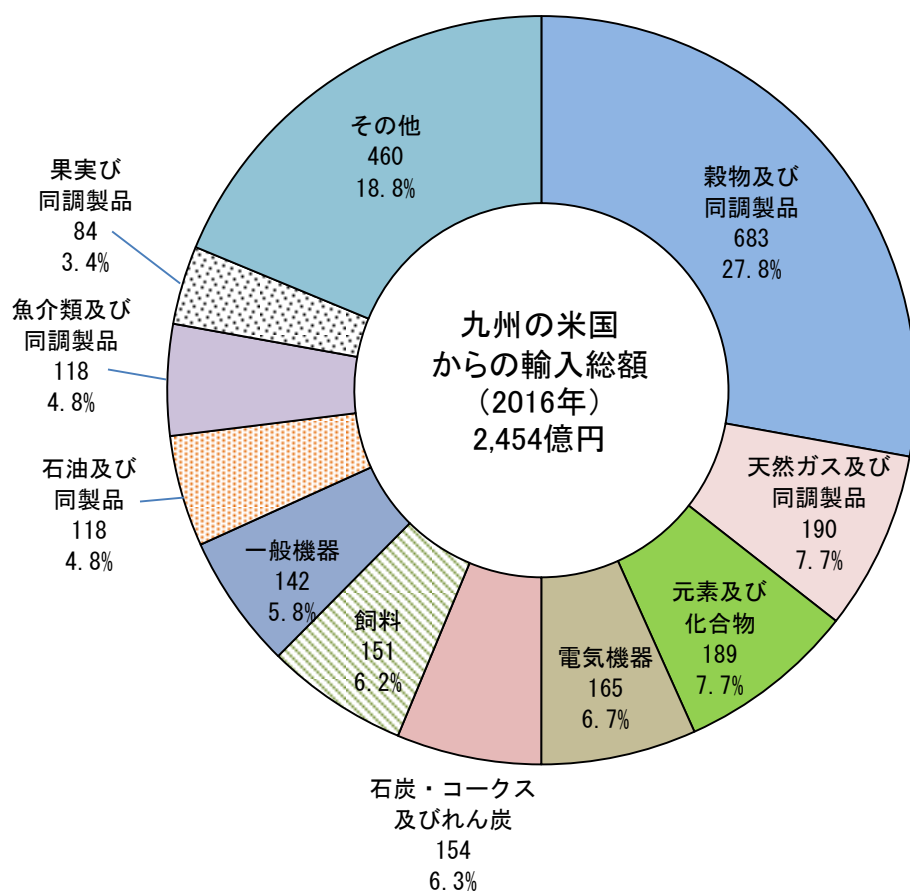
寄与度（減少分）：映像機器（▲3.6%）、ゴムタイヤ及びチューブ（▲1.2%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-17-7 九州の米国からの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)



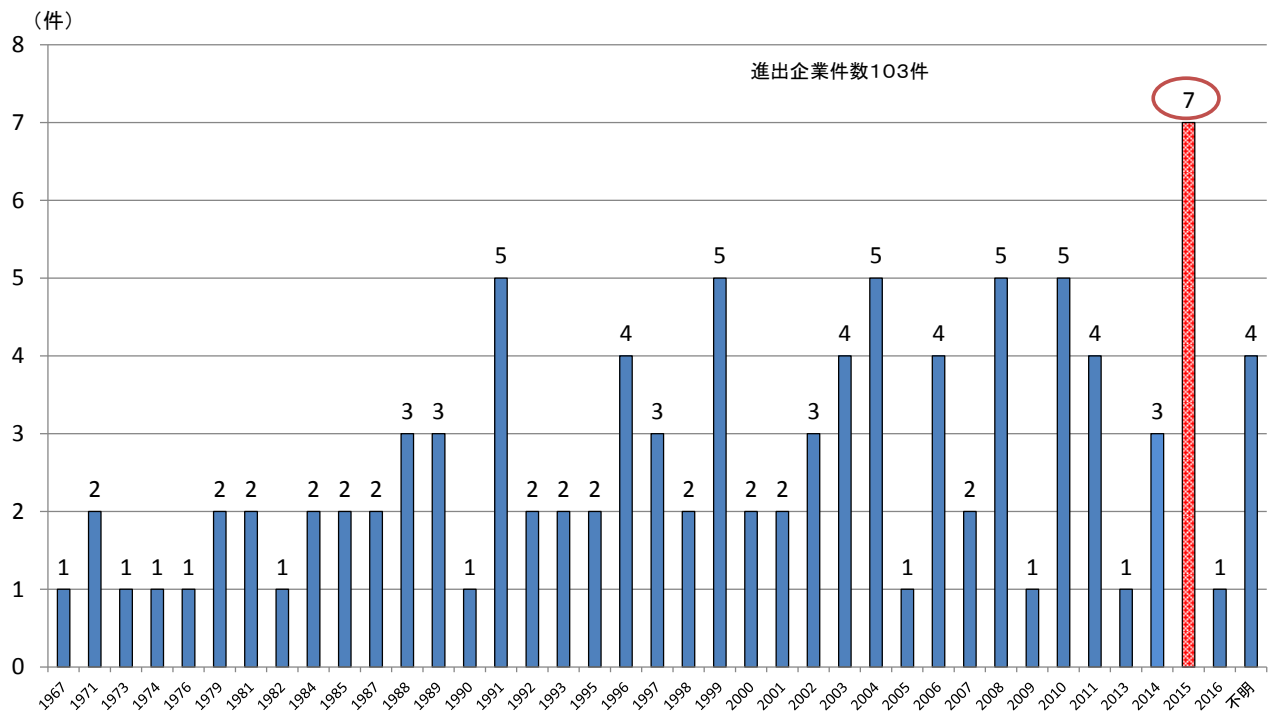
輸入品目(小分類)	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
とうもろこし	穀物及び同調製品	545	22.2%
石油ガス類(液化石油ガス)	天然ガス及び製造ガス	190	7.7%
石炭	石炭・コークス及びれん炭	154	6.3%
魚介類(生鮮・冷凍)	魚介類及び同調製品	118	4.8%
有機化合物	元素及び化合物	96	3.9%
無機化合物	元素及び化合物	93	3.8%
石油製品	石油及び同製品	75	3.1%
音響・映像機器(含部品)	電気機器	73	3.0%
原動機	一般機械	70	2.8%
米	穀物及び同調製品	67	2.7%
その他		974	39.7%
総 額		2,454	100%

寄与度(増加分)：原油及び粗油(+1.4%)、音響・映像機器(含部品)(+1.1%)等

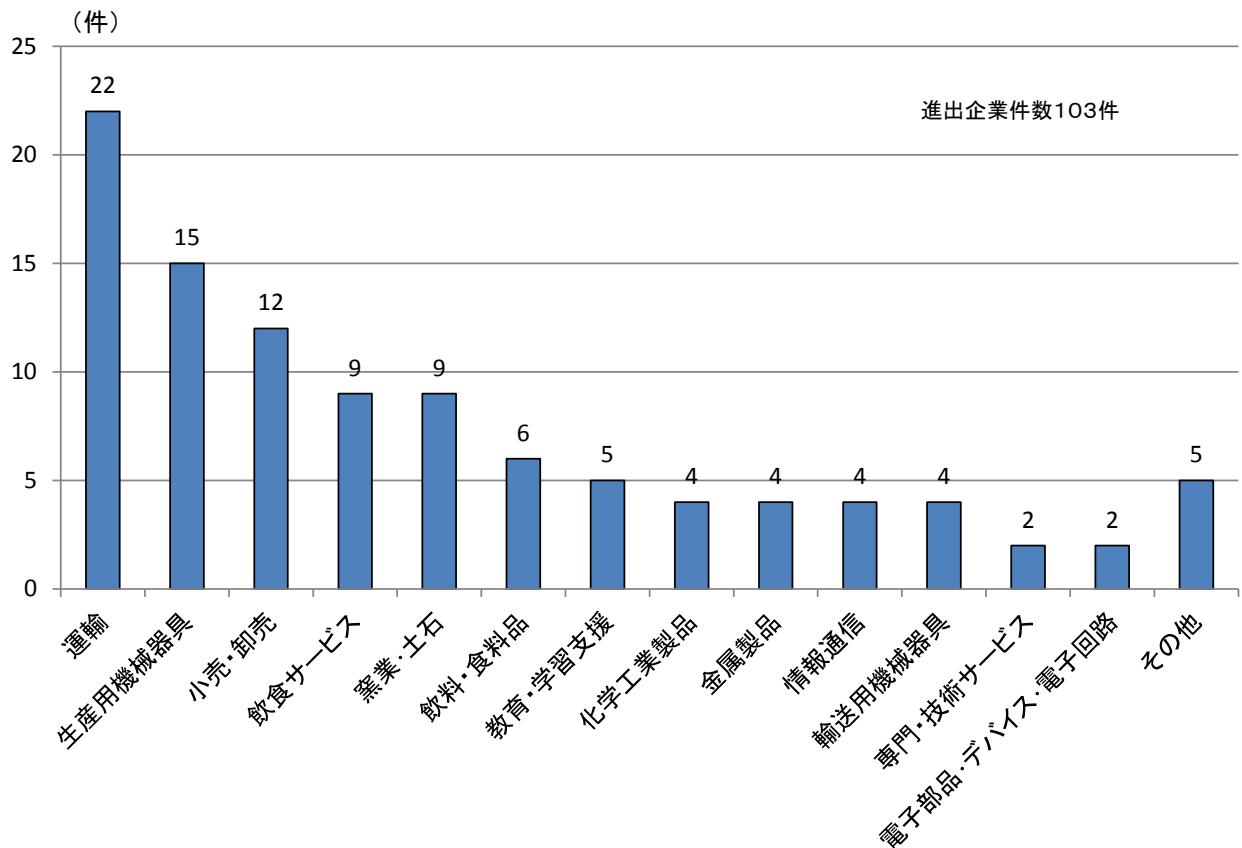
寄与度(減少分)：とうもろこし(▲3.6%)、石油製品(▲2.8%)、原動機(▲2.4%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-17-8 九州企業の米国への進出件数の推移



図表 2-17-9 米国に進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-17-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

第 18 章 九州とオーストラリアの経済関係

1. オーストラリアの経済概況

国 名	オーストラリア連邦
面 積	769万2,024km ² (日本の約20倍、アラスカを除く米とほぼ同じ)
人 口	約2,413万人(2016年6月。豪州統計局)
首 都	キャンベラ
人 種	アングロサクソン系等欧州系が中心。その他に中東系、アジア系、先住民等。
言 語	英語
宗 教	キリスト教61%、無宗教22%(2011年国勢調査)
政 体	立憲君主制
主要産業	第一次産業2.2%、第二次産業26.9%、第三次産業70.9% 農林水産業(2.2%)、鉱業(9.5%)、製造業(6.3%)、建設業(8.3%)、卸売・小売業(9.1%)、運輸・通信業(8.0%)、金融・保険業(9.5%)、専門職・科学・技術サービス(6.2%)など (2015-16年度のGDP産業別シェア、豪州統計局)

出所：外務省HP「各国・地域情勢」

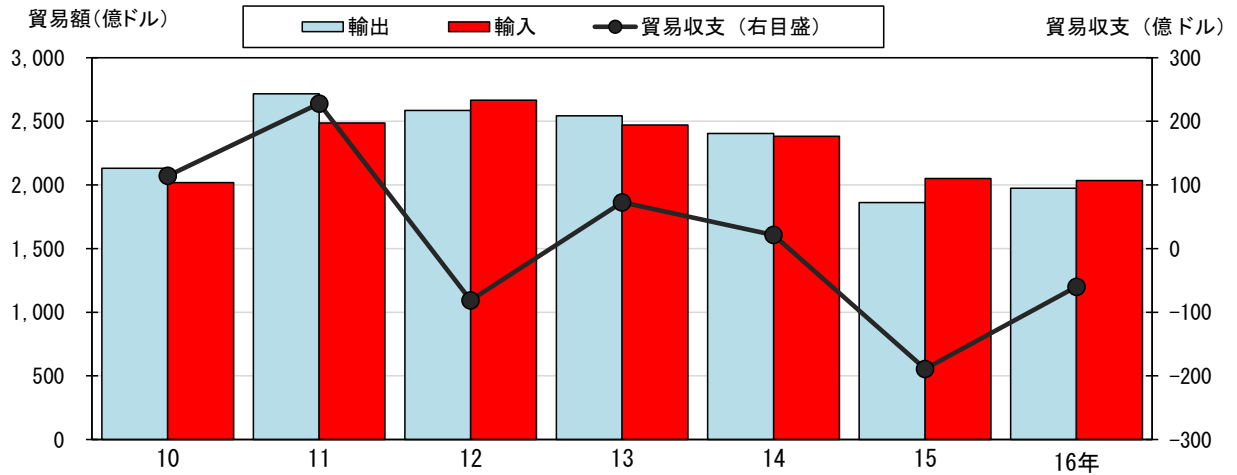
図表 2-18-1 オーストラリアのマクロ経済

	単位	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
実質GDP成長率	前年比(%)	3.6	2.1	2.8	2.4	2.5
名目GDP総額	十億ドル	1,561	1,510	1,450	1,230	1,262
一人当たりGDP(名目)	ドル	68,048	64,734	61,232	51,220	51,737
輸出額	億ドル	2,585	2,544	2,404	1,861	1,974
	前年比(%)	▲ 5.1	5.5	1.2	▲ 6.2	3.5
輸入額	億ドル	2,667	2,471	2,383	2,051	2,034
	前年比(%)	6.8	▲ 0.6	3.3	4.3	▲ 3.2
貿易収支	億ドル	▲ 81	73	21	▲ 190	▲ 60
対日貿易収支	億ドル	289	262	268	143	79
鉱工業生産指数	前年比(%)	2.8	1.1	4.0	1.2	1.3
失業率	(%)	5.2	5.7	6.1	6.1	5.7
消費者物価上昇率	前年比(%)	1.8	2.4	2.5	1.5	1.3
直接投資受入額	億ドル	596	563	403	195	482
為替レート(1ドル)	豪ドル	0.97	1.04	1.11	1.35	1.31
為替レート(1豪ドル)	円	82.65	94.37	95.47	80.85	85.40

備考：貿易額については、表記載の為替レートで米ドルに換算

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-（平成29年10月）」、*1はジェトロ・ウェブサイト「国・地域別情報」（基礎的経済指標）、*2はUNCTADstatより九州経済産業局作成。

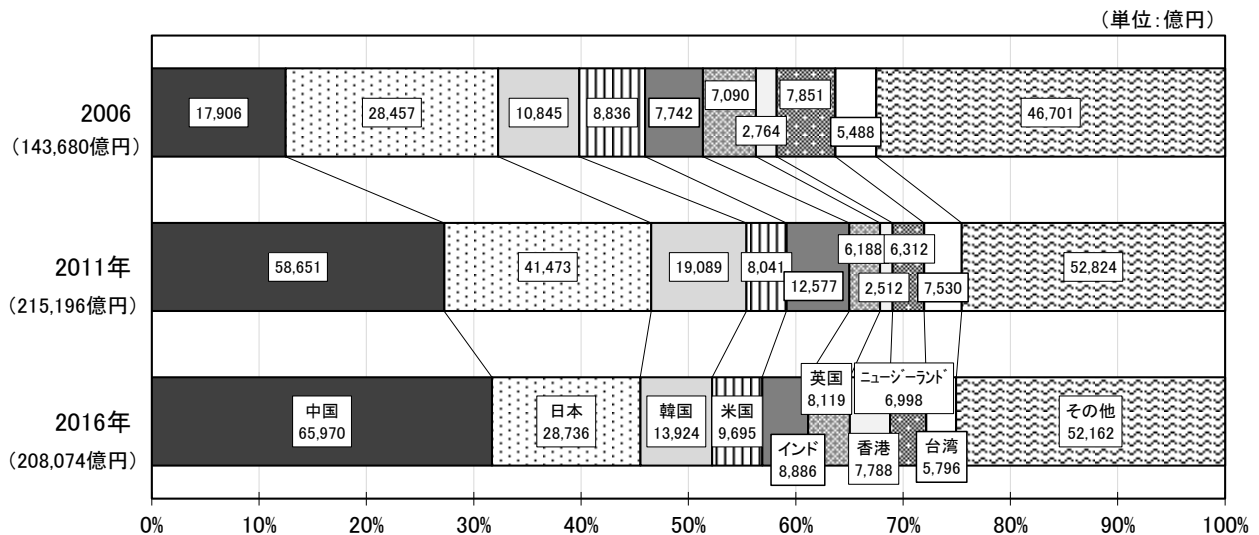
図表 2-18-2 オーストラリアの対外貿易額の推移



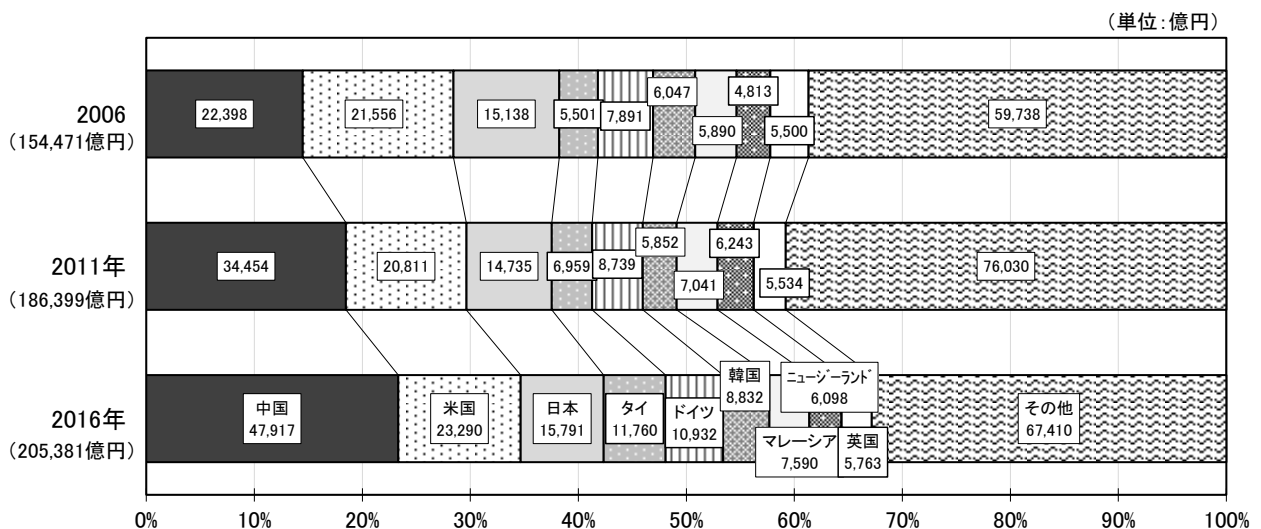
備考：輸出入額、貿易収支については、為替レートで米ドルに換算。

出所：内閣府「海外経済データ-月次アップデート-（平成 29 年 10 月）」より九州経済産業局作成。

図表 2-18-3 オーストラリアの輸出相手国・地域の推移



図表 2-18-4 オーストラリアの輸入相手国・地域の推移

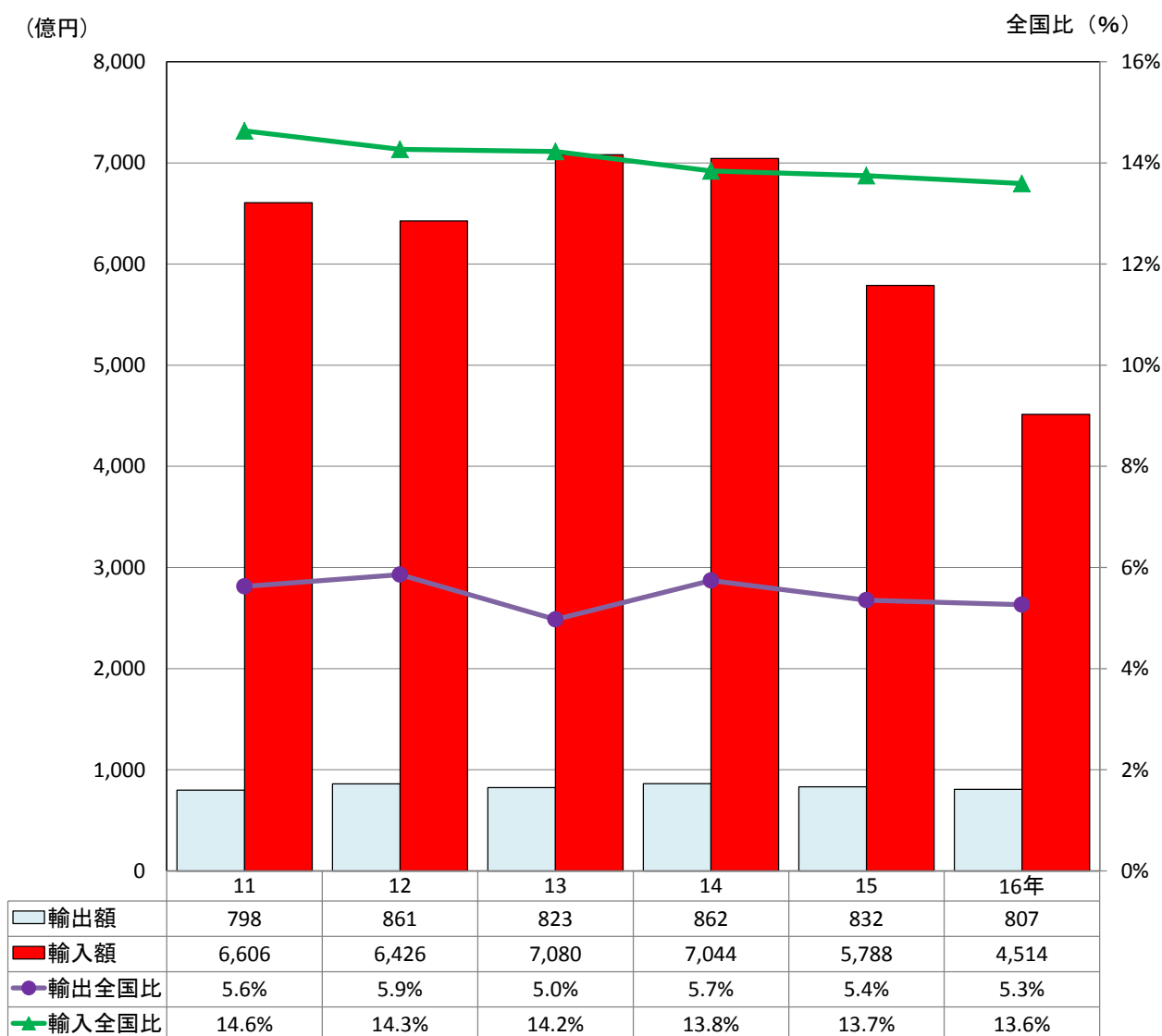


図表 2-18-3～4 出所：「Global Trade Atlas」より九州経済産業局作成。

2. 九州とオーストラリアの経済動向

- 2016年の九州の対オーストラリア貿易額は、輸出が807億円（前年比3.1%減）と2年連続で減少した。輸入は4,514億円（前年比22.0%減）と3年連続で減少した。
- 輸出品目は、輸出額が多い順に、自動車、ゴムタイヤ及びチューブ、軌条及びその他の鉄道線路建設材等となっている。輸出額の増加に大きく寄与したものは、自動車（寄与度：+8.3%）、軌条及びその他の鉄道線路建設材（同+5.2%）となっている。一方、減少では、映像機器（同▲5.3%）、ゴムタイヤ及びチューブ（同▲2.4%）、セメント（同▲1.7%）、鉄鋼のフラットロール製品（同▲1.3%）となっている。
- 輸入品目は、輸入額が多い順に、石炭、鉄鉱石、石油ガス類（液化天然ガス等）等となっている。輸入額の減少に大きく寄与したものは、鉄鉱石（寄与度：▲7.7%）、石油ガス類（液化天然ガス等）（同▲5.9%）、石炭（同▲5.1%）、非鉄金属鉱（銅鉱等）（同▲2.1%）となっている。

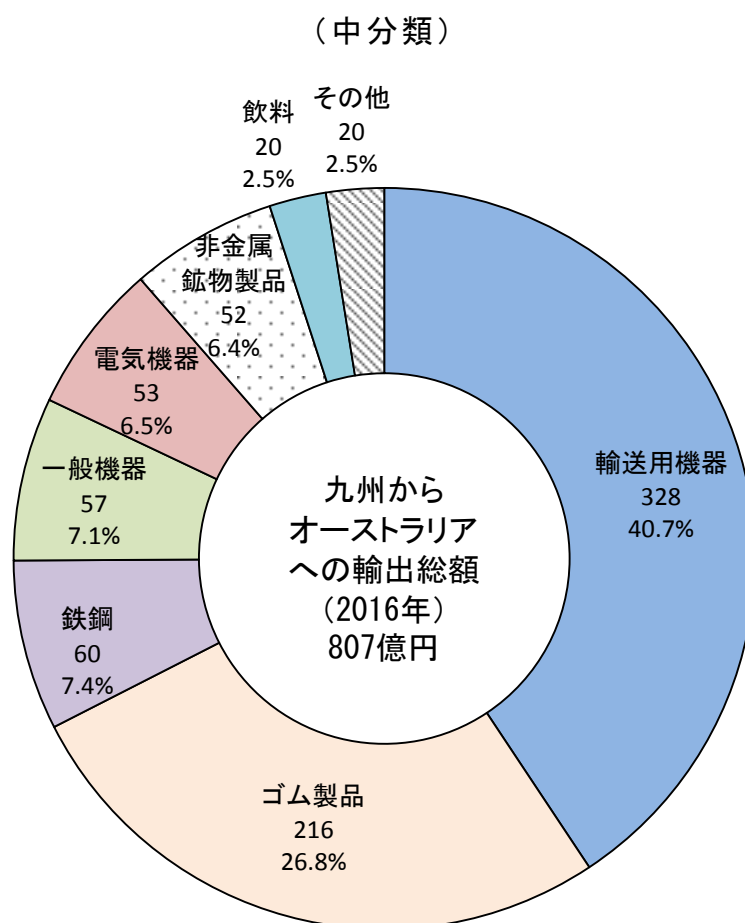
図表 2-18-5 九州の対オーストラリア貿易額の推移



出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-18-6 九州からオーストラリアへの輸出品目

(単位：億円、%)



主な輸出品目	中分類	輸出額(億円)	構成比(%)
自動車	輸送用機器	307	38.0%
ゴムタイヤ及びチューブ	ゴム製品	216	26.8%
軌条及びその他の鉄道線路建設材	鉄鋼	50	6.1%
セメント	非金属鉱物製品	49	6.0%
映像機器	電気機器	28	3.5%
建設用・鉱山用機械	一般機械	24	3.0%
加熱用・冷却用機器	一般機械	24	3.0%
二輪自動車類	輸送用機器	21	2.6%
自動車用等の電気機器	電気機器	21	2.6%
鉄鋼のフラットロール製品	鉄鋼	10	1.3%
その他		57	7.0%
総 額		807	100.0%

寄与度（増加分）：自動車（+8.3%）、軌条及びその他の鉄道線路建設材（+5.2%）等

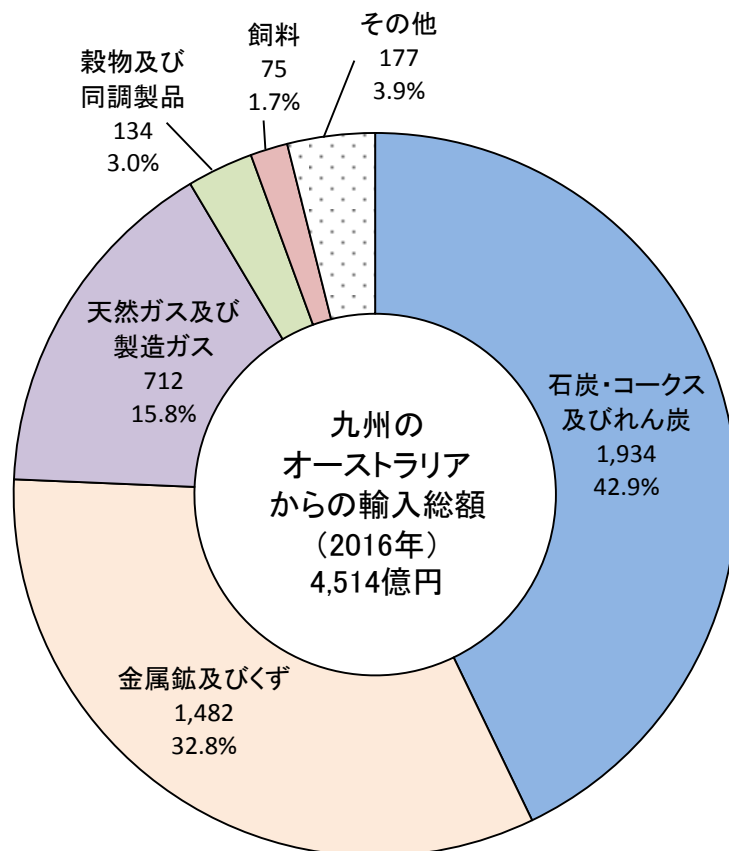
寄与度（減少分）：映像機器（▲5.3%）、ゴムタイヤ及びチューブ（▲2.4%）、セメント（▲1.7%）、鉄鋼のフラットロール製品（▲1.3%）等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-18-7 九州のオーストラリアからの輸入品目

(単位：億円、%)

(中分類)

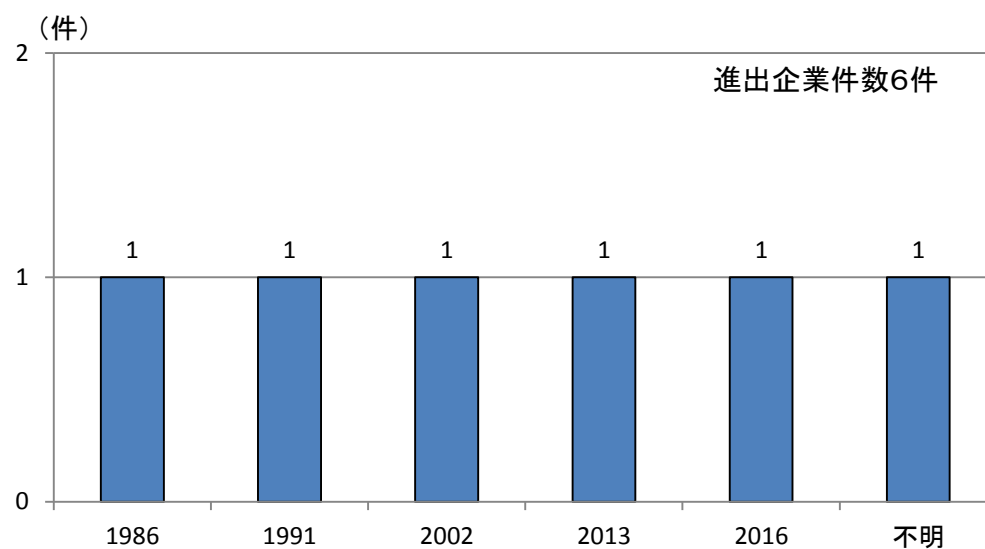


主な輸入品目	中分類	輸入額(億円)	構成比(%)
石炭	石炭・コークス及びれん炭	1,934	42.9%
鉄鉱石	金属鉱及びくず	832	18.4%
石油ガス類(液化天然ガス等)	天然ガス及び製造ガス	712	15.8%
非鉄金属鉱(銅鉱等)	金属鉱及びくず	646	14.3%
大麦及びはだか麦	穀物及び同調製品	104	2.3%
砂糖	糖類及び同調製品・はちみつ	39	0.9%
小麦及びメスリン	穀物及び同調製品	23	0.5%
アルミニウム及び同合金	非鉄金属	15	0.3%
パルプウッド等	木製品及びコルク製品(除家具)	15	0.3%
その他の採油用種子	採油用の種・ナット及び核	13	0.3%
その他		180	4.0%
総 額		4,514	100.0%

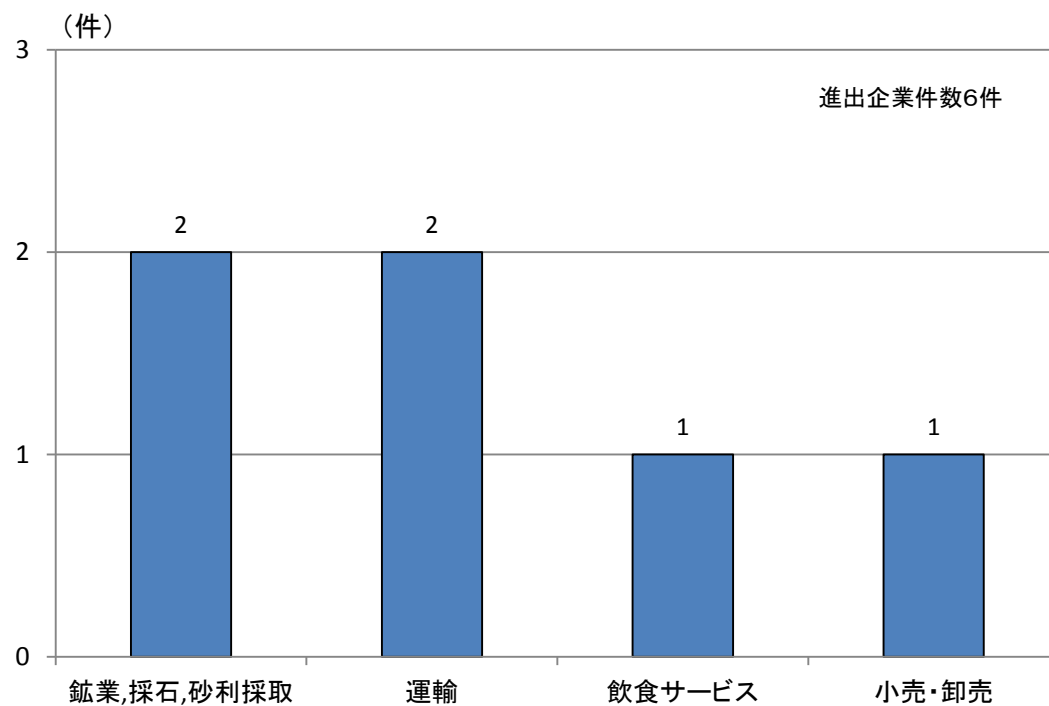
寄与度(減少分)：鉄鉱石(▲7.7%)、石油ガス類(液化天然ガス等)(▲5.9%)、石炭(▲5.1%)、非鉄金属鉱(銅鉱等)(▲2.1%)等

出所：財務省「貿易統計」より九州経済産業局作成。

図表 2-18-8 九州企業のオーストラリアへの進出件数の推移



図表 2-18-9 オーストラリアに進出した九州企業の業種別内訳



図表 2-18-8～9 出所：（公財）九州経済調査協会「九州・山口地場企業の海外進出 2016」より九州経済産業局作成。

【トピックス】TPP 加盟国との貿易動向等について

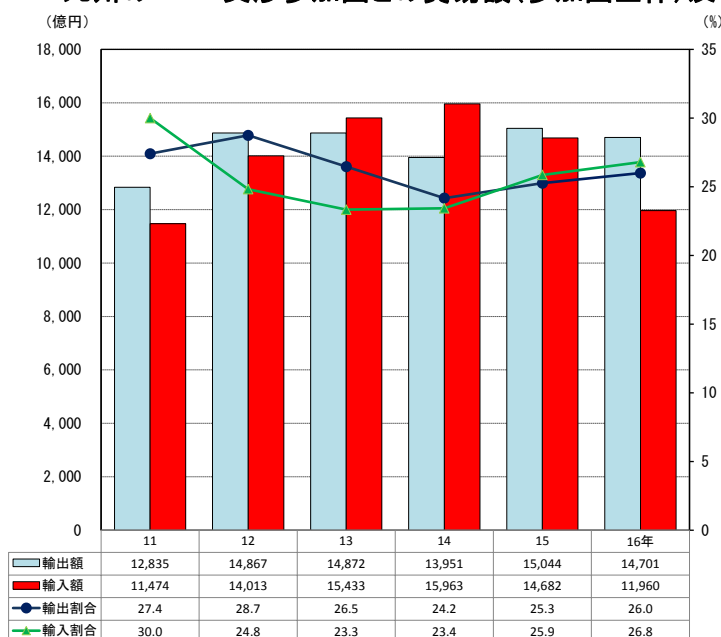
- ・2016 年の九州の TPP 交渉参加国への輸出額は 1 兆 4,701 億円で、輸出額全体に占める割合は 26.0%、輸入額は 1 兆 1,960 億円で、輸入額全体に占める割合は 26.8%で、輸出入額ともに全体の 1/4 程度を占めている。（＊日本の TPP 交渉参加国との貿易額の割合 輸出 33.0% 輸入 27.1%）
- ・相手国別では、輸出は米国への輸出額が最も多く、シンガポール、ベトナムが続いている。輸入はオーストラリアからの輸入額が最も多く、米国、ベトナムが続いている。
- ・貿易額では、米国が最も多く、次いでオーストラリア、ベトナム、メキシコ等となっている。
- ・九州の TPP 交渉参加国との貿易動向を5年前(2011 年)と比較すると、輸出入額ともにやや増加しており、輸出入額全体に占める割合についても若干増加。

九州の TPP 交渉参加国との貿易額(国別)とその割合(2016 年)

(単位: 億円、%)

TPP交渉参加国	輸出額	構成比	輸入	構成比	貿易額	構成比
米国	7,676	13.6%	2,454	5.5%	10,130	10.0%
カナダ	365	0.6%	819	1.8%	1,183	1.2%
メキシコ	1,150	2.0%	962	2.2%	2,113	2.1%
チリ	260	0.5%	810	1.8%	1,069	1.1%
ペルー	126	0.2%	241	0.5%	367	0.4%
マレーシア	1,156	2.0%	782	1.8%	1,938	1.9%
シンガポール	1,800	3.2%	192	0.4%	1,992	2.0%
ベトナム	1,254	2.2%	1,101	2.5%	2,355	2.3%
ブルネイ	10	0.0%	0.1	0.0%	10	0.0%
オーストラリア	807	1.4%	4,514	10.1%	5,321	5.3%
ニュージーランド	98	0.2%	86	0.2%	184	0.2%
TPP交渉参加国計	14,701	26.0%	11,960	26.8%	26,661	26.3%
九州総計	56,548	100.0%	44,643	100.0%	101,191	100.0%

九州の TPP 交渉参加国との貿易額(参加国全体)及びその割合の推移



出所：財務省「貿易統計」より

九州経済産業局作成。

【参考】

- ・2017年1月の米国による離脱表明を受けて、現在、米国以外の11か国の間で協定の早期発効を目指して協議が行われている。
- ・米国抜きで九州のTPP交渉参加国との貿易額では、輸出が7,025億円(米国含む12カ国比47.8%)、輸入は9,506億円(同79.5%)、貿易額は1兆6,531億円(同62.0%)で全体の16.3%と大きく規模が縮小する。(※日本のTPP交渉参加国(米国を除く)との貿易額の割合 輸出12.8% 輸入16.0%)

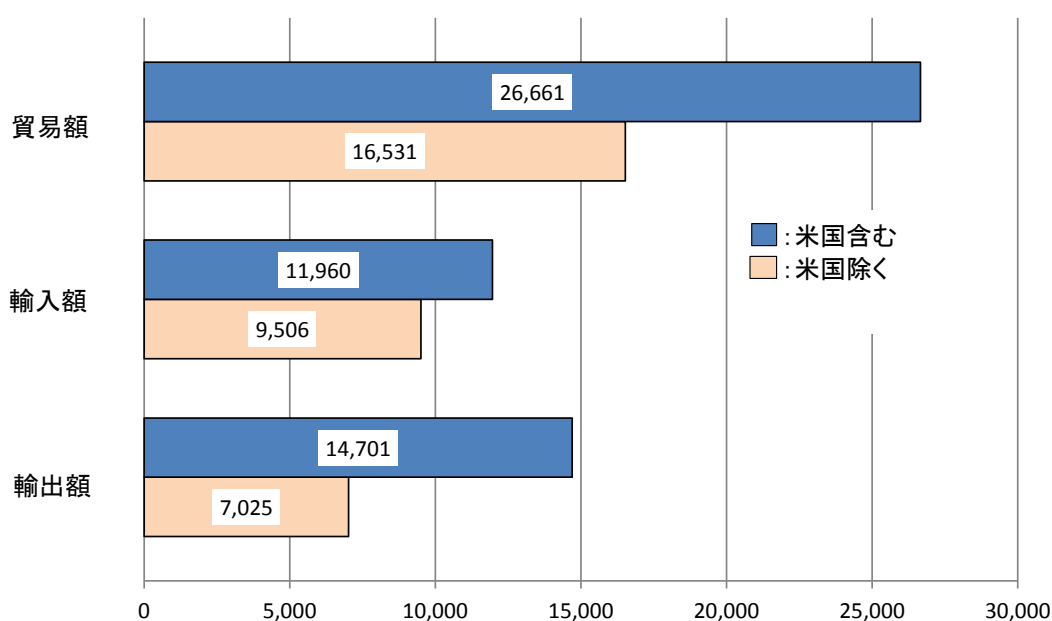
九州のTPP交渉参加国との貿易額(国別)とその割合(2016年)(米国を除く)

(単位: 億円、%)

TPP交渉参加国	輸出額	構成比	輸入	構成比	貿易額	構成比
カナダ	365	0.6%	819	1.8%	1,183	1.2%
メキシコ	1,150	2.0%	962	2.2%	2,113	2.1%
チリ	260	0.5%	810	1.8%	1,069	1.1%
ペルー	126	0.2%	241	0.5%	367	0.4%
マレーシア	1,156	2.0%	782	1.8%	1,938	1.9%
シンガポール	1,800	3.2%	192	0.4%	1,992	2.0%
ベトナム	1,254	2.2%	1,101	2.5%	2,355	2.3%
ブルネイ	10	0.0%	0	0.0%	10	0.0%
オーストラリア	807	1.4%	4,514.0	10.1%	5,321	5.3%
ニュージーランド	98	0.2%	86	0.2%	184	0.2%
TPP交渉参加国計	7,025	12.4%	9,506	21.3%	16,531	16.3%
九州総計	56,548	100.0%	44,643	100.0%	101,191	100.0%

九州のTPP交渉参加国(米国含む)と(米国を除く)の比較

(単位: 億円)



出所: 財務省「貿易統計」より九州経済産業局